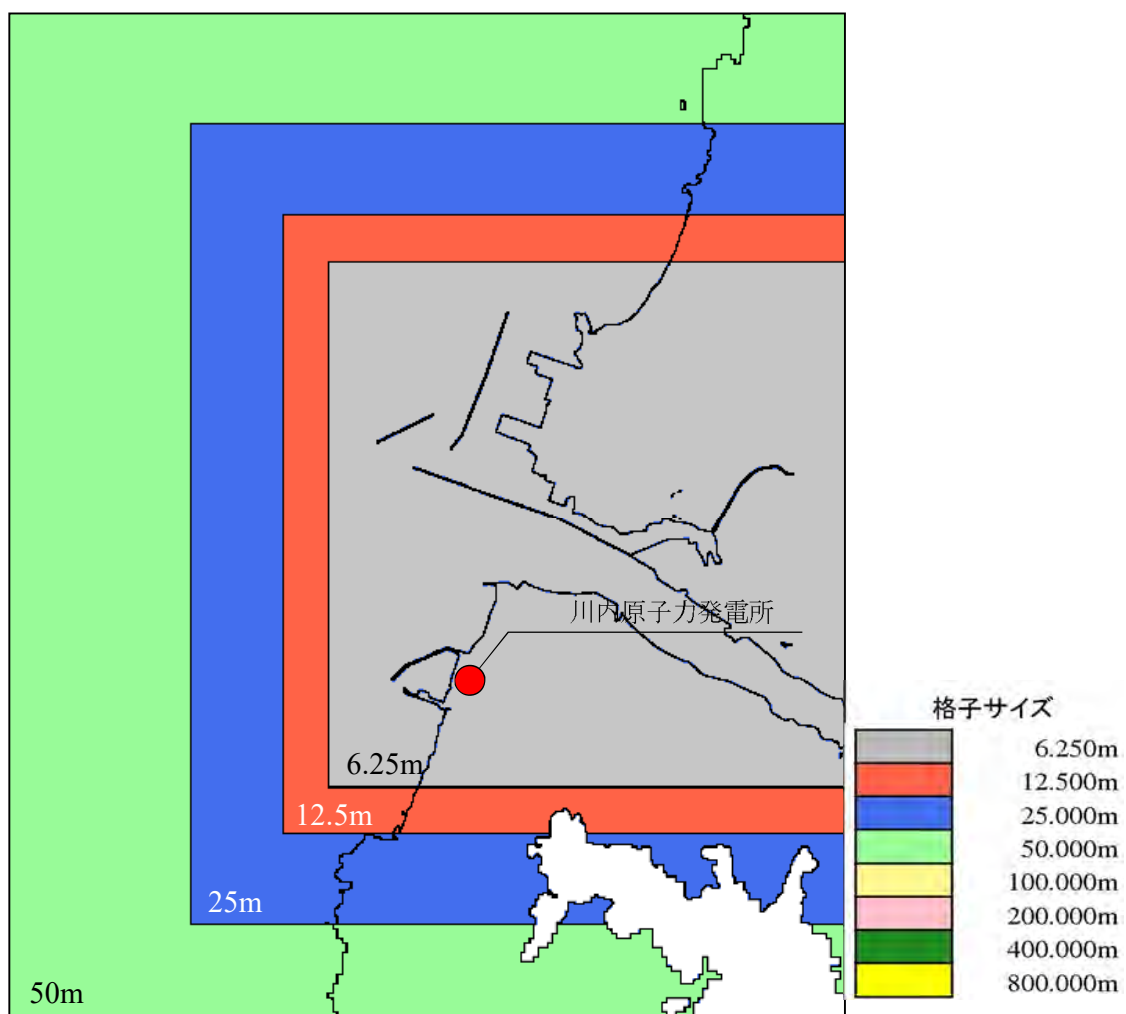
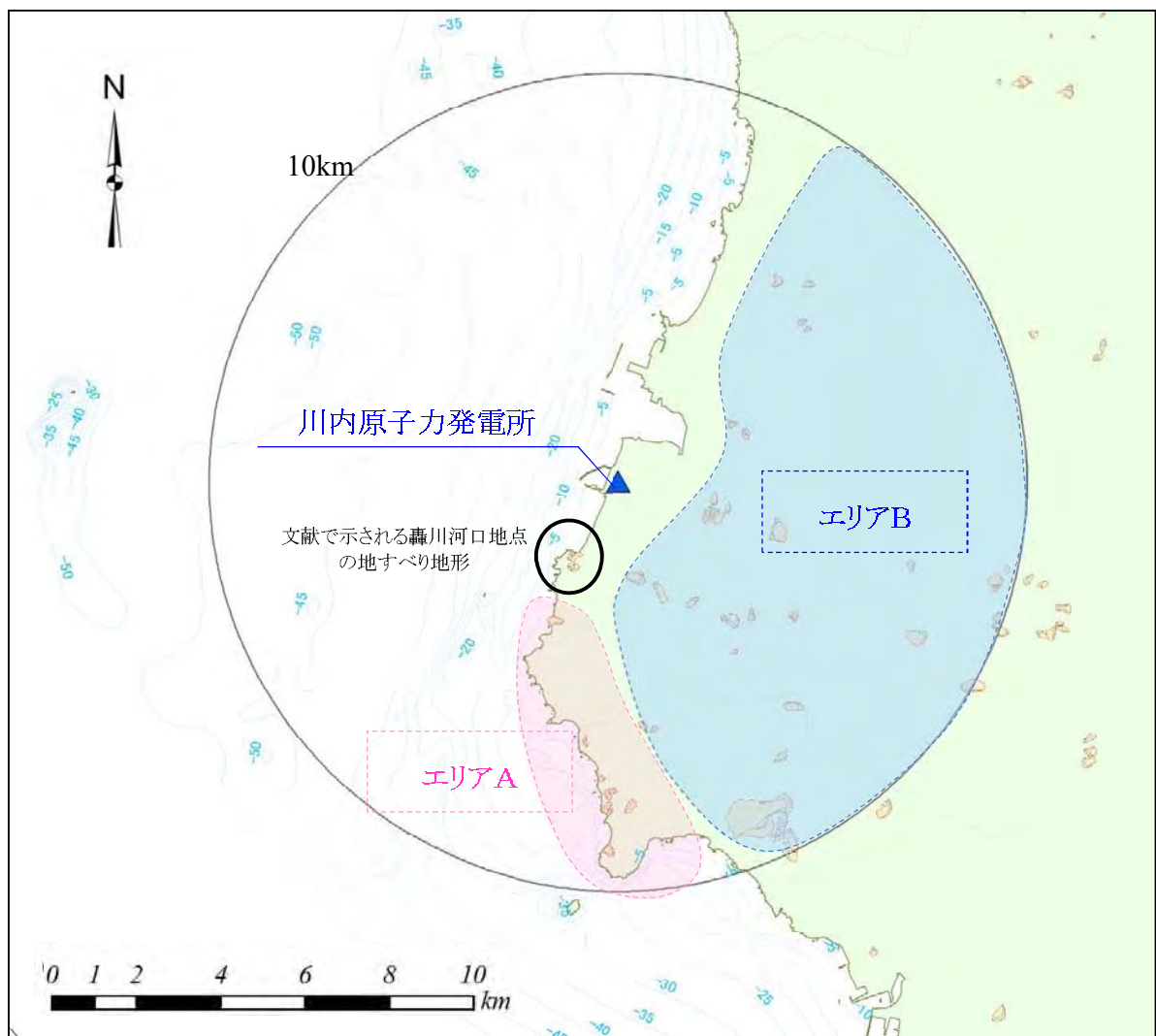
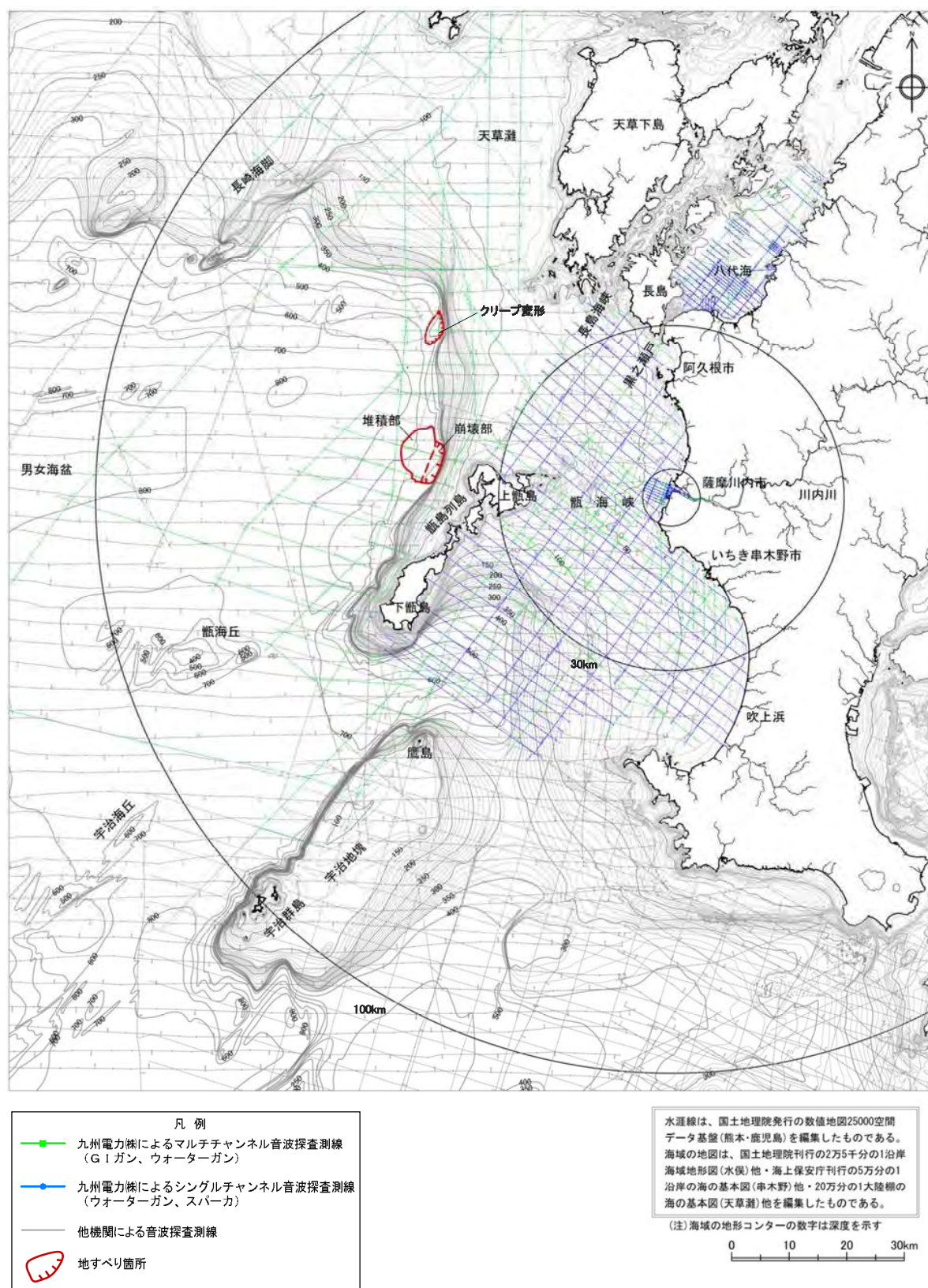




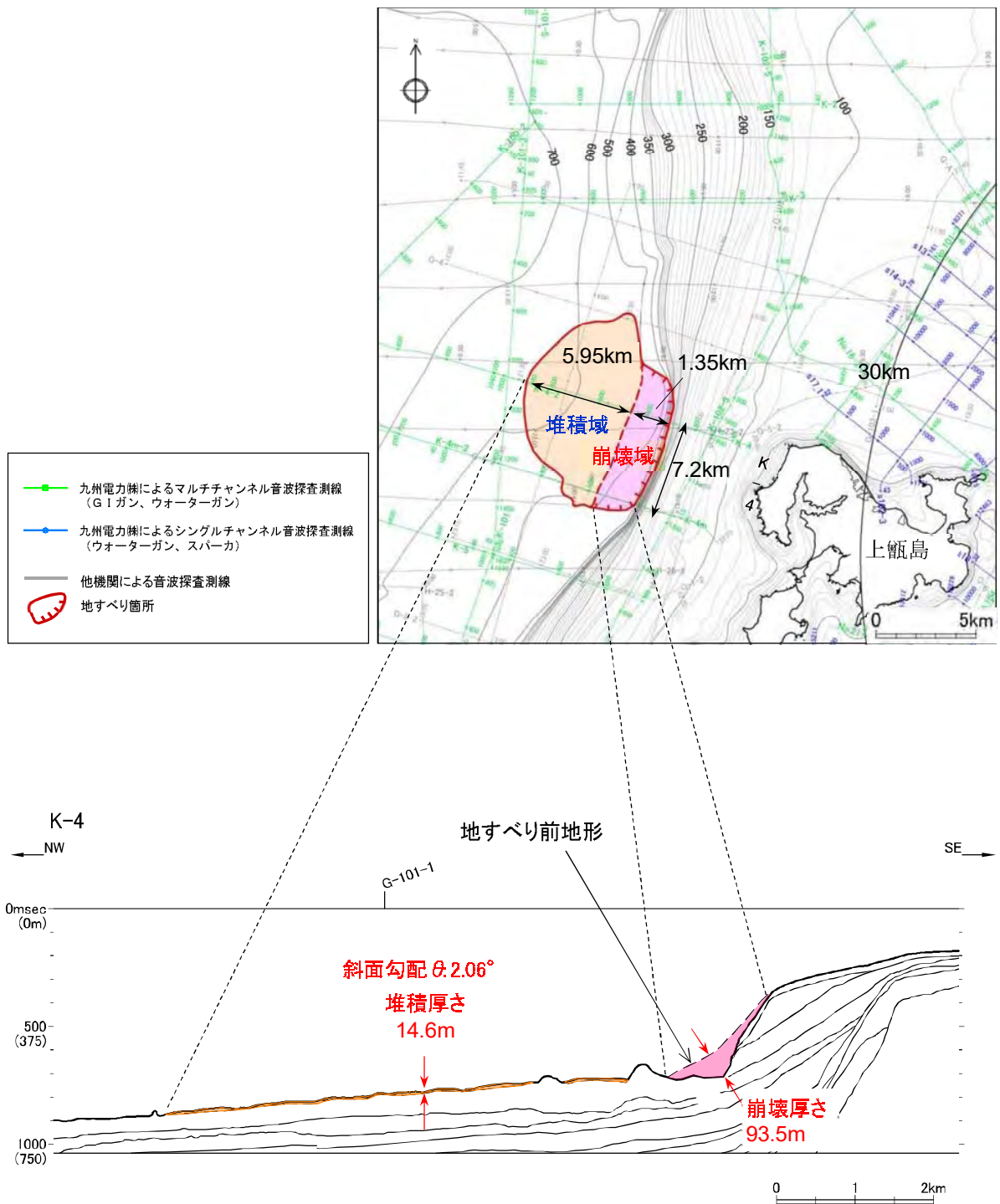
第1.2-15図(3) 計算格子分割(敷地近傍海域)



第1.2-16図 沿岸陸域の地すべり地形の位置



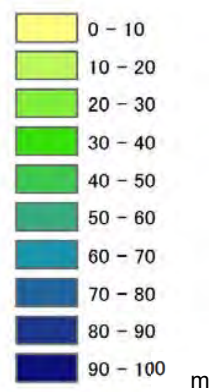
第1.2-17図 海底地すべり地形の位置



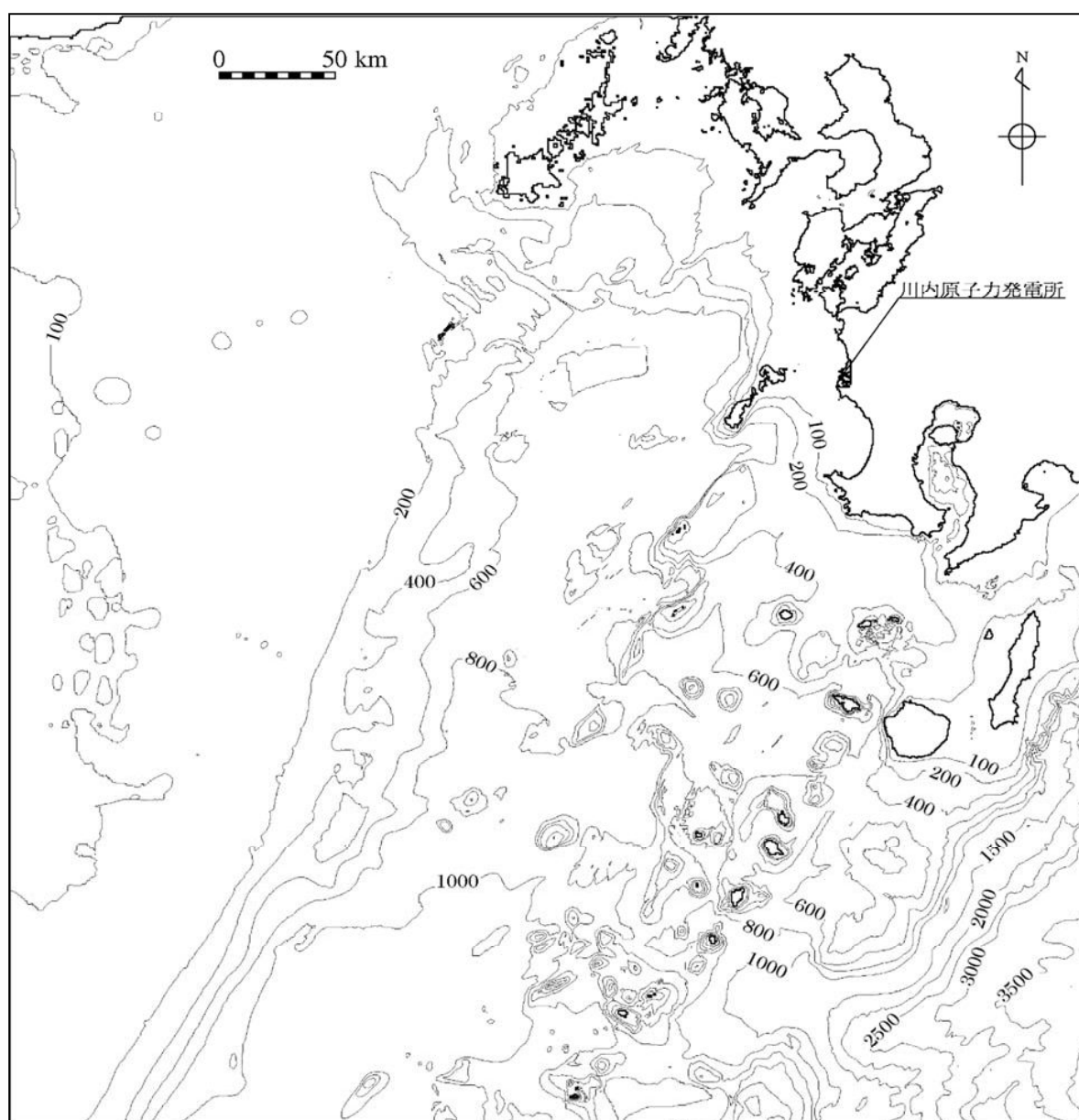
第1.2-18図(1) 海底地すべりモデル
(Watts et al. (2005) の予測式に基づく手法)



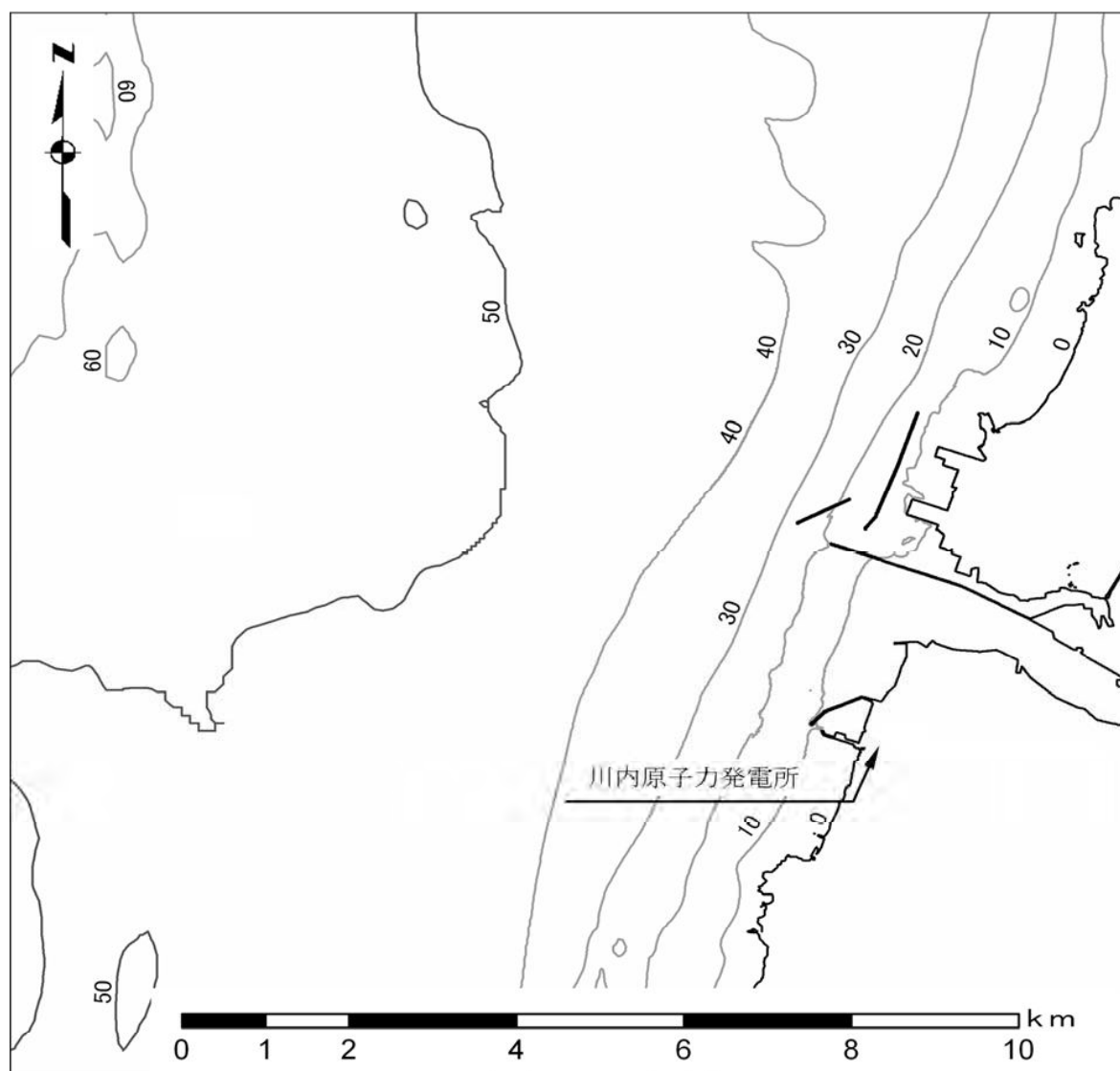
地すべり地塊厚さ



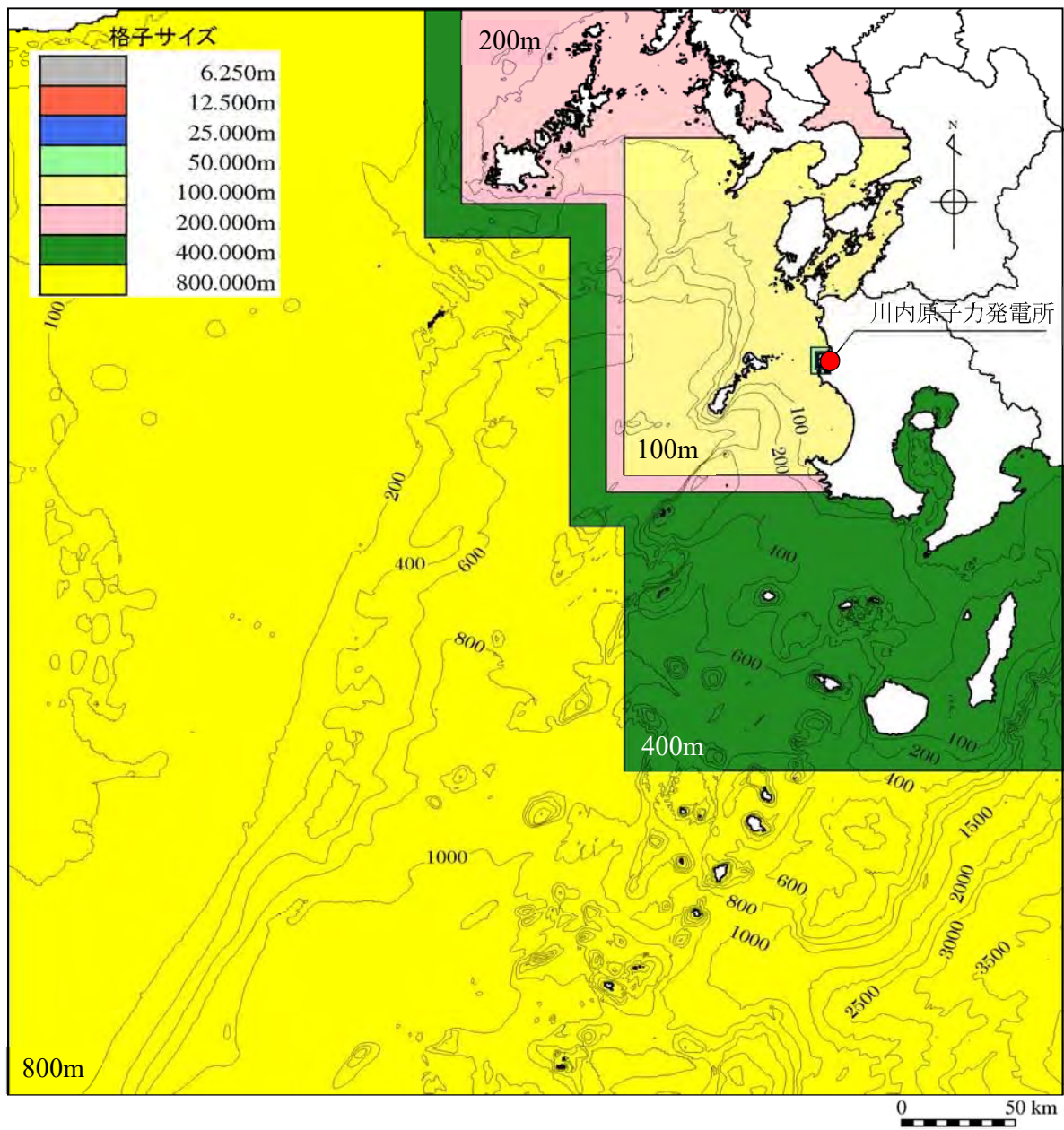
第1.2-18図(2) 海底地すべりモデル
(二層流モデルに基づく手法)



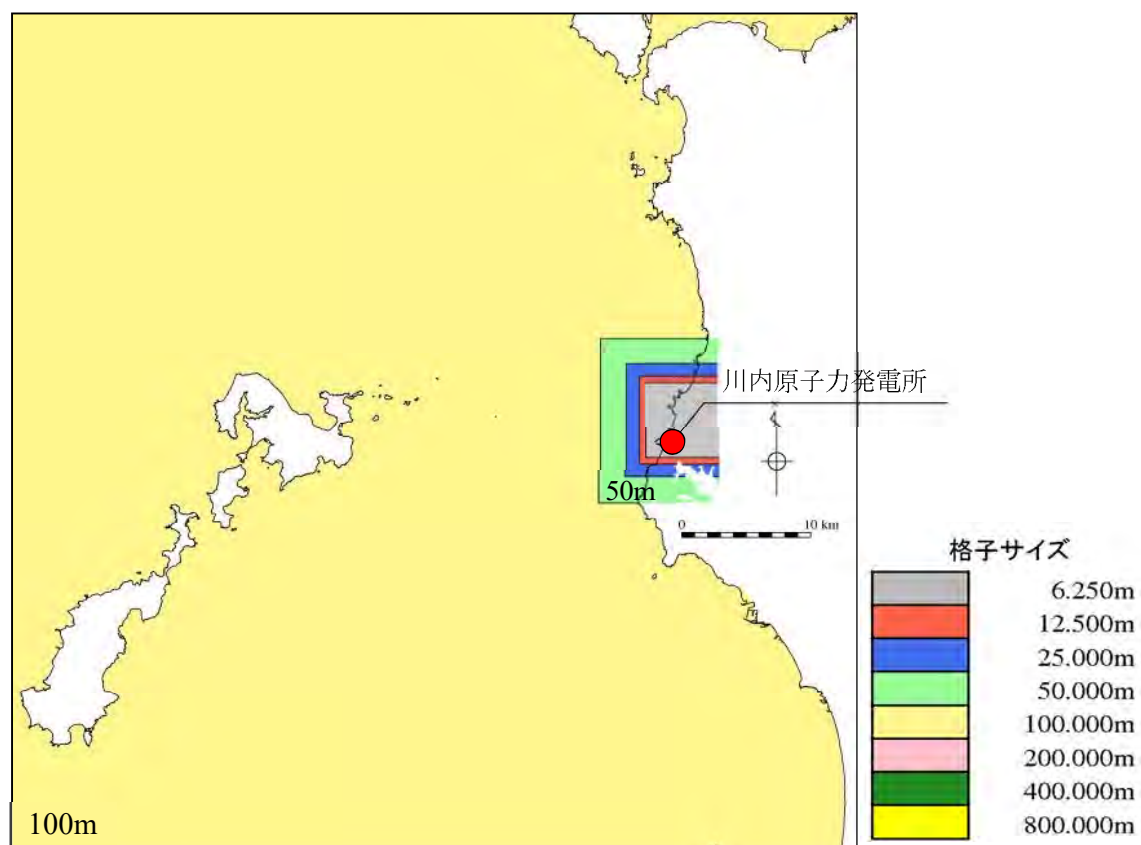
第1.2-19図(1) 海底地形(計算領域全体)



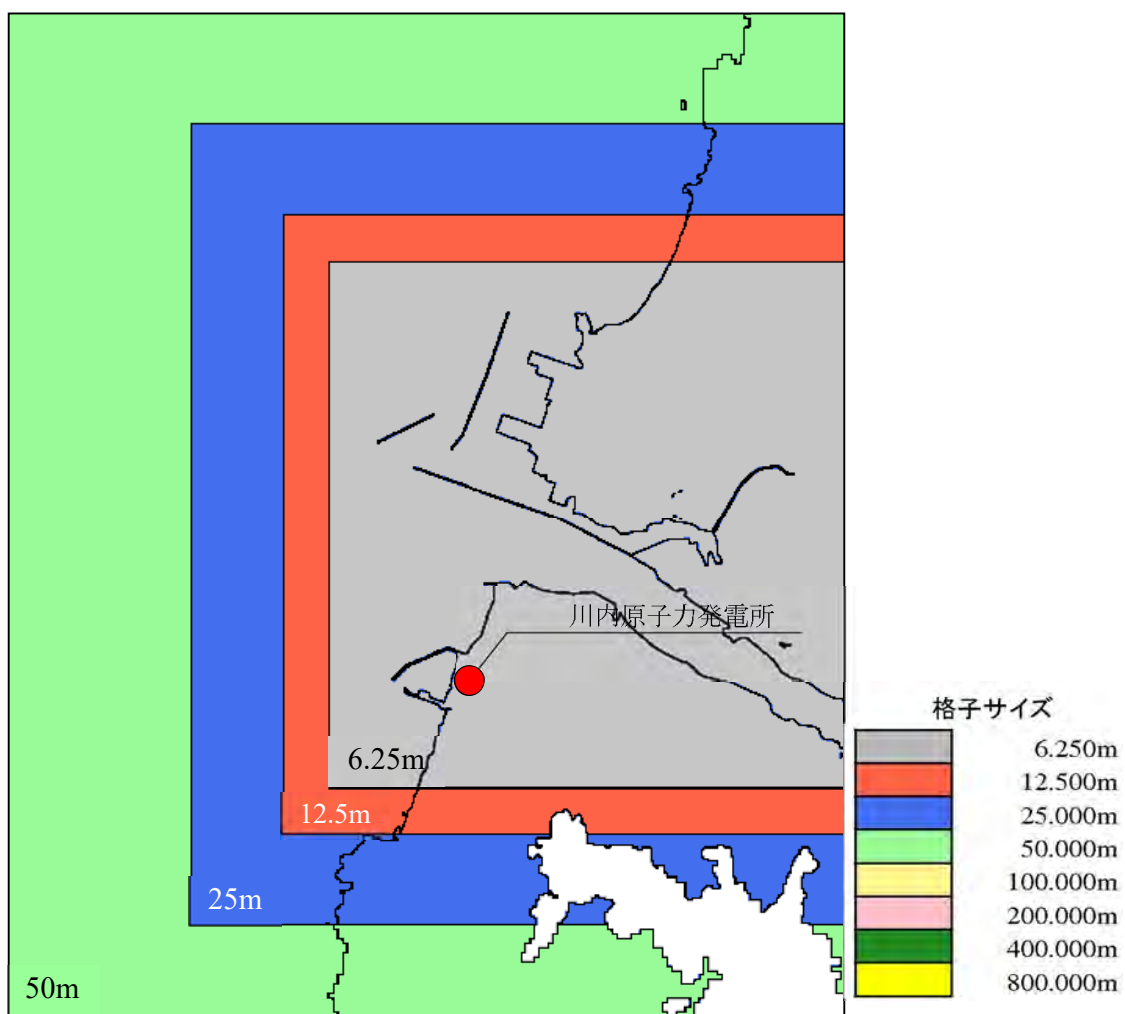
第1.2-19図(2) 海底地形(敷地近傍海域)



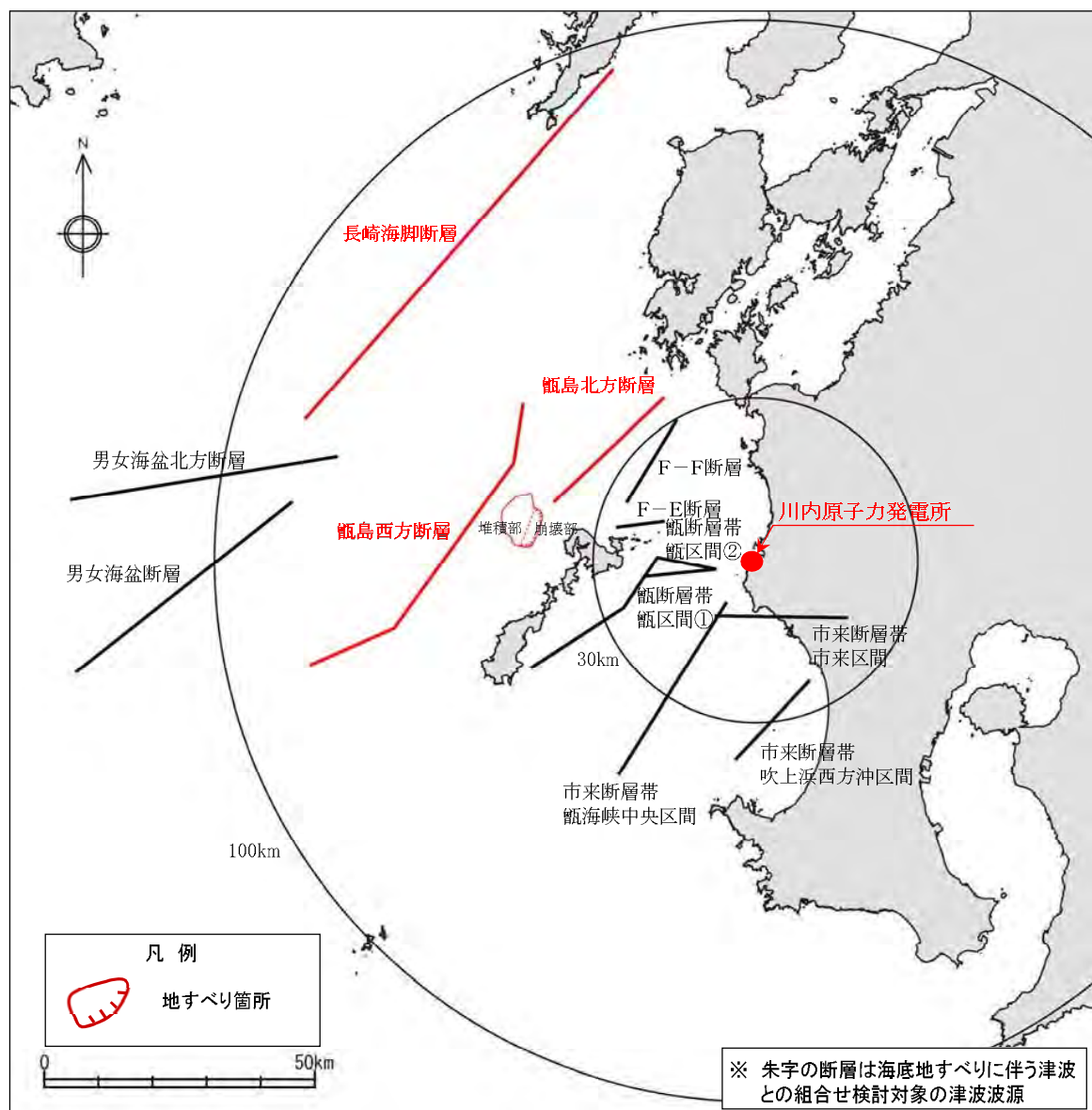
第1.2-20図(1) 計算格子分割(計算領域全体)



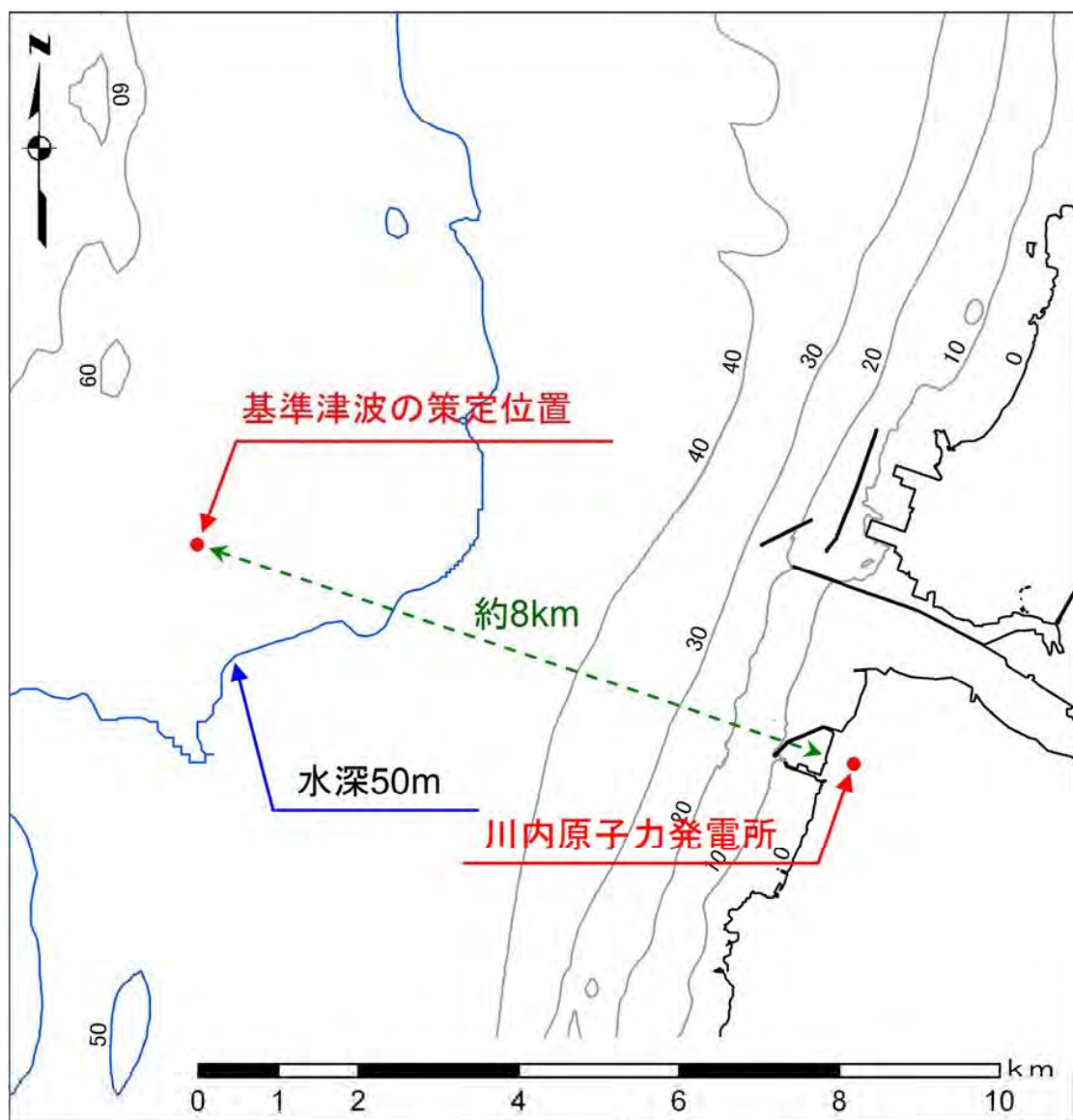
第1.2-20図(2) 計算格子分割(敷地前面海域)



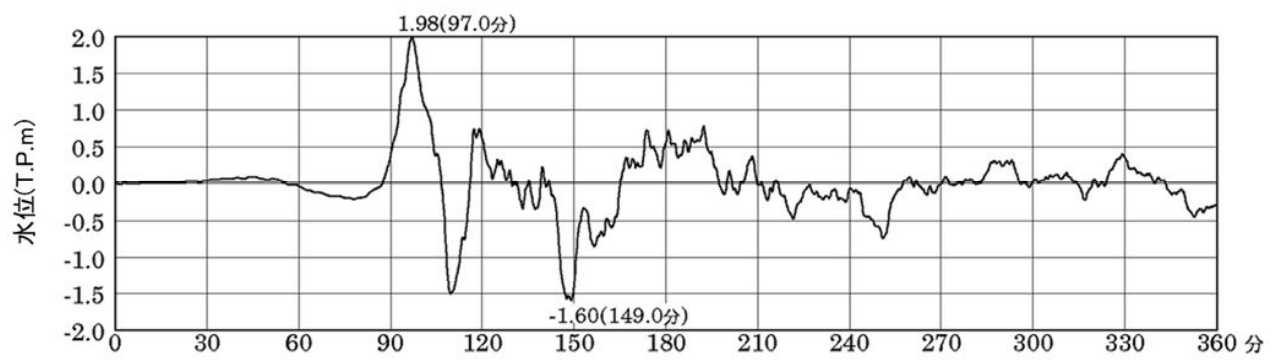
第1.2-20図(3) 計算格子分割(敷地近傍海域)



第1.2-21図 敷地周辺の海域活断層の津波波源
及び海底地すべりの位置



第1.2-22図 基準津波の策定位置



第1.2-23図 基準津波の時刻歴波形 (初期潮位 : T.P.±0.00m)



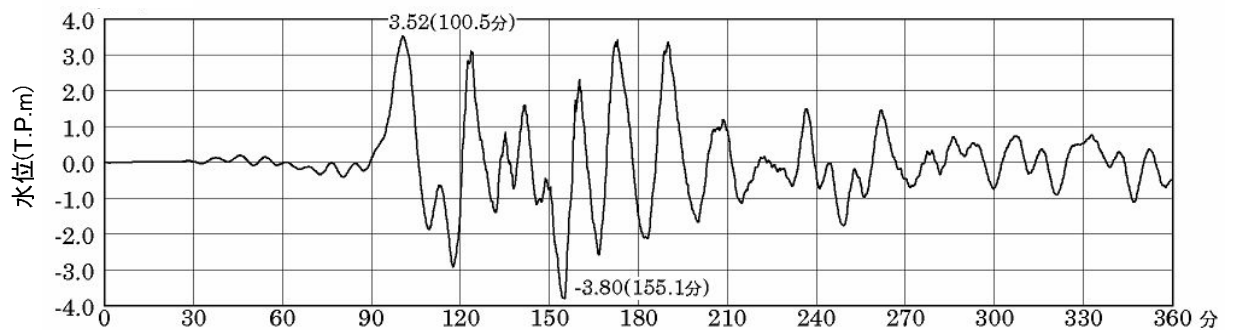
第1.2-24図(1) 基準津波の最大水位上昇量分布

(初期潮位:T.P.±0.00m)



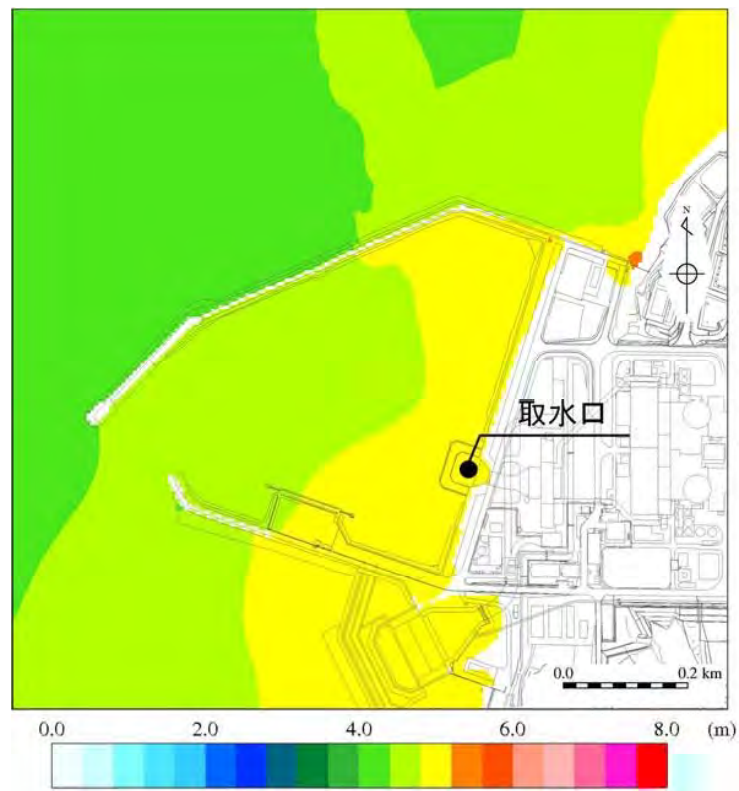
第1.2-24図(2) 基準津波の最大水位下降量分布

(初期潮位:T.P.±0.00m)

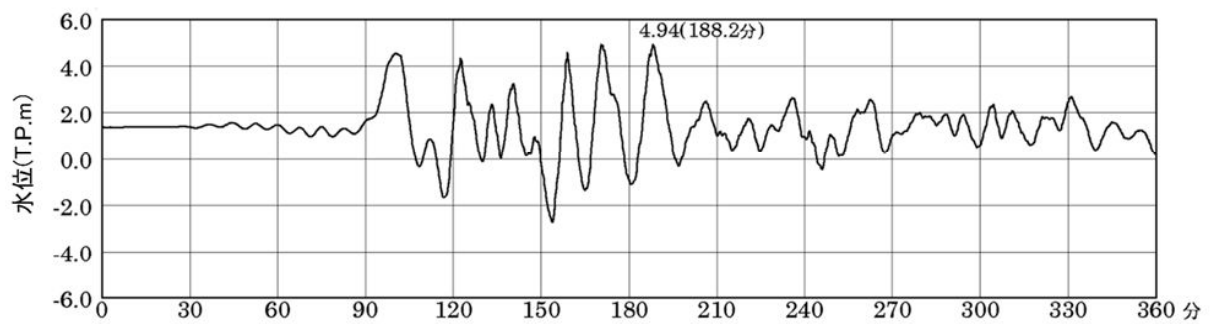


第1.2-24図(3) 基準津波の取水口位置での時刻歴波形

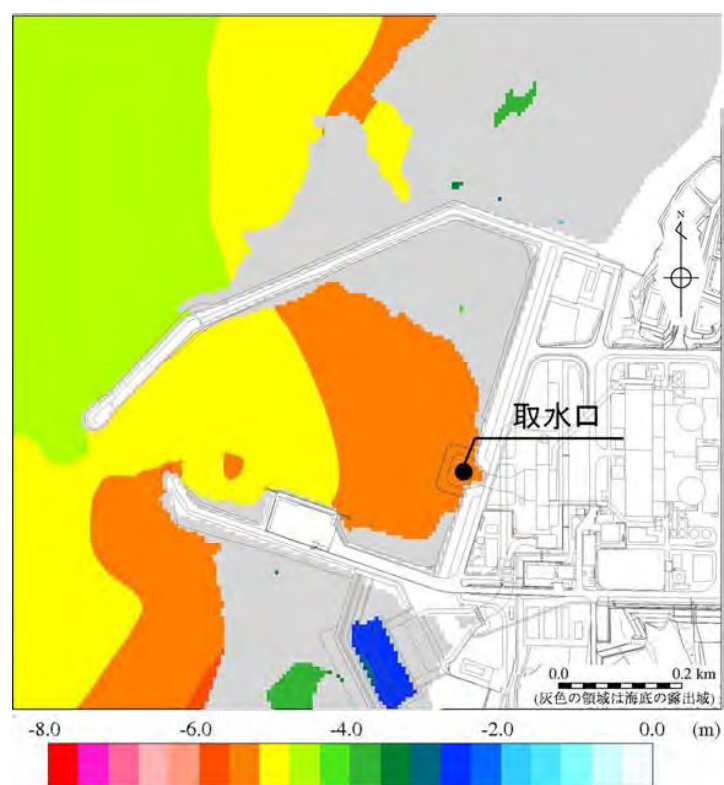
(初期潮位:T.P.±0.00m)



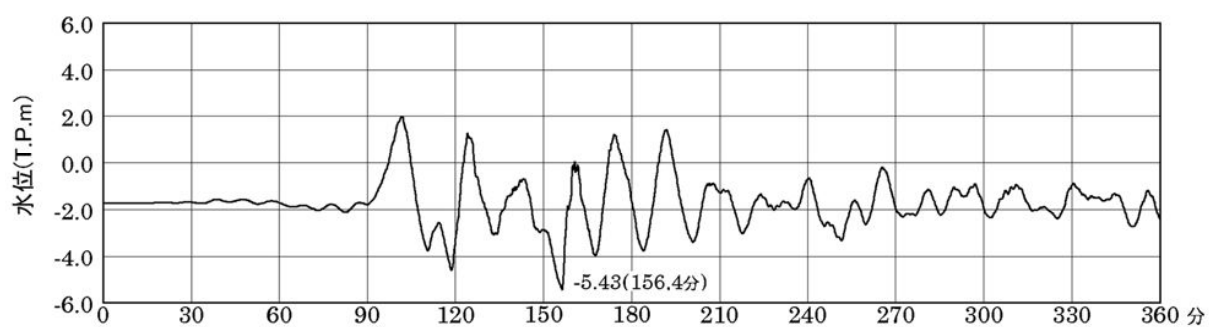
第1.2-25図(1) 基準津波の最高水位分布(朔望平均満潮位を考慮)



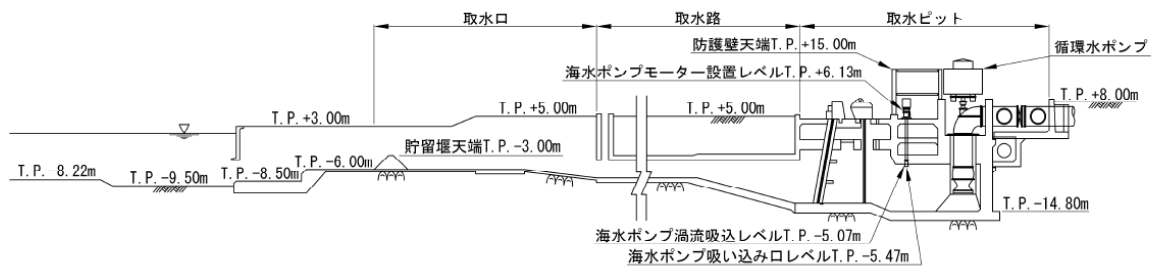
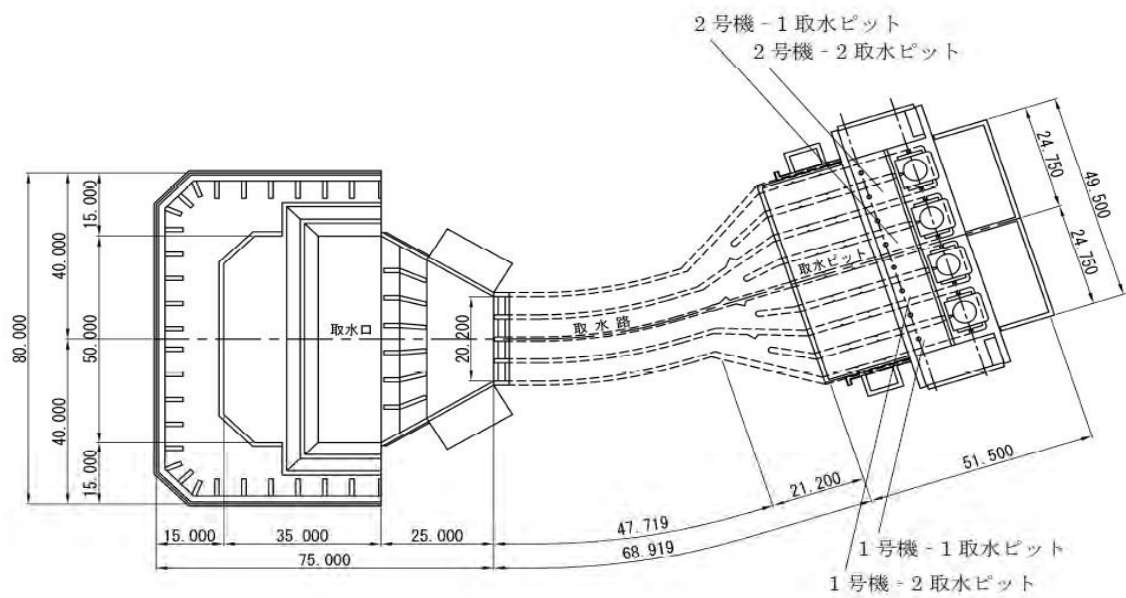
第1.2-25図(2) 基準津波の取水口位置での時刻歴波形
(朔望平均満潮位を考慮)



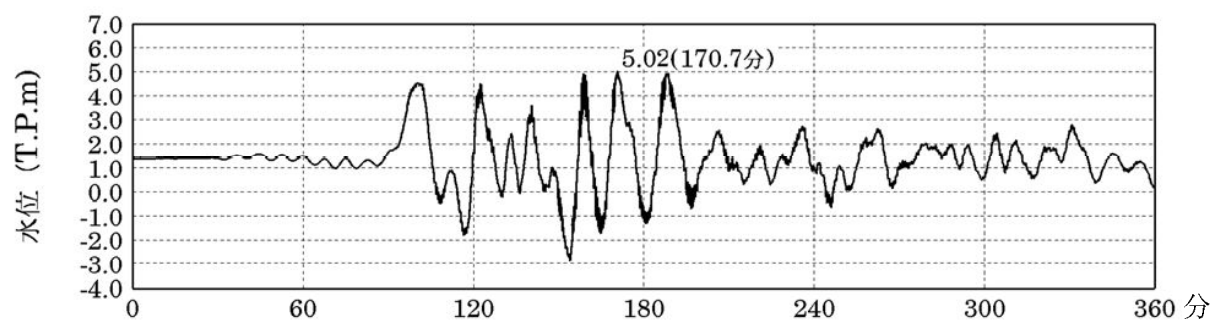
第1.2-25図(3) 基準津波の最低水位分布(朔望平均干潮位を考慮)



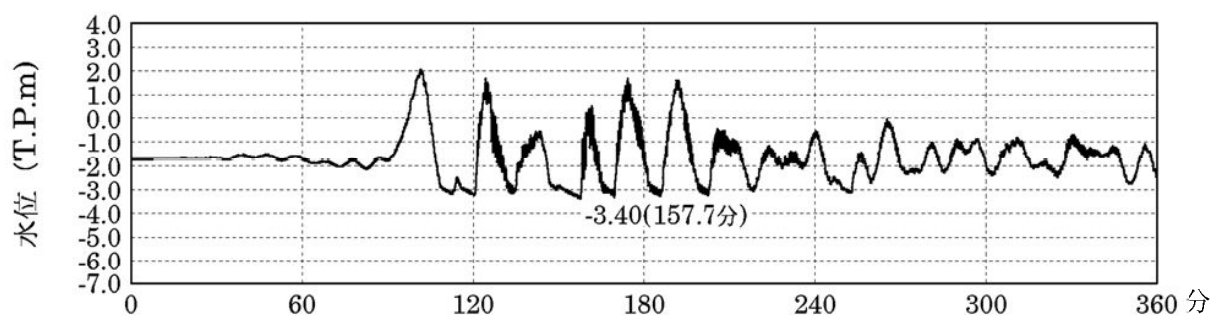
第1.2-25図(4) 基準津波の取水口位置での時刻歴波形
(朔望平均干潮位を考慮)



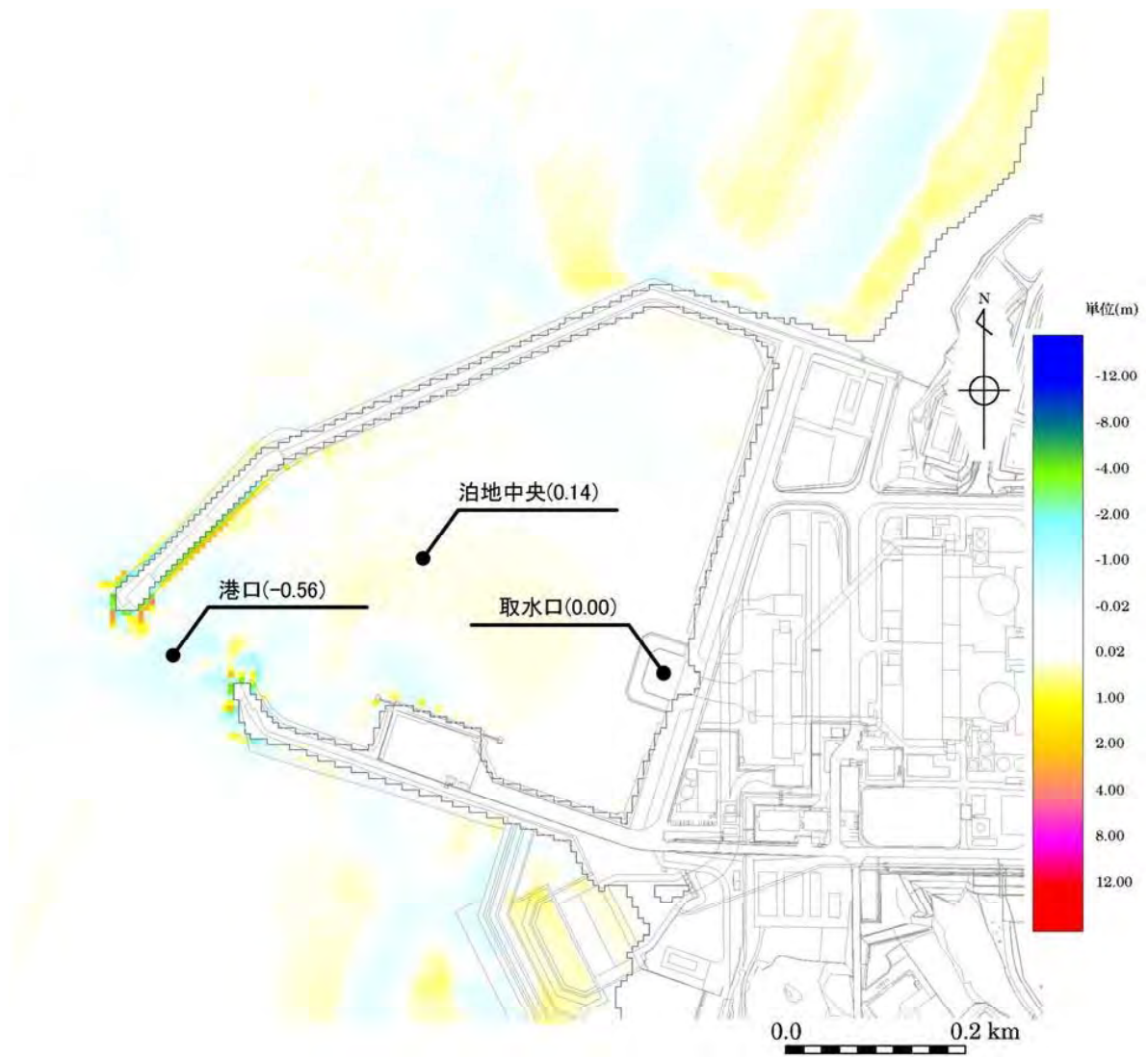
第1.2-26図 取水口～取水ピットの構造図



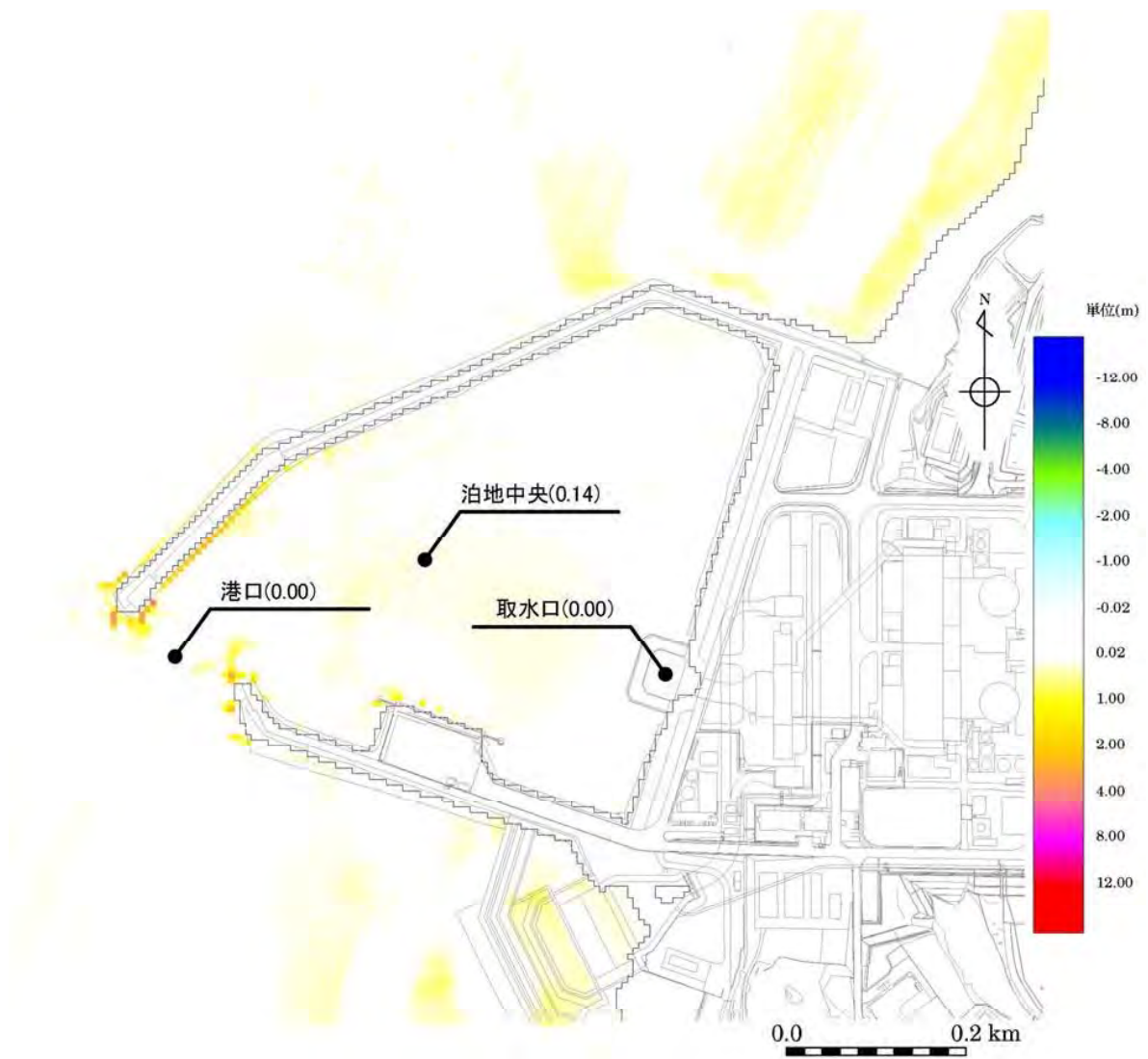
第1.2-27図(1) 取水ピットでの時刻歴波形
(水位上昇側、朔望平均満潮位を考慮)



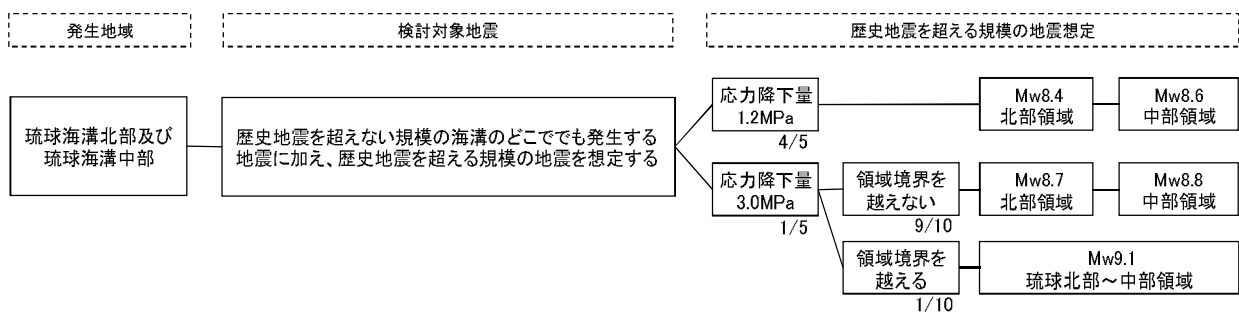
第1.2-27図(2) 取水ピットでの時刻歴波形
(水位下降側、朔望平均干潮位を考慮)



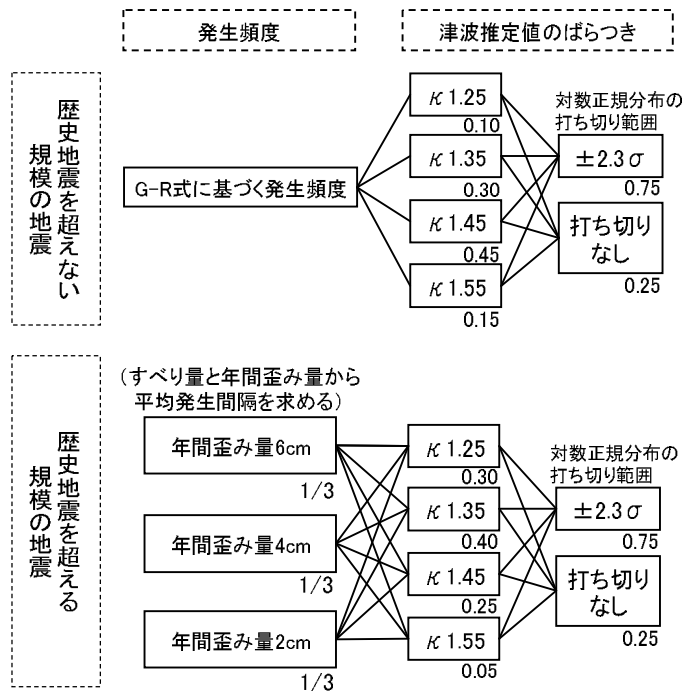
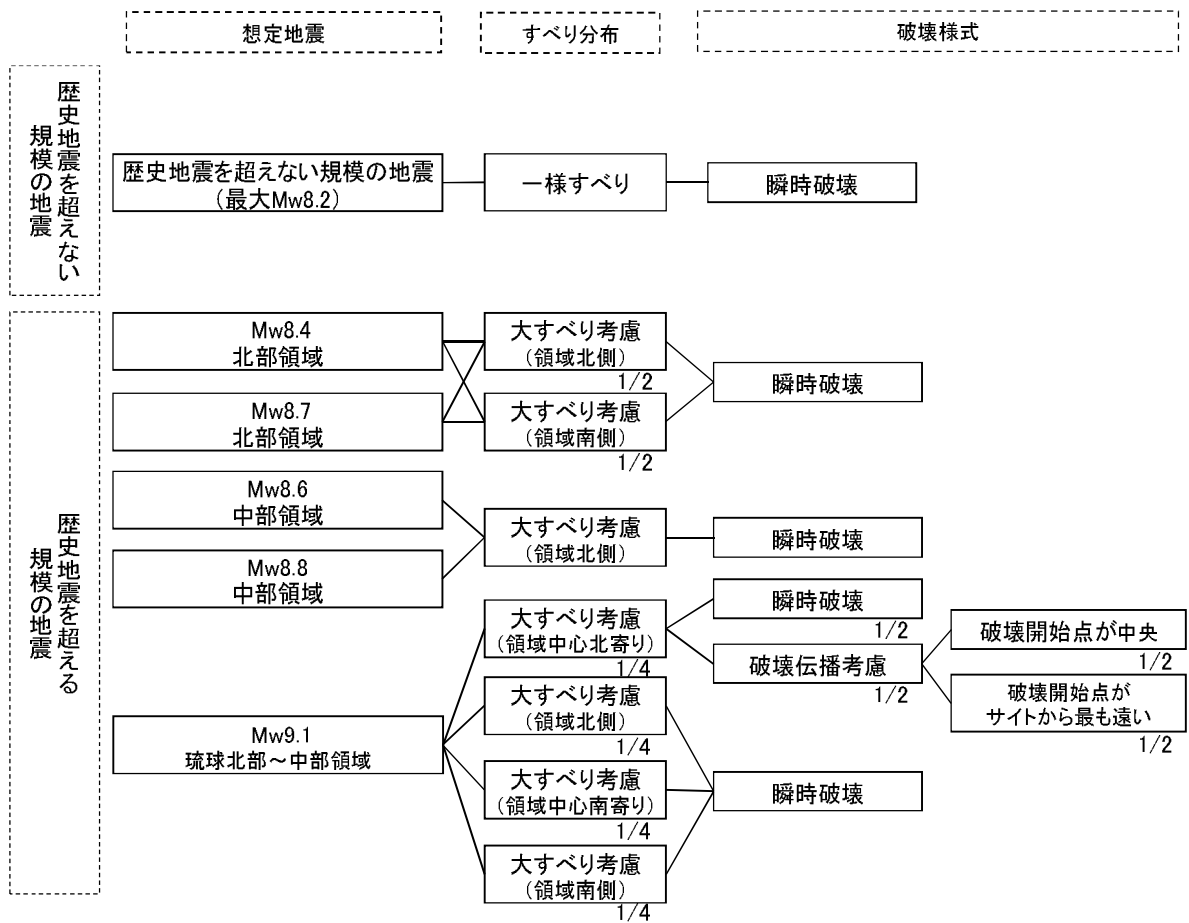
第1.2-28図(1) 砂移動による最終地形変化量



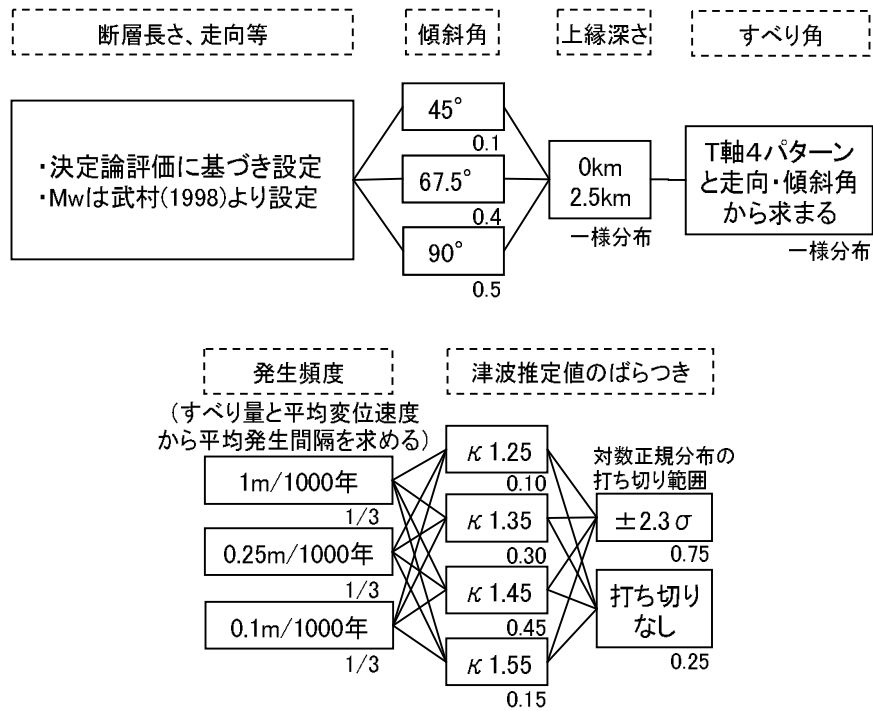
第1.2-28図(2) 砂移動による最大堆積厚



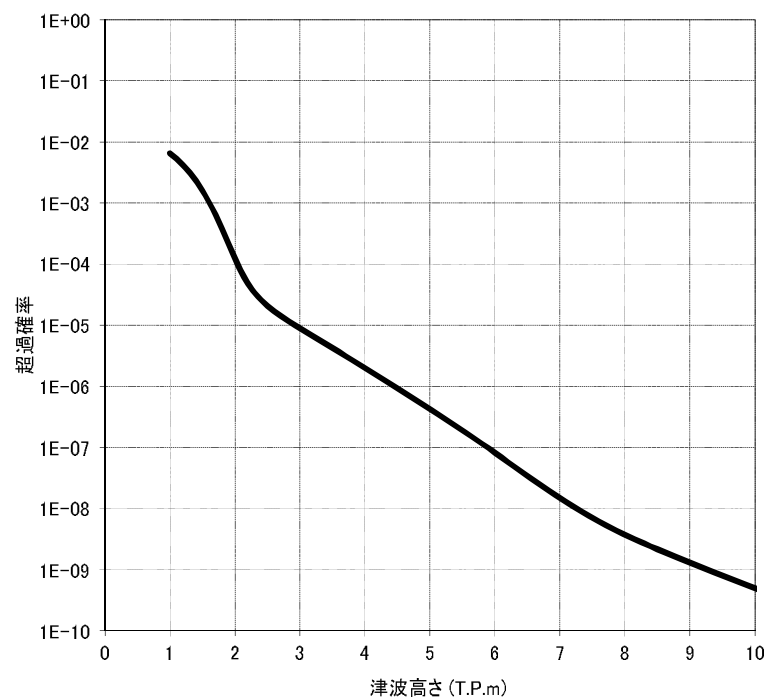
第1.2-29図(1) ロジックツリー(プレート間地震)



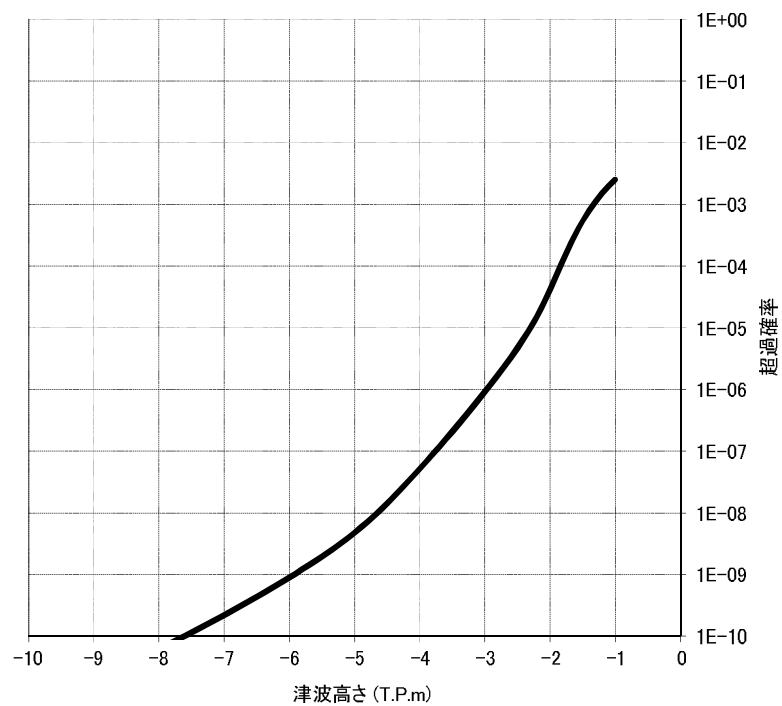
第1.2-29図(2) ロジックツリー(プレート間地震)



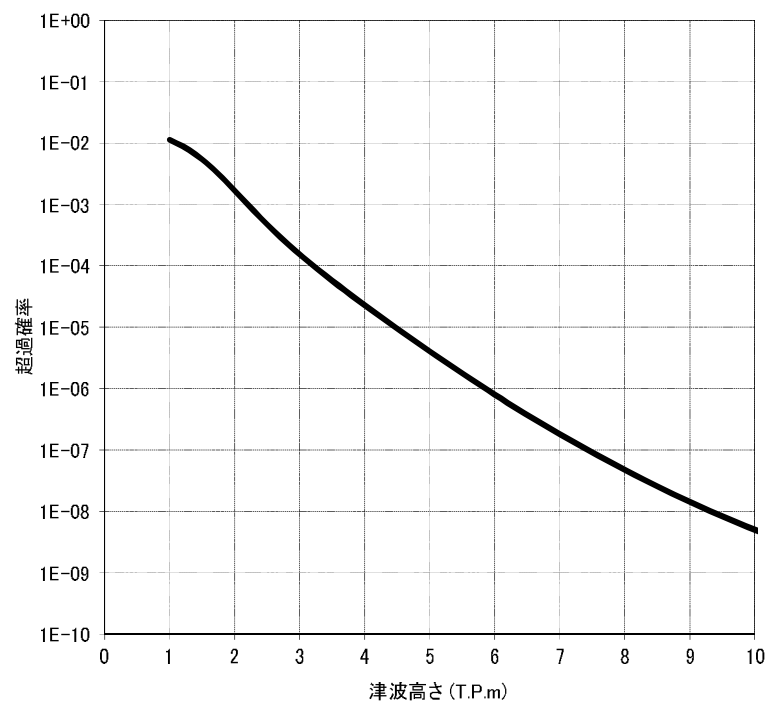
第1.2-29図 (3) ロジックツリー (海域活断層による地殻内地震)



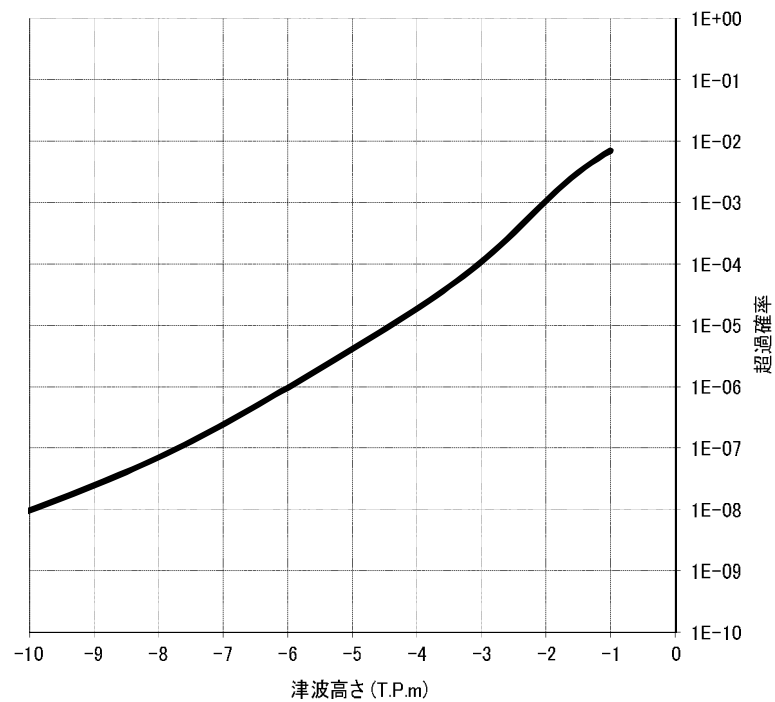
第1.2-30図(1) 基準津波の策定位置における
水位と年超過確率の関係(水位上昇側)



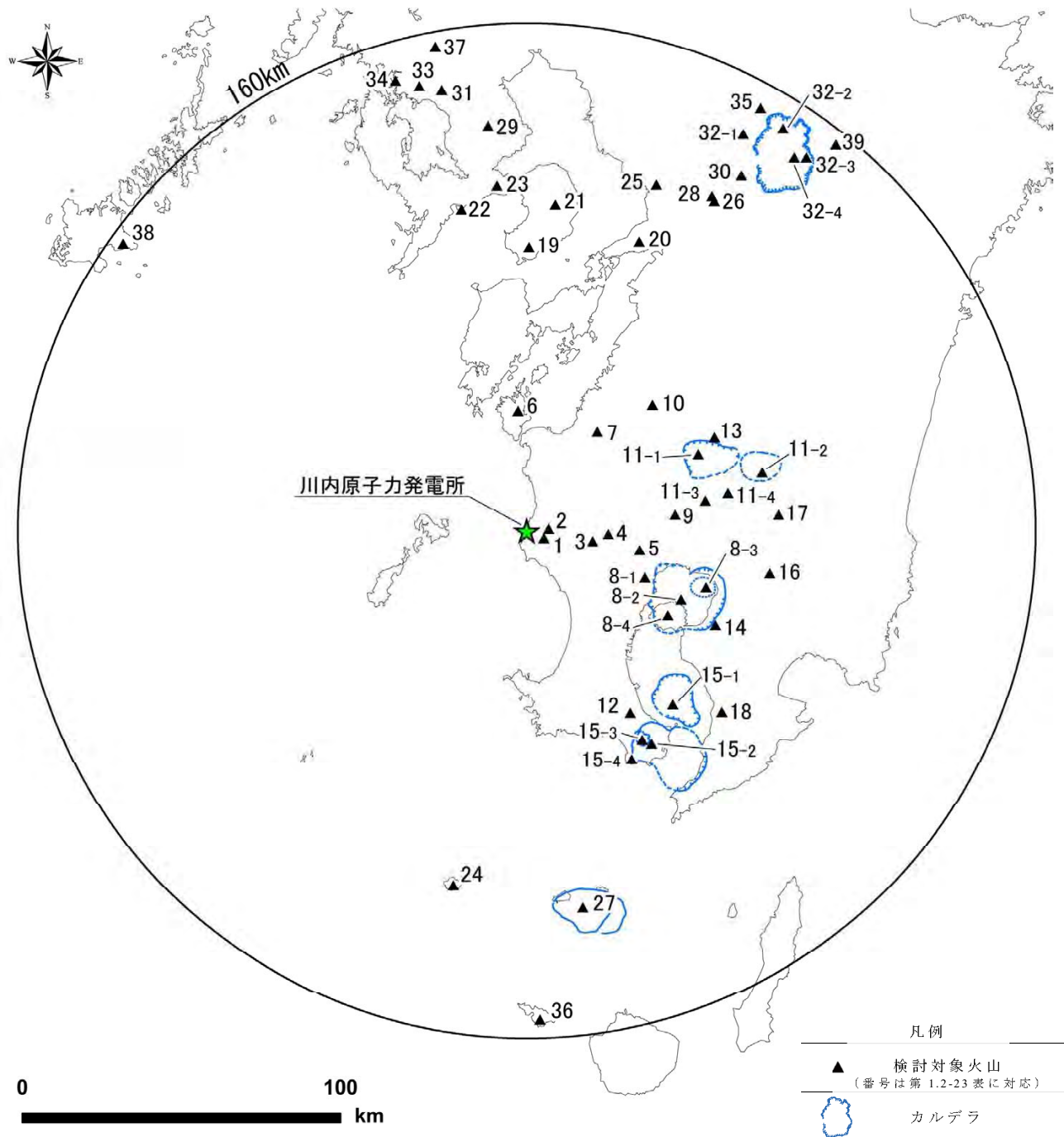
第1.2-30図(2) 基準津波の策定位置における
水位と年超過確率の関係(水位下降側)



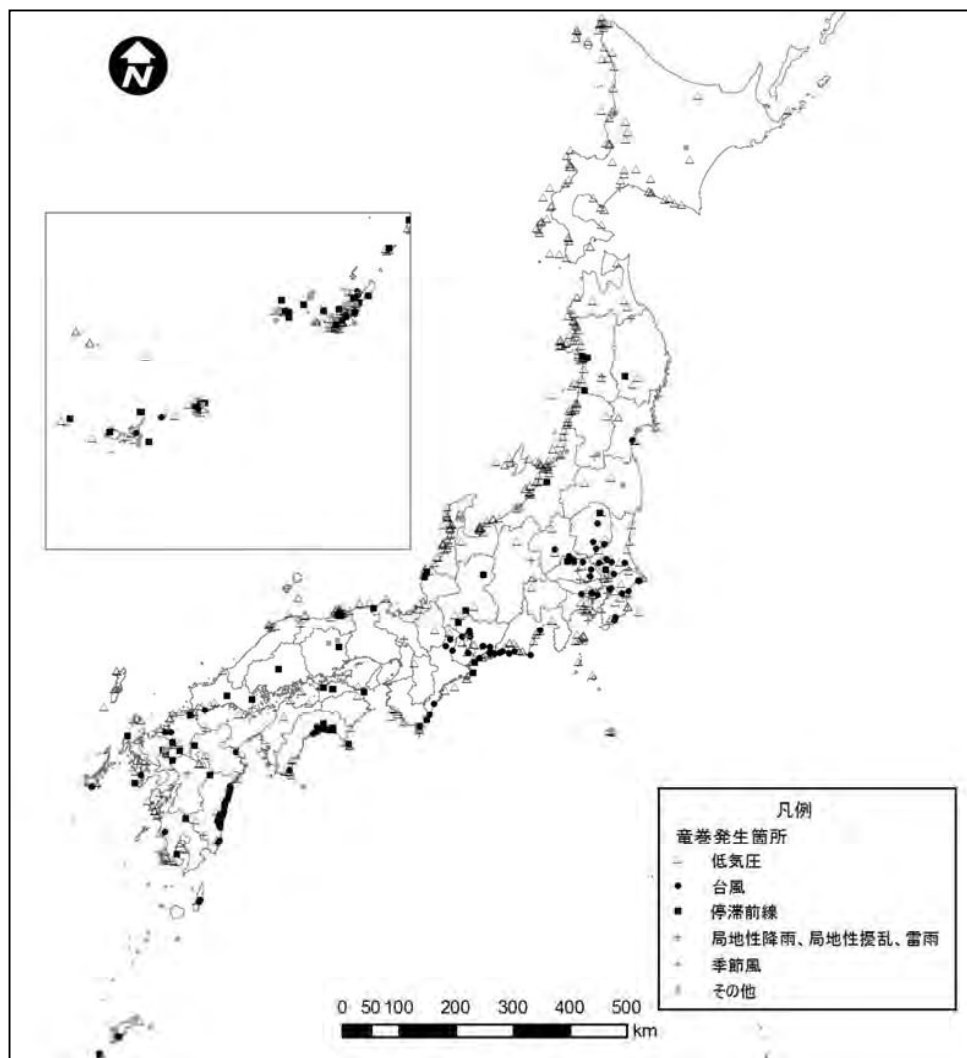
第1.2-30図 (3) 取水口位置における
水位と年超過確率の関係 (水位上昇側)



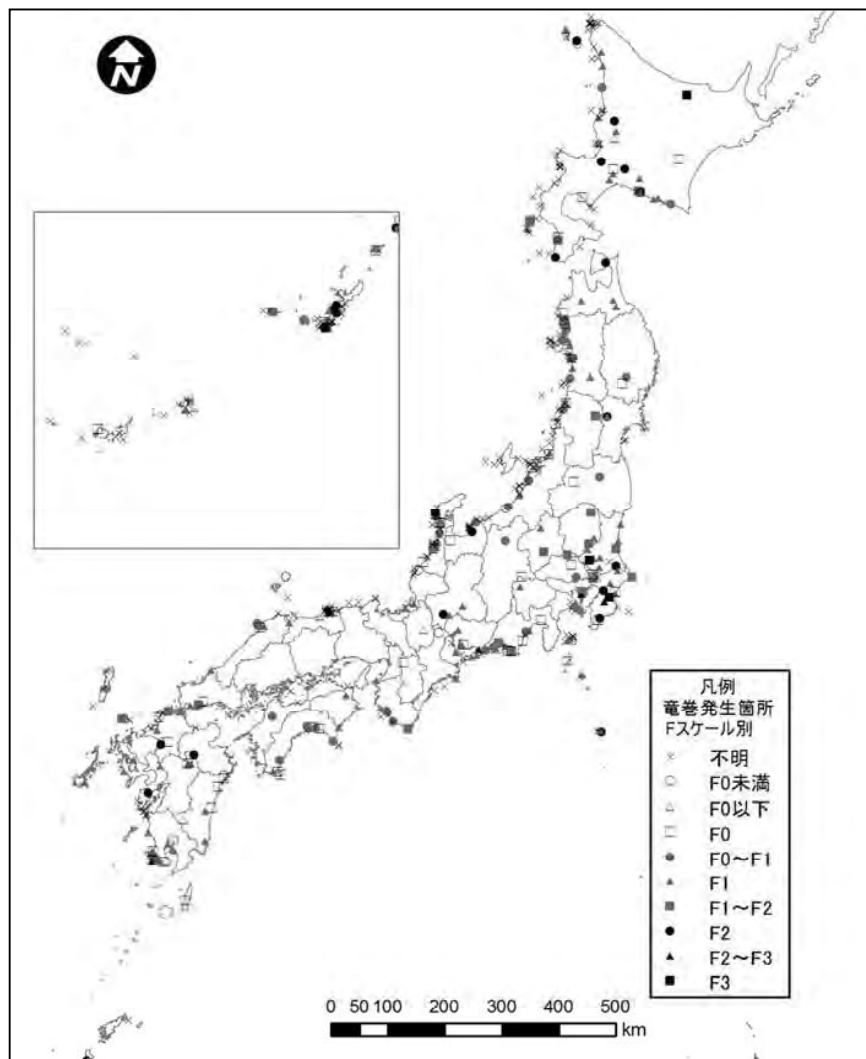
第1.2-30図 (4) 取水口位置における
水位と年超過確率の関係 (水位下降側)



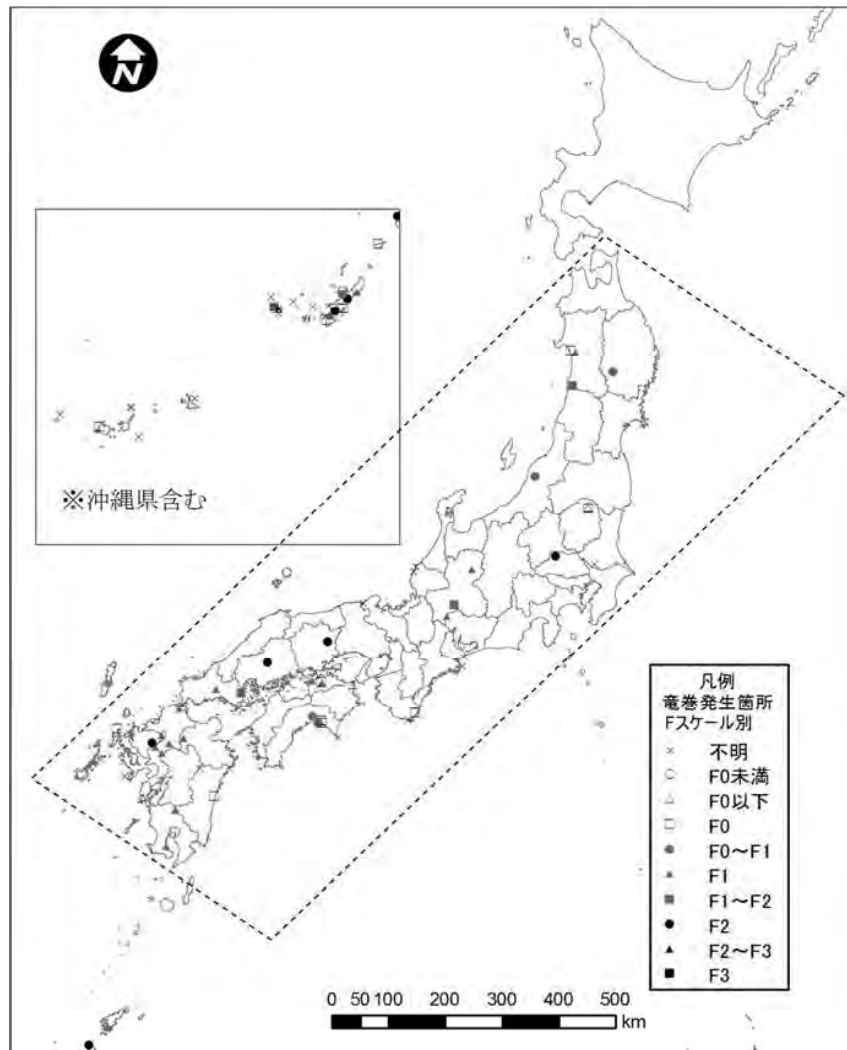
第 1.2-31 図 地理的領域の検討対象火山の位置



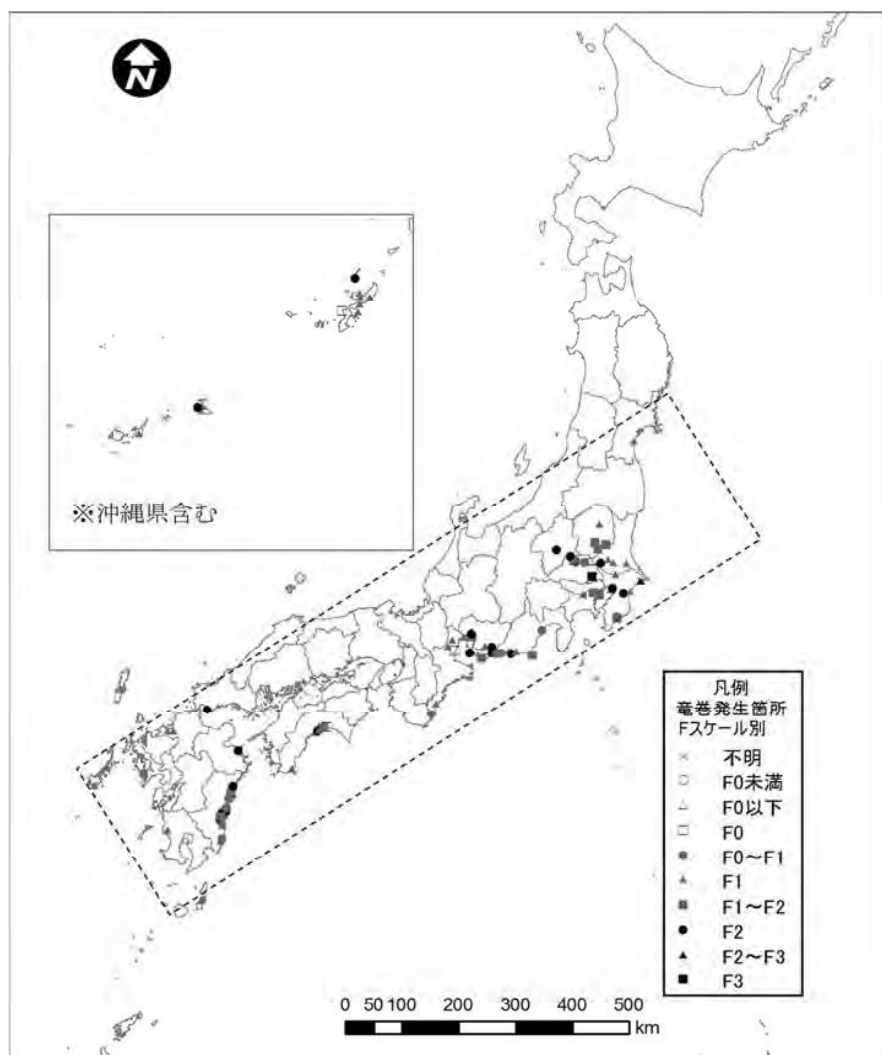
第1.2-32図 気象要因別の竜巻発生位置



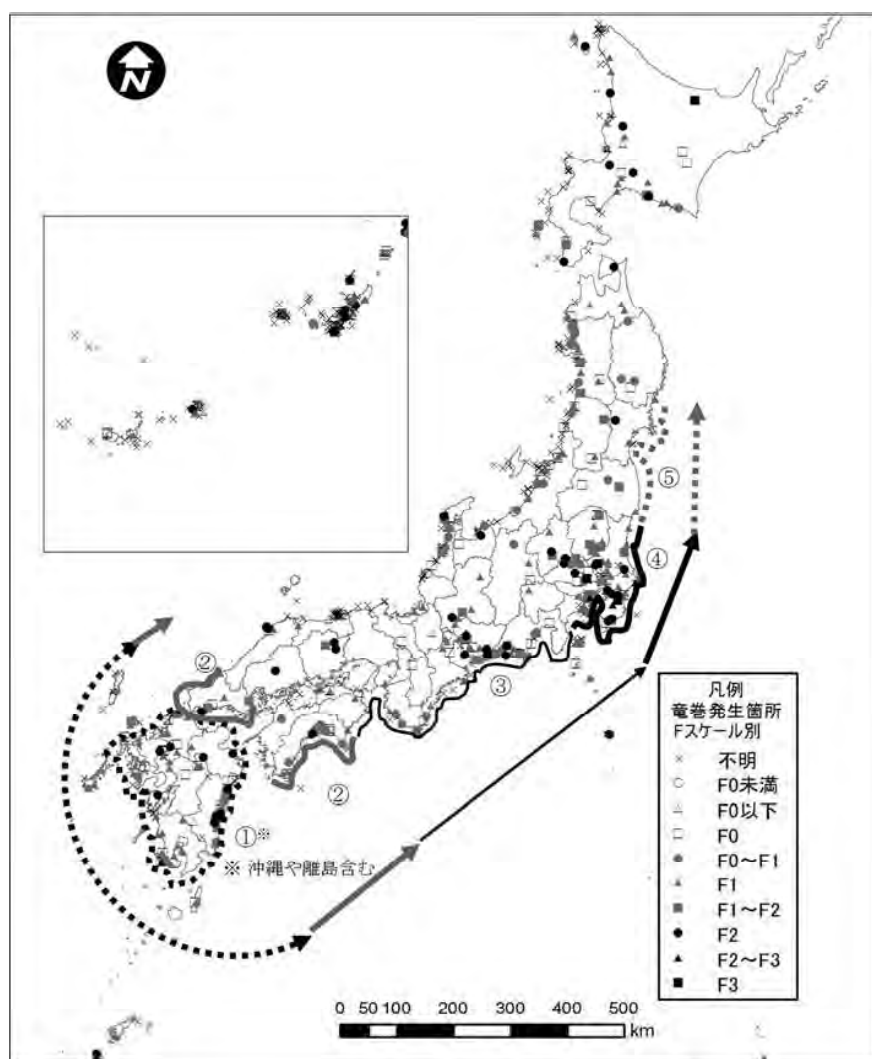
第1.2-33図 竜巻発生位置(低気圧起因)



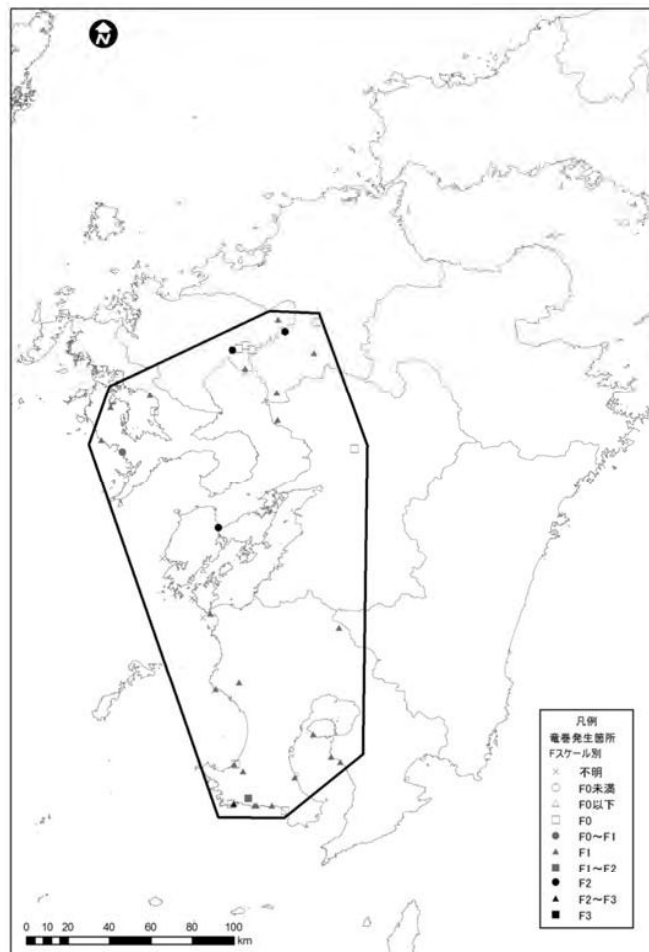
第1.2-34図 竜巻発生位置(停滞前線起因)



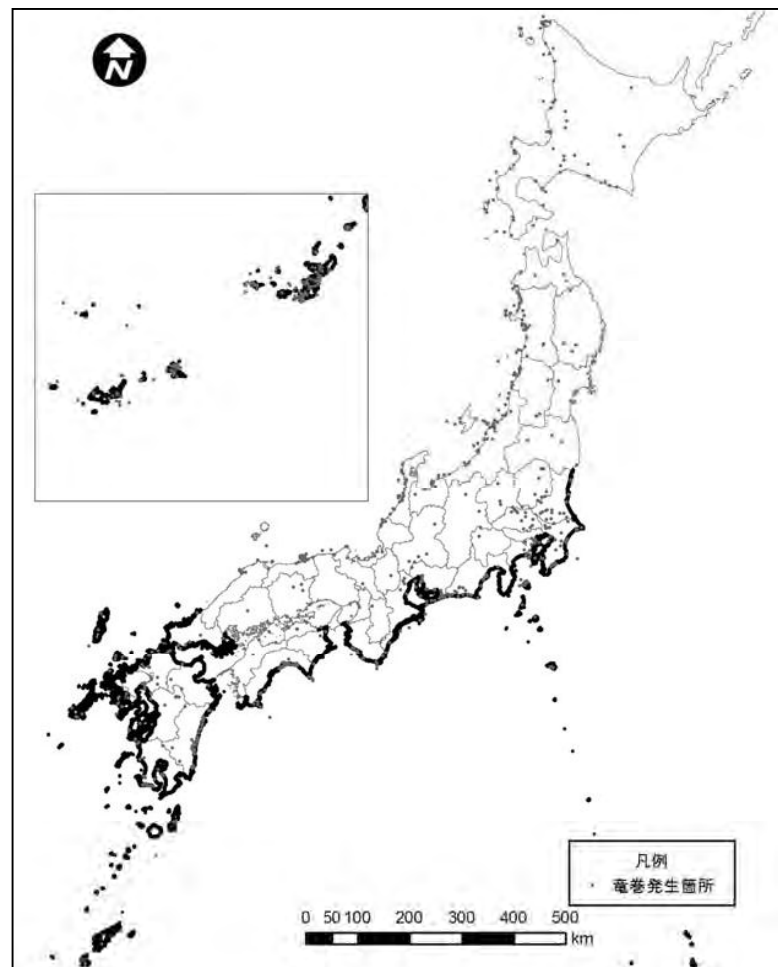
第1.2-35図 竜巻発生位置(台風起因)



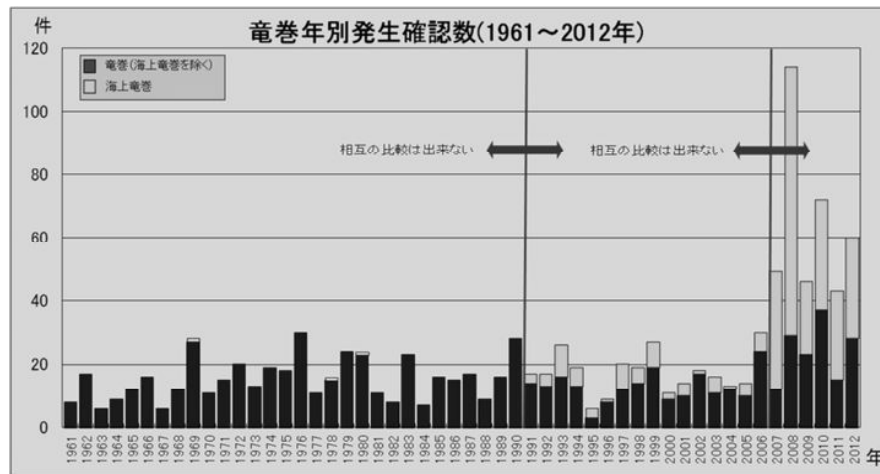
第1.2-36図 Fスケール別の竜巻発生位置



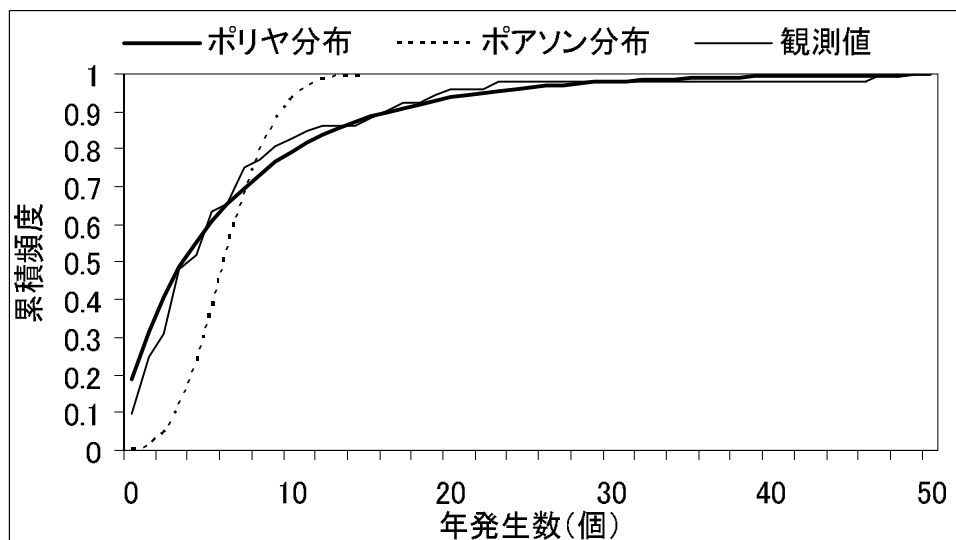
第1.2-37図 集中地域⑨におけるFスケール別竜巻発生位置



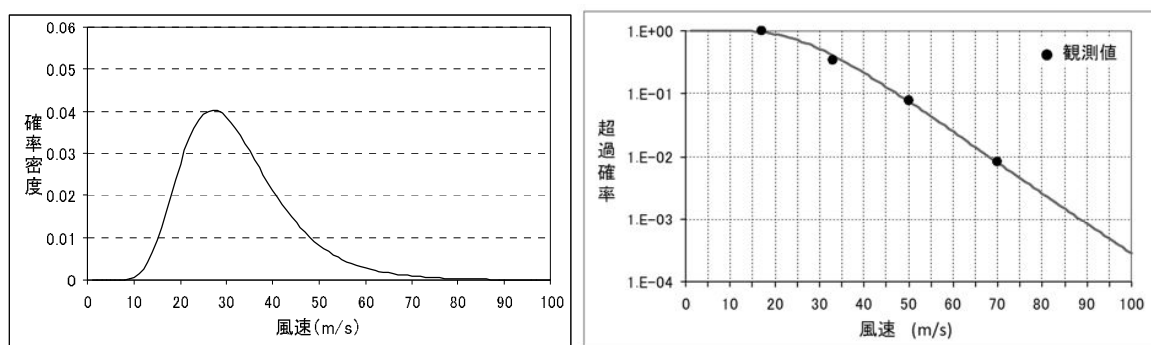
第1.2-38図 竜巻検討地域



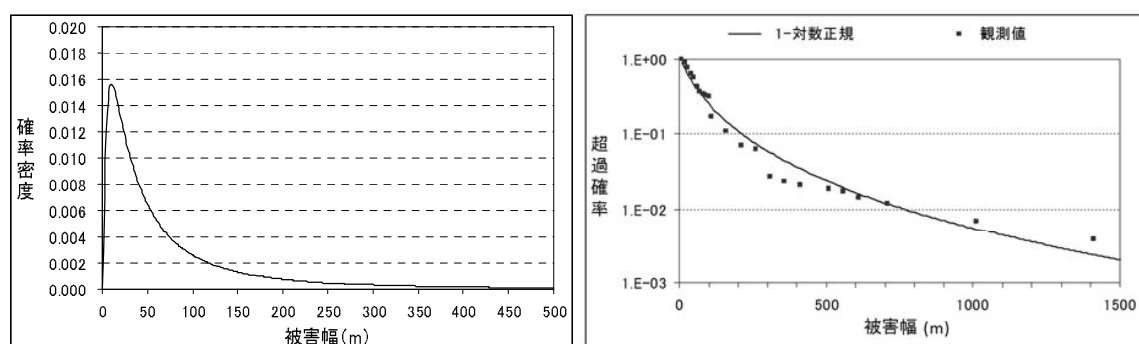
第1.2-39図 竜巻の年発生数(出典:気象庁ホームページ)



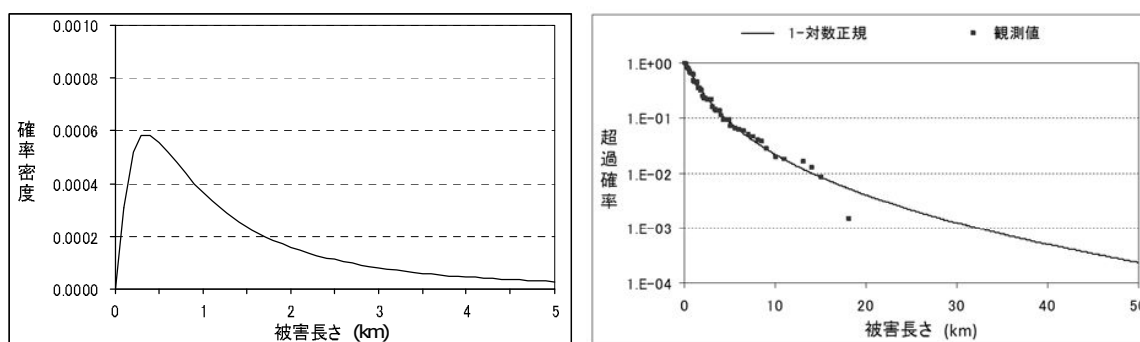
第1.2-40図 竜巻検討地域における竜巻の年発生数の累積頻度



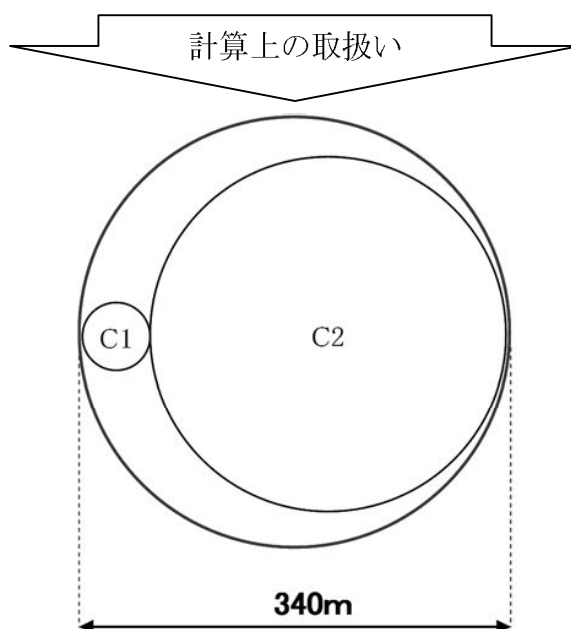
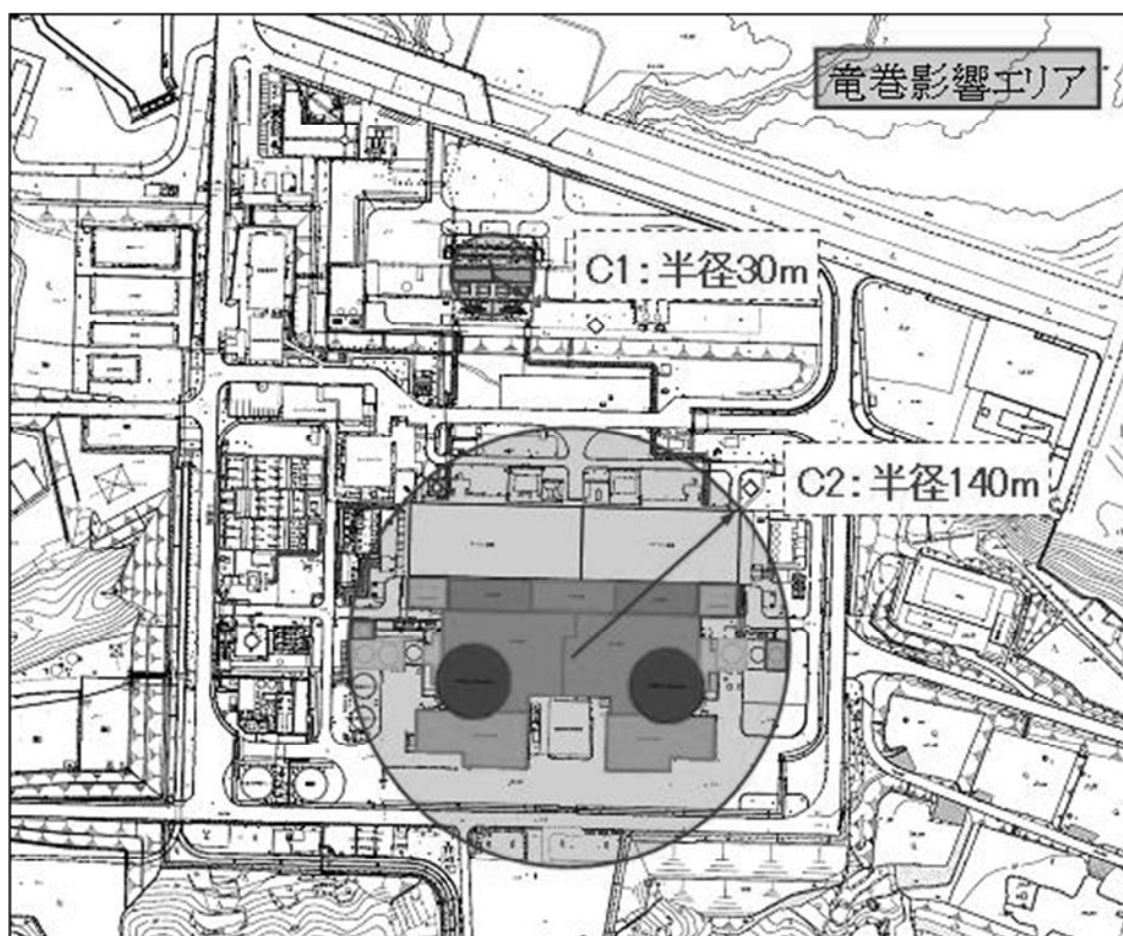
第1.2-41図 風速の確率密度分布(左)と超過確率(右)



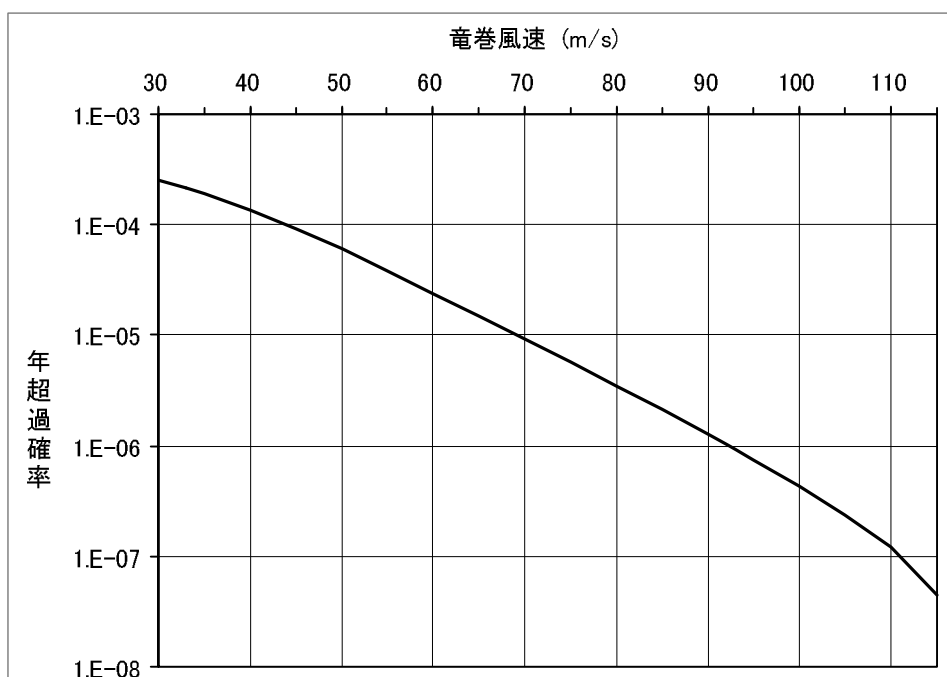
第1.2-42図 被害幅の確率密度分布(左)と超過確率(右)



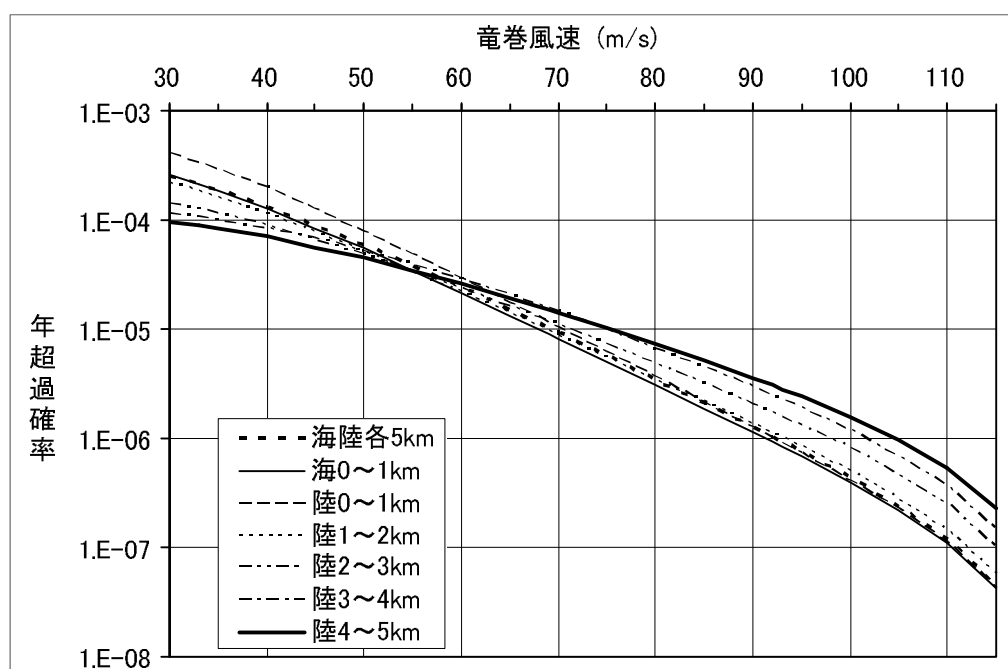
第1.2-43図 被害長さの確率密度分布(左)と超過確率(右)



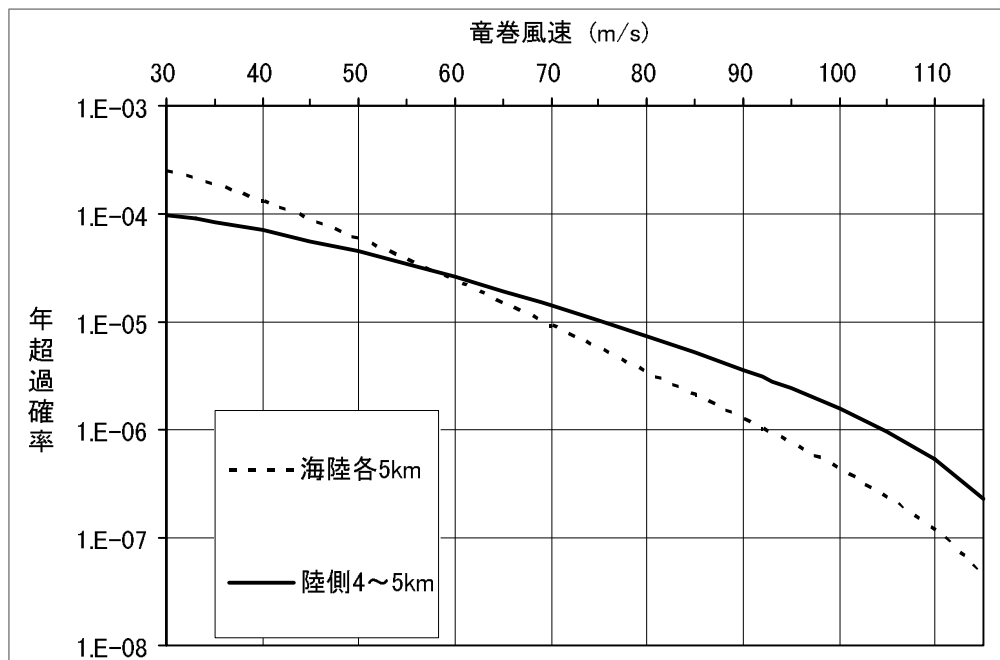
第1.2-44図 竜巻影響エリア



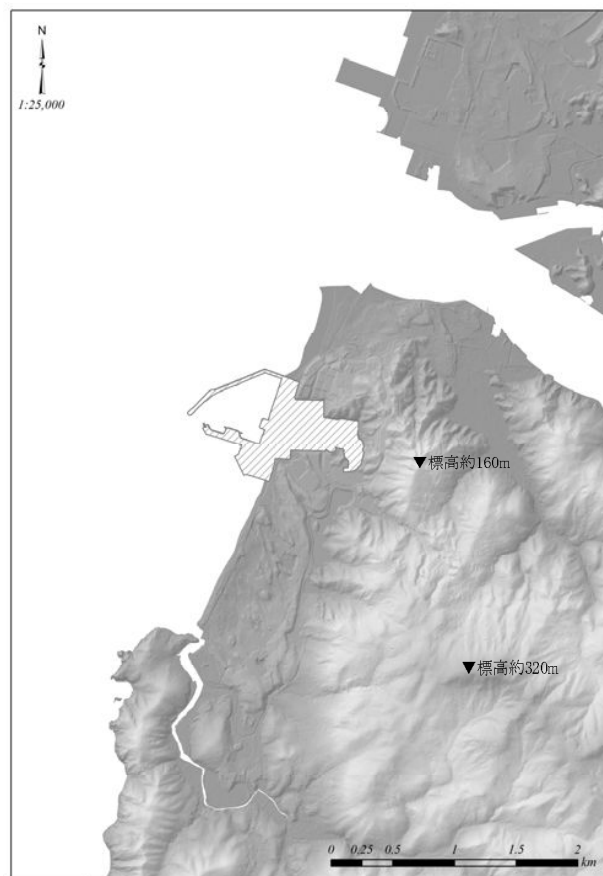
第1.2-45図 竜巻最大風速のハザード曲線(海側、陸側5km範囲)



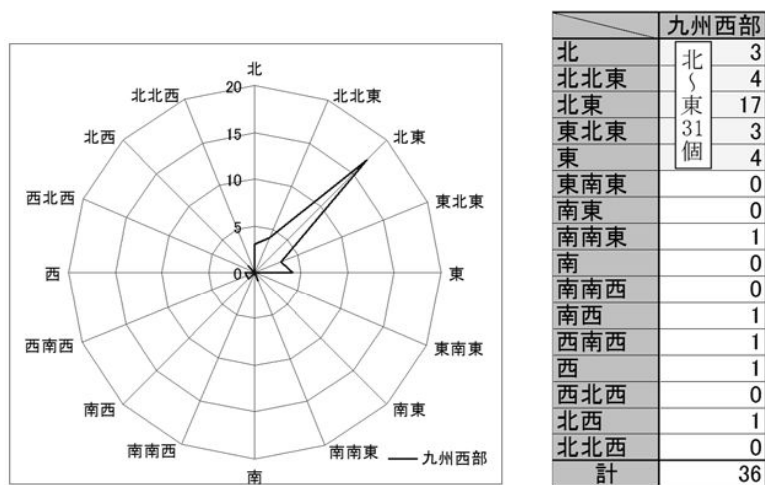
第1.2-46図 竜巻最大風速のハザード曲線(1km範囲)



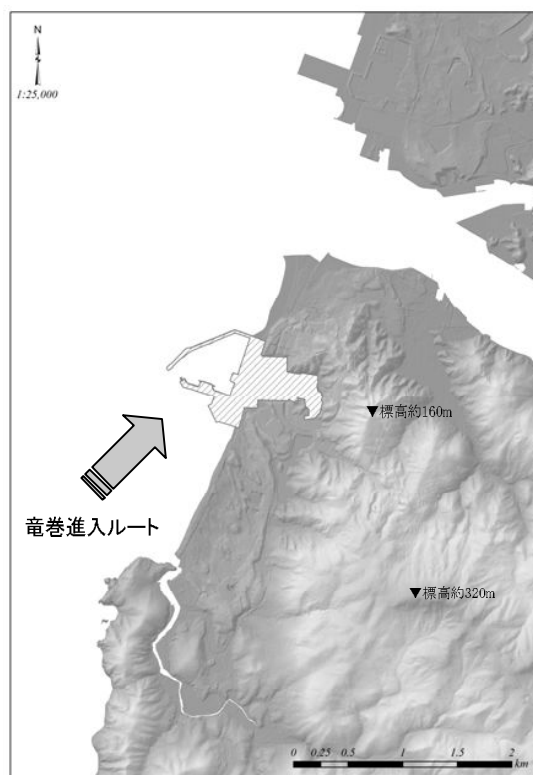
第1.2-47図 竜巻最大風速のハザード曲線



第1.2-48図 川内原子力発電所周辺の地形



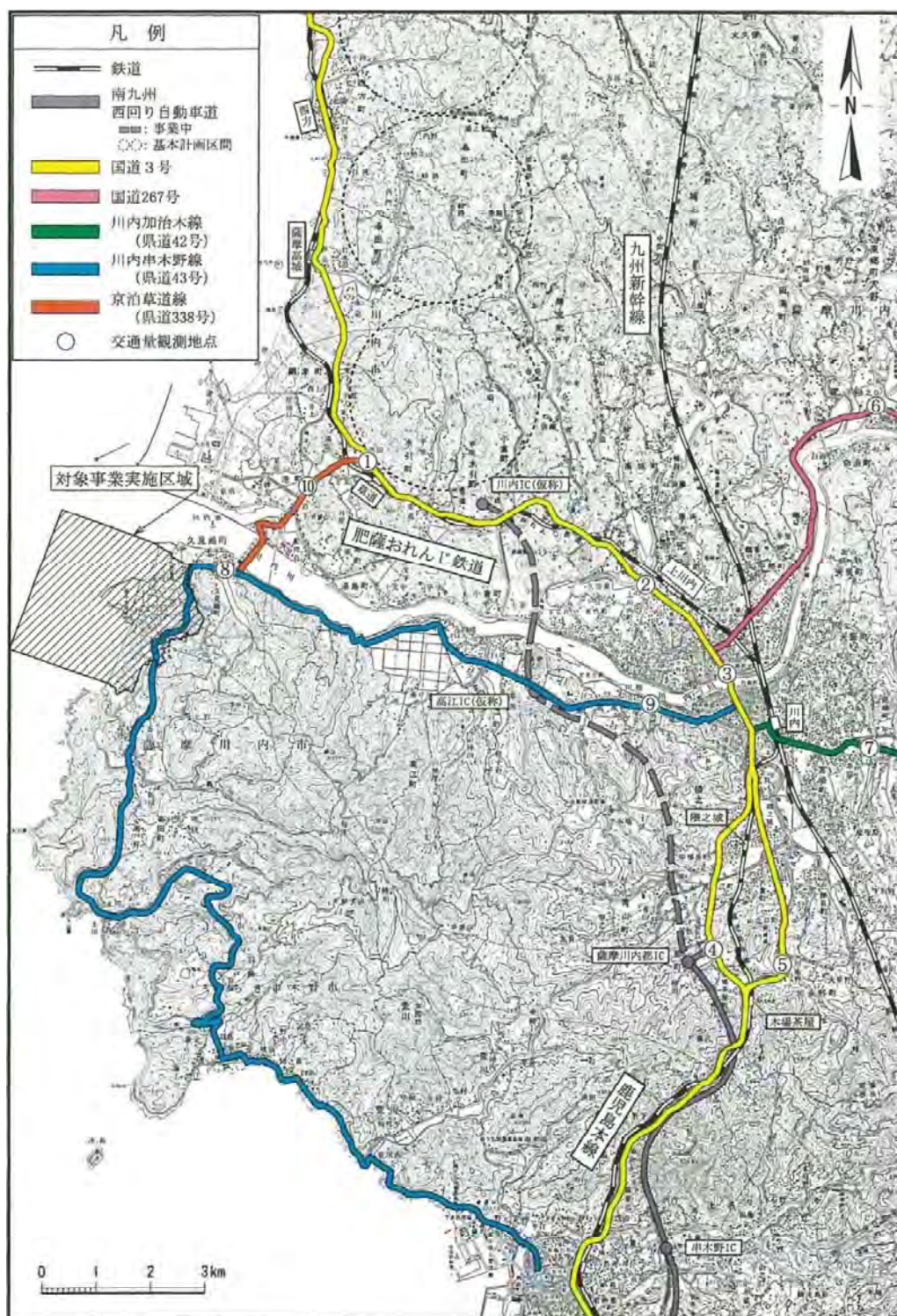
第1.2-49図 九州西部で発生した竜巻の移動方向



第1.2-50図 竜巻の移動方向と川内原子力発電所の位置関係



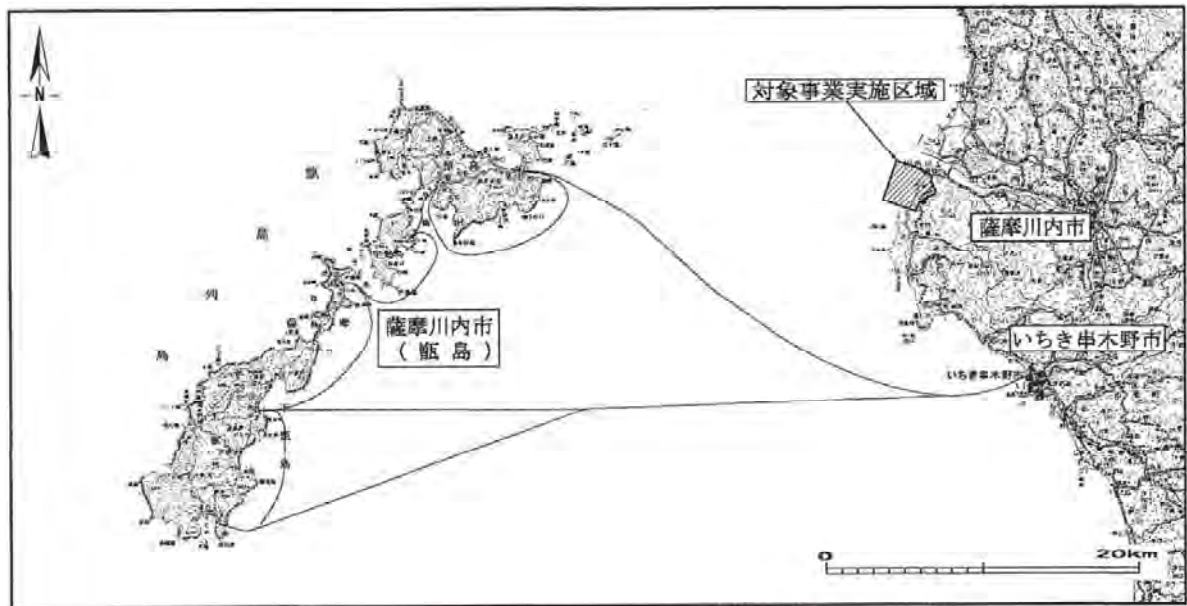
第 1.2-51 図 川内原子力発電所周辺のコンビナート施設の位置図



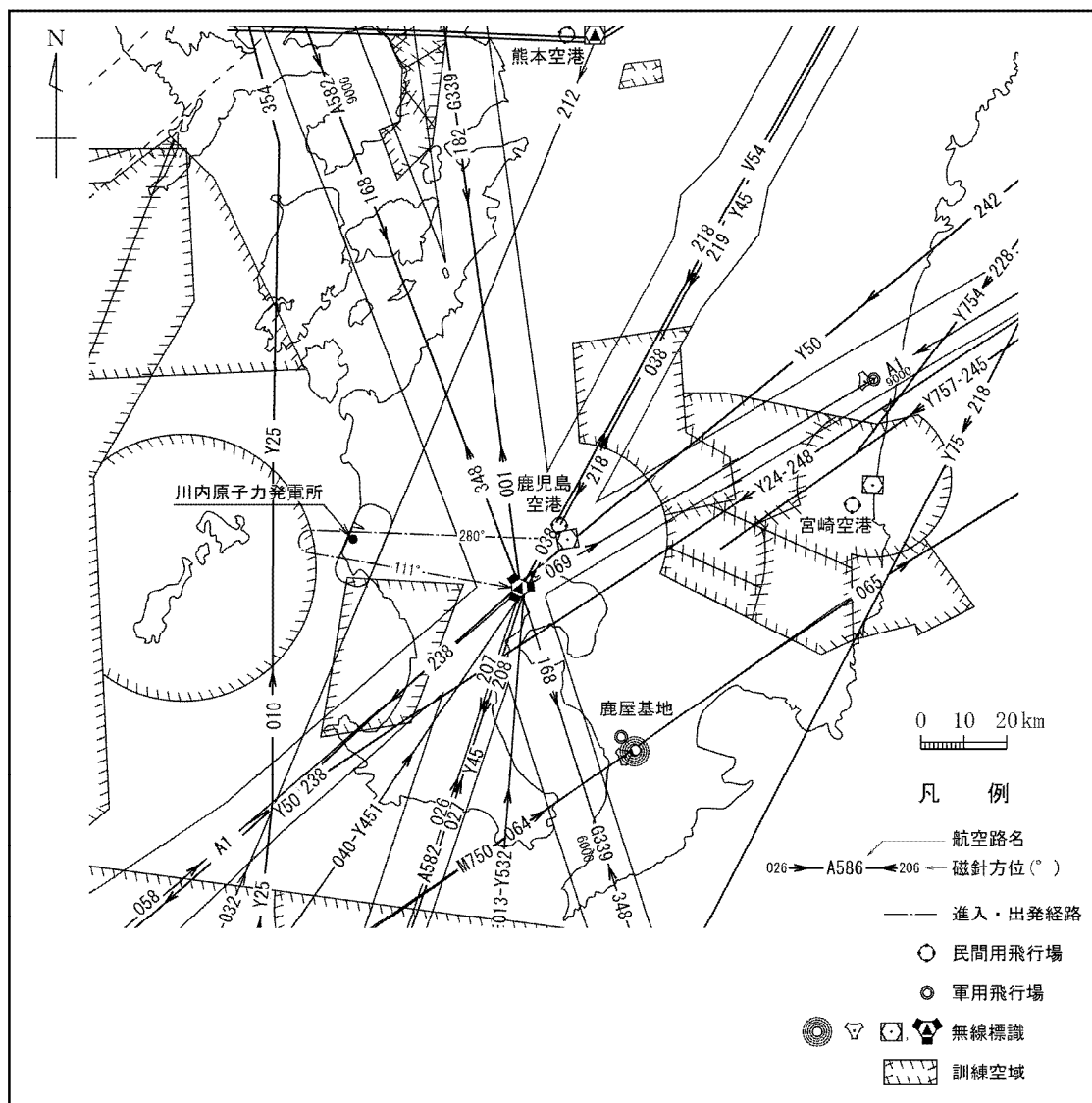
「平成17年度 道路交通センサス一般交通量図」(国土交通省、平成19年)

「未来へと、ふれあいひろげる 南九州西回り自動車道」(国土交通省、平成19年)より作成

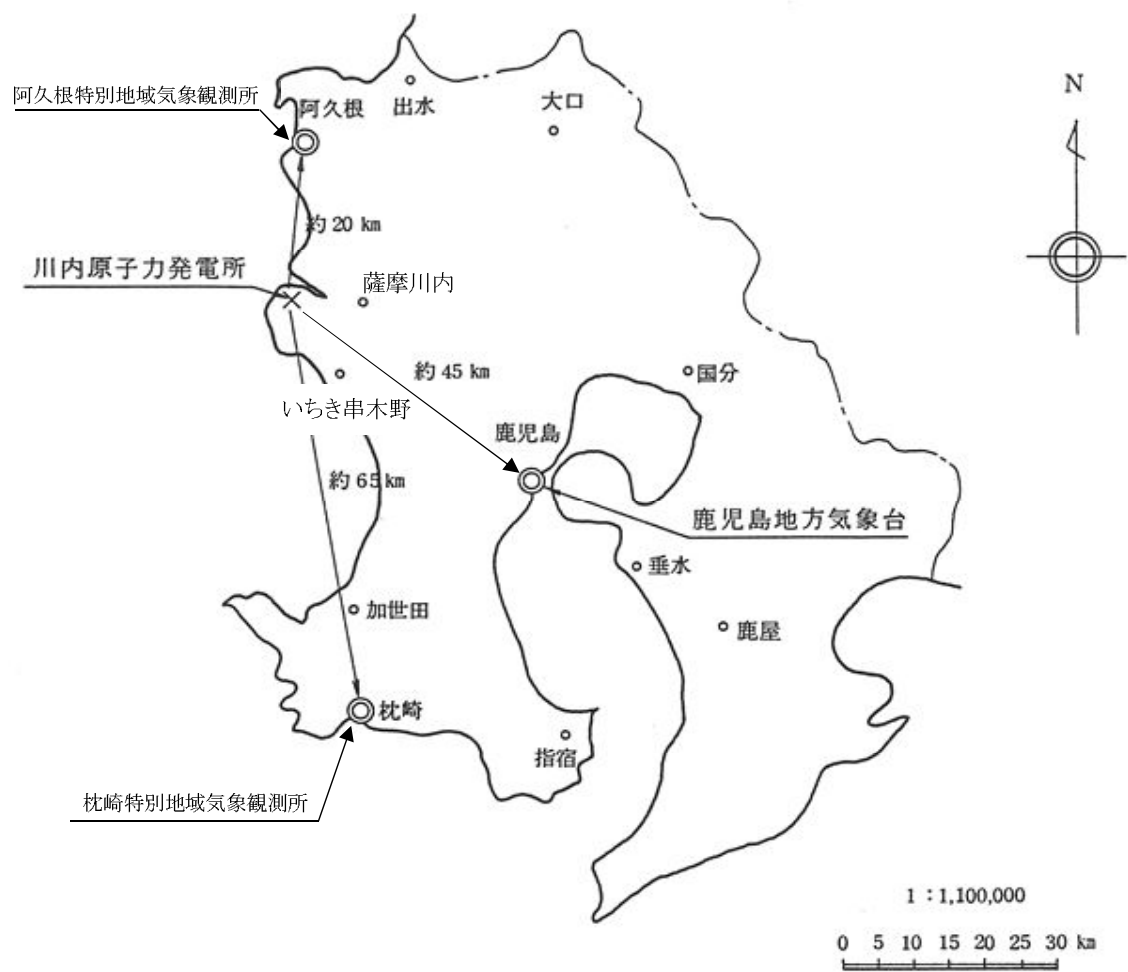
第1.2-52図 主要な道路、鉄道及び交通量観測位置



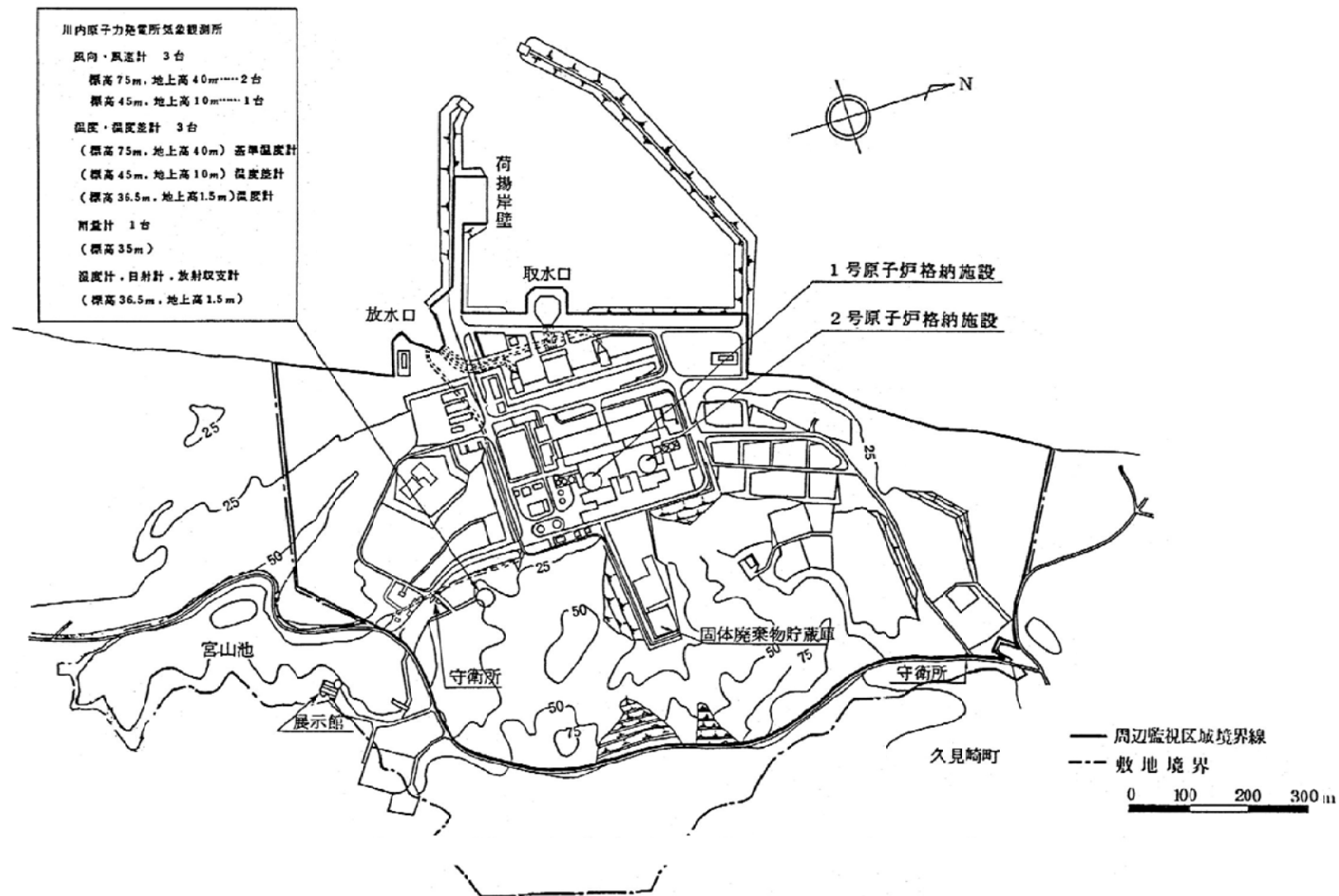
第 1.2-53 図 甌島航路の位置



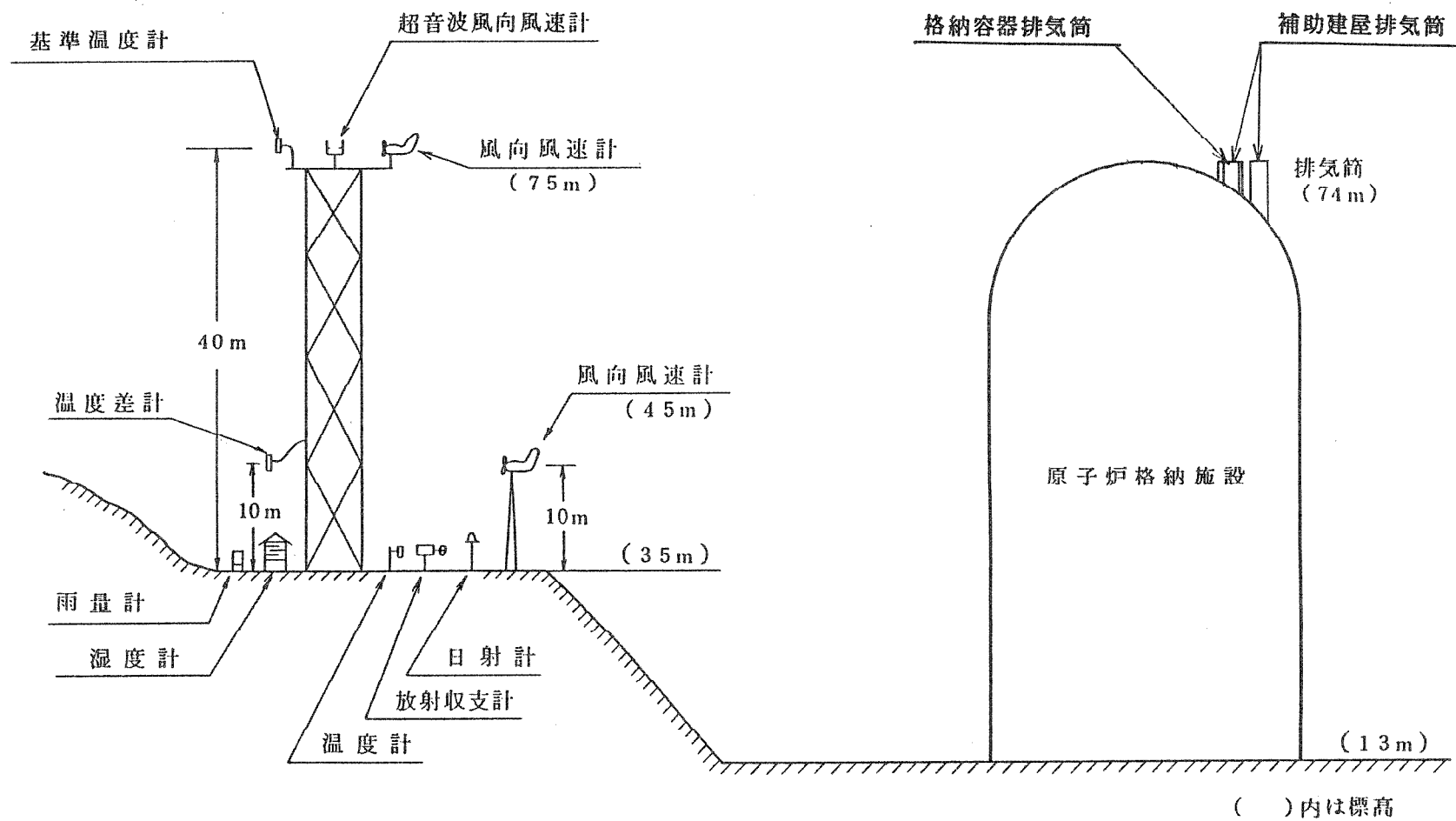
第 1.2-54 図 航空路等図



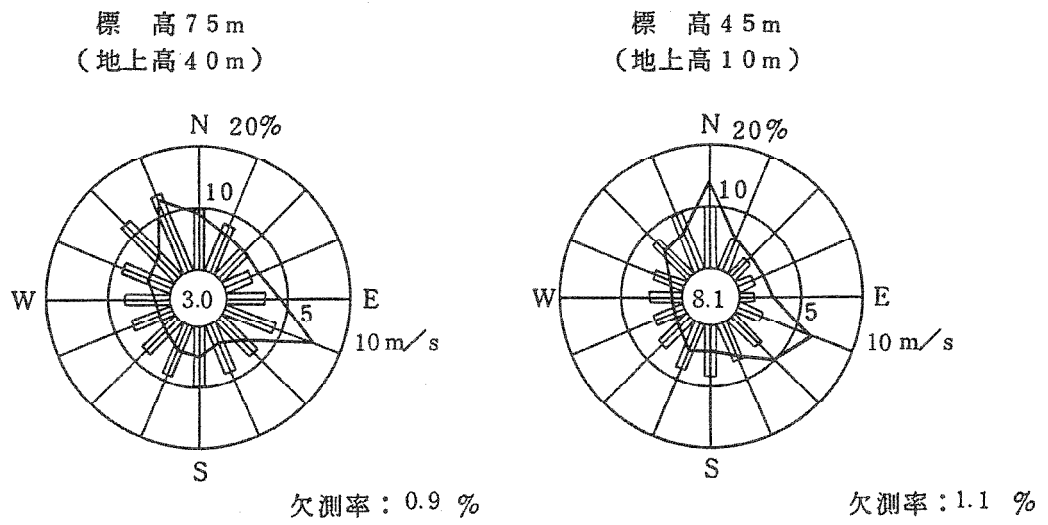
第1.2-55図 気象官署の所在地



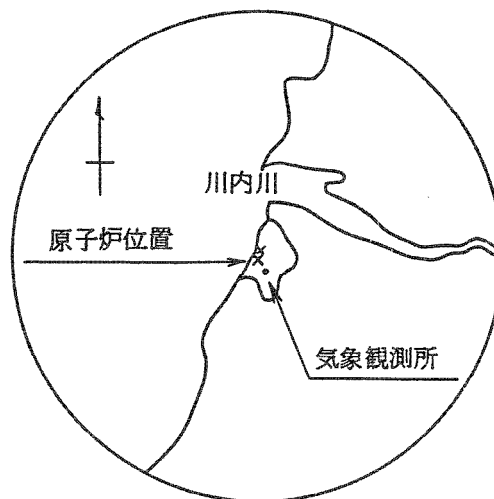
第1.2-56図(1) 気象観測設備配置図(その1)



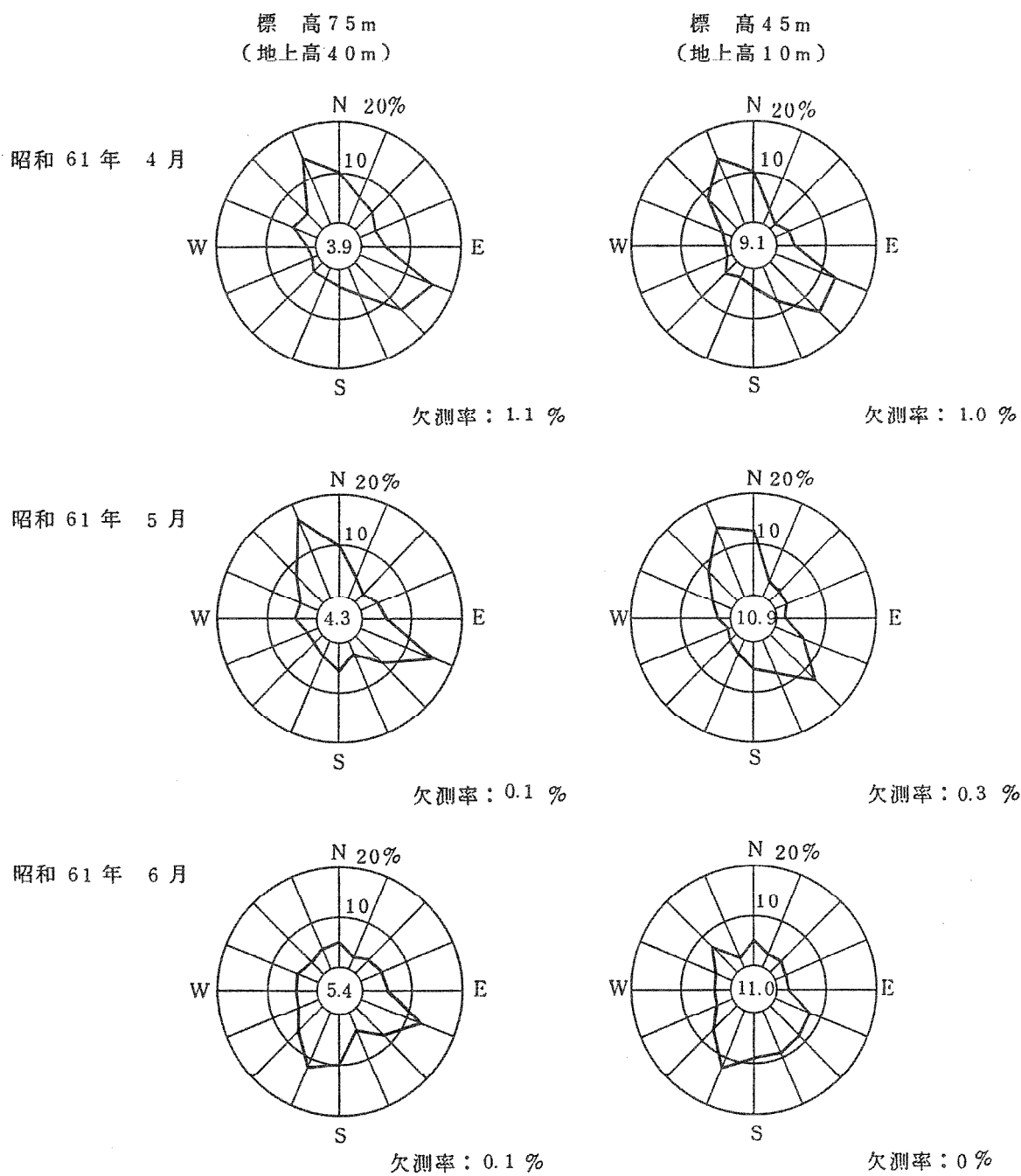
第1.2-56図(2) 気象観測設備配置図(その2)



- 注) 1. — 風向出現頻度 (%)
 2. 小円内の数字は静穏 (0.5 m/s 未満) の頻度 (%)

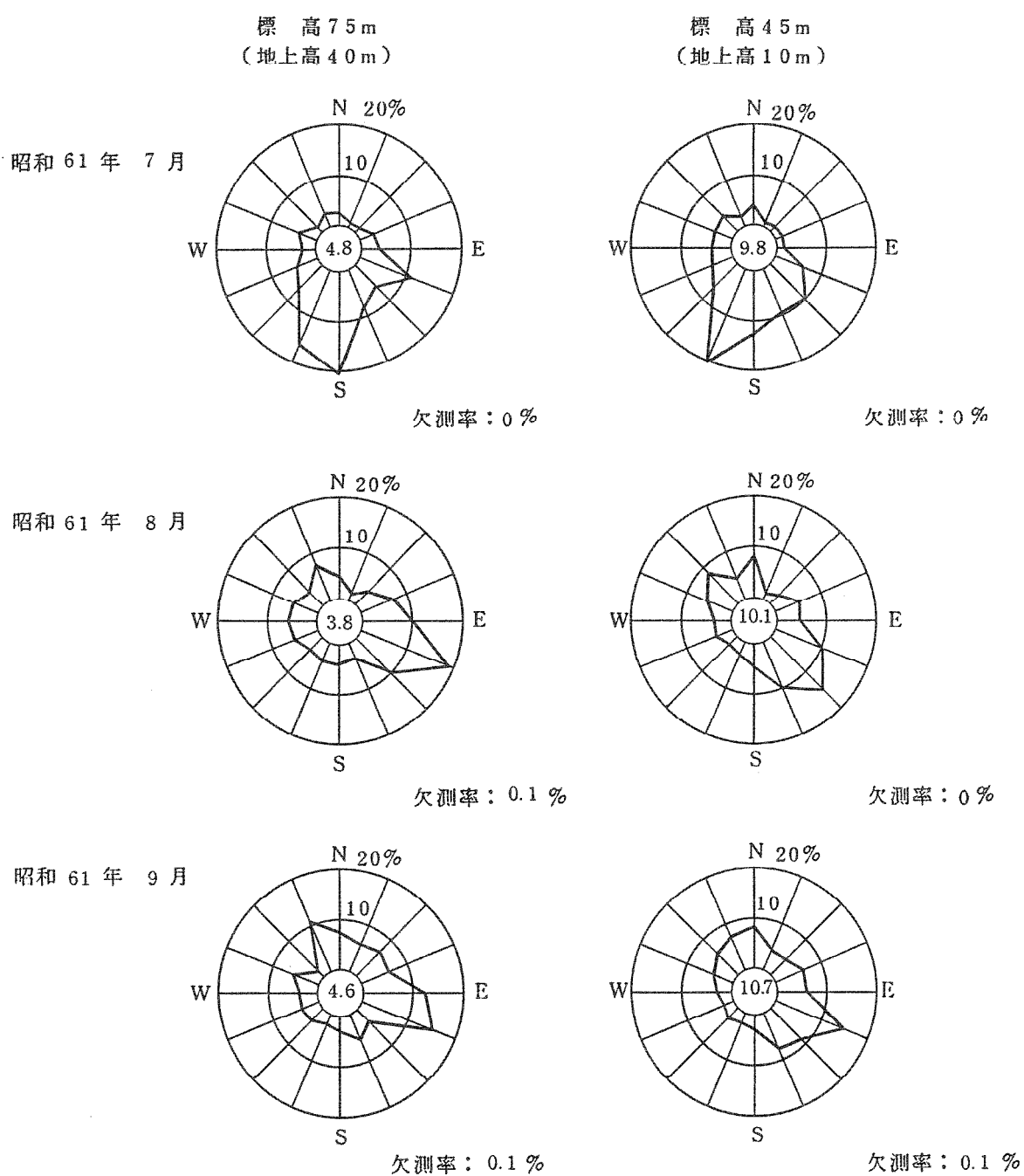


第1.2-57図 敷地の風配図(全年)



注) 小円内の数字は静穏 (0.5 m/s 未満) の頻度 (%)

第1.2-58図(1) 敷地の風配図(その1)(4~6月)



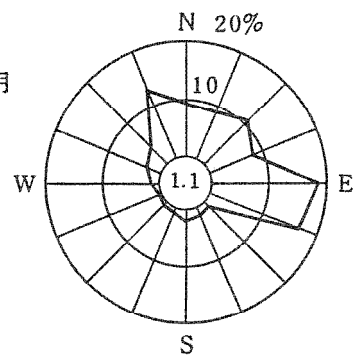
注) 小円内の数字は静穏 (0.5 m/s 未満) の頻度 (%)

第1.2-58図(2) 敷地の風配図(その2)(7~9月)

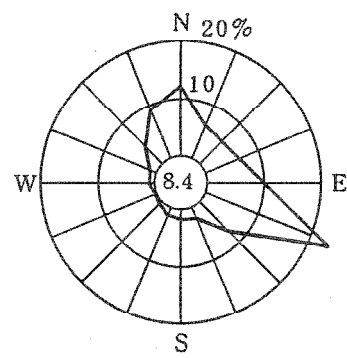
標 高 75 m
(地上高 40 m)

標 高 45 m
(地上高 10 m)

昭和 61 年 10 月

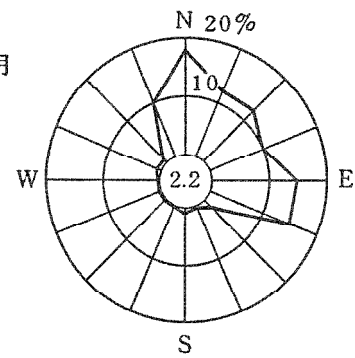


欠測率：0.9 %

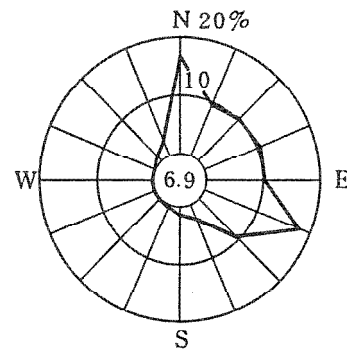


欠測率：0.5 %

昭和 61 年 11 月

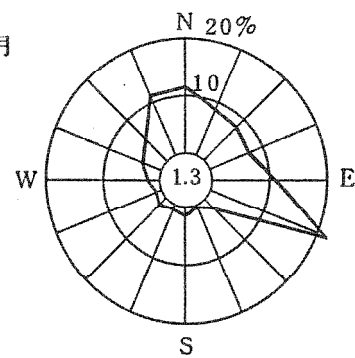


欠測率：0 %

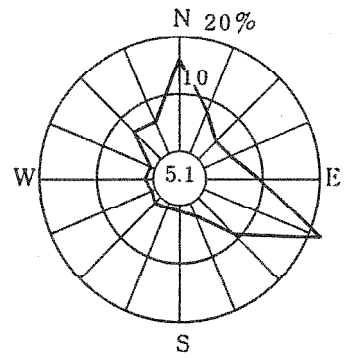


欠測率：0 %

昭和 61 年 12 月



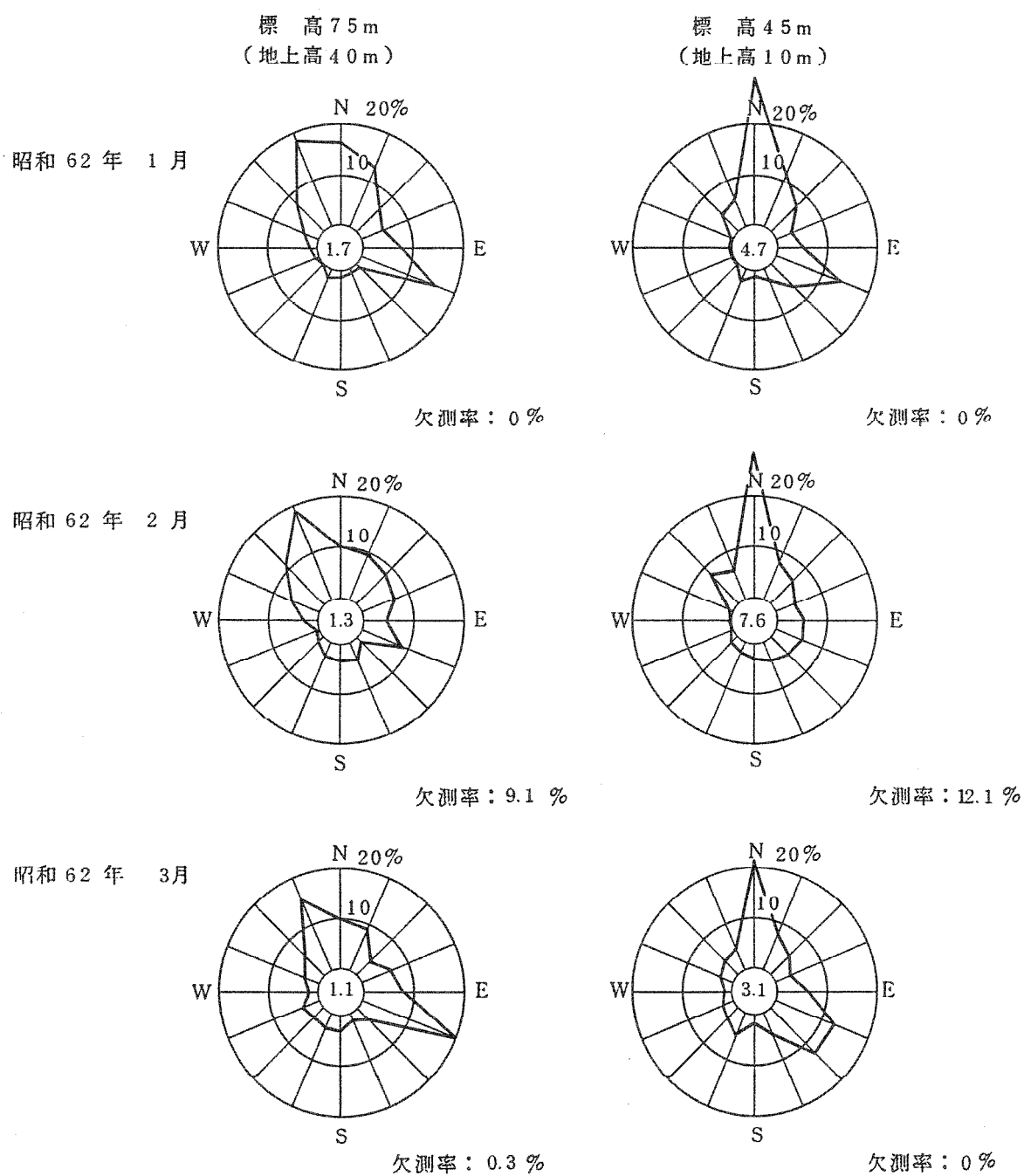
欠測率：0 %



欠測率：0 %

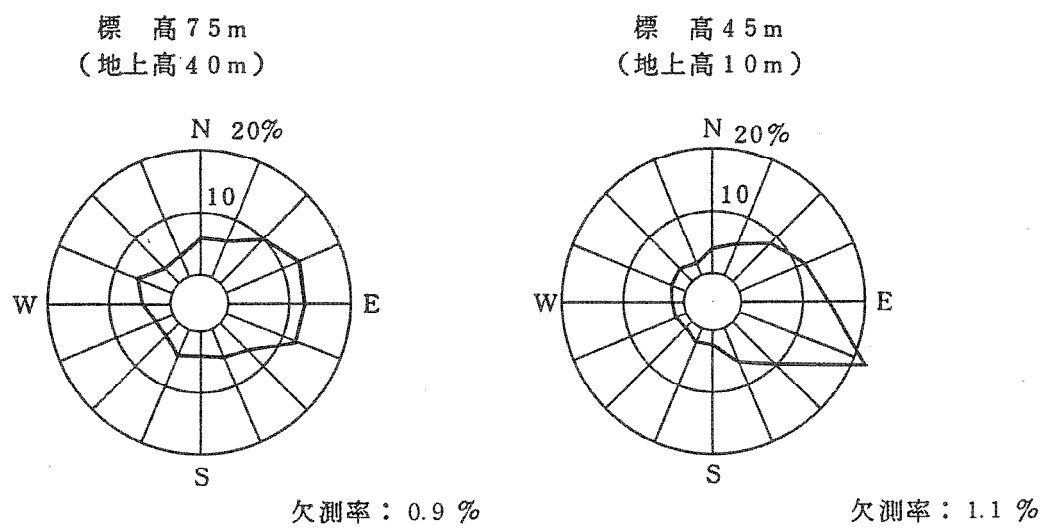
注) 小円内の数字は静穏 (0.5 m/s 未満) の頻度 (%).

第1.2-58図(3) 敷地の風配図(その3)(10~12月)



注) 小円内の数字は静穏 (0.5 m/s 未満) の頻度 (%)。

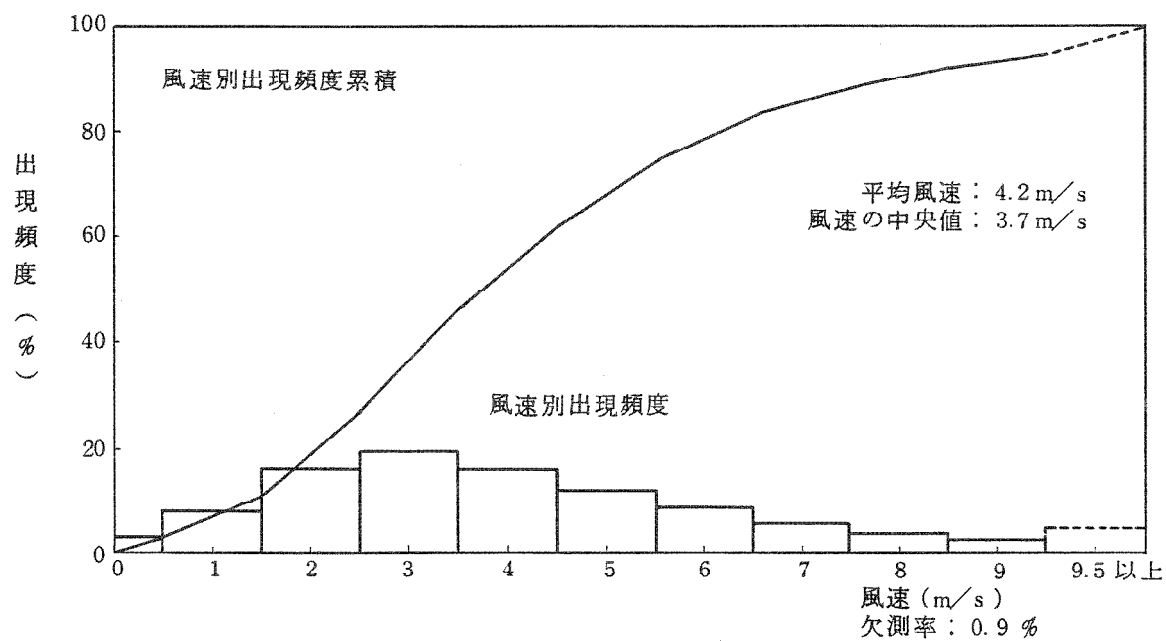
第1.2-58図(4) 敷地の風配図(その4)(1~3月)



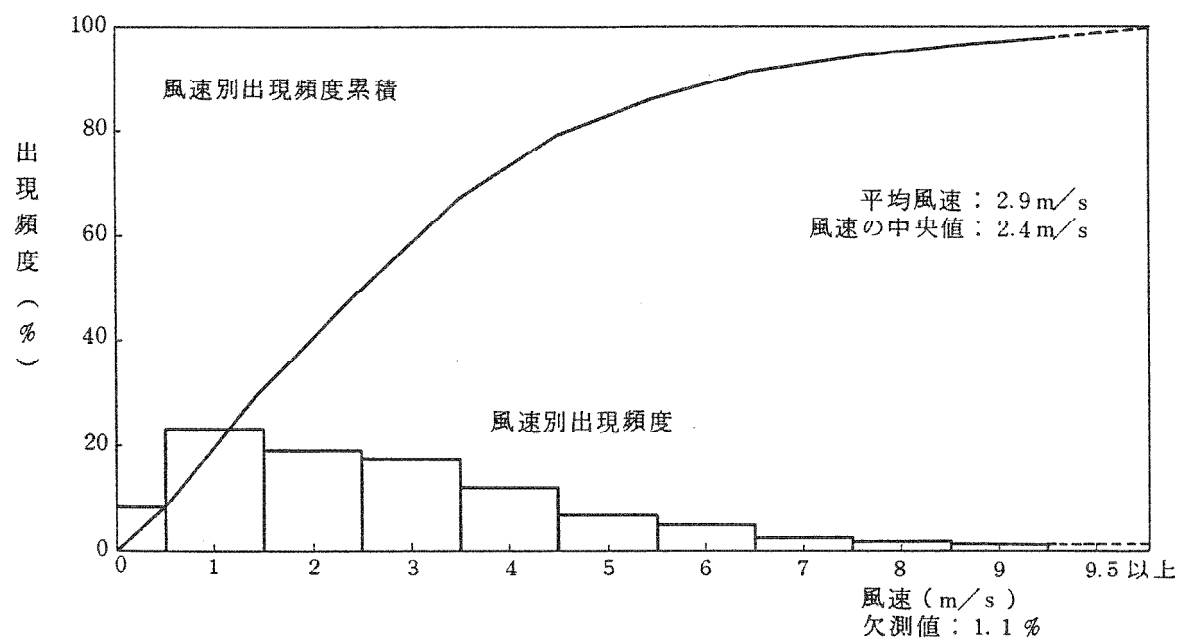
低風速 (0.5 ~ 2.0 m/s) の出現頻度

観 測 点	出現頻度 (%)
標 高 45 m	34.8
標 高 75 m	16.8

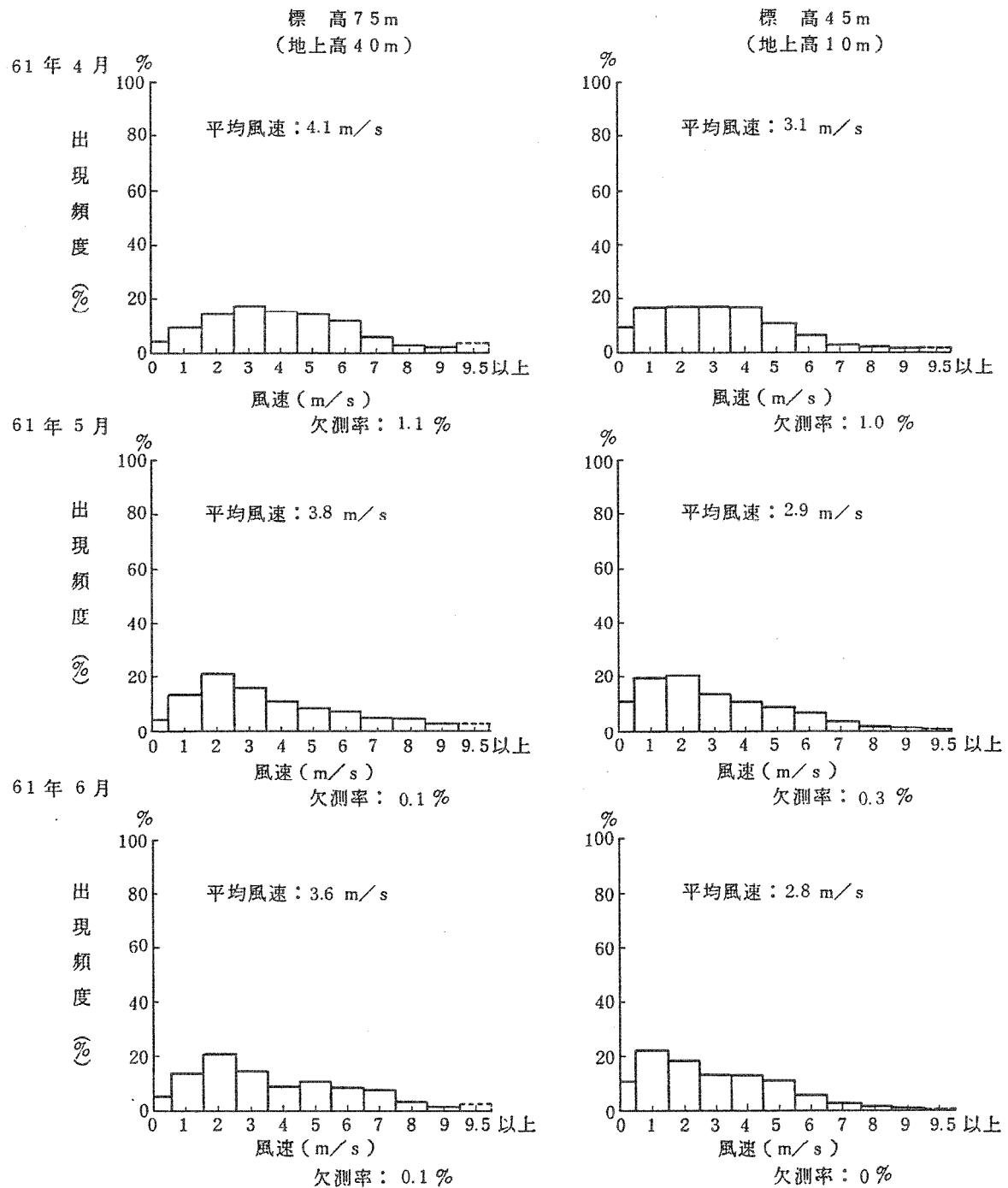
第1.2-59図 低風速 (0.5 ~ 2.0 m/s) 時の風配図



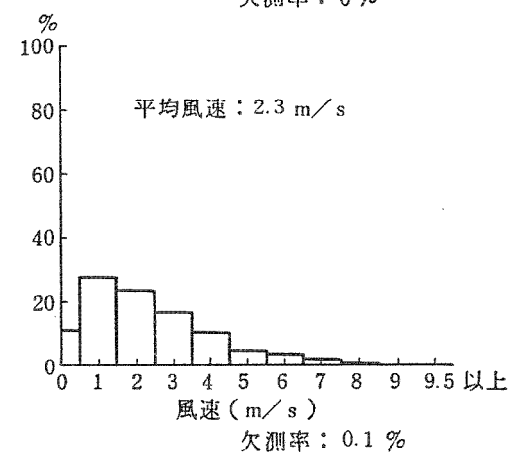
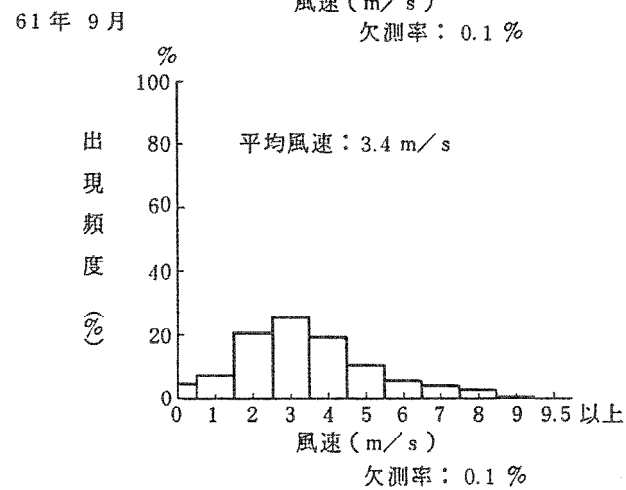
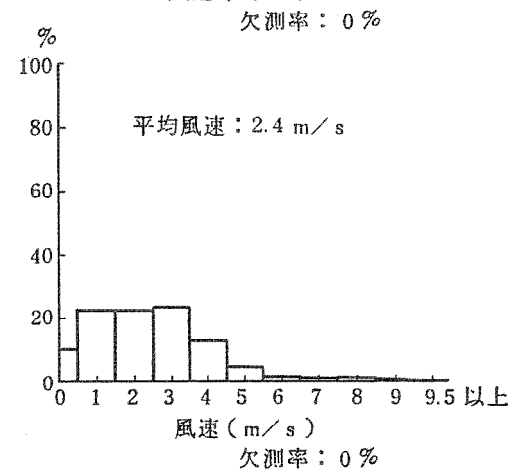
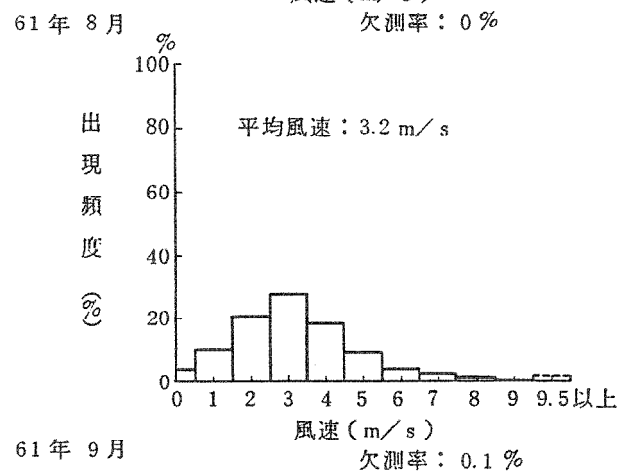
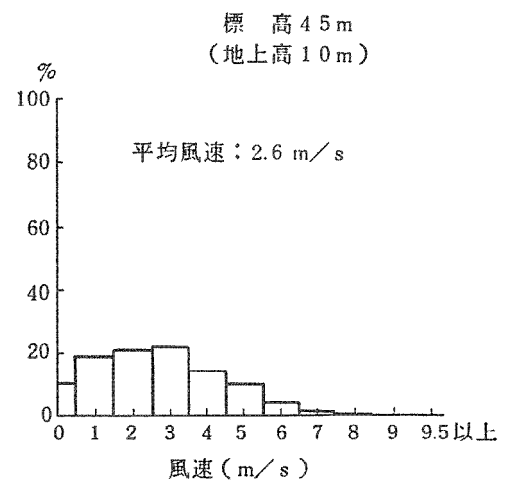
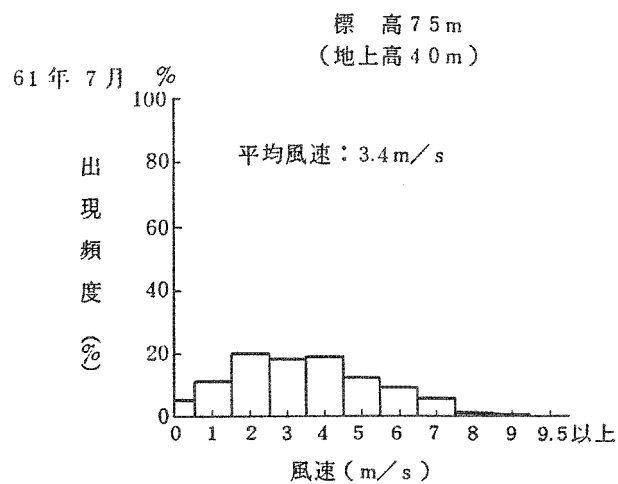
第1.2-60図(1) 年間風速別出現頻度及び風速別出現頻度累積
(標高75m、地上高40m)



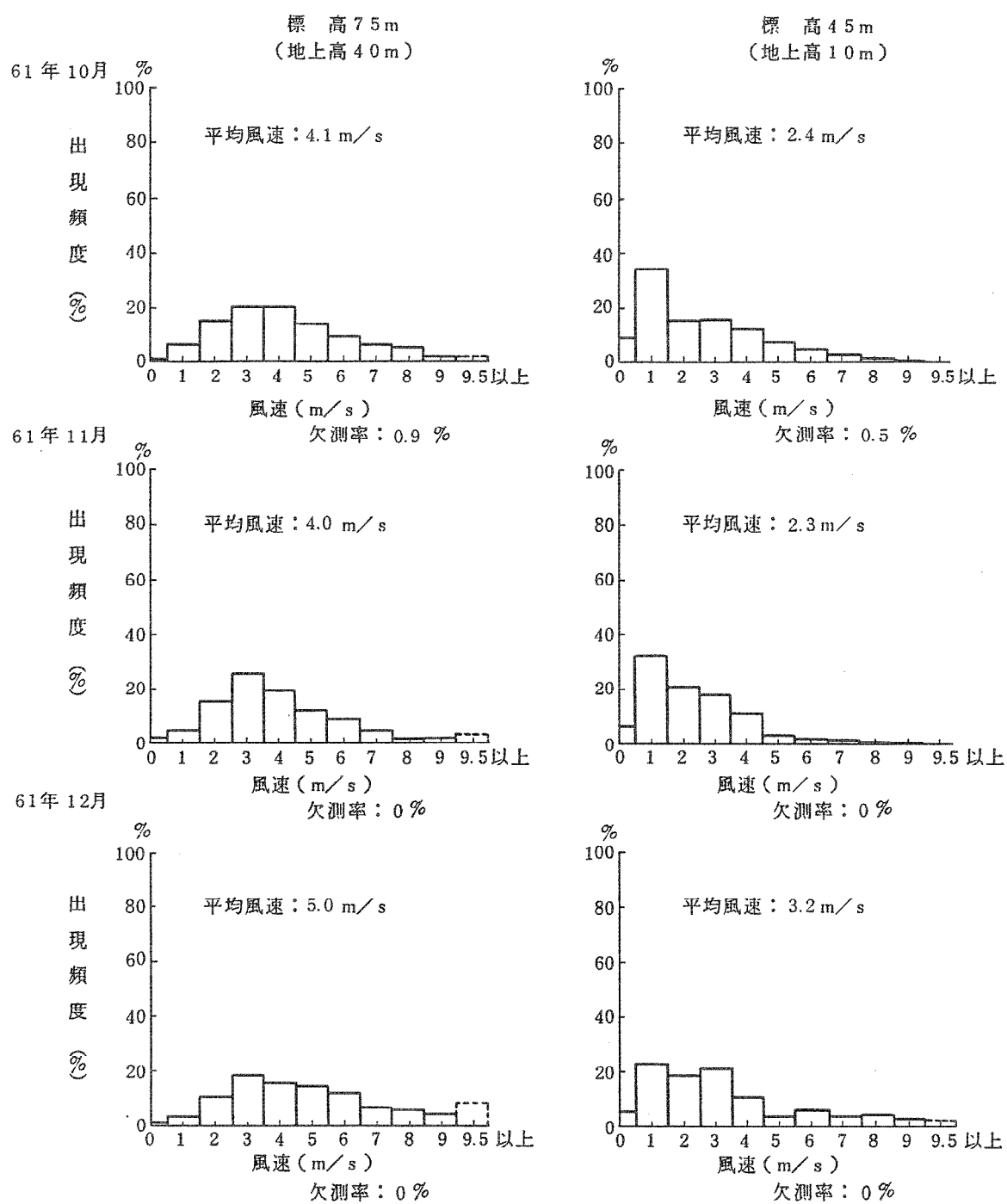
第1.2-60図(2) 年間風速別出現頻度及び風速別出現頻度累積
(標高45m、地上高10m)



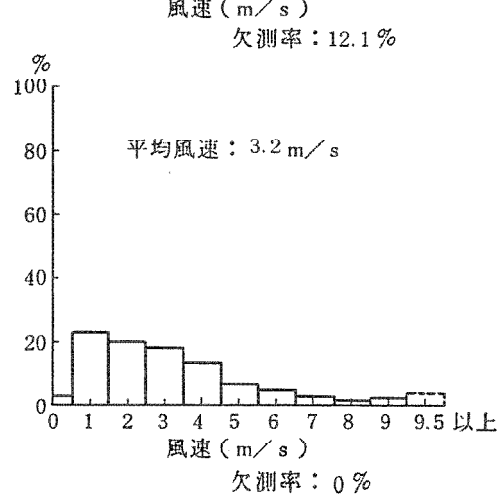
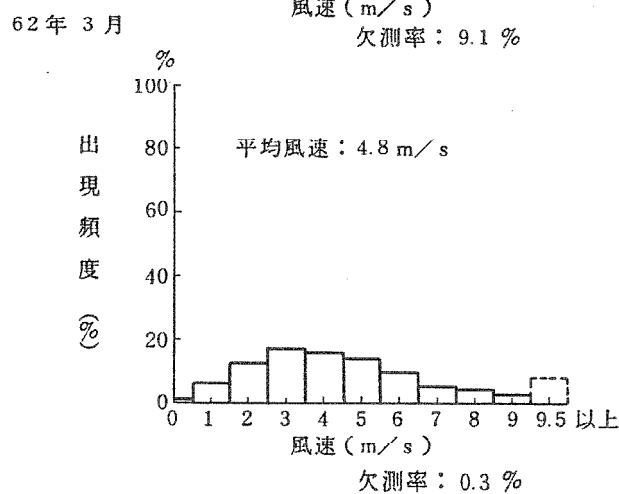
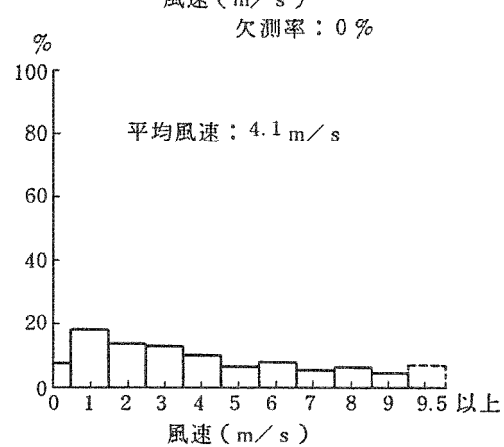
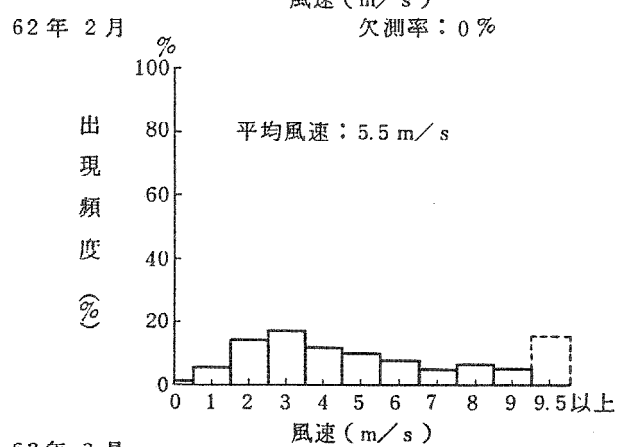
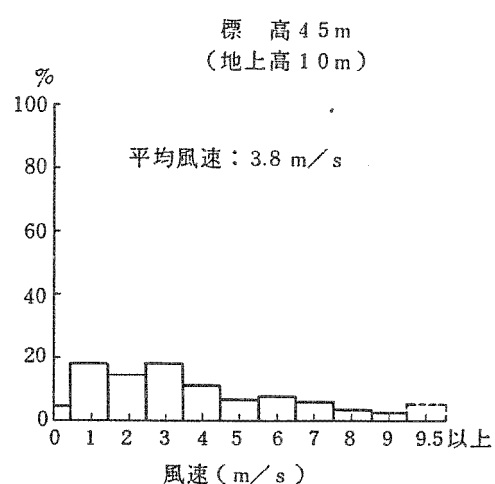
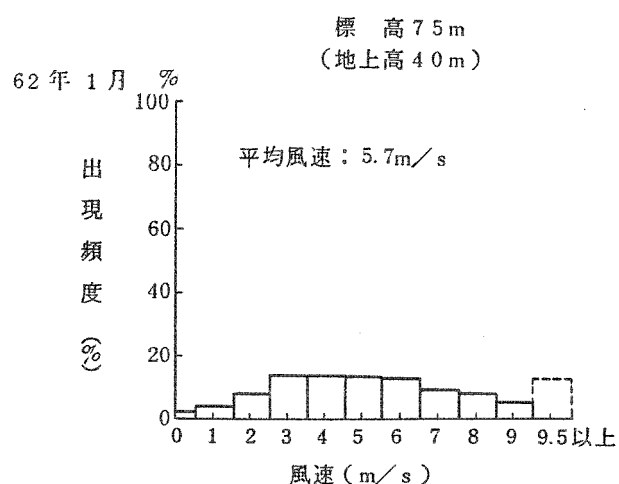
第1.2-61図(1) 月別風速別出現頻度(その1)(4~6月)



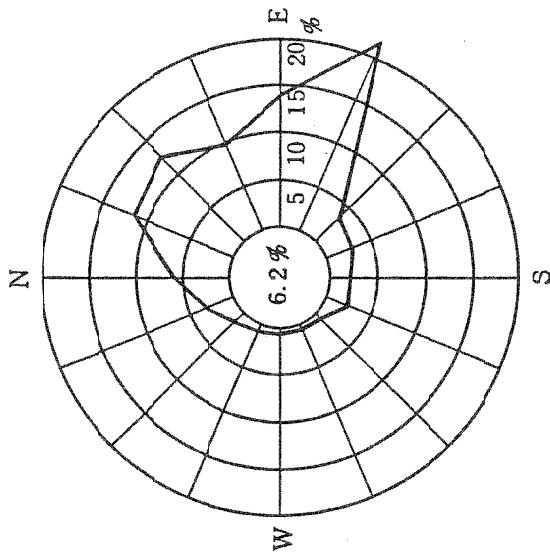
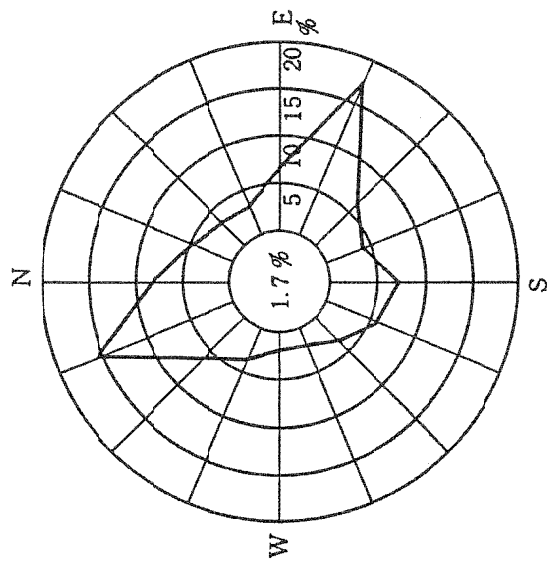
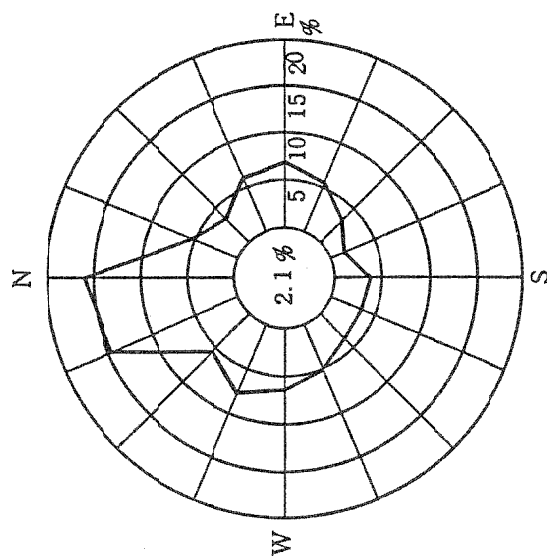
第1.2-61図(2) 月別風速別出現頻度(その2)(7~9月)



第1.2-61図(3) 月別風速別出現頻度(その3)(10~12月)

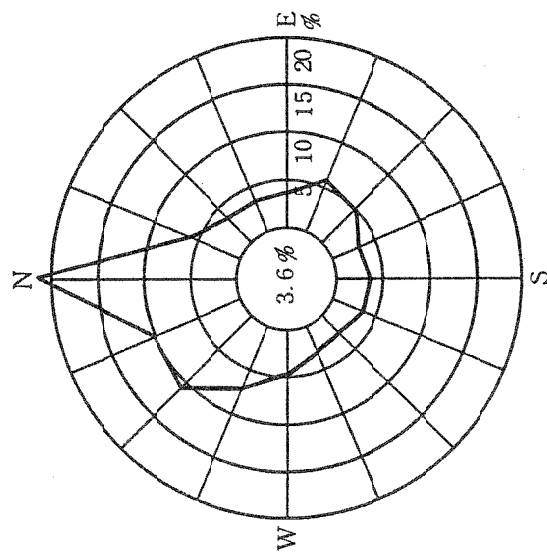


第1.2-61図(4) 月別風速別出現頻度(その4)(1~3月)

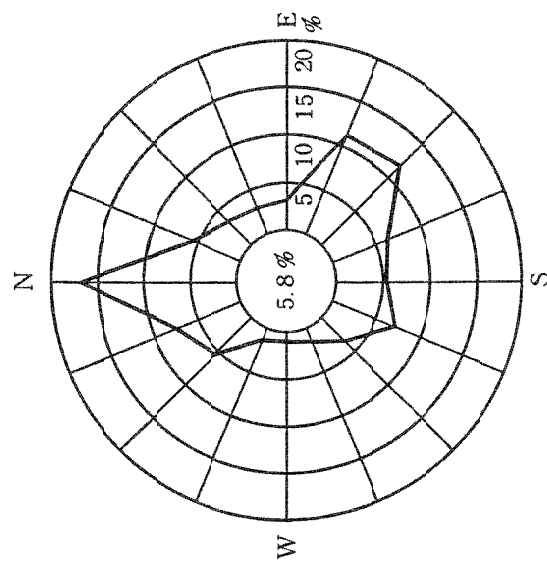


注) 円内は静穏の出現頻度を示す。

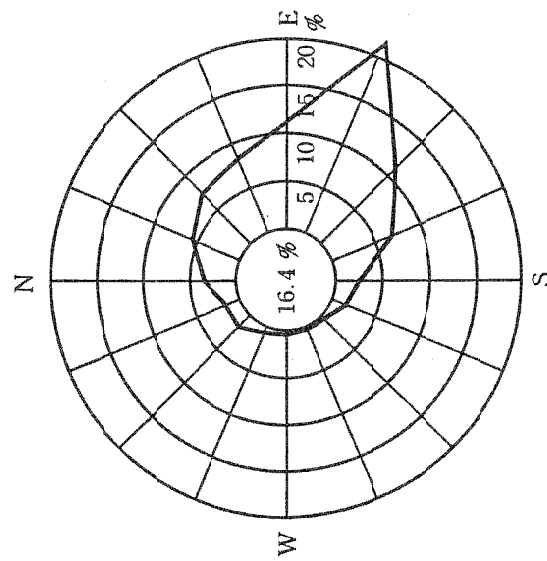
第1.2-62図(1) 年間大気安定度別風配図(標高75m、地上高40m)



安定度 A, B, C 型
(出現頻度 23.8%)



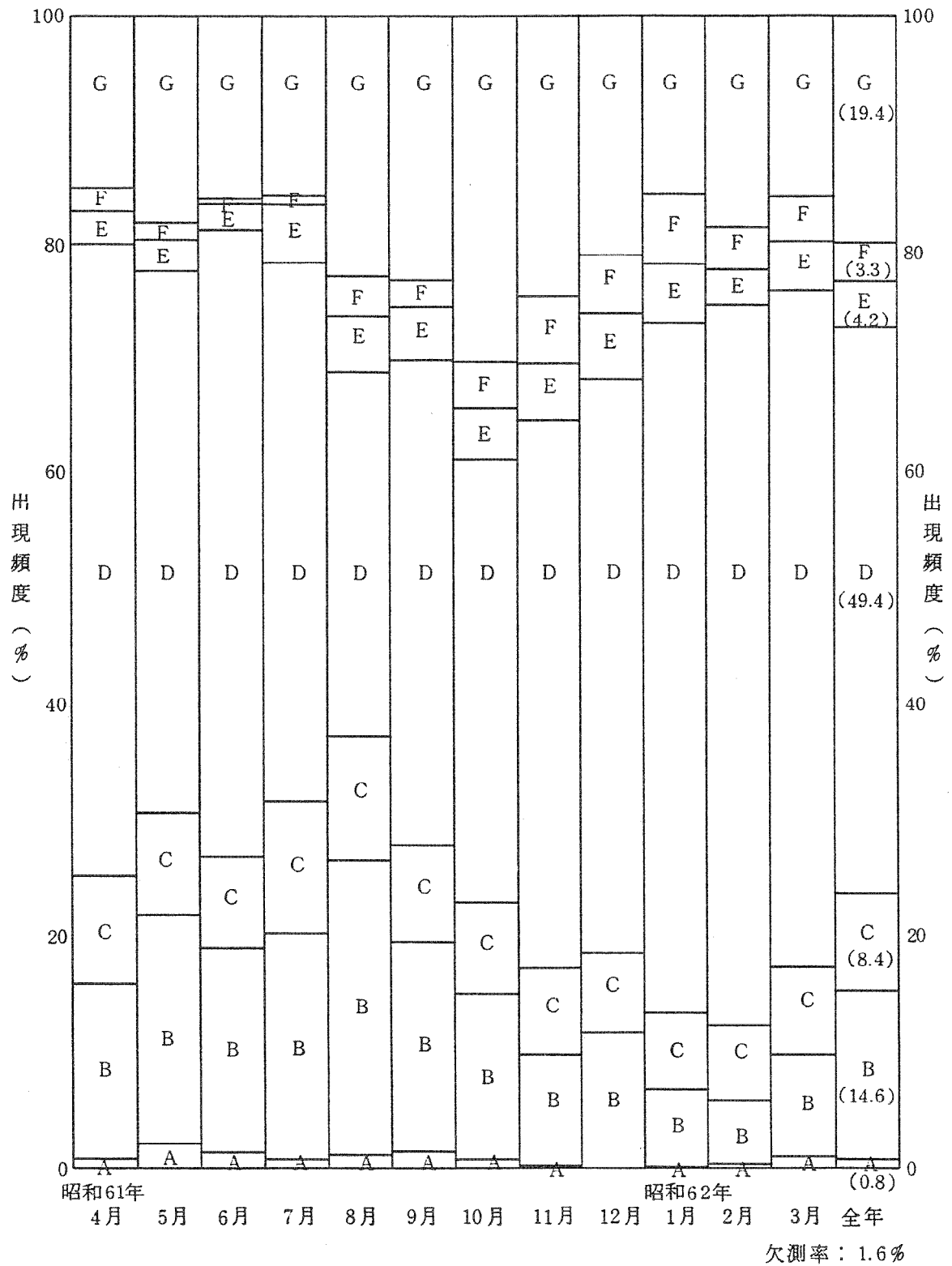
安定度 D 型
(出現頻度 49.4%)



安定度 E, F, G 型
(出現頻度 26.9%)

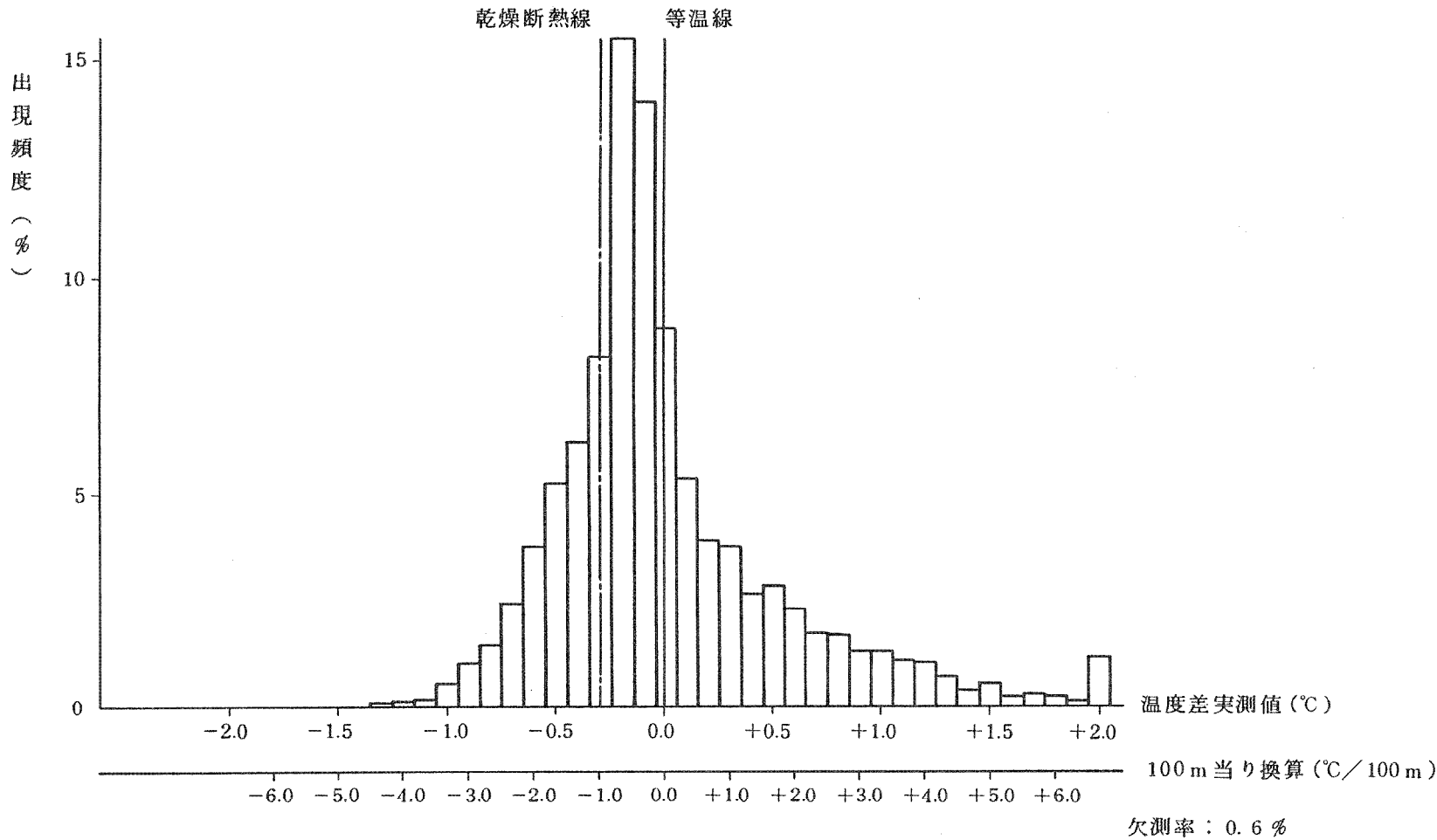
注) 円内は静穏の出現頻度を示す。

第1.2-62図 (2) 年間大気安定度別風配図 (標高45m、地上高10m)

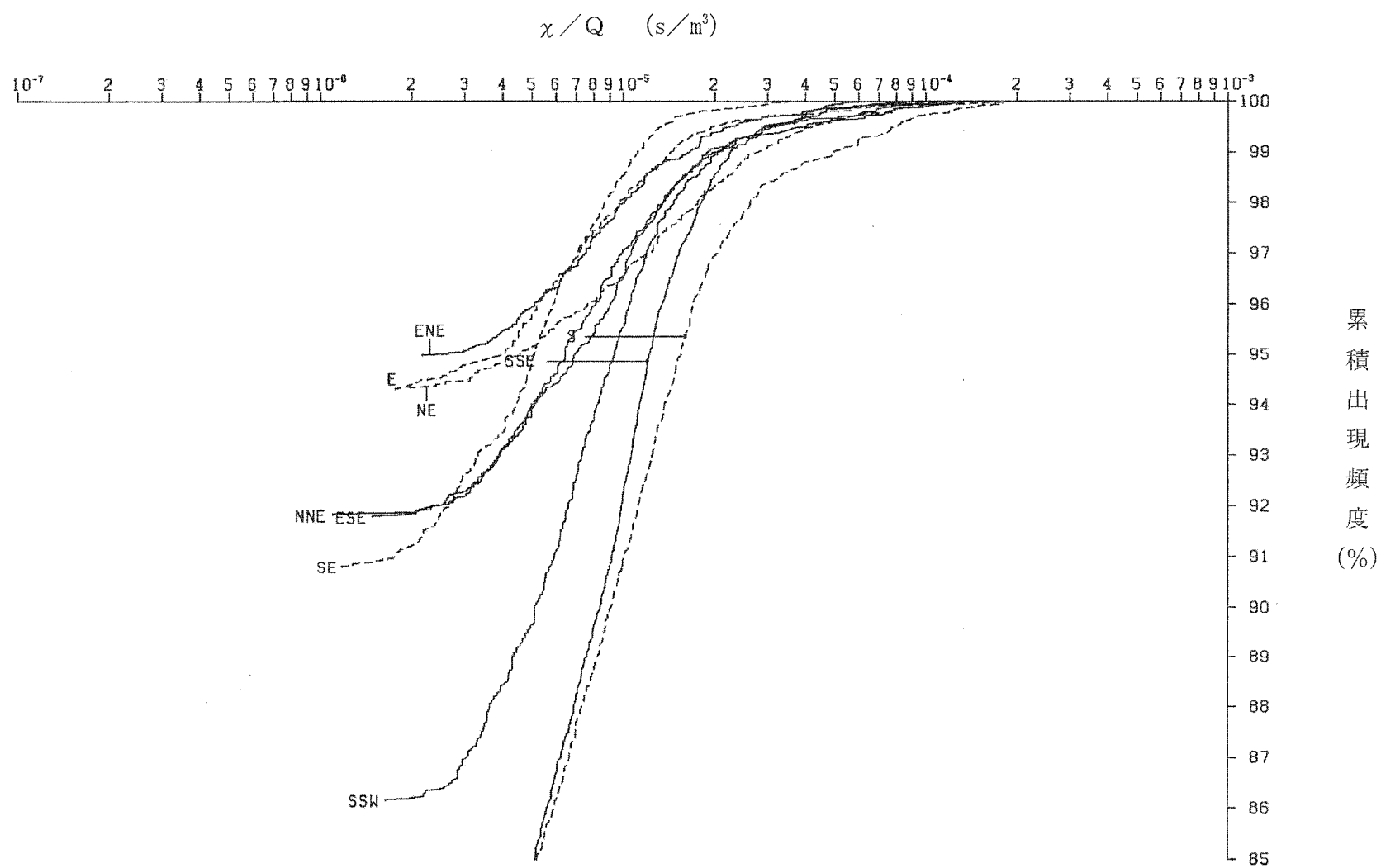


第1.2-63図 年間及び月別の大気安定度出現頻度

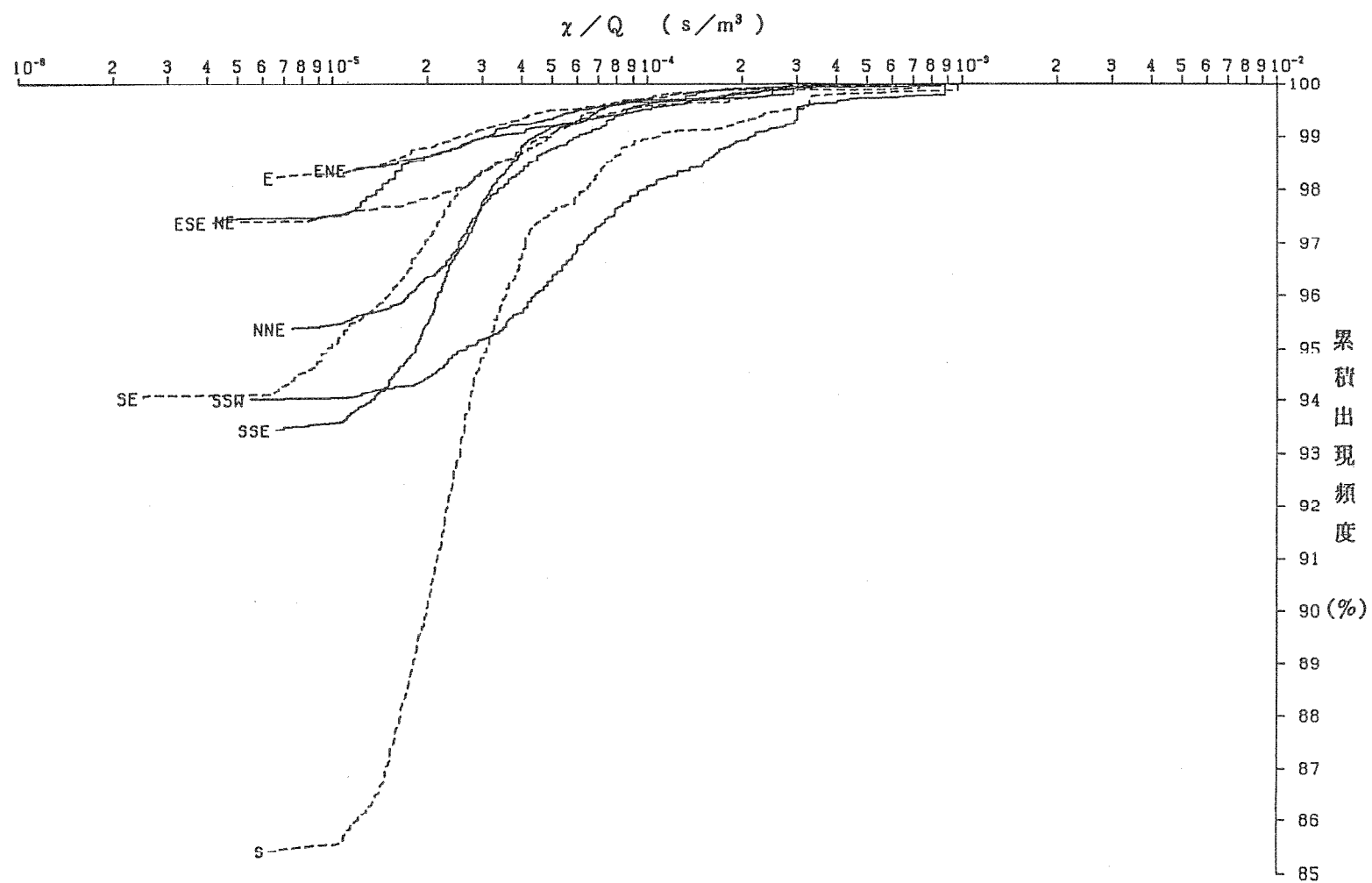
測定場所：川内原子力発電所気象観測所



第1.2-64図 年間気温差出現頻度(標高75m－標高45m)

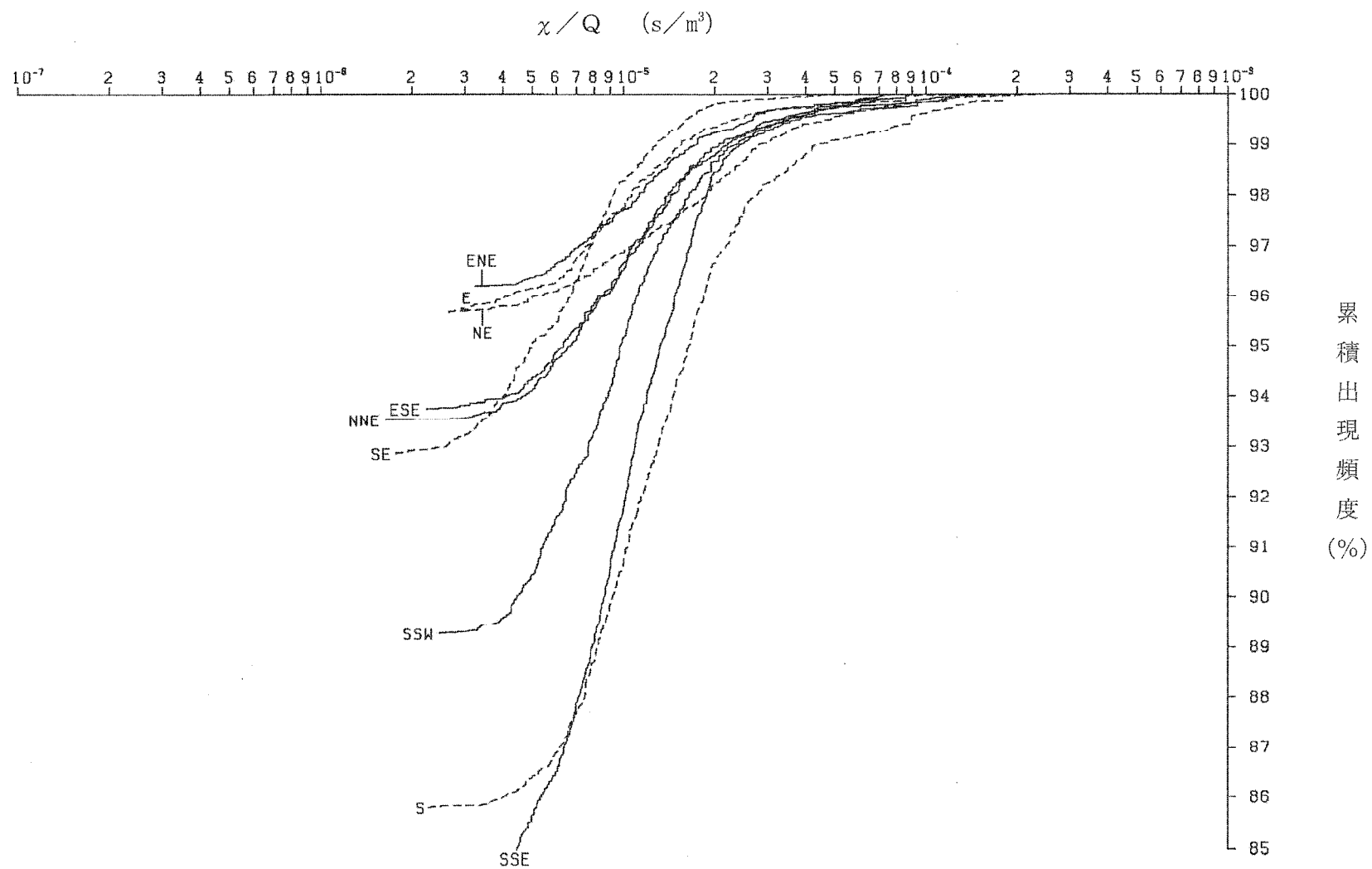


第1.2-65図(1) 方位別相対濃度(χ/Q)の累積出現頻度
〔原子炉冷却材喪失(事故時)〕

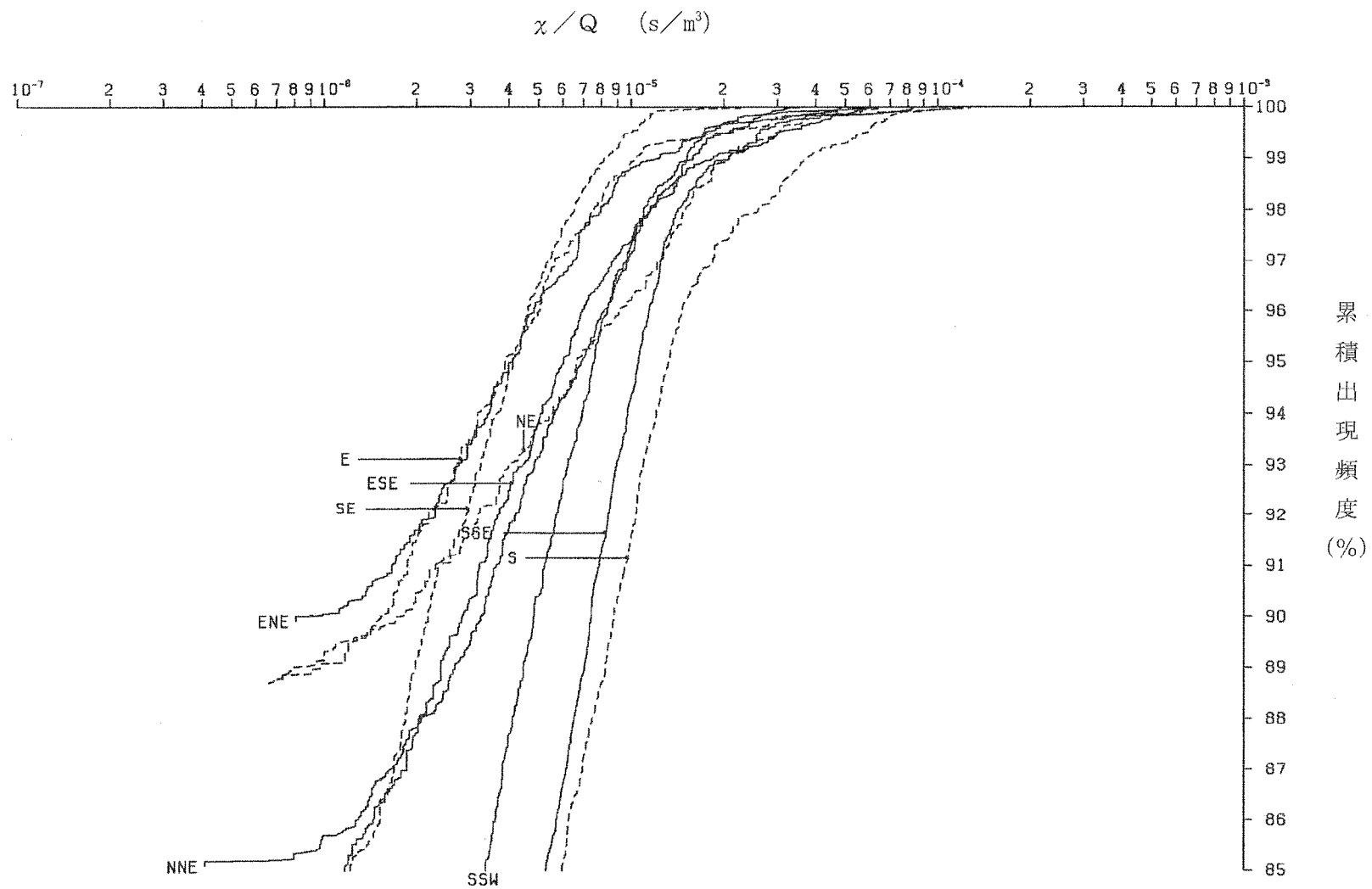


第1.2-65図(2) 方位別相対濃度(χ/Q)の累積出現頻度

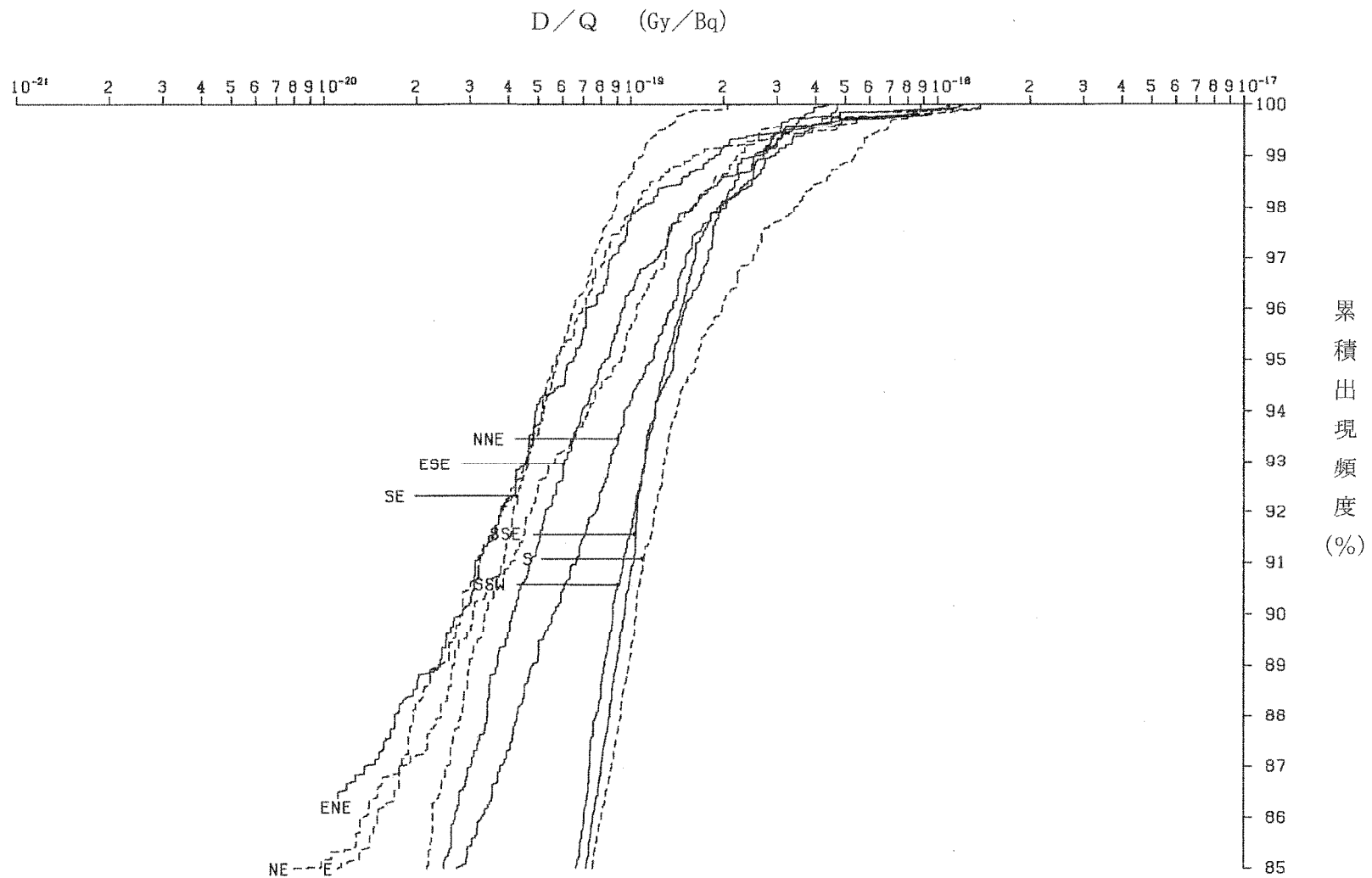
放射性気体廃棄物処理施設の破損、蒸気発生器伝熱管破損(事故、重大事故及び仮想事項時)、燃料集合体の落下



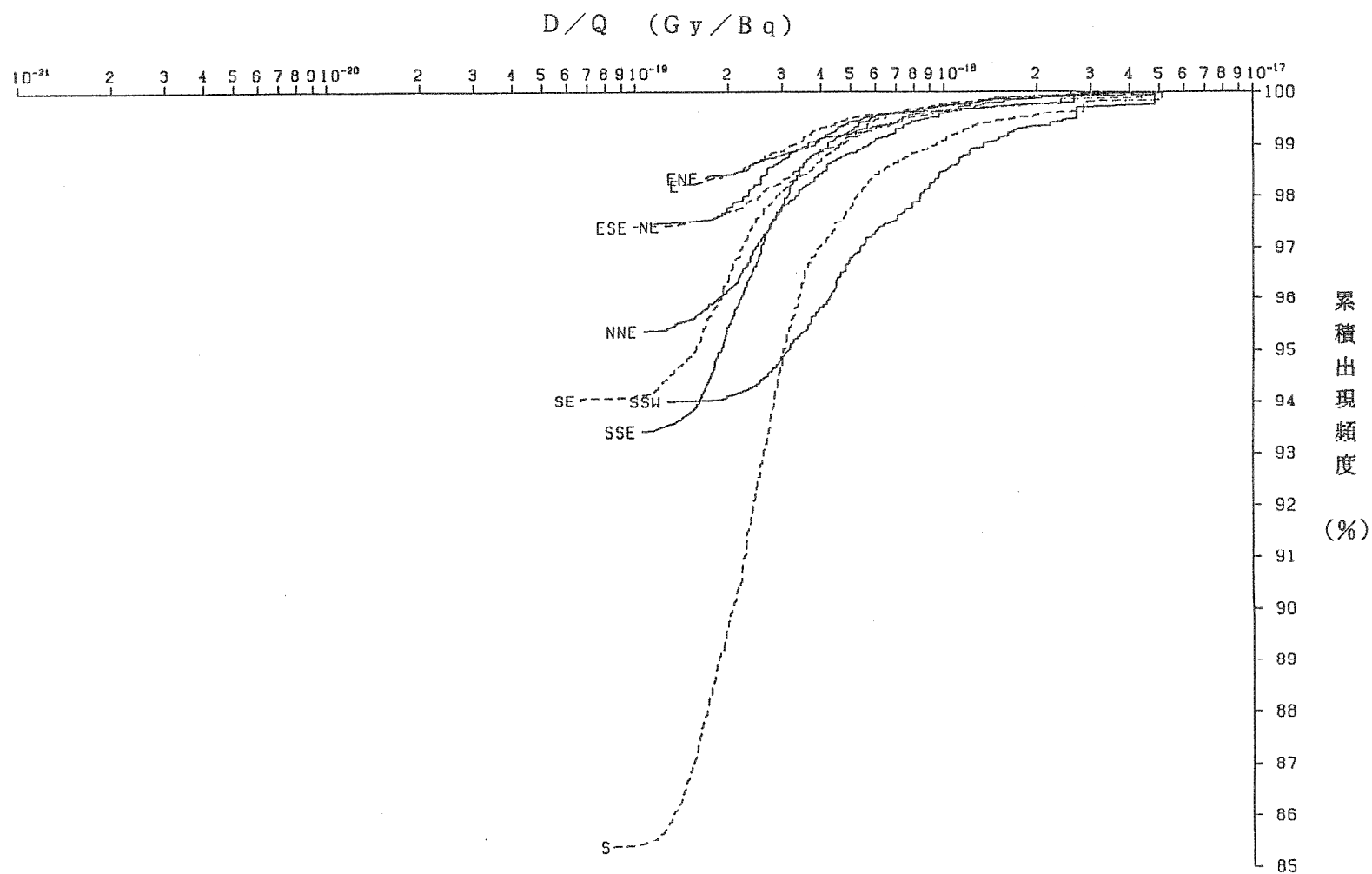
第1.2-65図(3) 方位別相対濃度(χ/Q)の累積出現頻度
 [制御棒飛び出し]



第1.2-65図(4) 方位別相対濃度(χ/Q)の累積出現頻度
〔原子炉冷却材喪失(重大事故及び仮想事故時)〕

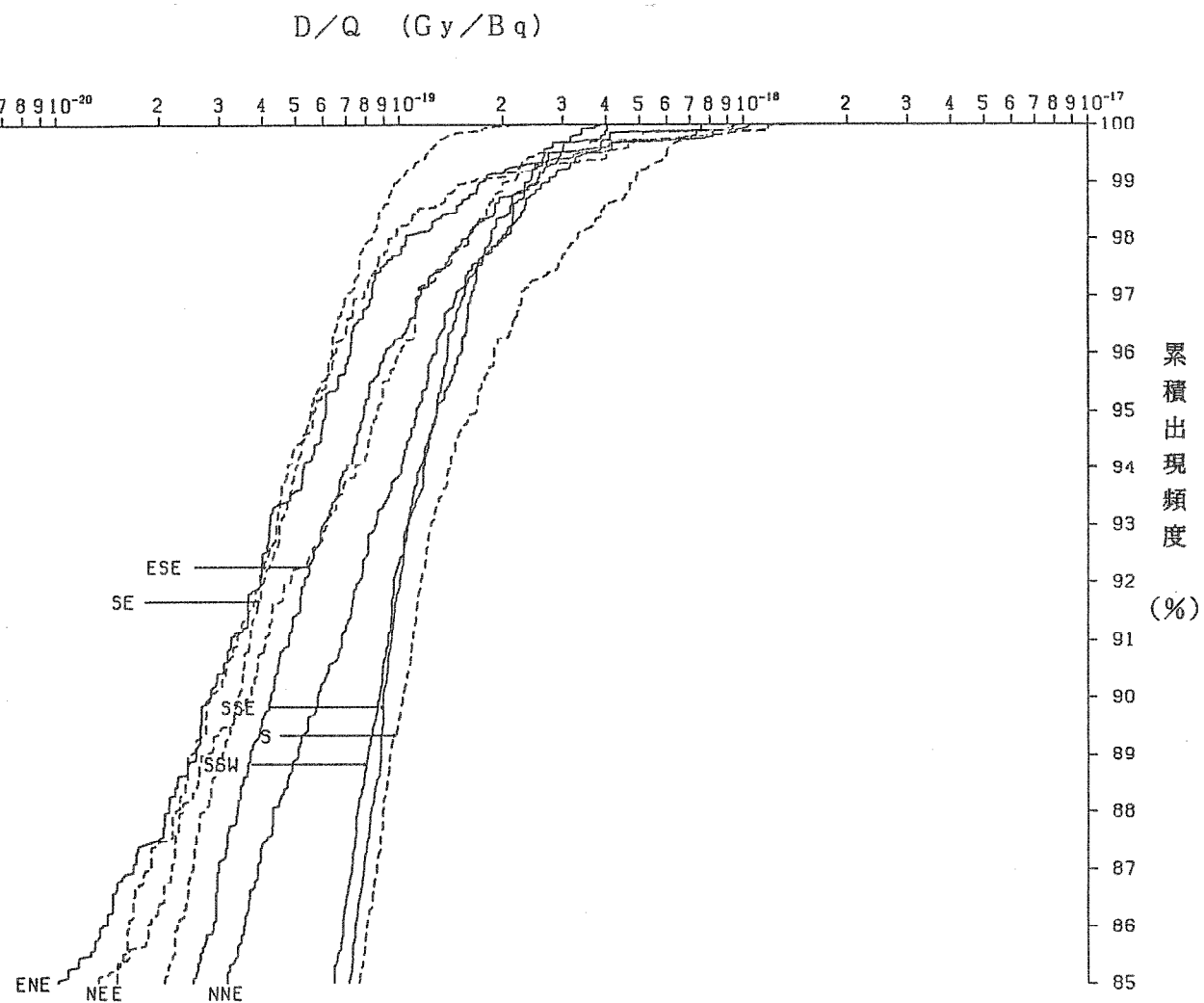


第1.2-65図(5) 方位別相対線量(D/Q)の累積出現頻度
〔原子炉冷却材喪失(事故時)〕



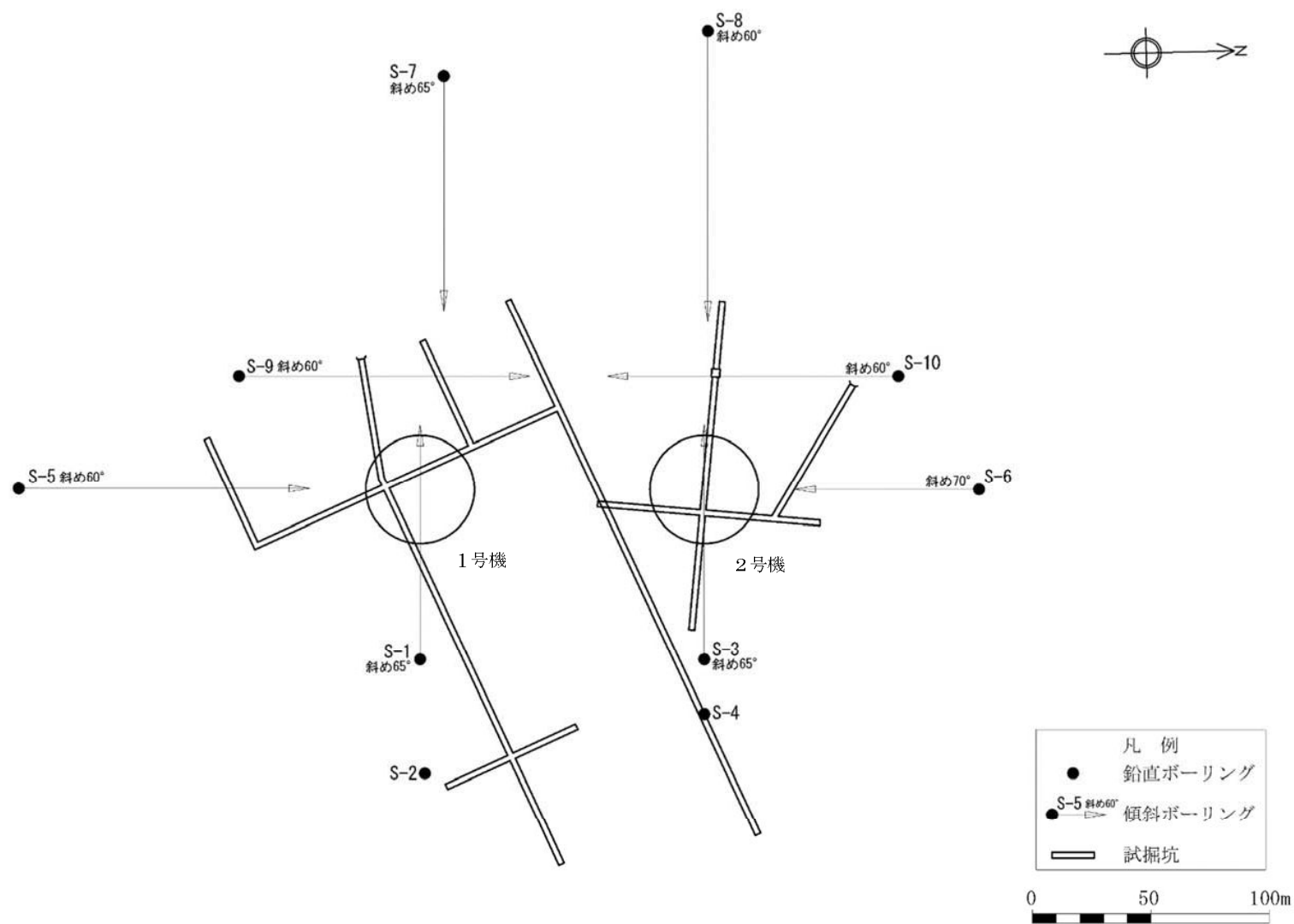
第1.2-65図(6) 方位別相対線量(D/Q)の累積出現頻度

〔放射性気体廃棄物処理施設の破損、蒸気発生器伝熱管破損(事故、重大事故及び仮想事項時)、燃料集合体の落下〕

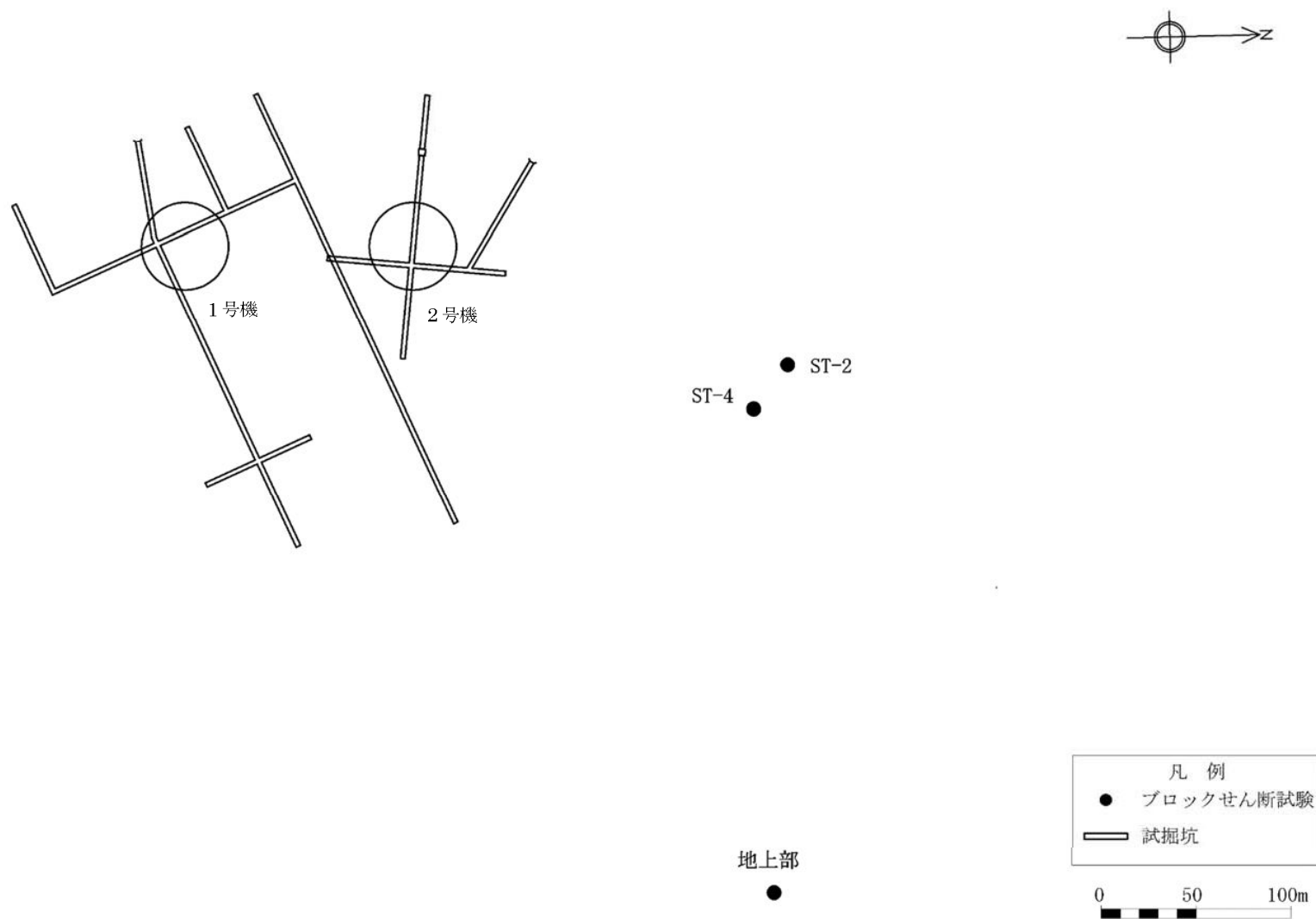


第1.2-65図(7) 方位別相対線量(D/Q)の累積出現頻度

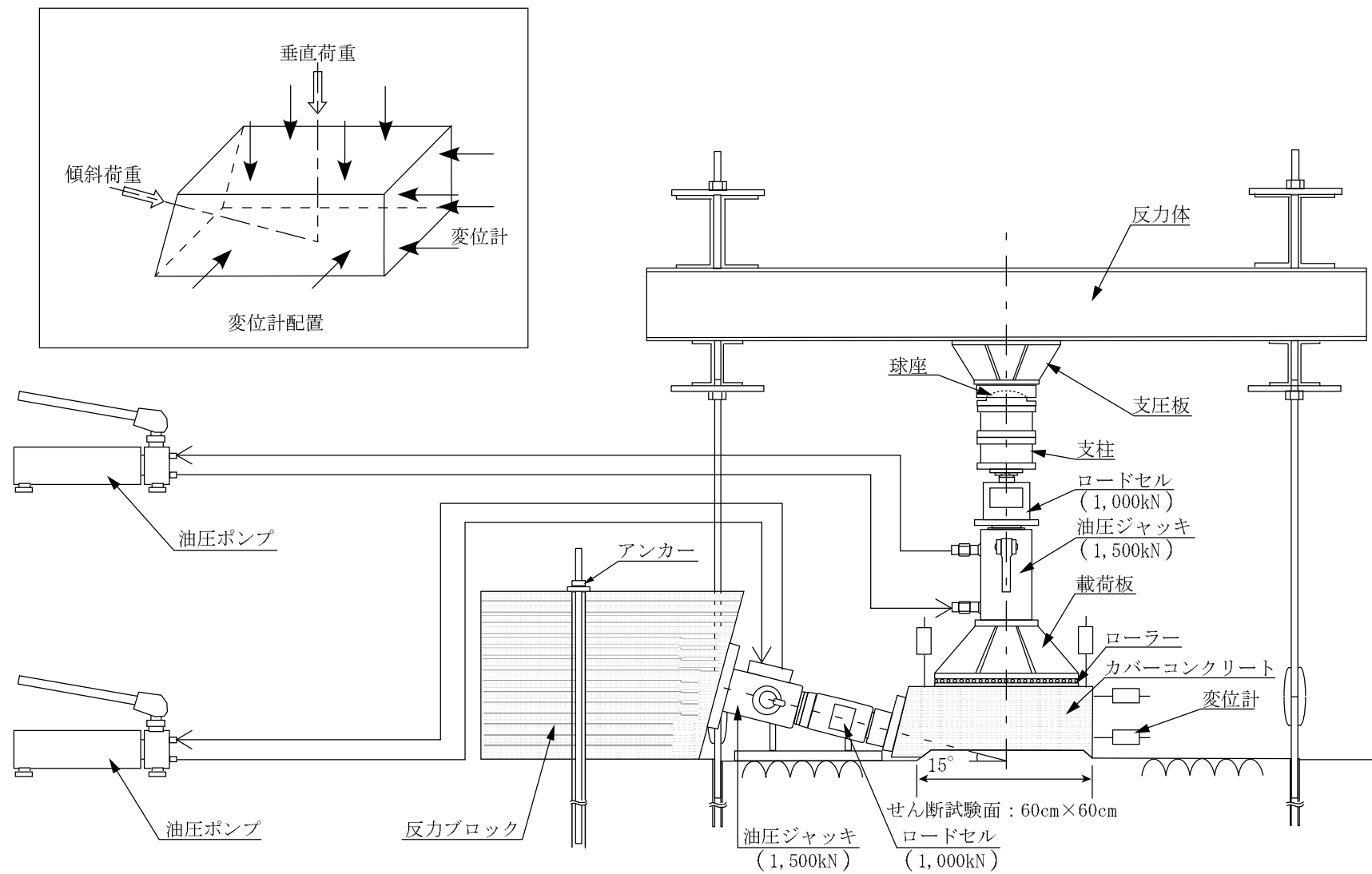
制御棒飛び出し
原子炉冷却材喪失(重大事故及び仮想事故時)



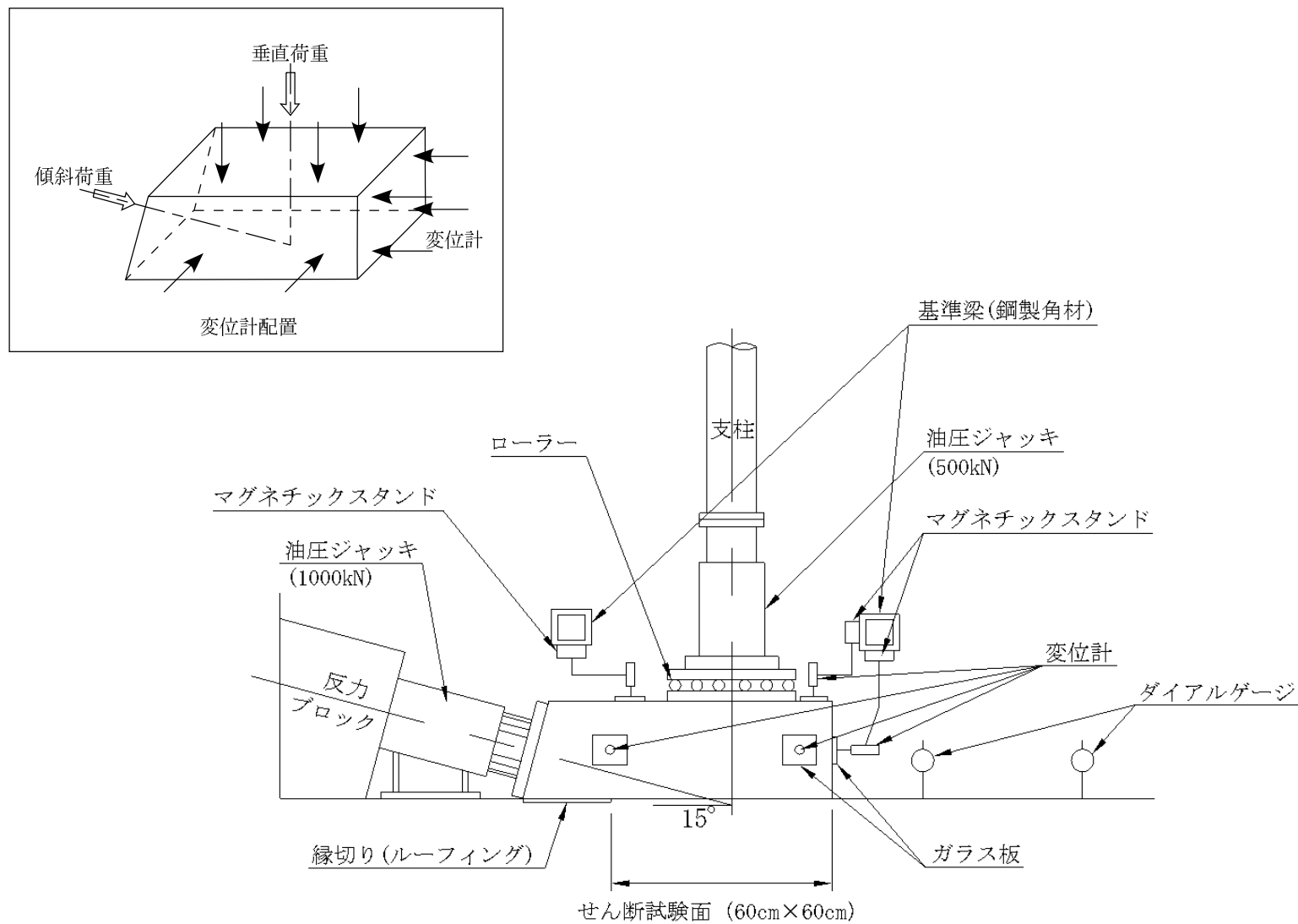
第 1.2-68 図 岩石試験試料採取位置図



第 1.2-69 図 ブロックせん断試験位置図

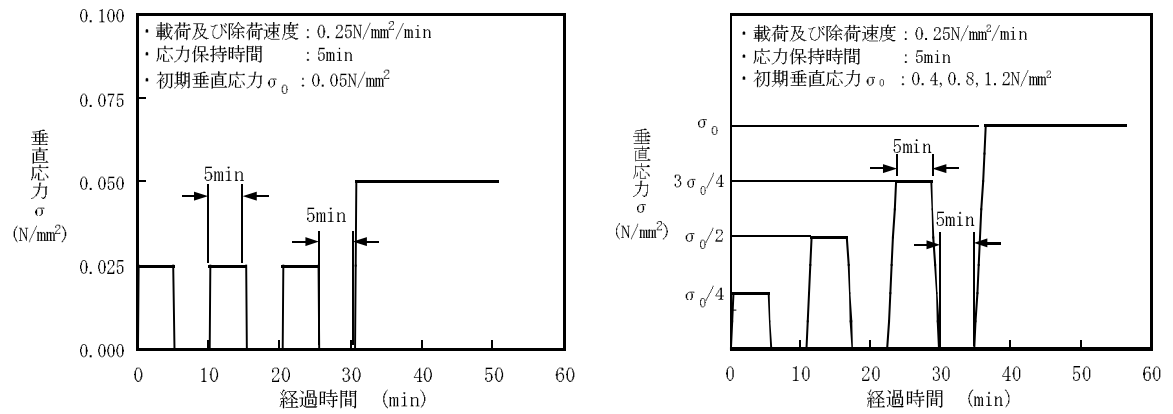


第 1.2-70 図(1) ブロックせん断試験装置概略図(地上部)

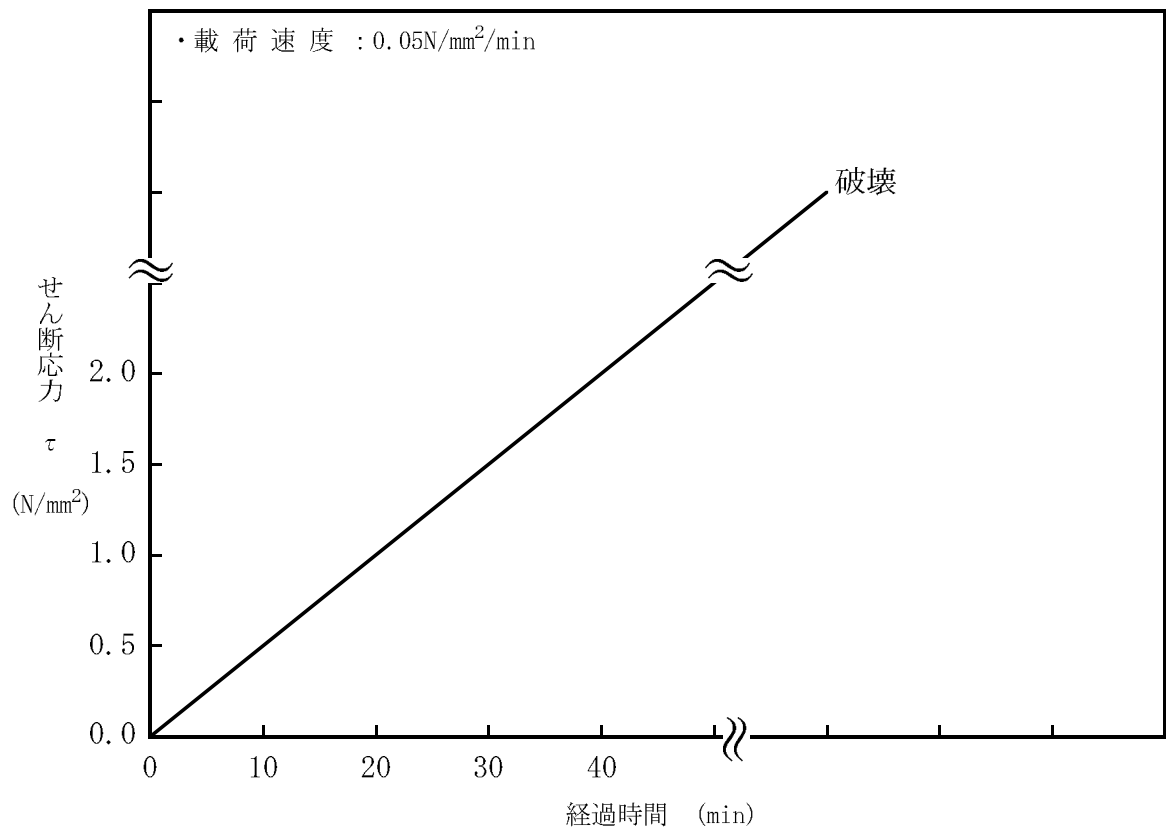


第 1.2-70 図(2) ブロックせん断試験装置概略図(ST-2 及び ST-4)

垂直応力の载荷パターン

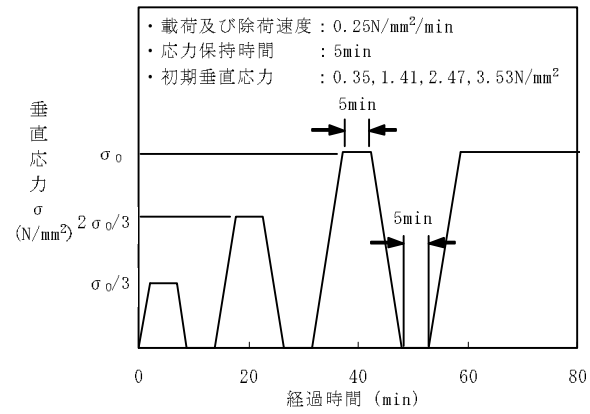


せん断応力の载荷パターン

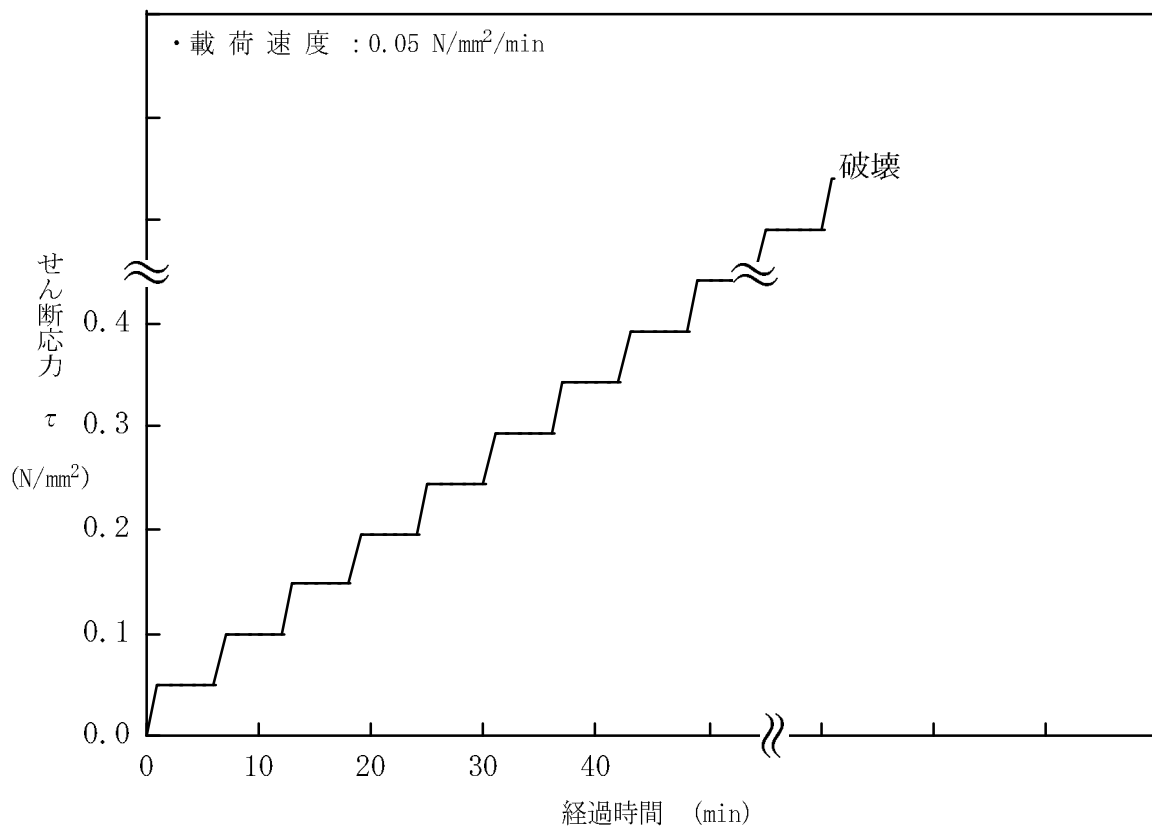


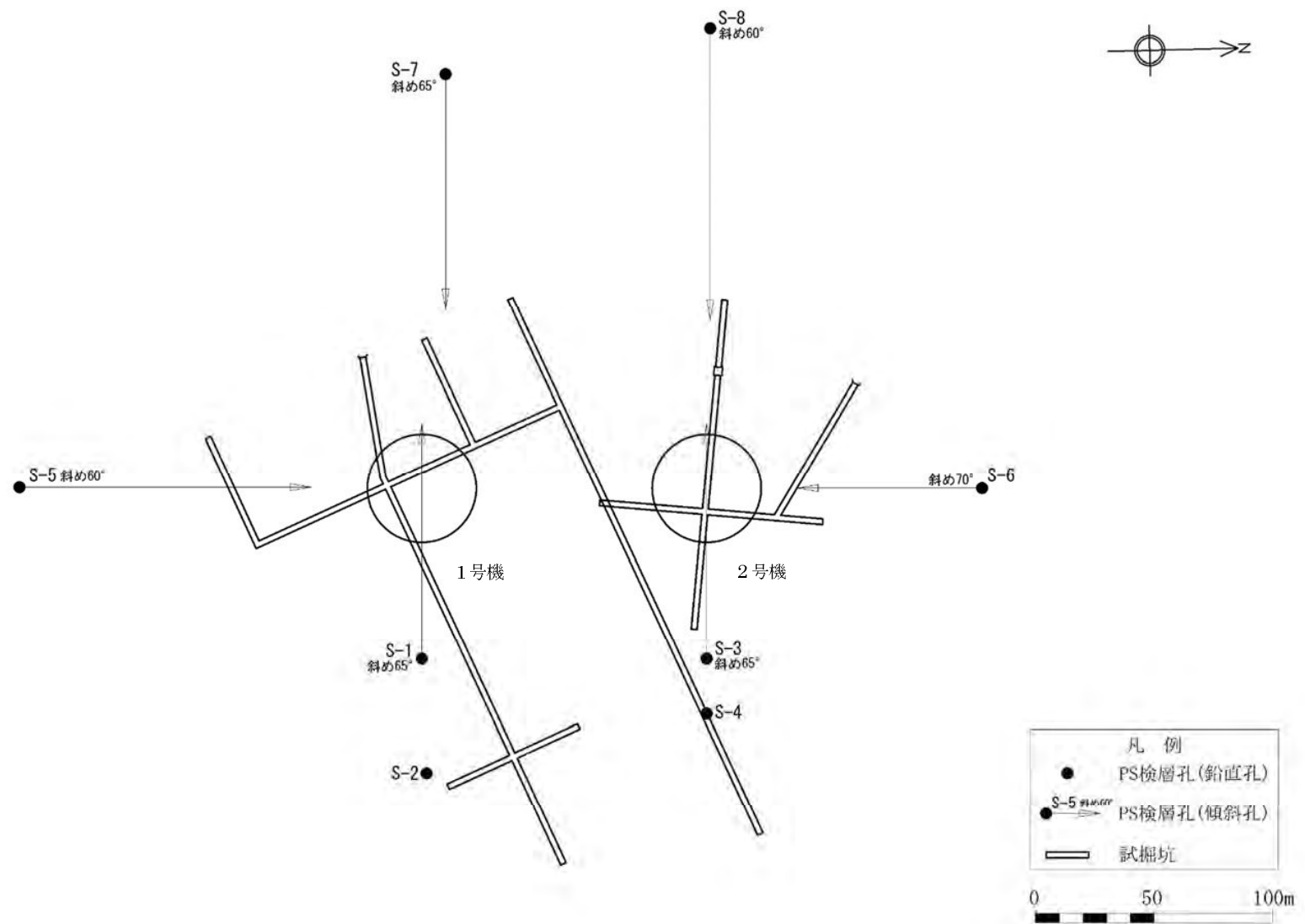
第 1.2-71 図 (1) ブロックせん断試験载荷パターン(地上部)

垂直応力の载荷パターン

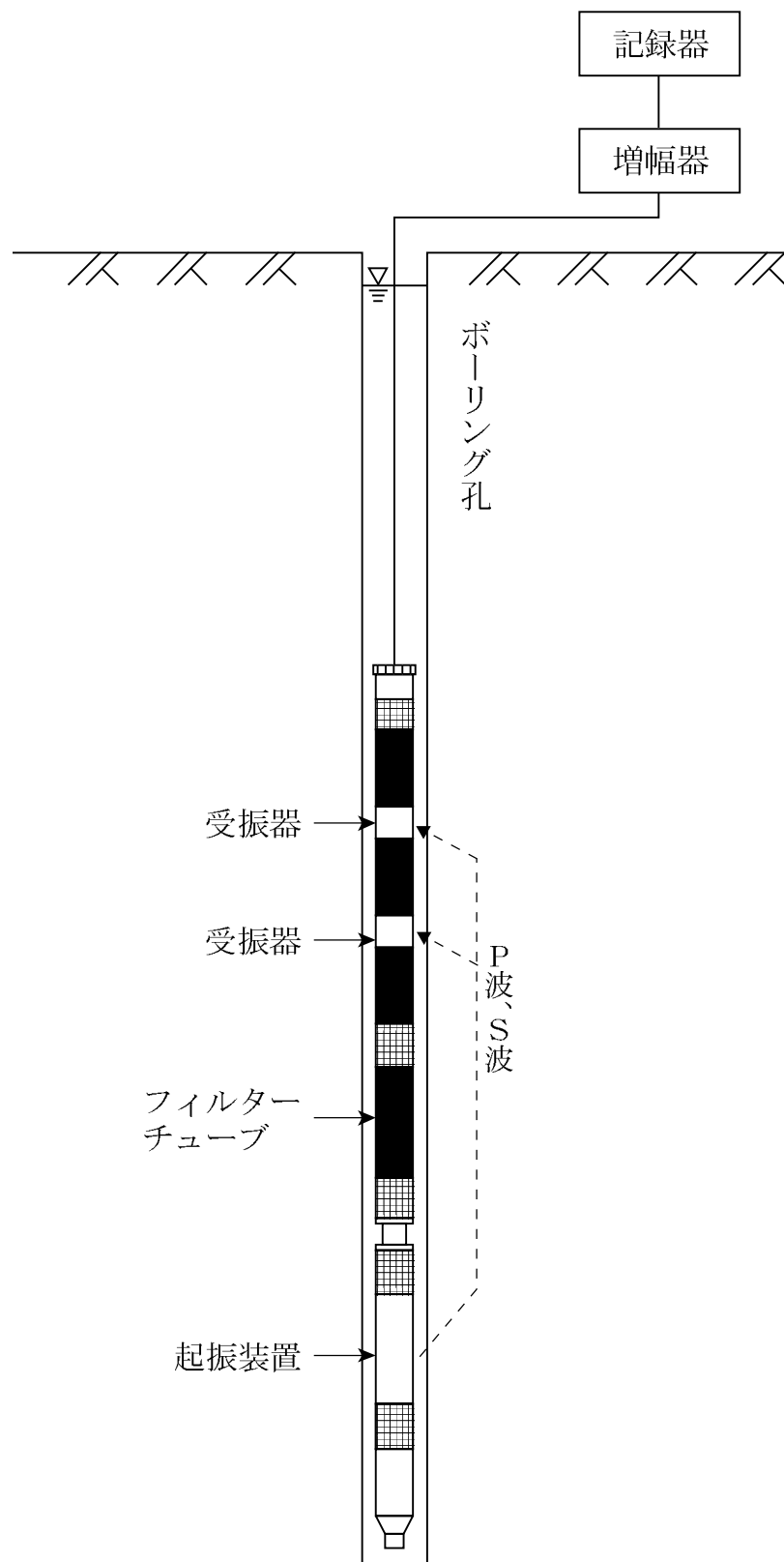


せん断応力の载荷パターン

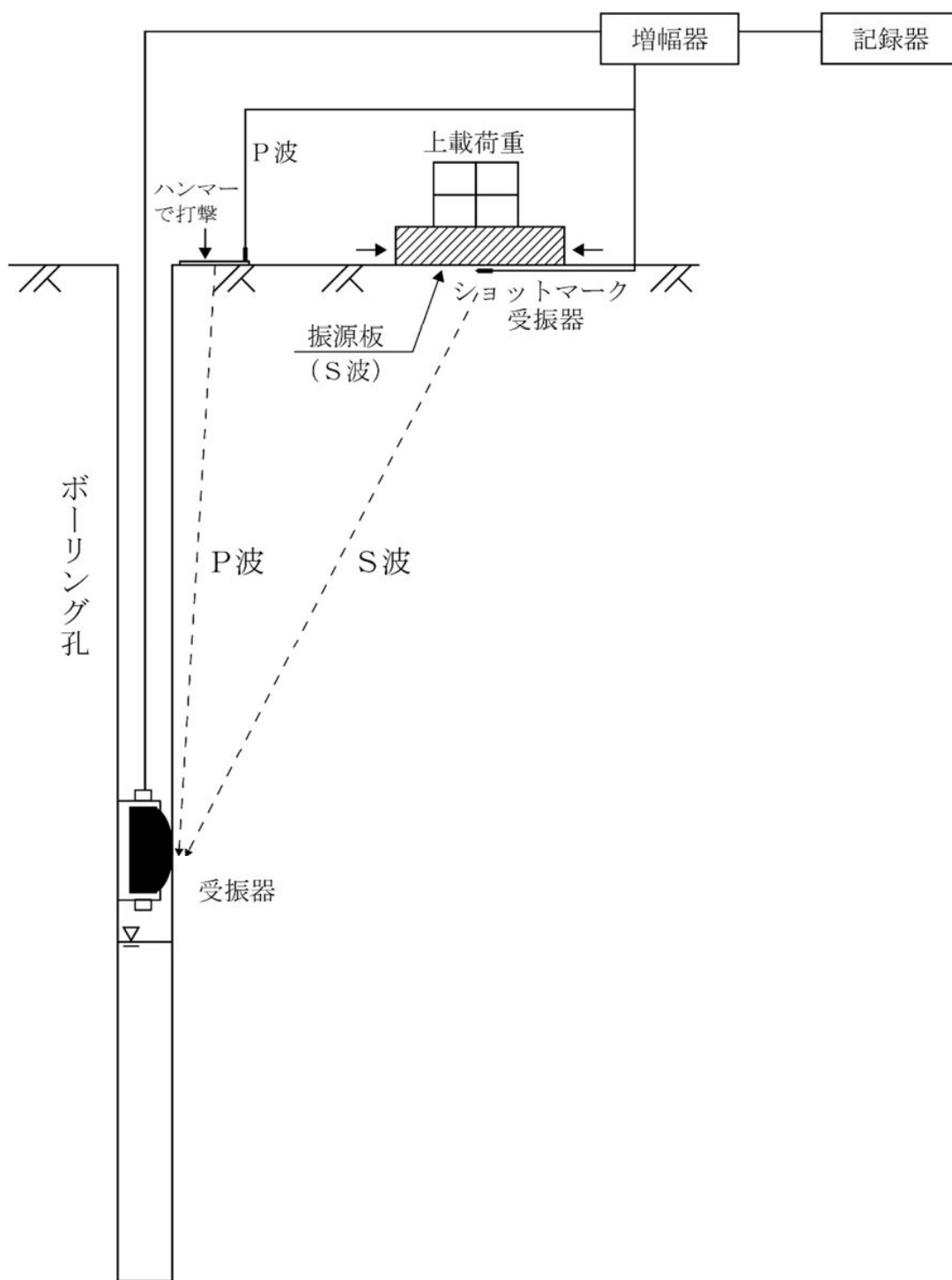




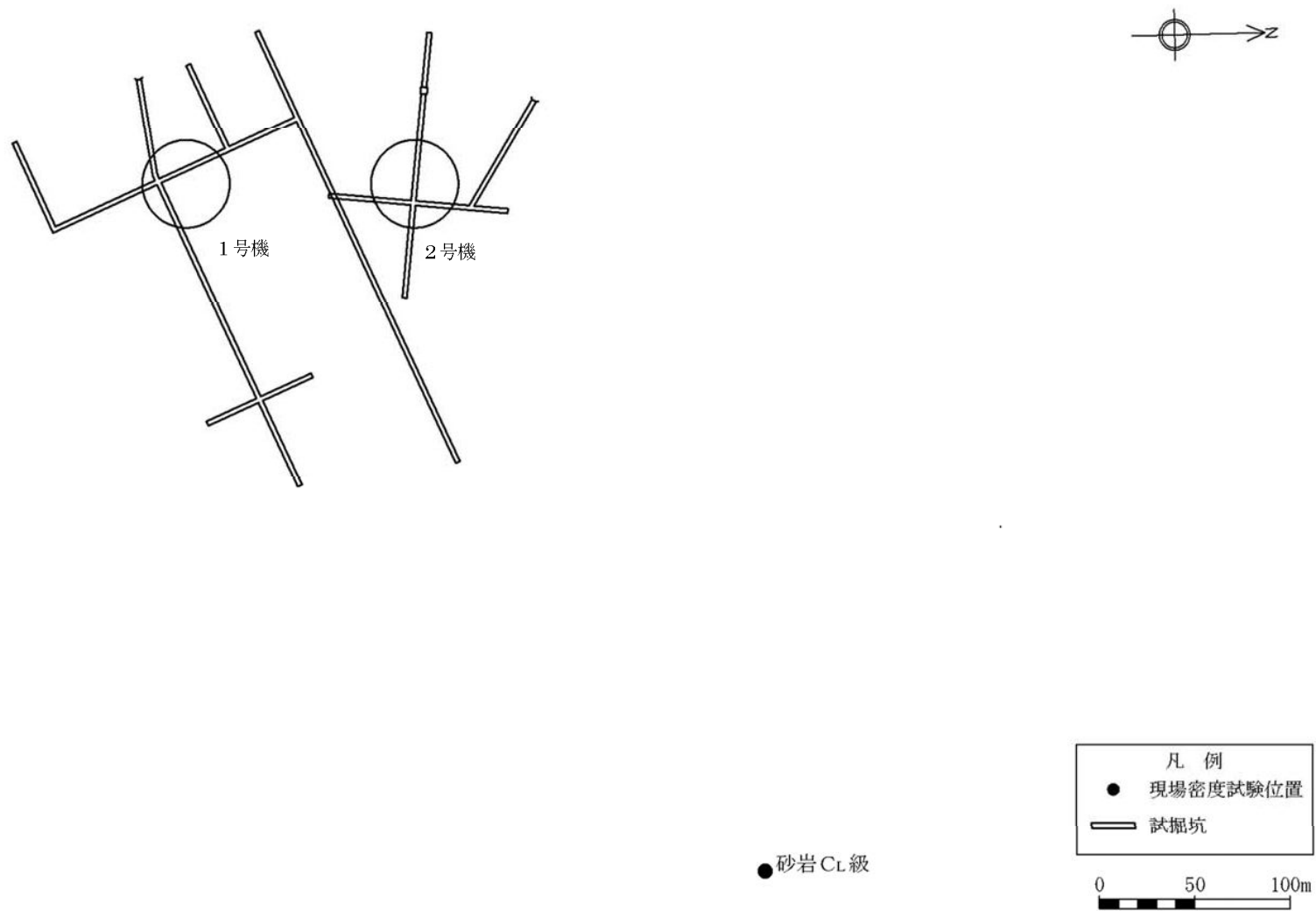
第 1.2-72 図 PS 検層位置図



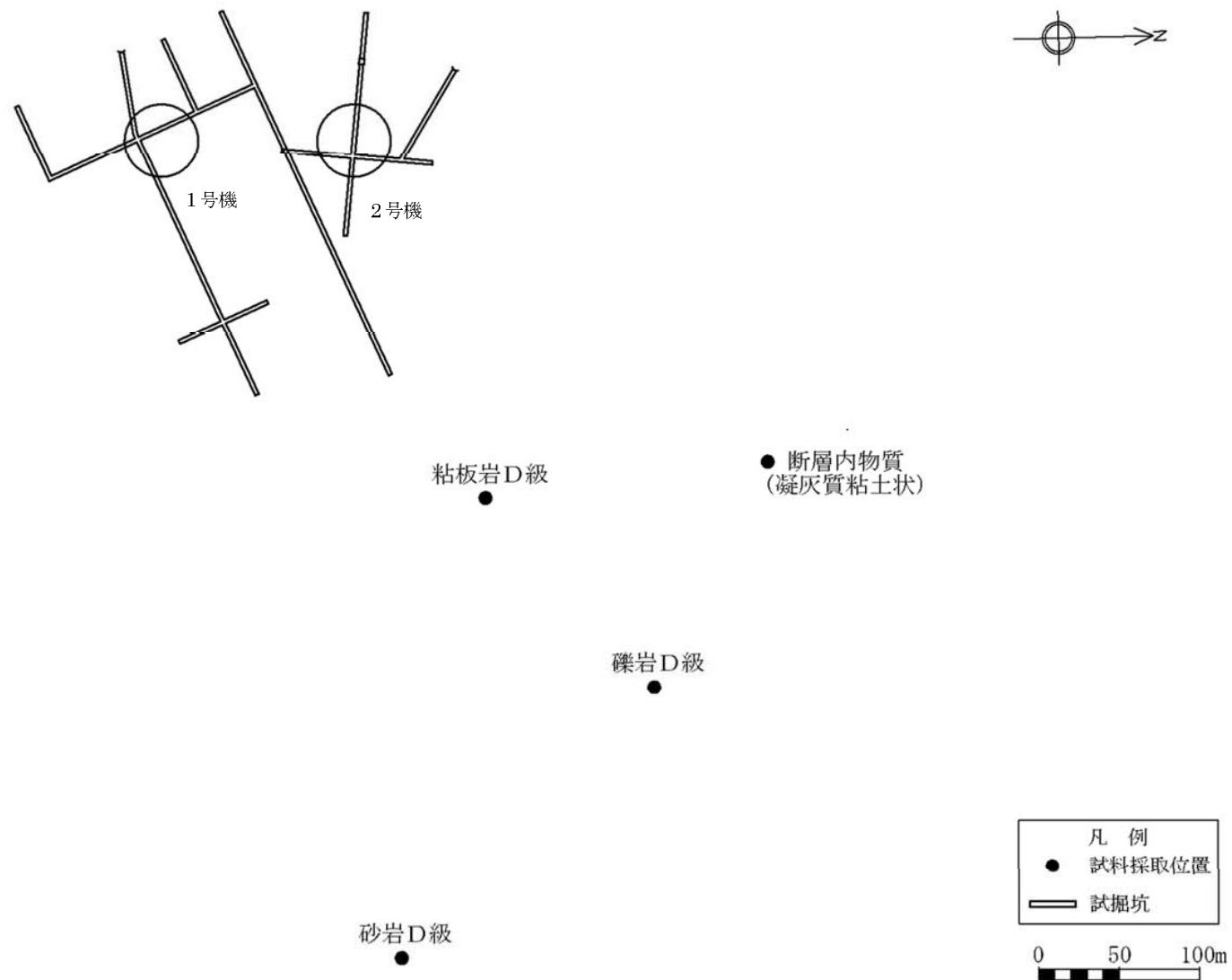
第1.2-73図(1) PS検層概略図(サスペンション法)



第1.2-73図(2) PS検層概略図(ダウンホール法)



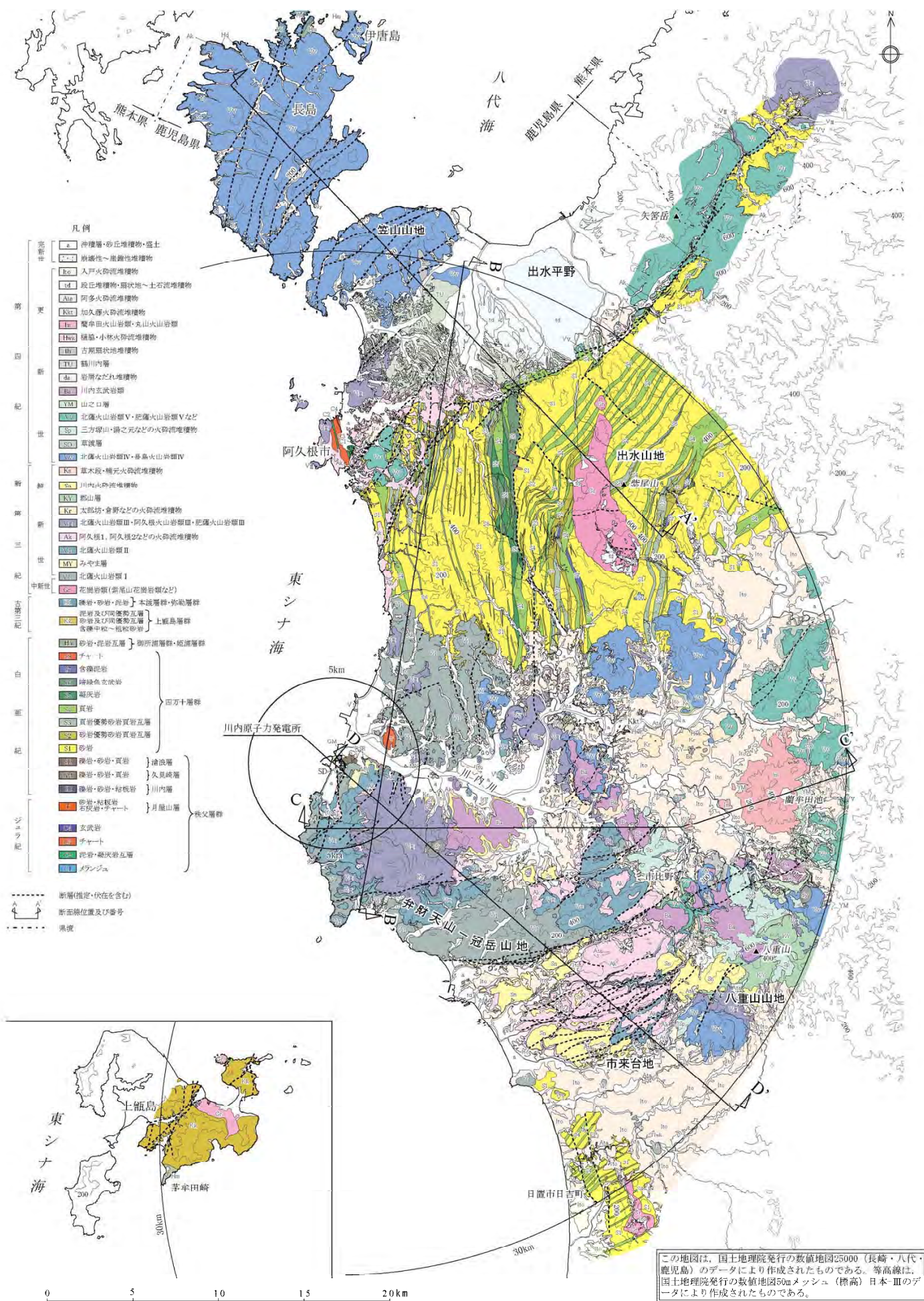
第 1.2-74 図 現場密度試験位置図



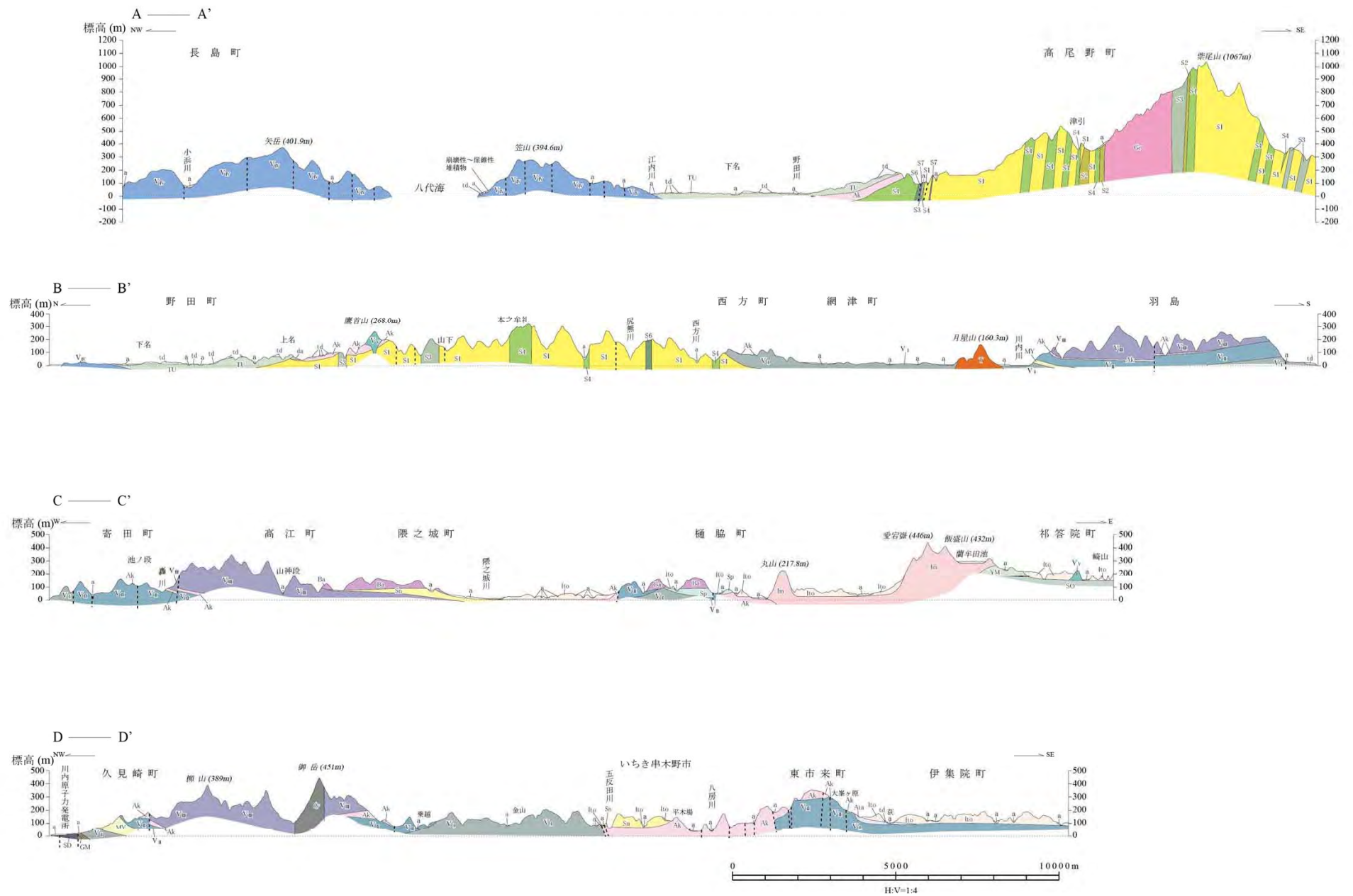
第 1.2-75 図 土質試験試料採取位置図



第 1.2-76 図 敷地周辺陸域の地形図

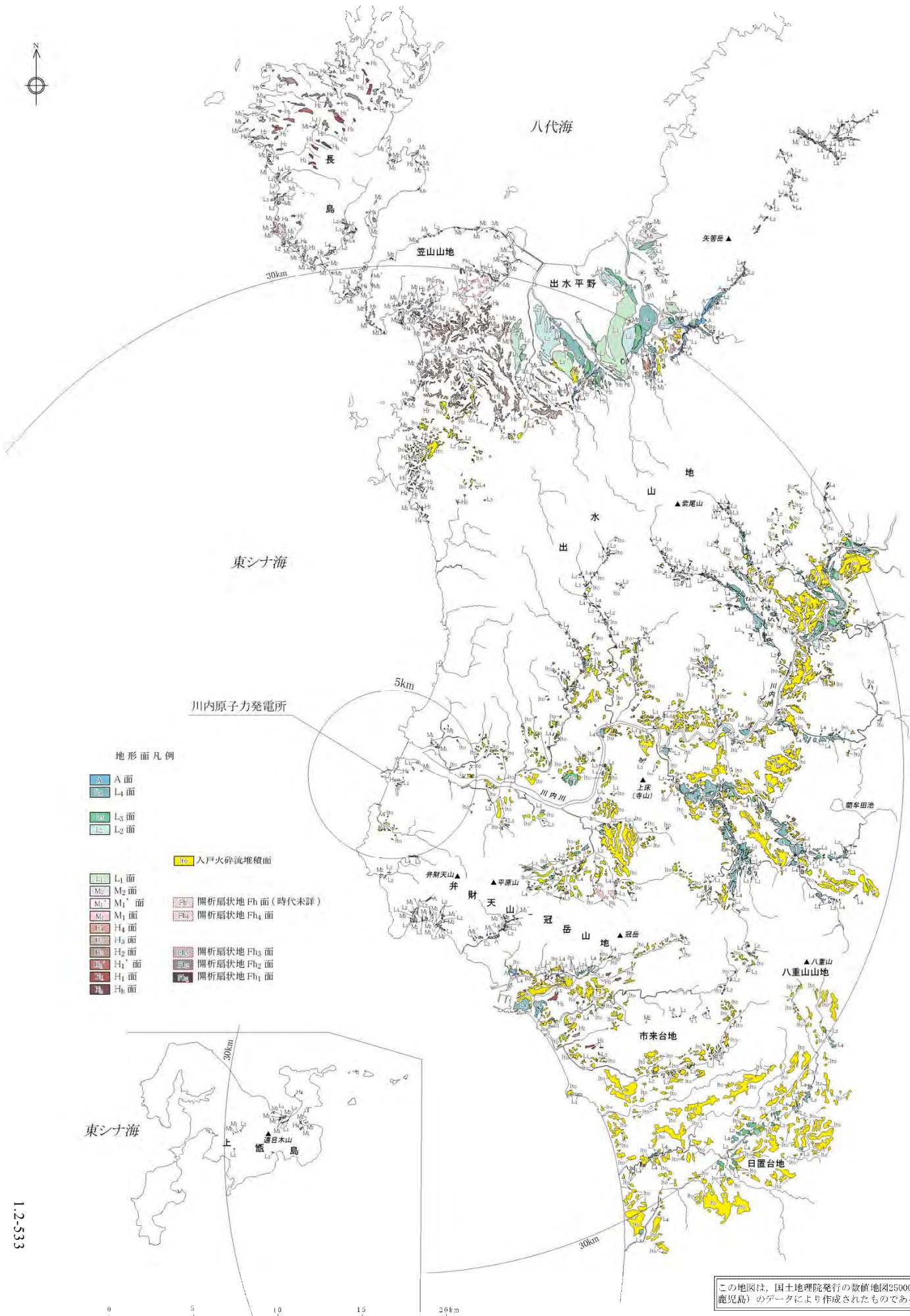


第 1.2-77 図 敷地周辺陸域の地質図



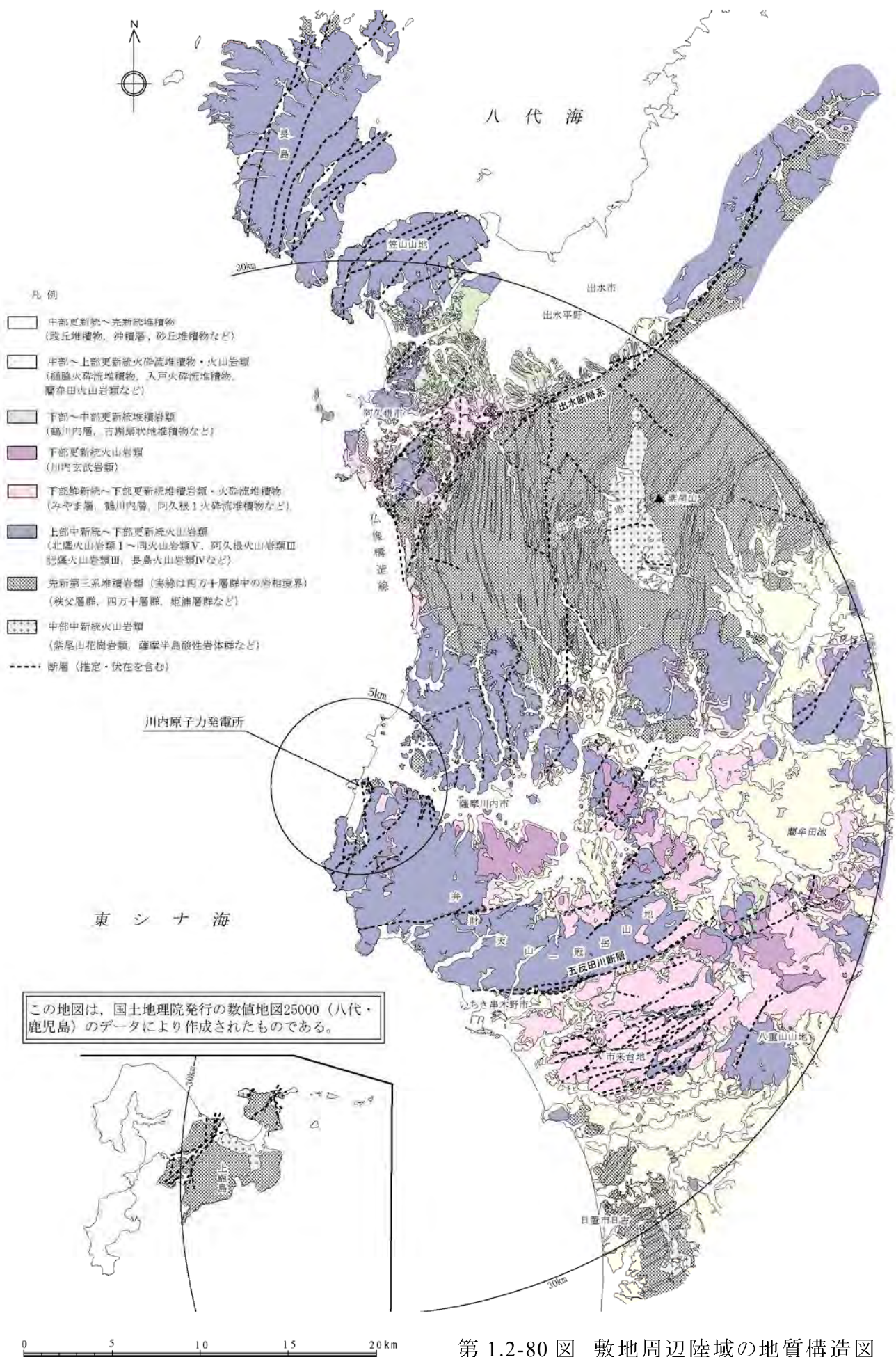
(注) 凡例は、第 1.2-77 図を参照。

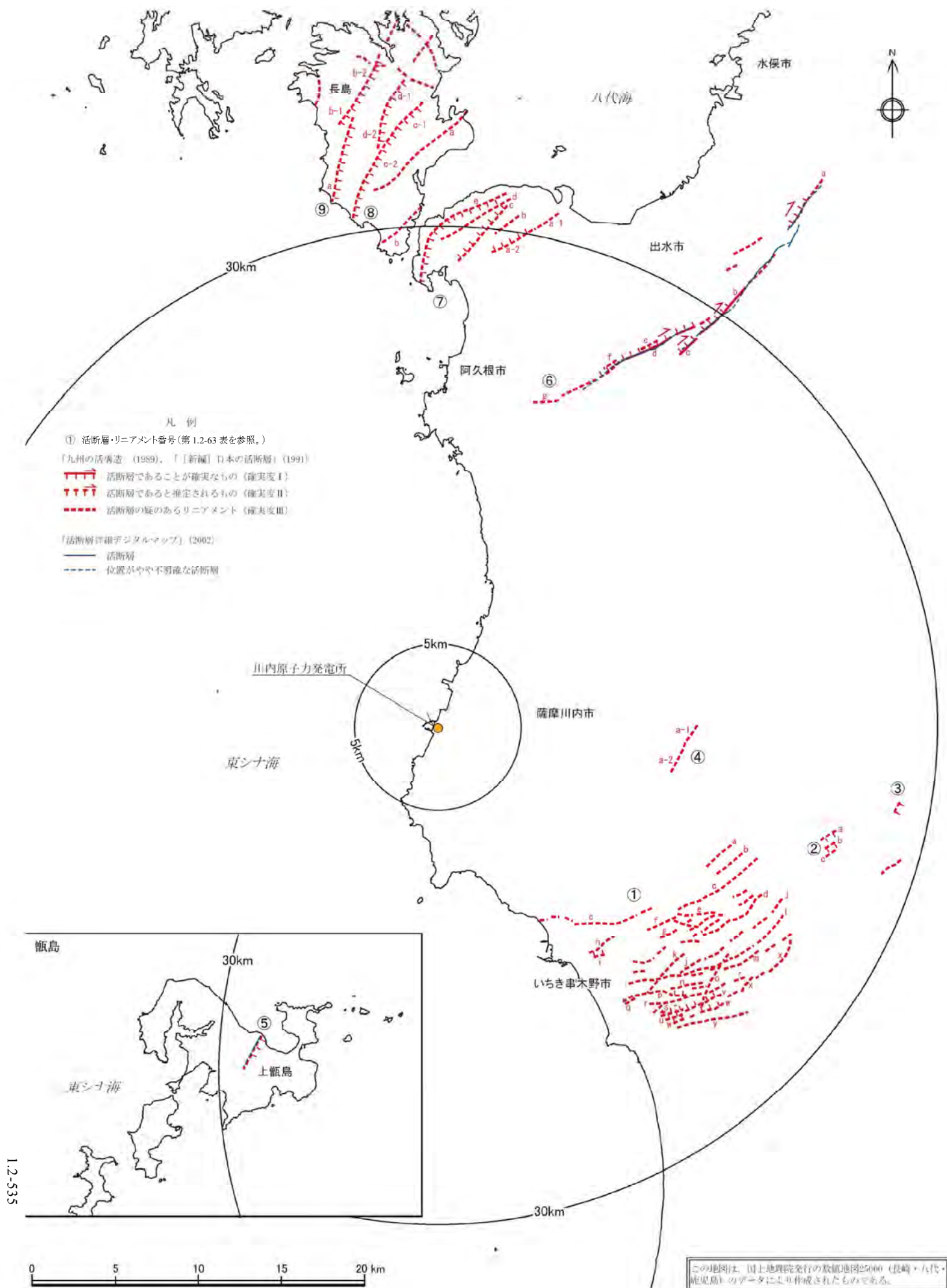
第 1.2-78 図 敷地周辺陸域の地質断面図



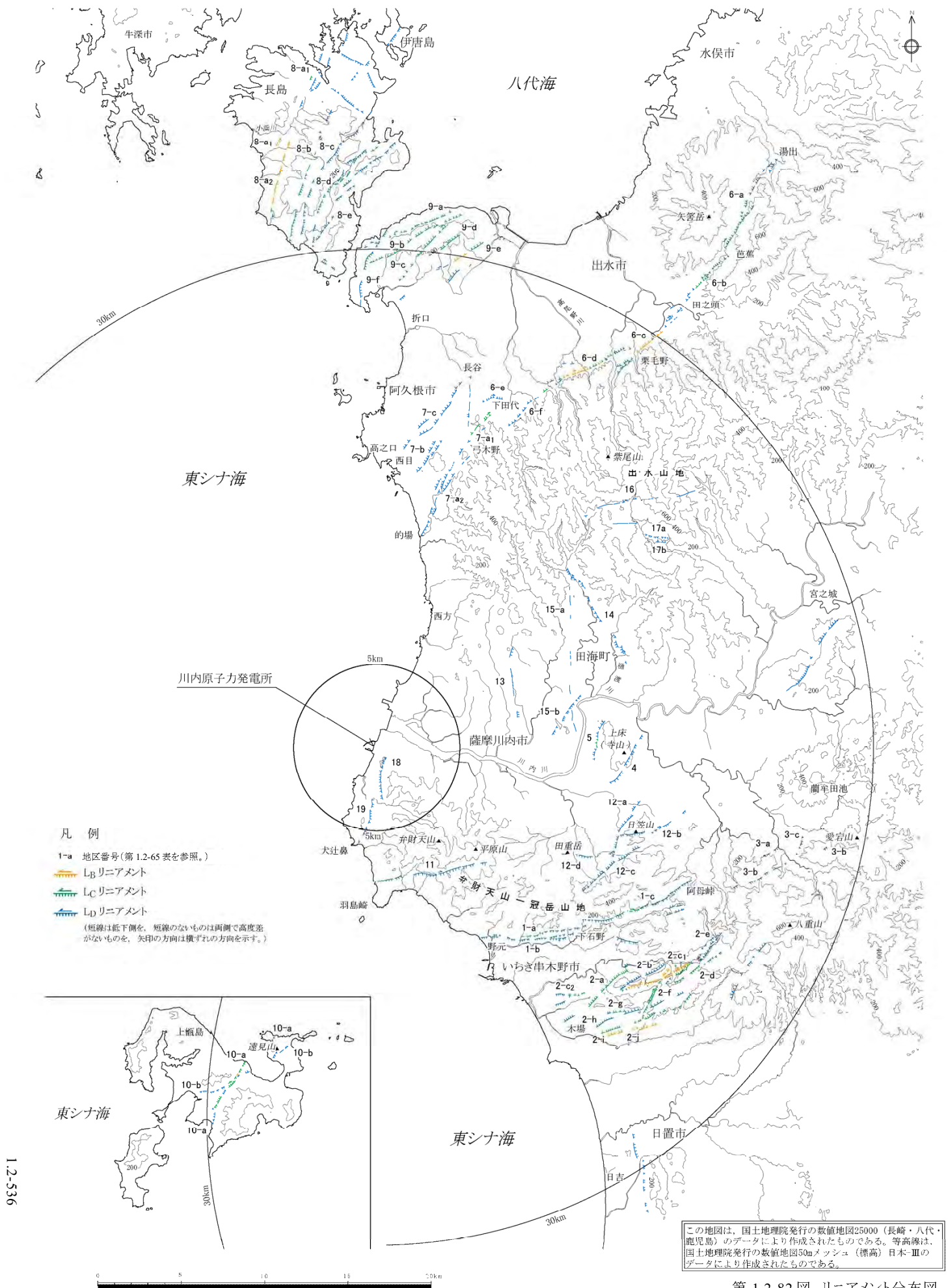
この地図は、国土地理院発行の数値地図25000（八代・鹿兒島）のデータにより作成されたものである。

第 1.2-79 図 敷地周辺陸域の段丘面分布図

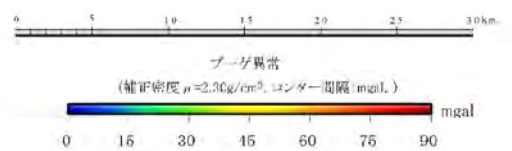
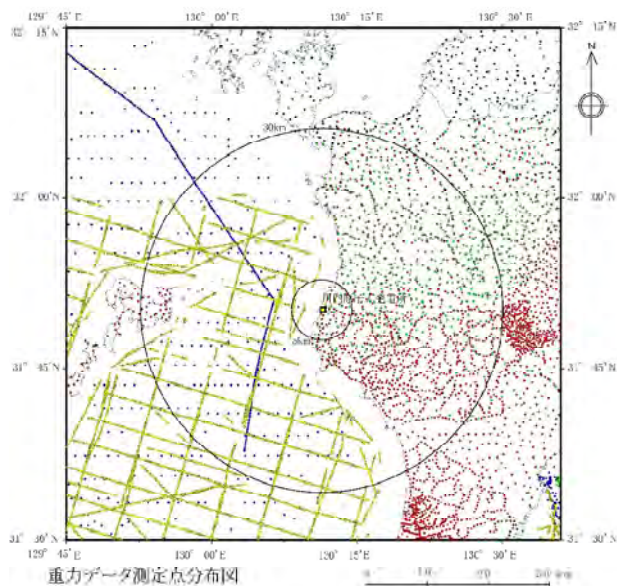
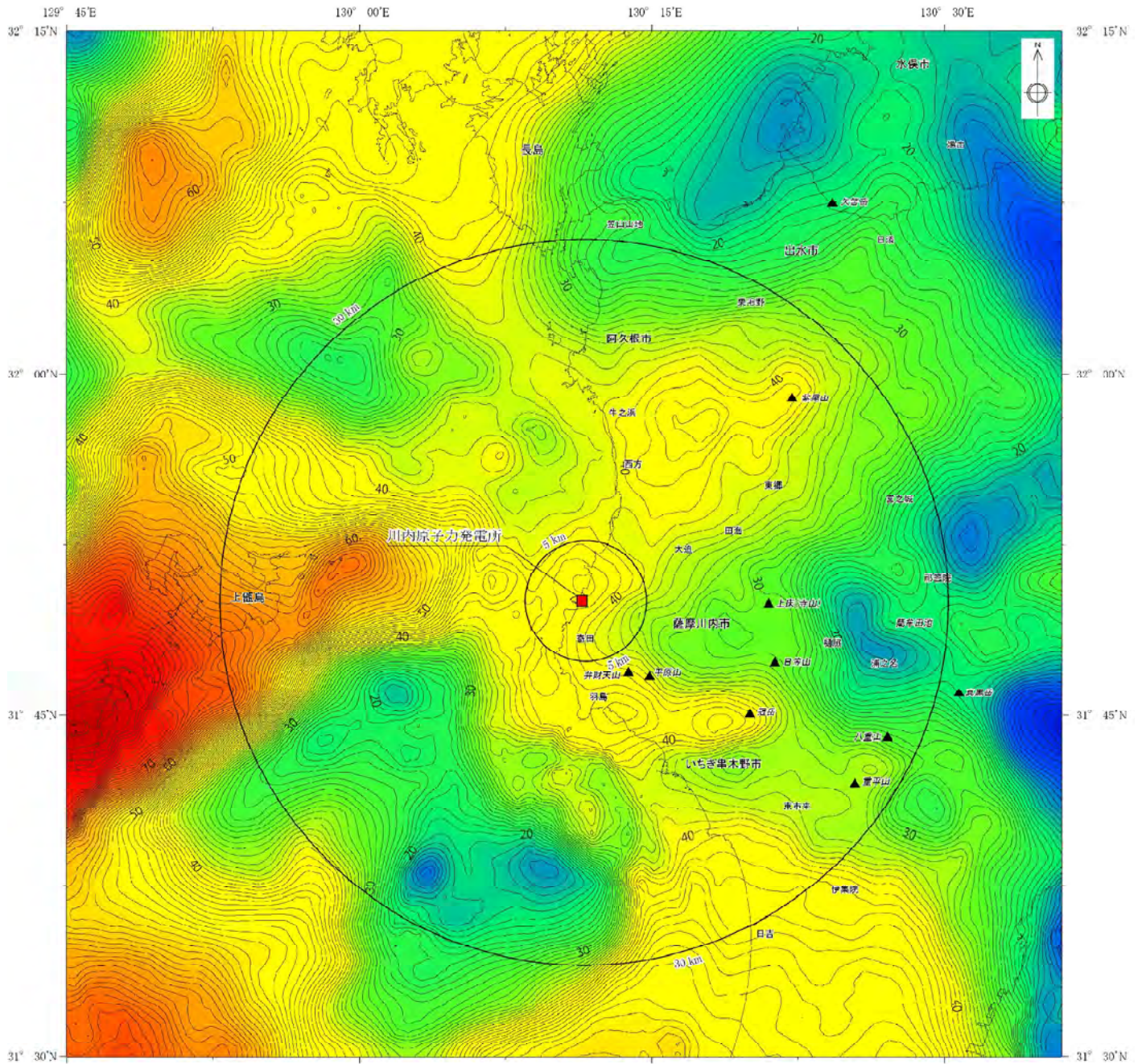




第 1.2-81 図 文献による活断層・リニアメント分布図



第 1.2-82 図 リニアメント分布図



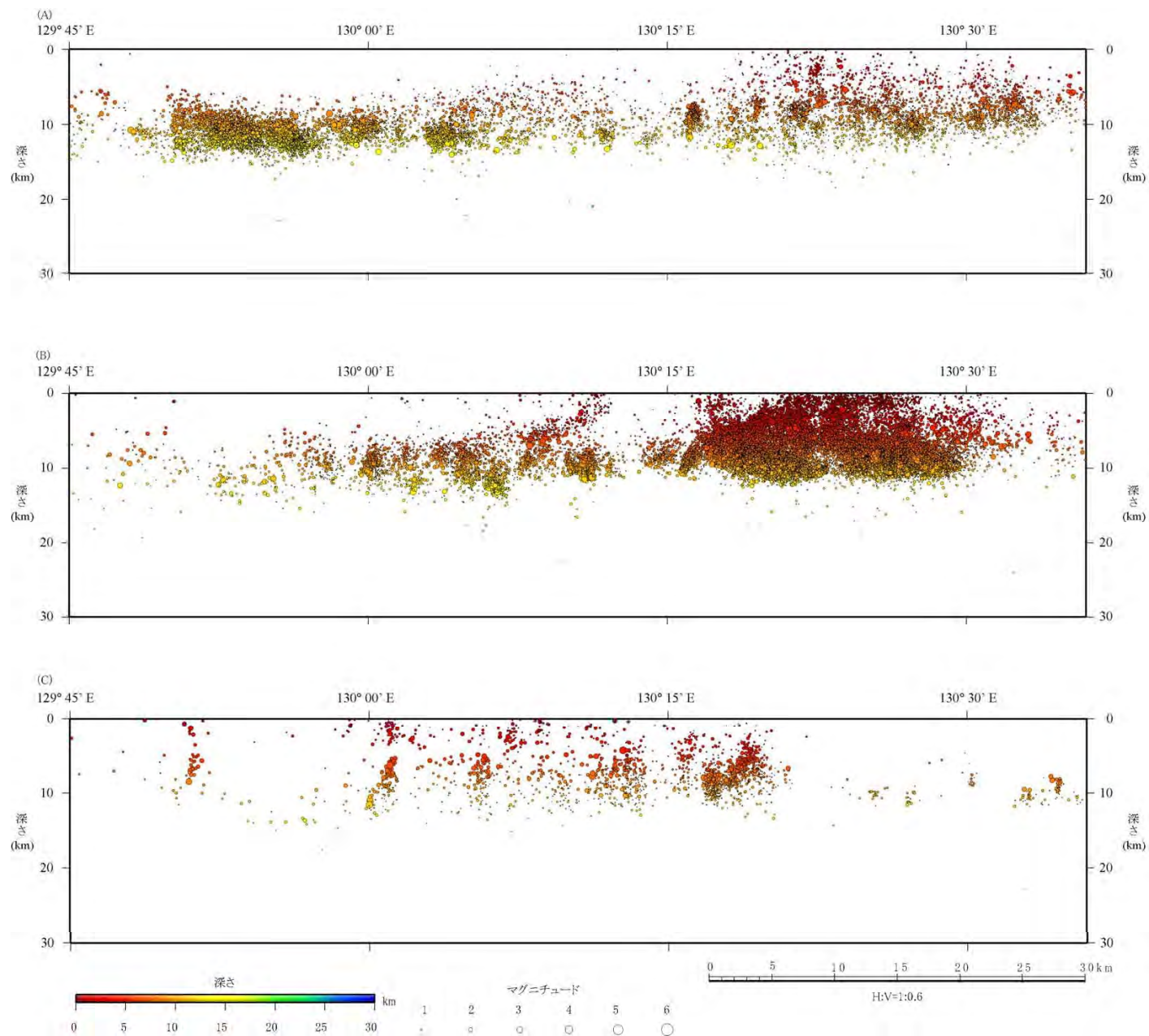
重力異常図は、陸域については、地質調査総合センター編(2013)「日本重力データベースDVD版」、Shichi and Yamamoto (2001) Gravity Database of Southwest Japan (CD-ROM)及びYamamoto et al.(2011) Gravity Database of Japan (CD-ROM)、海域については、日本海洋データセンター(2006)「MGD77データ」及び地質調査所「昭和39年度 GH841, GH843航海による重力データ」を使用。

重力データ測定点分布凡例

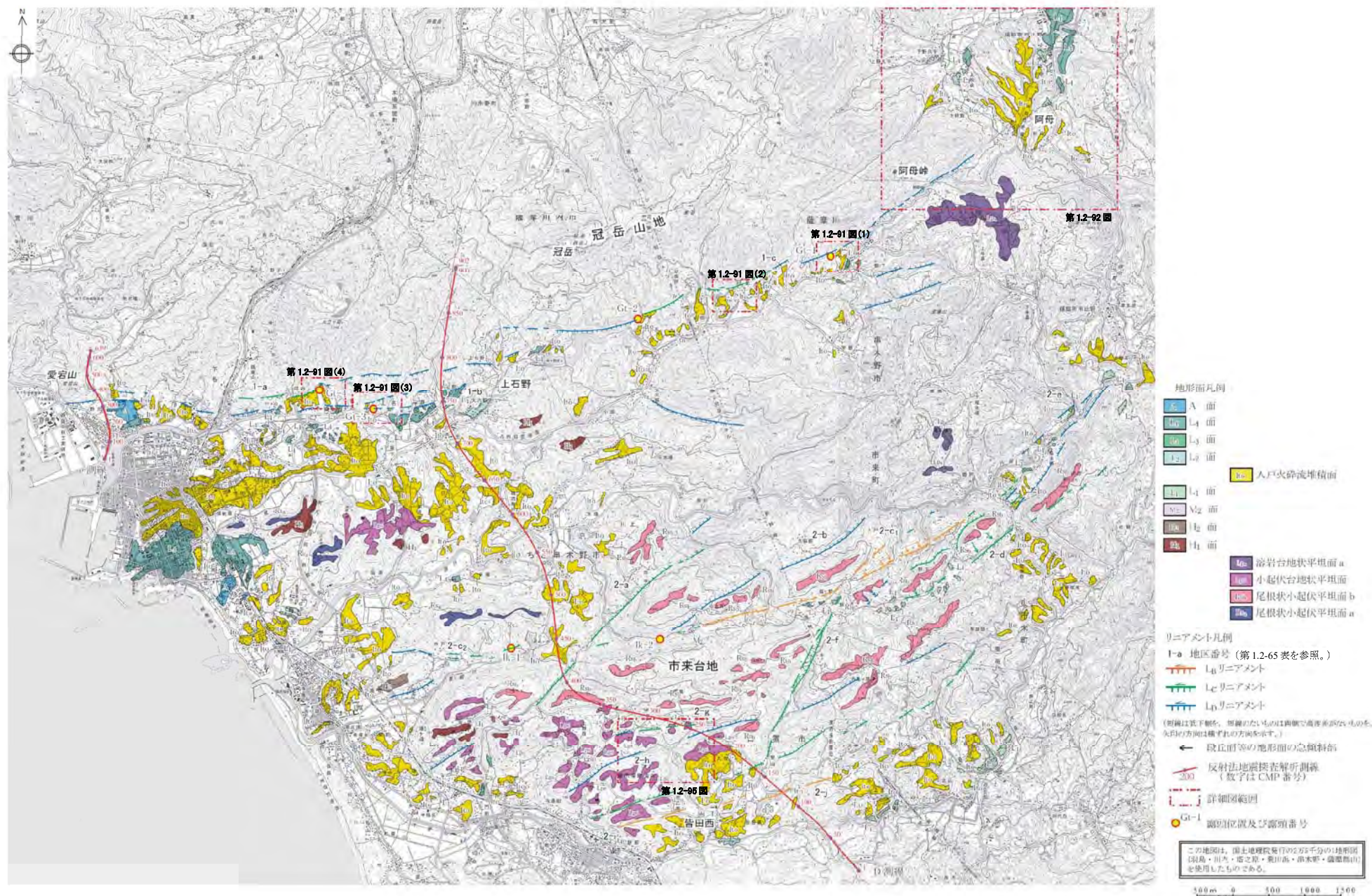
- 日本海洋データセンター
- 地質調査所
- 地質調査総合センター
- Shichi and Yamamoto (2001)
- Yamamoto et al. (2011)

この地図は、国土地理院発行の数値地図25000(長崎・八代・鹿児島)のデータにより作成されたものである。

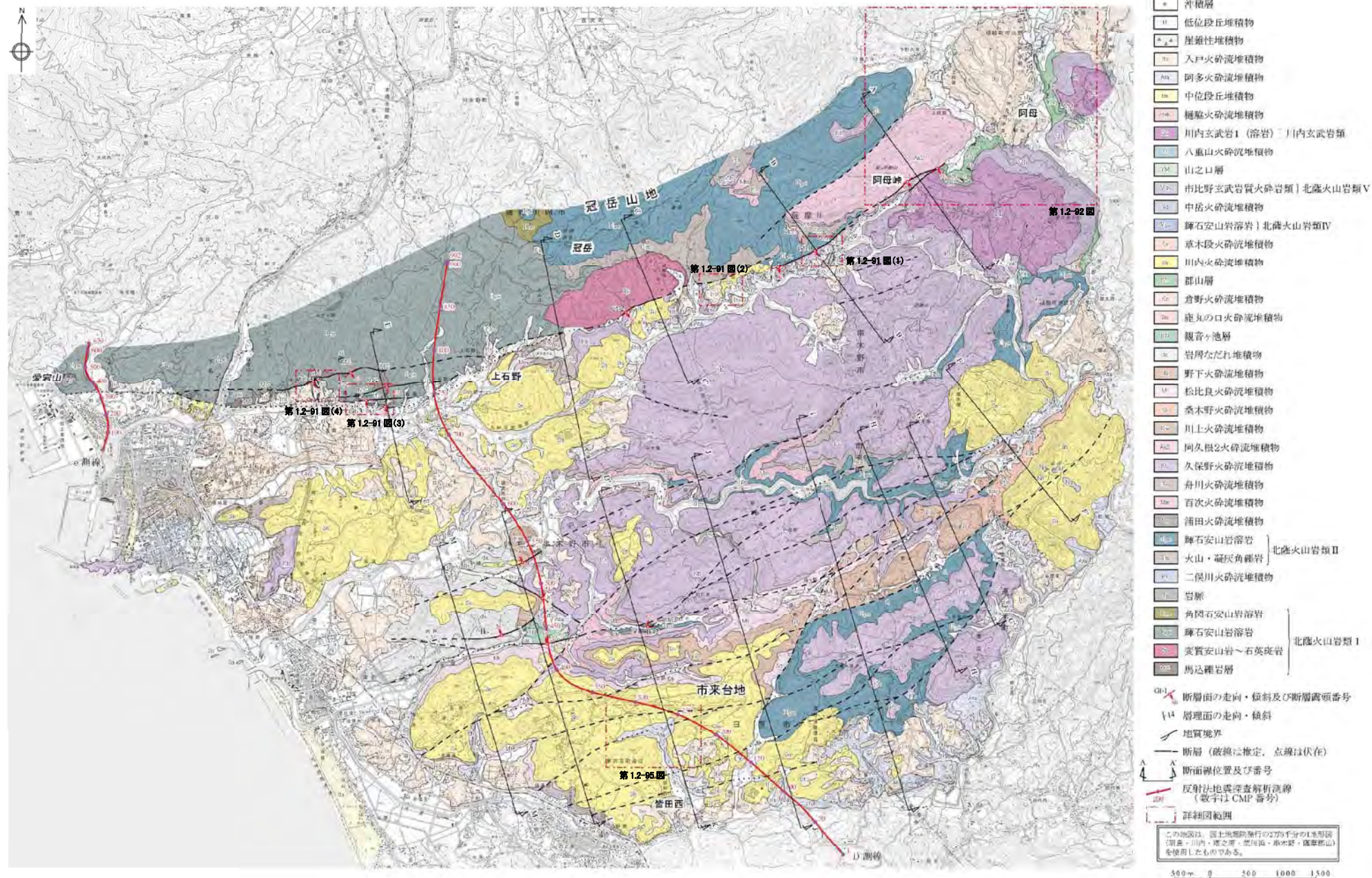
第 1.2-83 図 敷地周辺の重力異常図



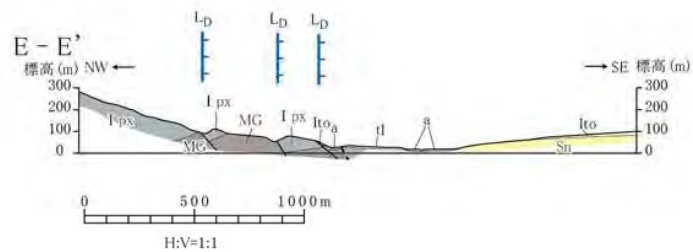
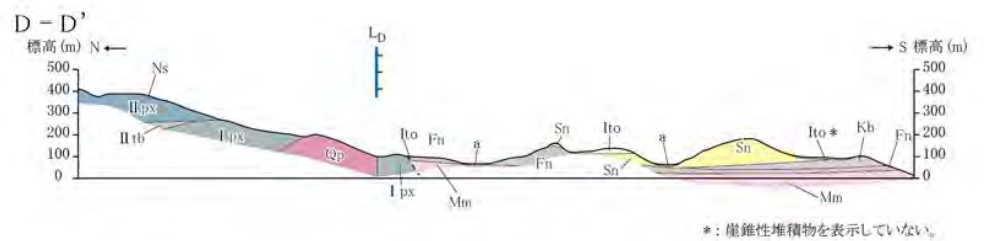
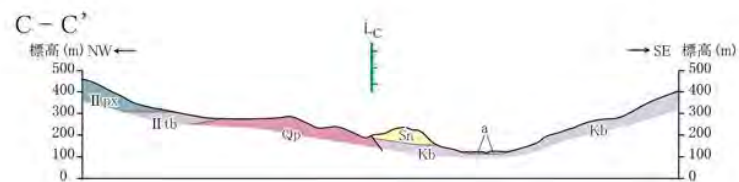
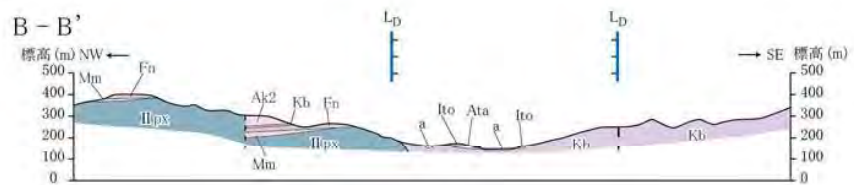
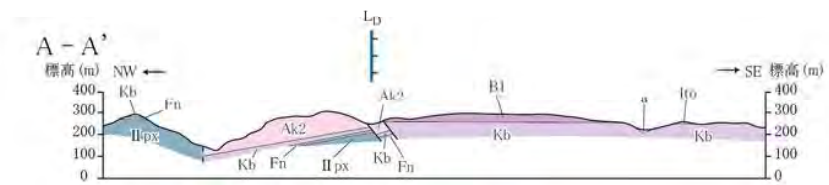
第 1.2-84 図 (2) 敷地周辺の微小地震分布断面図



第 1.2-85 図 市来断層系周辺 (五反田川断層含む) の空中写真判読図

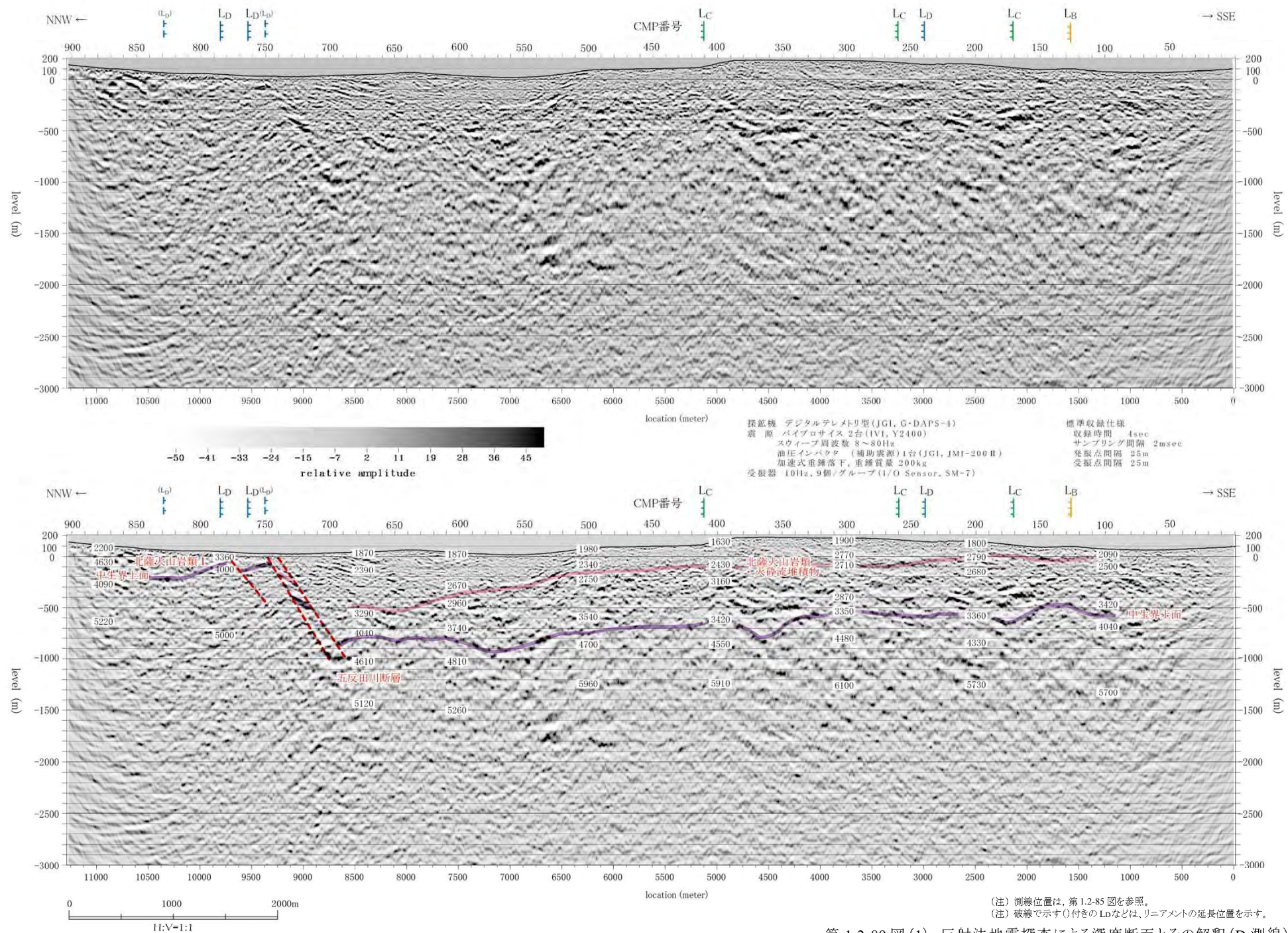


第 1.2-86 図 市来断層系周辺 (五反田川断層含む) の地質図

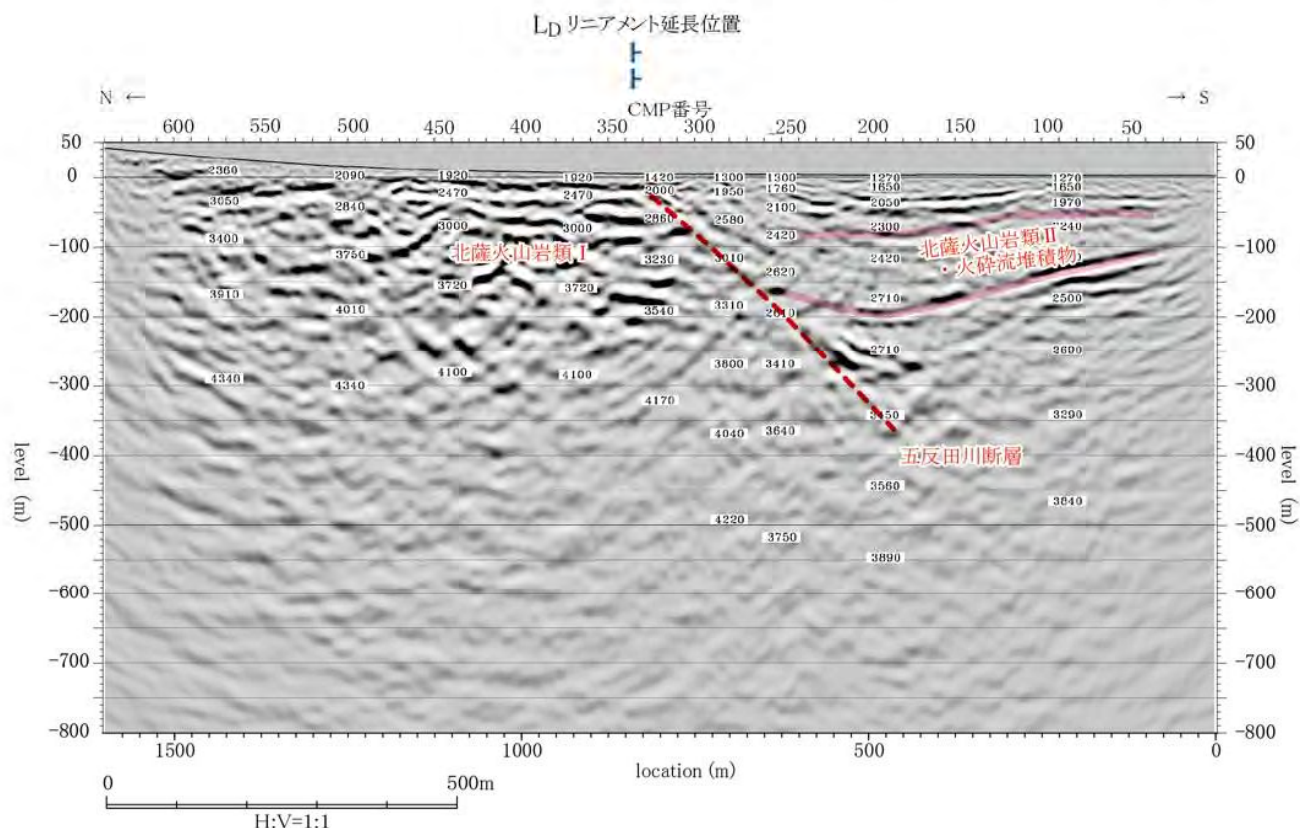
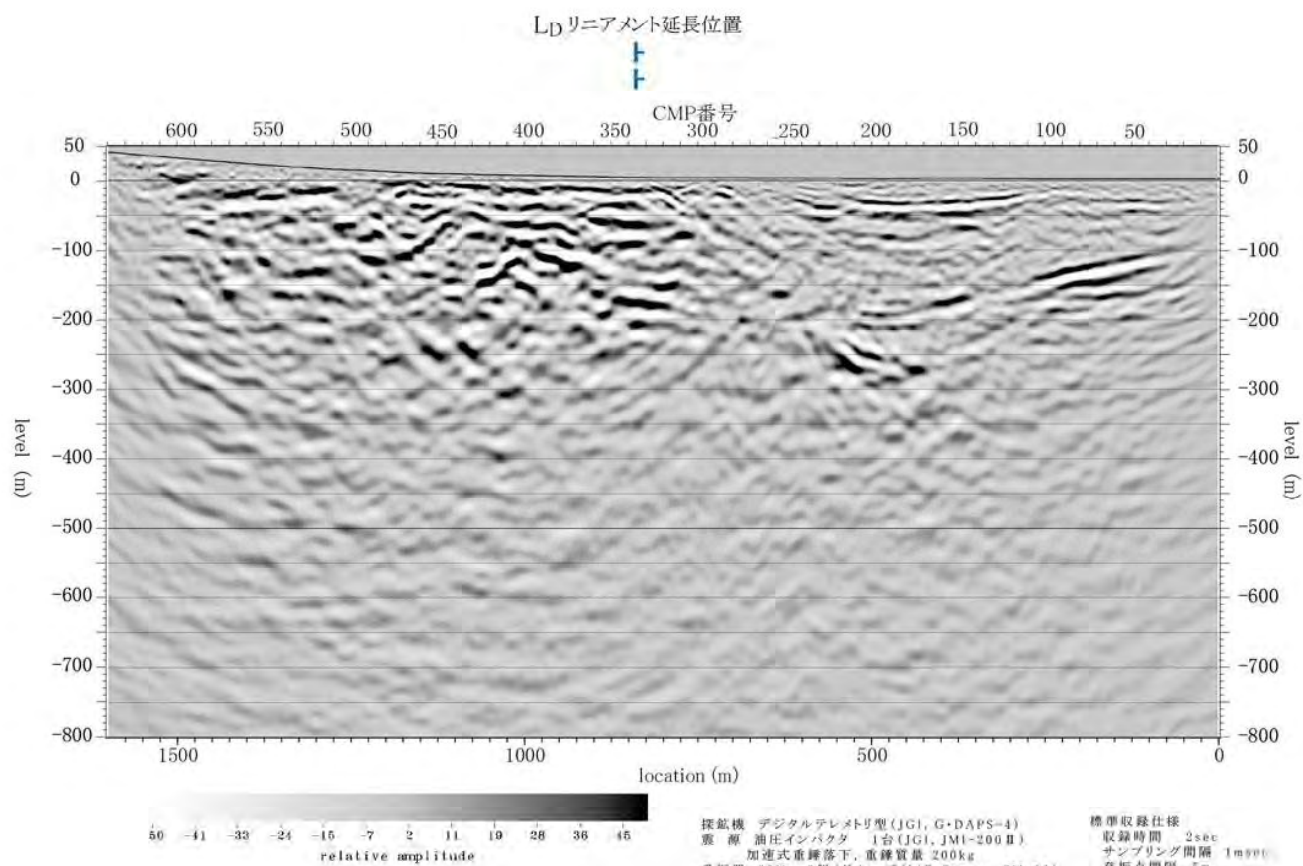


(注) 凡例は、第 1.2-86 図を参照。

第 1.2-87 図 五反田川断層周辺の地質断面図

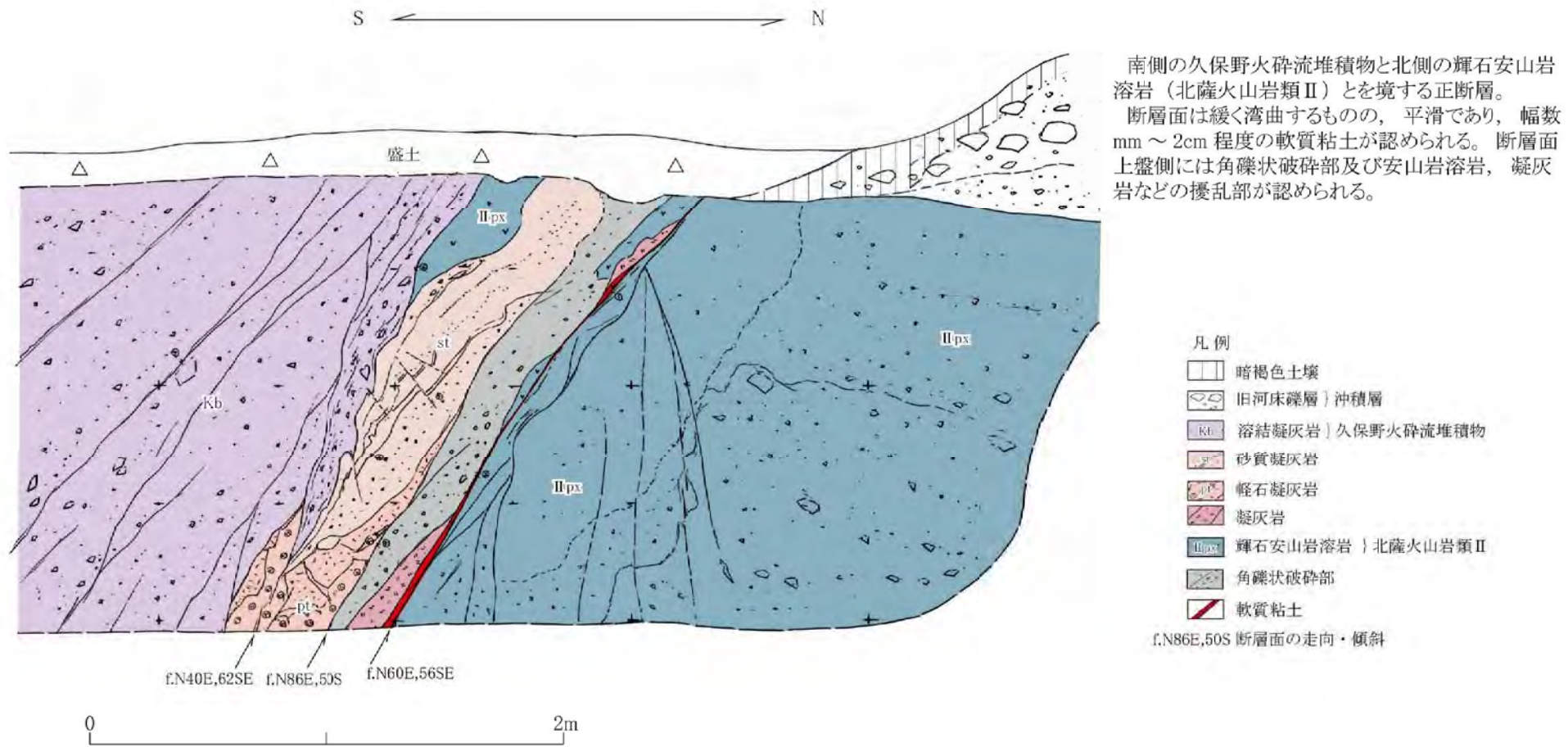


第 1.2-89 図 (1) 反射法地震探査による深度断面とその解釈 (D 測線)

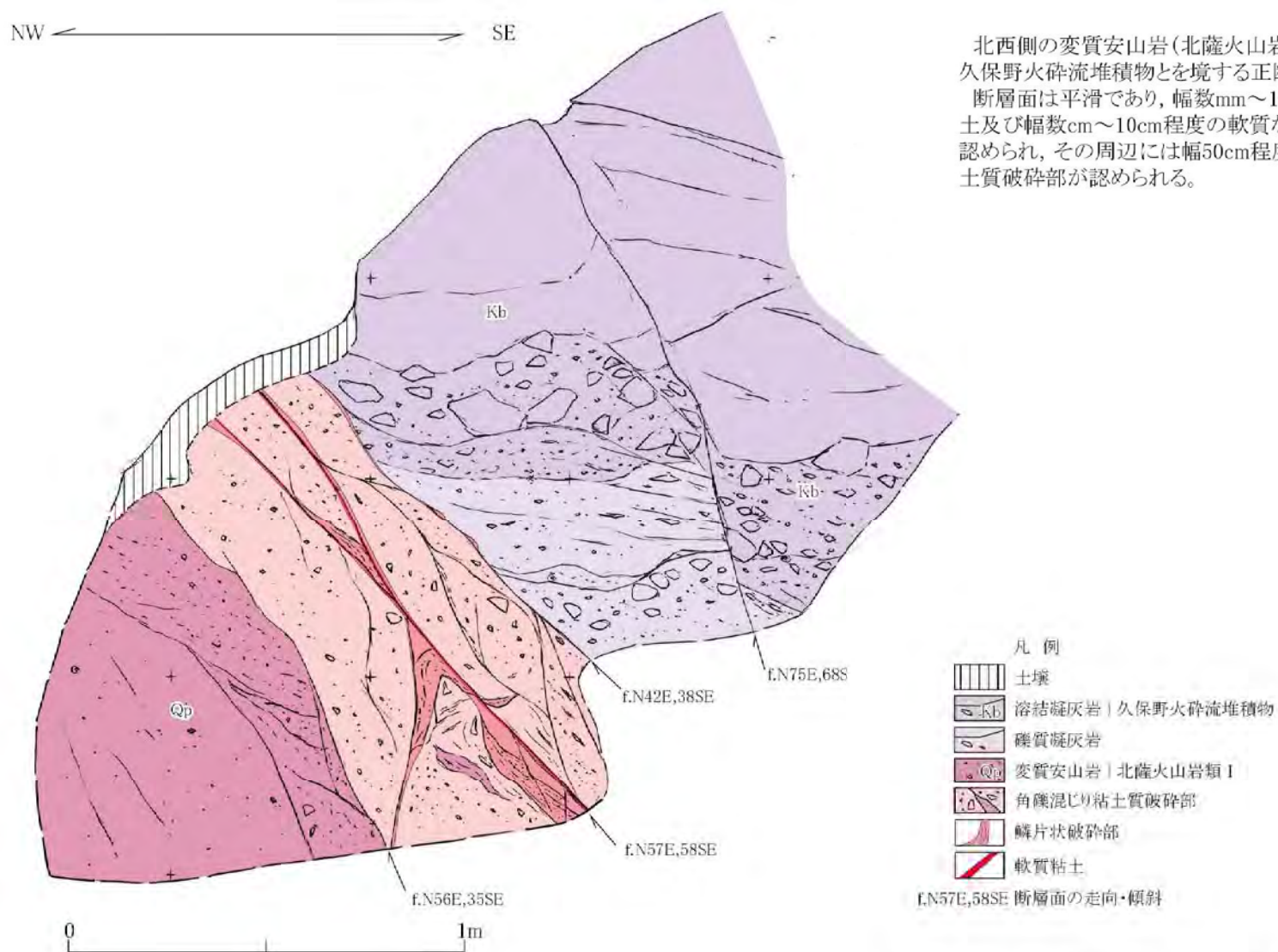


(注) 測線位置は, 第 1.2-85 図を参照。

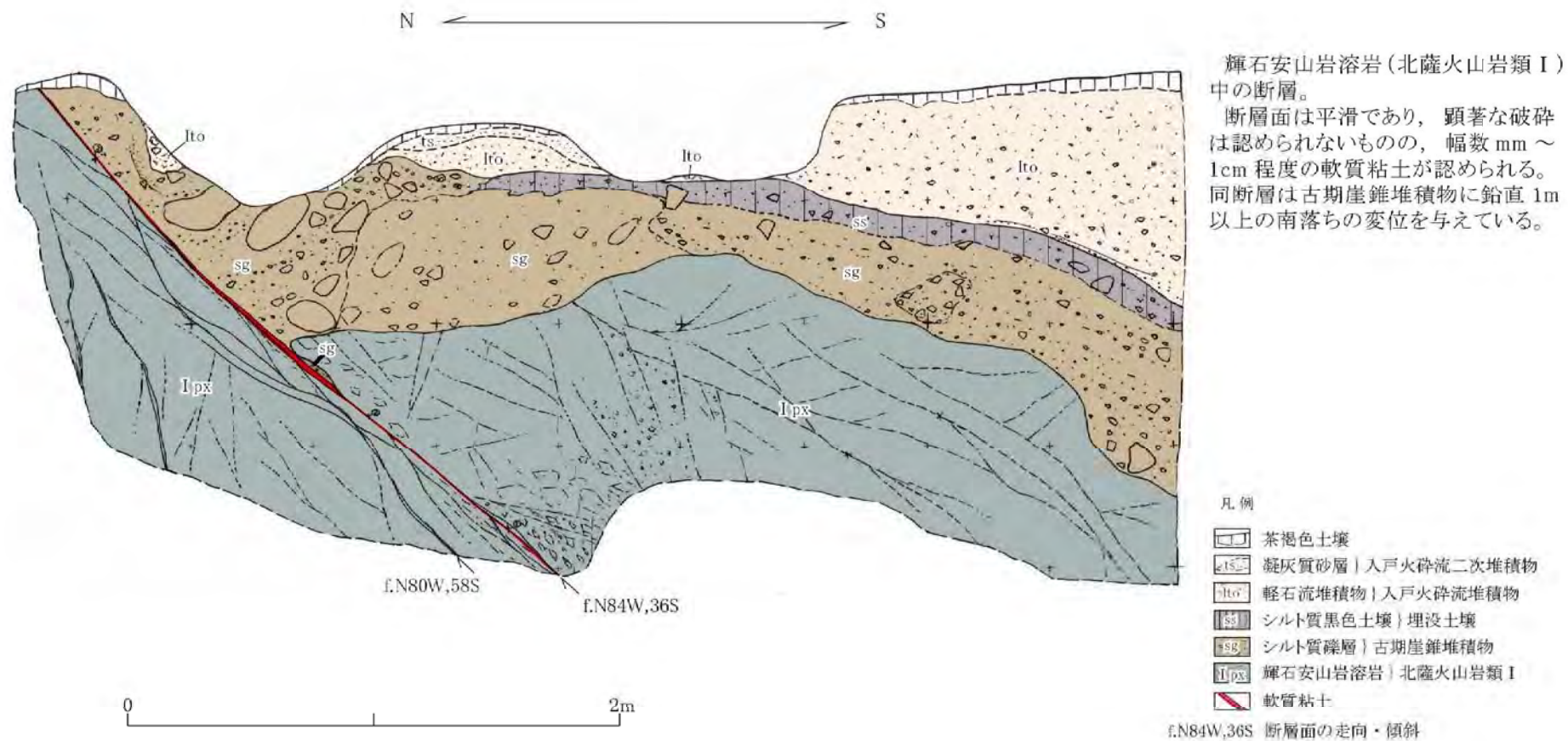
第 1.2-89 図 (2) 反射法地震探査による深度断面とその解釈 (e 測線)



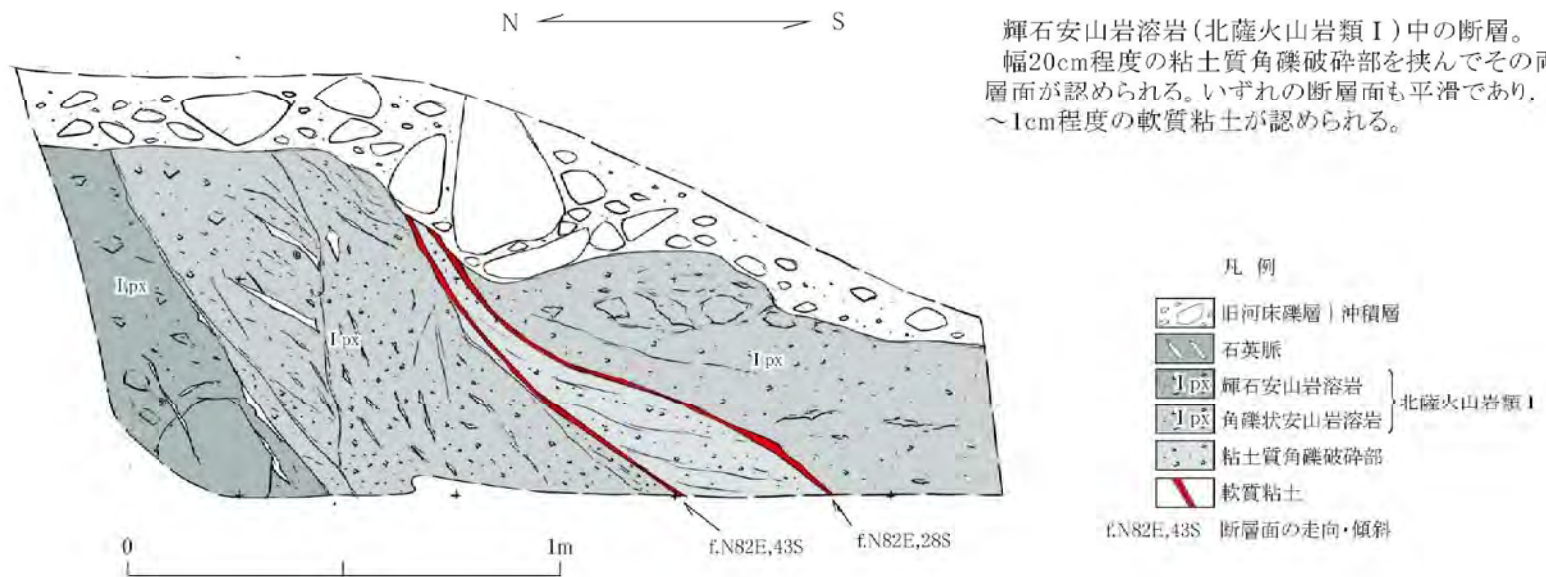
第 1.2-90 図(1) 露頭スケッチ(Loc.Gt-1, 薩摩川内市野下)



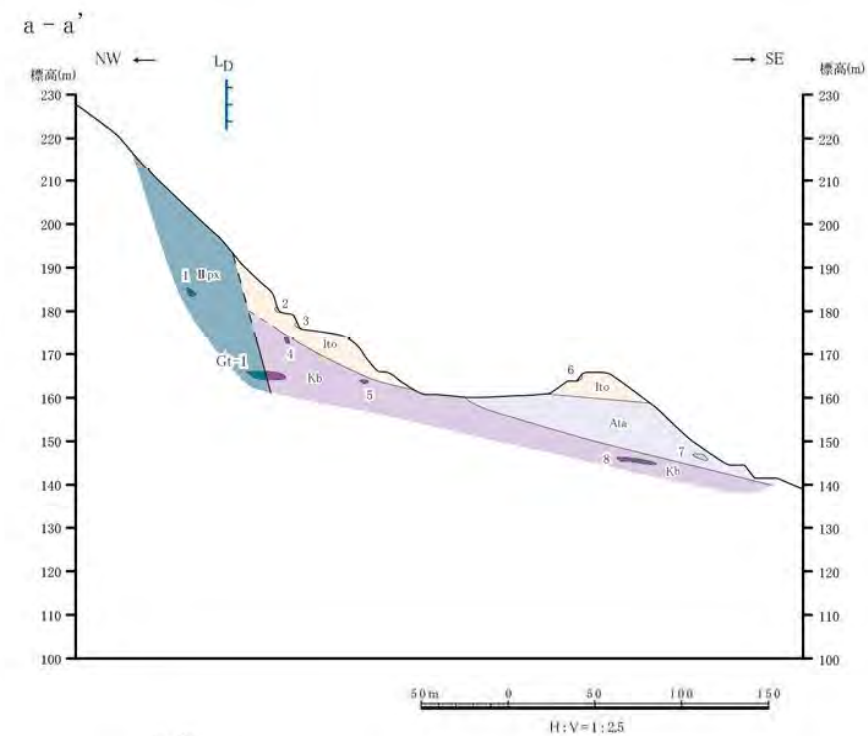
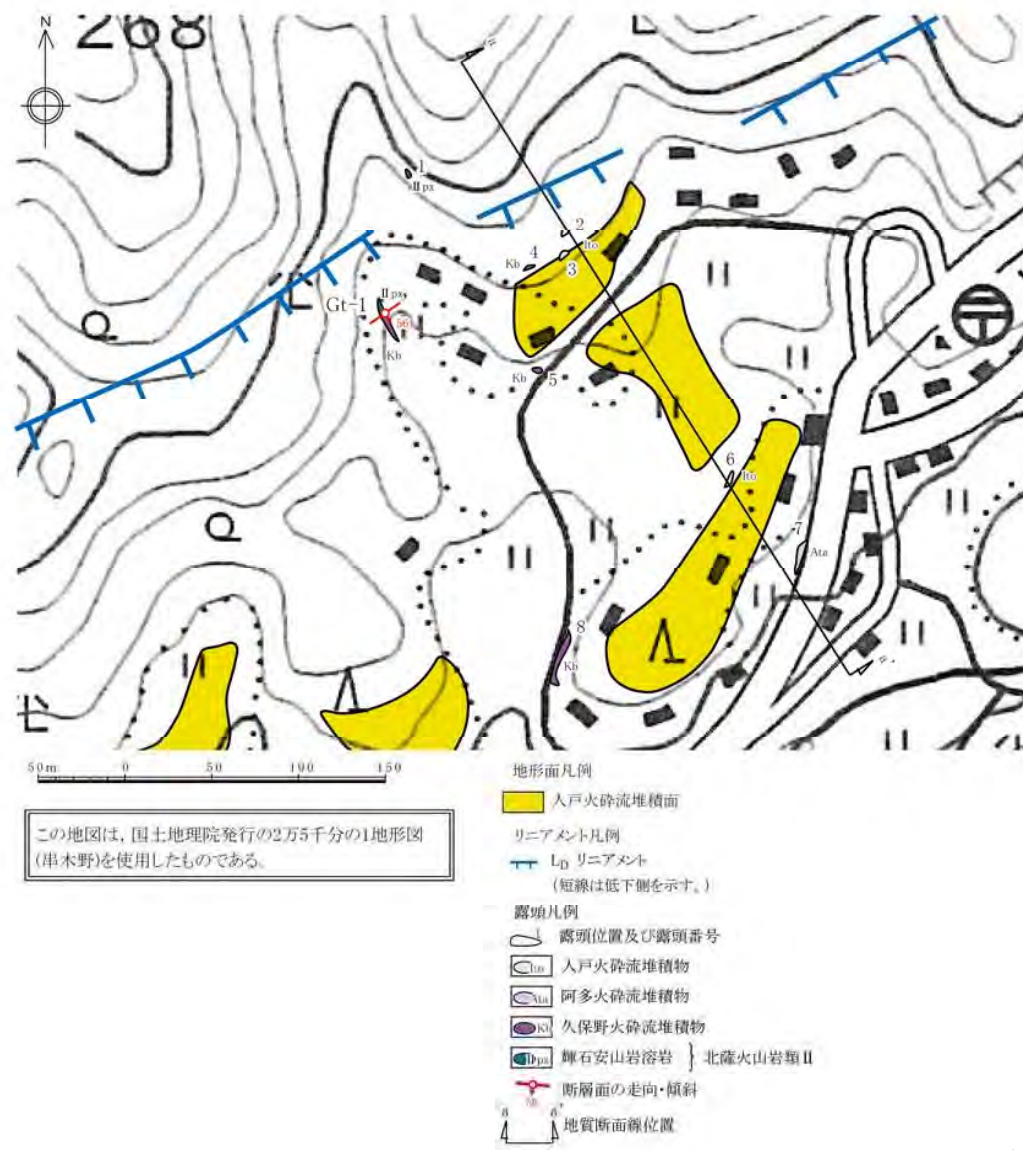
第 1.2-90 図(2) 露頭スケッチ (Loc.Gt-2, いちき串木野市八牟礼)



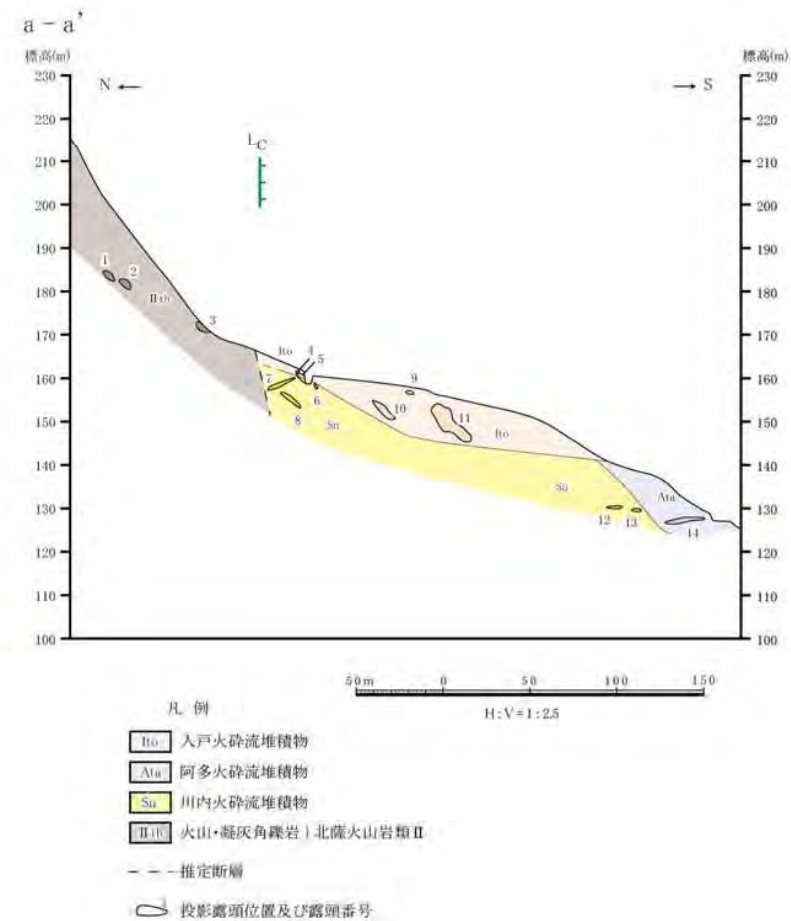
第 1.2-90 図(3) 露頭スケッチ (Loc.Gt-3, いちき串木野市上名)



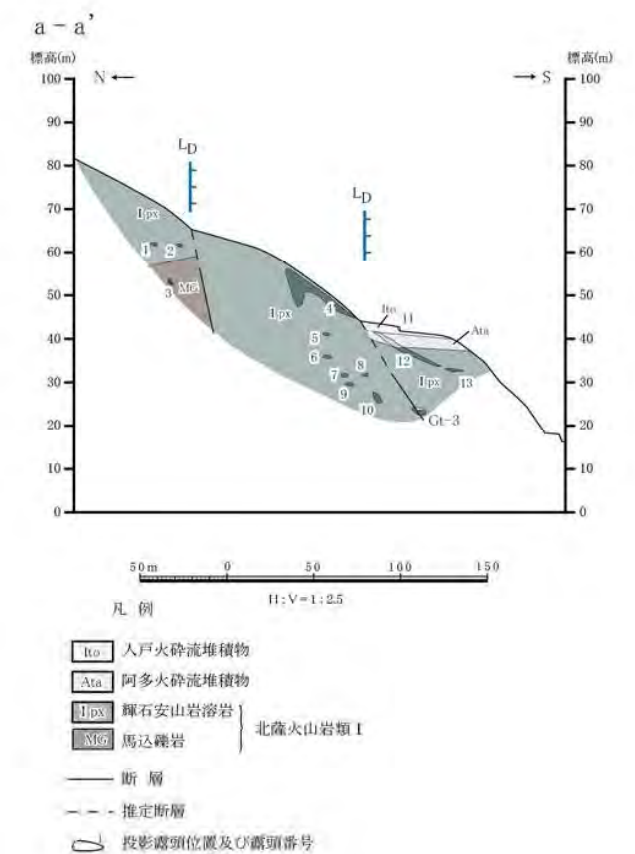
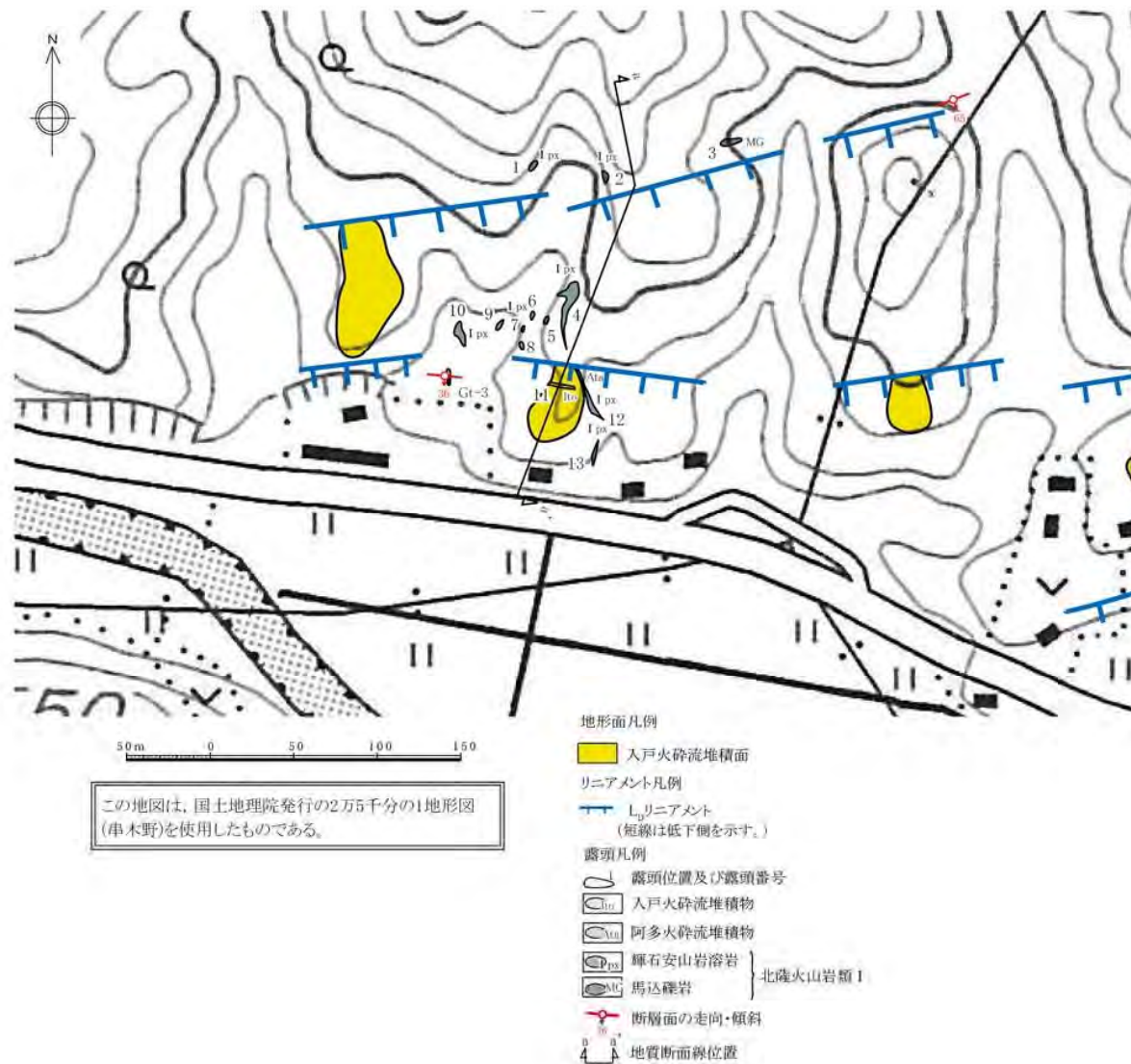
第 1.2-90 図(4) 露頭スケッチ (Loc.Gt-4, いちき串木野市河内)



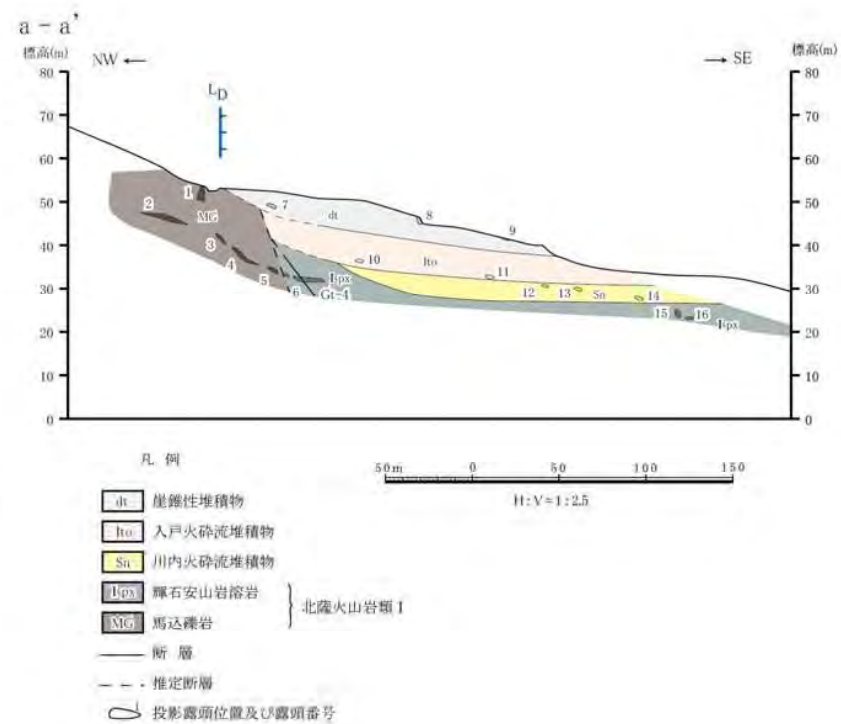
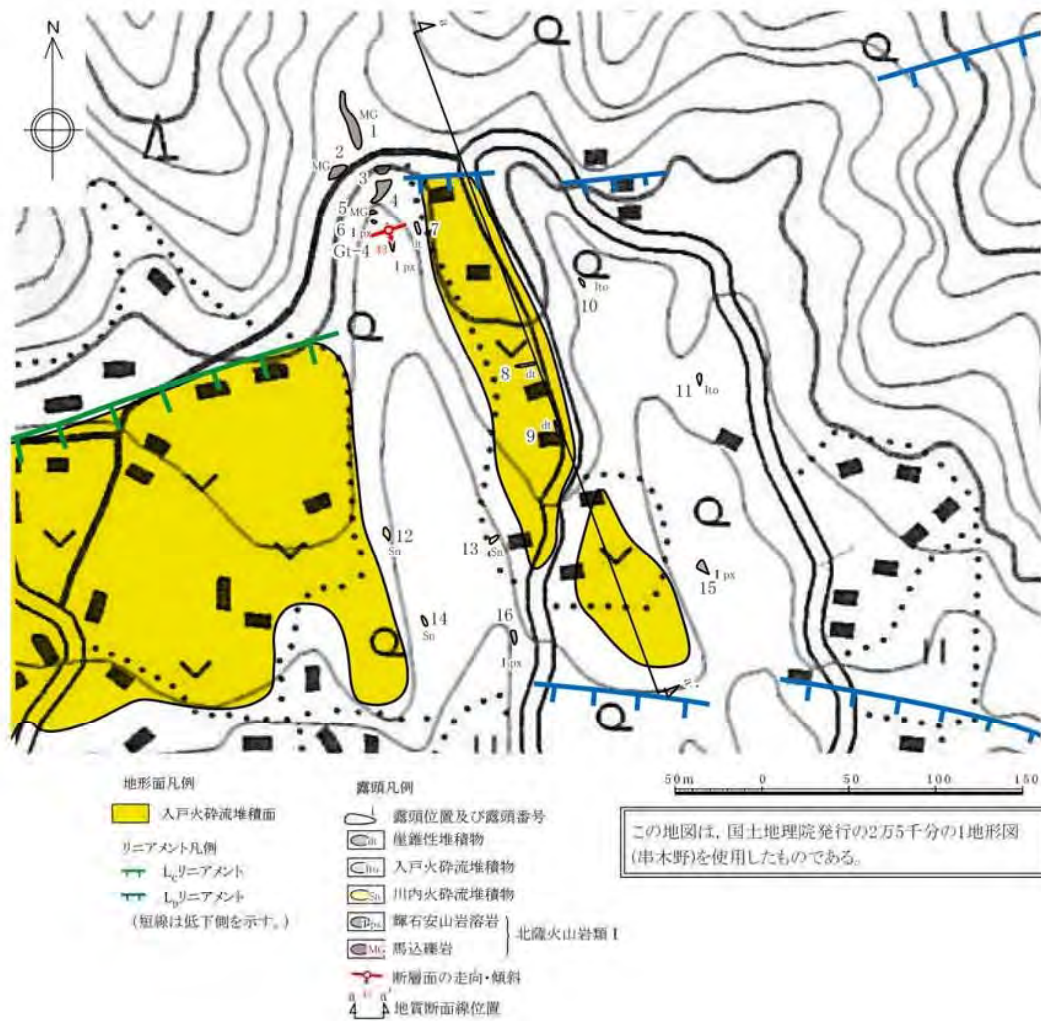
第 1.2-91 図(1) ルートマップ・地質断面図(薩摩川内市野下付近)



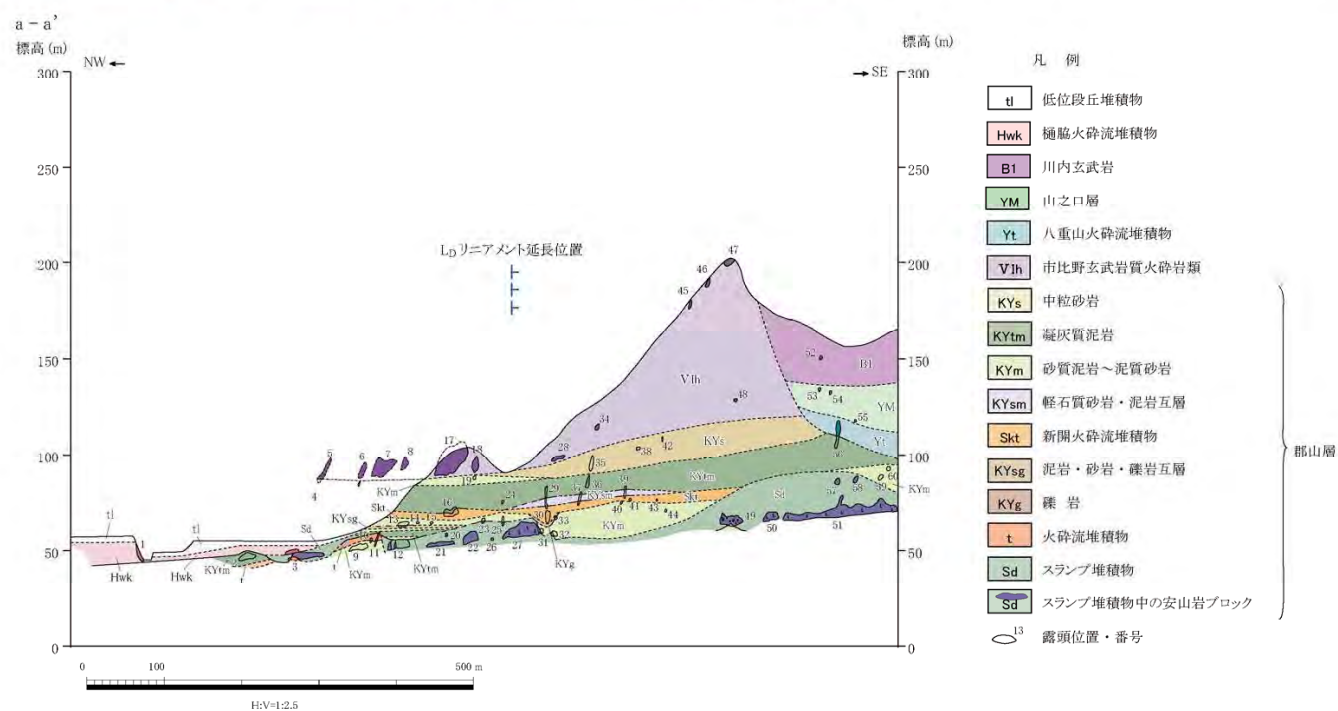
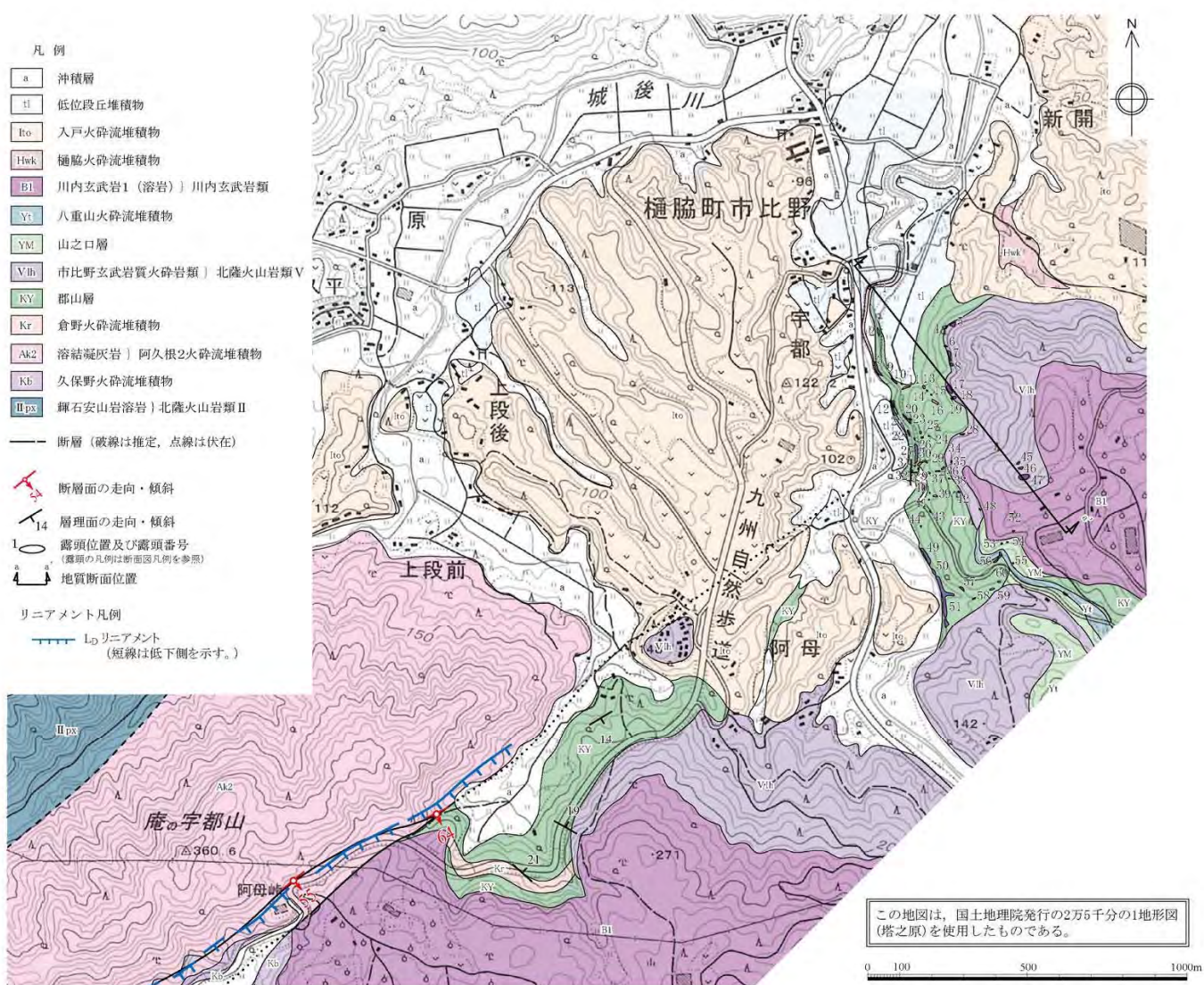
第 1.2-91 図(2) ルートマップ・地質断面図(いちき串木野市岩下付近)



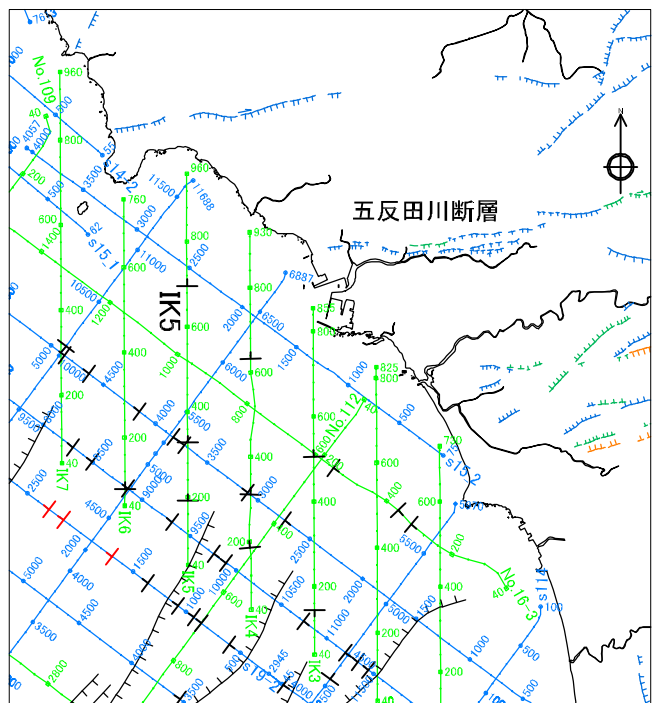
第 1.2-91 図 (3) ルートマップ・地質断面図 (いちき串木野市馬込付近)



第 1.2-91 図(4) ルートマップ・地質断面図(いちき串木野市河内付近)



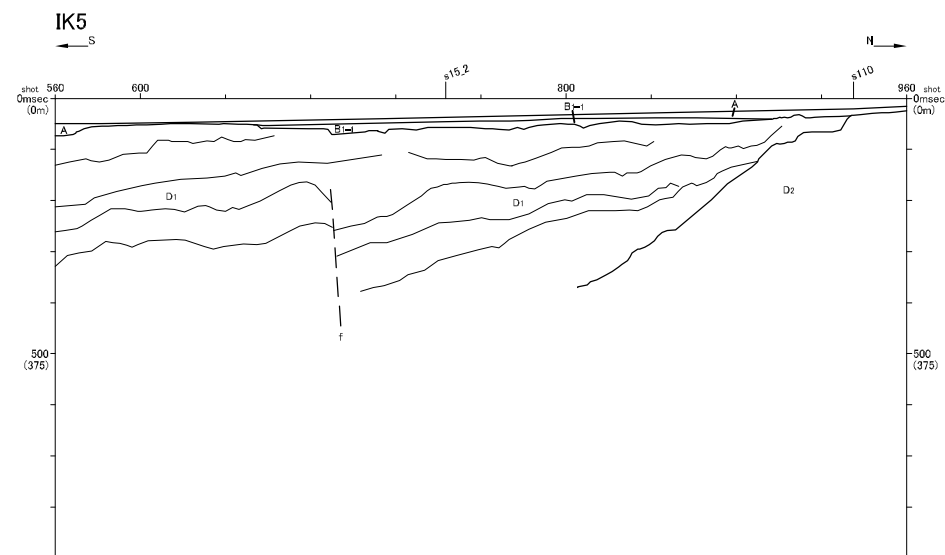
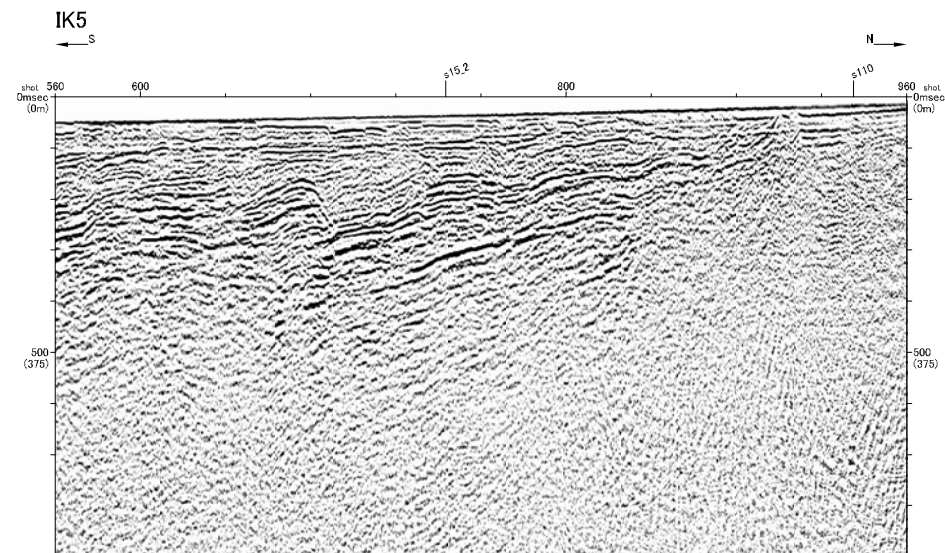
第 1.2-92 図 ルートマップ・地質断面図（薩摩川内市阿母付近）



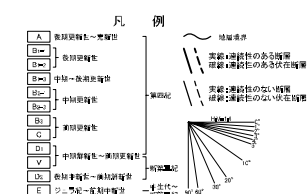
五反田川断層位置図

凡 例

- | | | | |
|--|--|--|-----------------------|
| | 連続性のある断層 | | L _B リニアメント |
| | 連続性のある伏在断層 | | L _C リニアメント |
| | 連続性のない断層 | | L _D リニアメント |
| | 連続性のない伏在断層 | | |
| | 九州電力株によるマルチチャンネル音波探査測線
(G I ガン、ウォーターガン) | | |
| | 九州電力株によるシングルチャンネル音波探査測線
(ウォーターガン、スパーカ) | | |

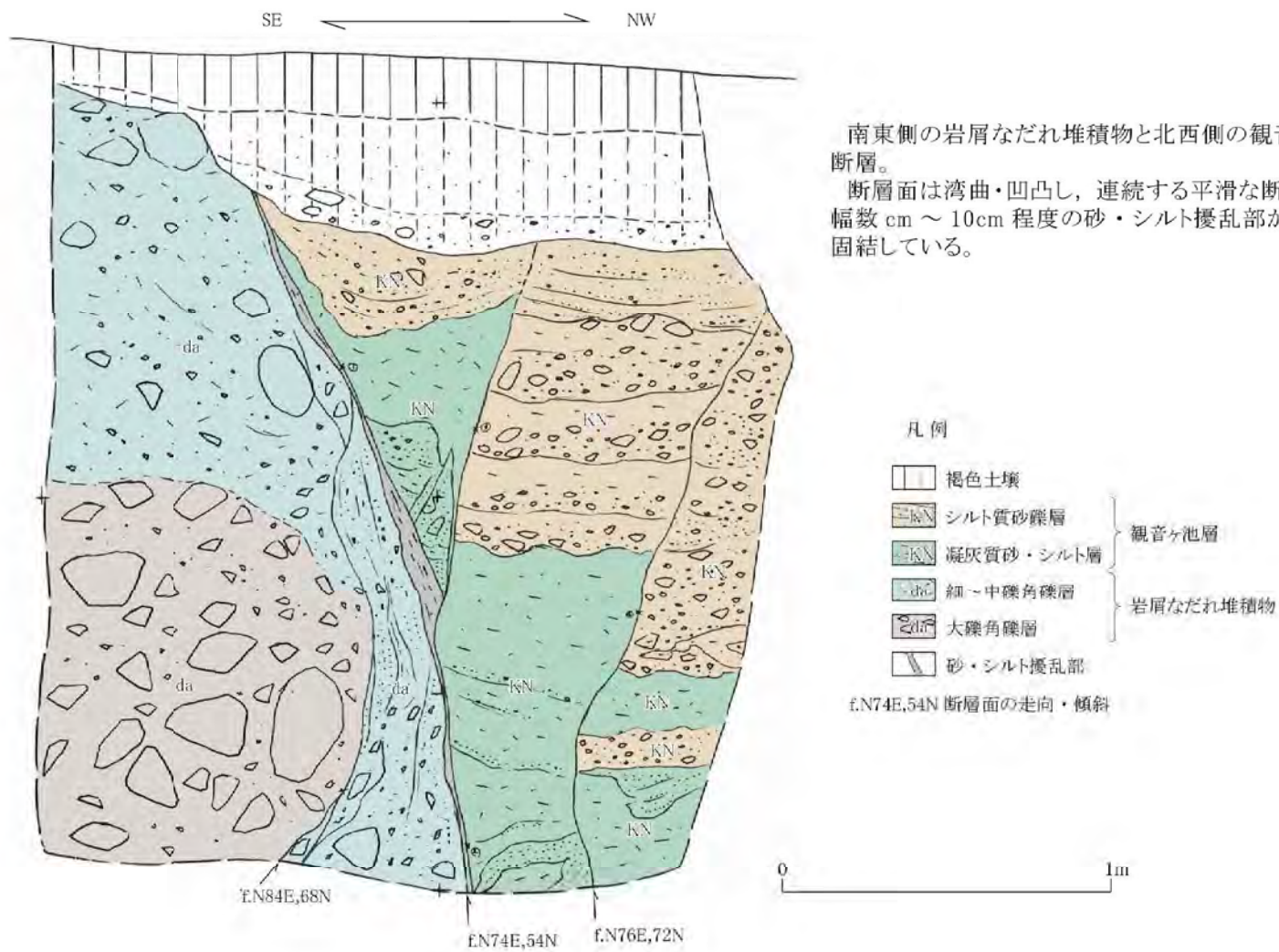


音波探査記録断面図

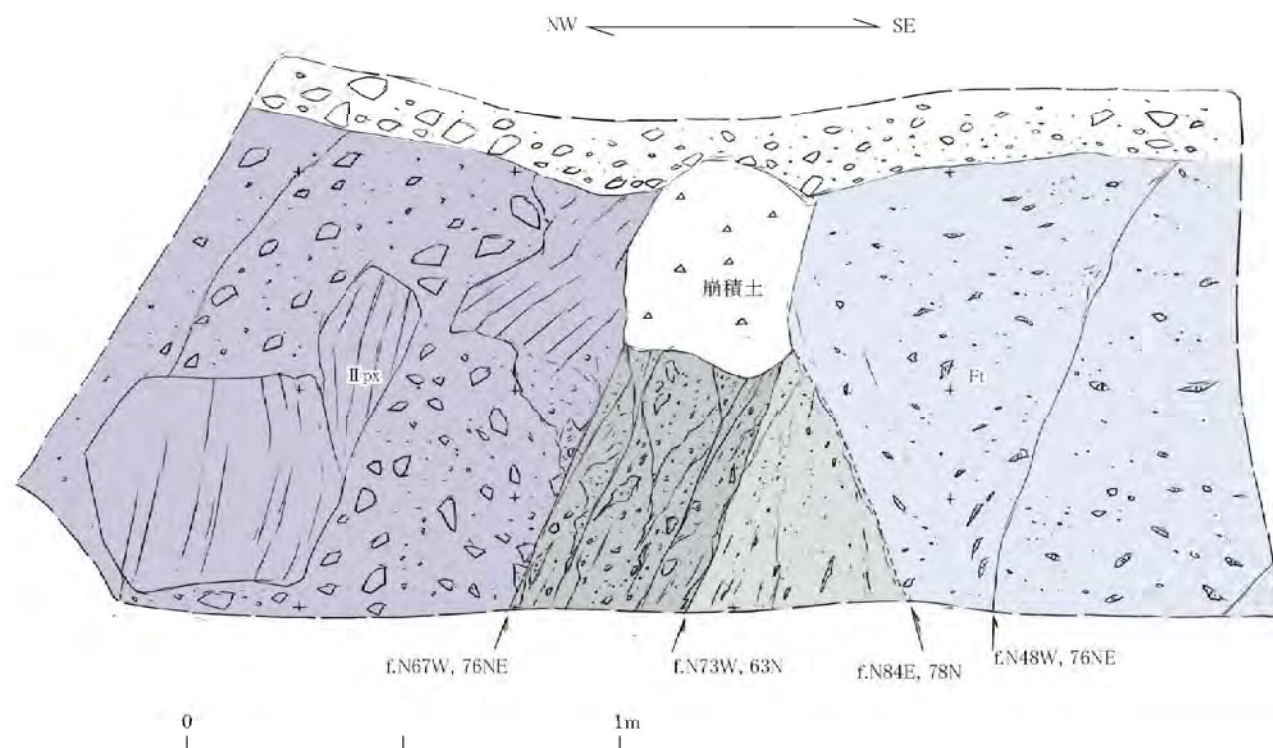


水涯線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤(鹿児島)を編集したものである。

第1.2-93図 五反田川断層海域延長部 (IK5測線)



第 1.2-94 図(1) 露頭スケッチ (Loc.1k-1, いちき串木野市観音ヶ池西方)



北西側の輝石安山岩自破砕溶岩(北薩火山岩類Ⅱ)と南東側の二俣川火砕流堆積物とを境する正断層。

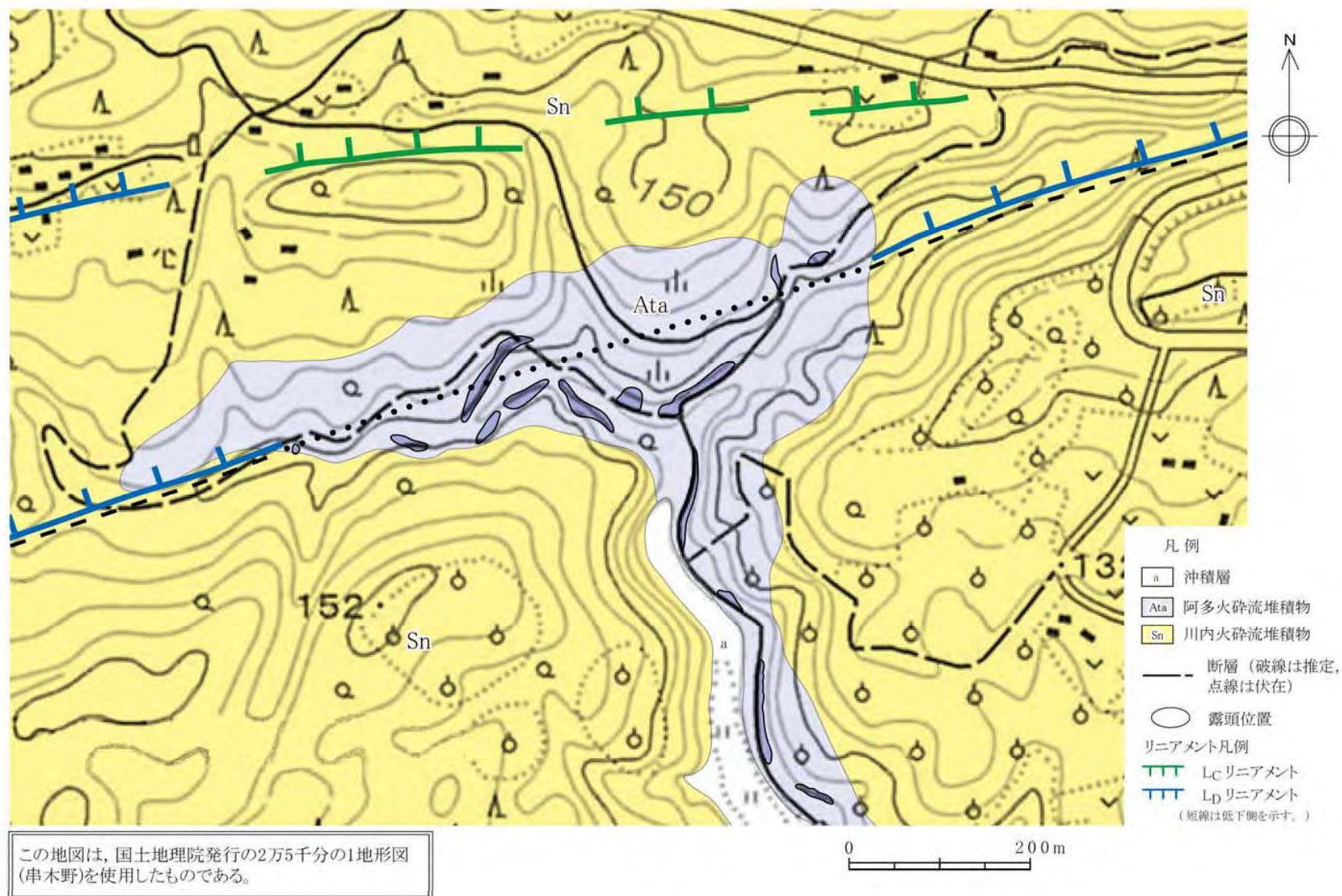
断層面は一部で平滑であるが、細かく凹凸するところも多く、いずれも癒着しており、破碎部も固結している。

凡 例

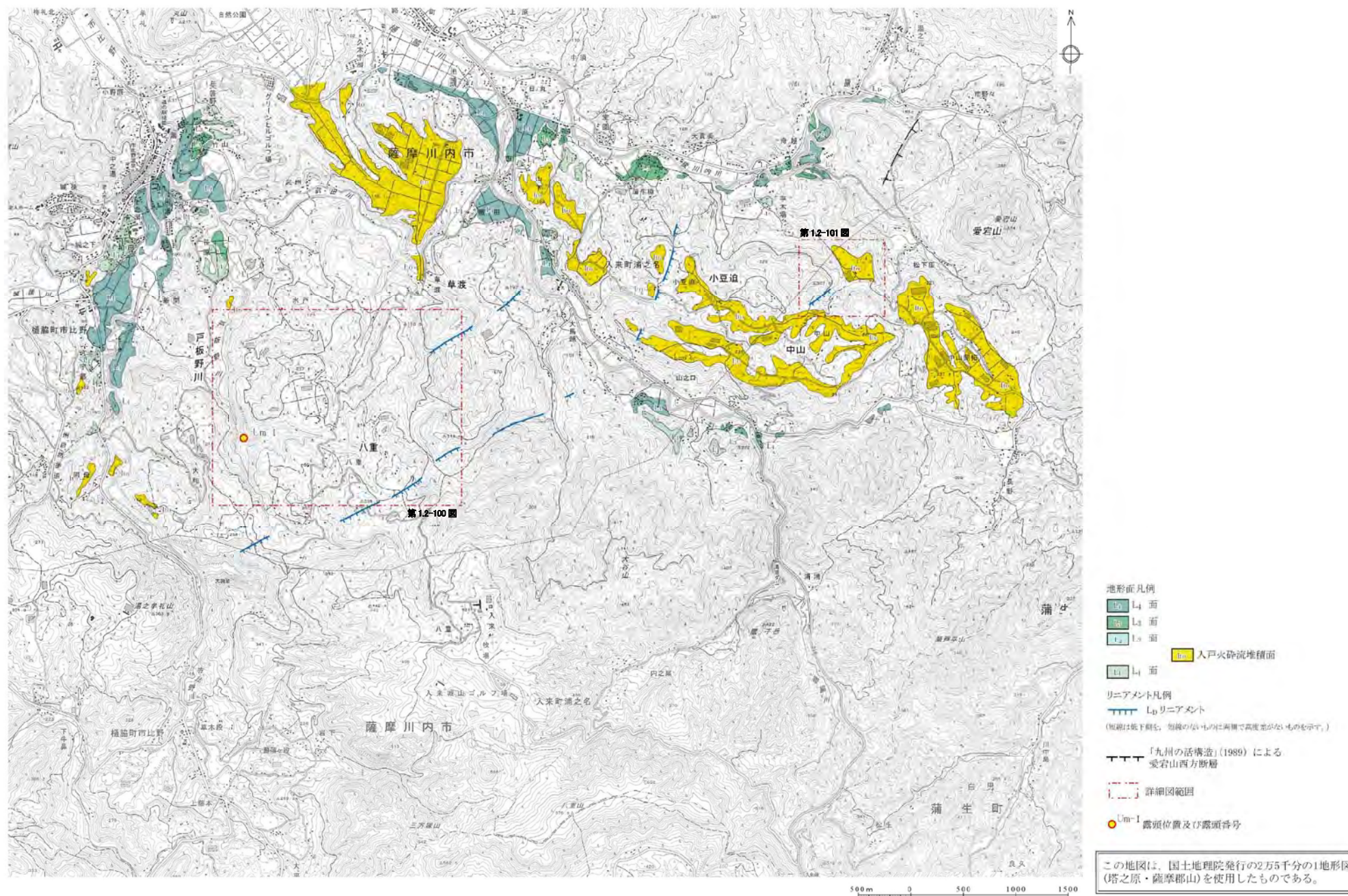
- 旧河床礫層 | 沖積層
- 輝石安山岩自破砕溶岩 | 北薩火山岩類Ⅱ
- 弱溶結凝灰岩 | 二俣川火砕流堆積物
- 輝石安山岩溶岩角礫状破碎部
- 溶結凝灰岩角礫状破碎部

f.N73W, 63N 断層面の走向・傾斜

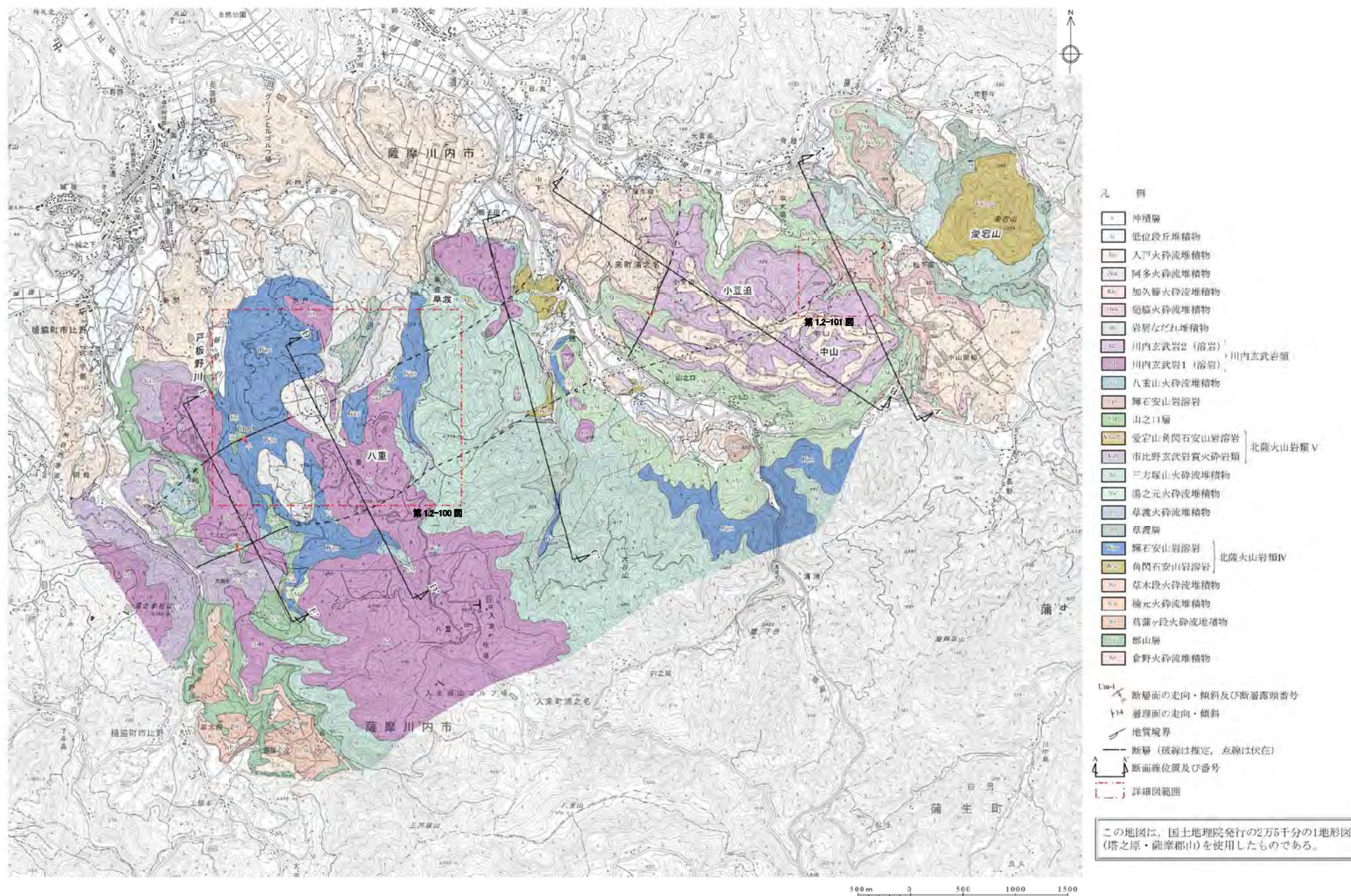
第 1.2-94 図(2) 露頭スケッチ (Loc. Ik-2, いちき串木野市松比良南西)



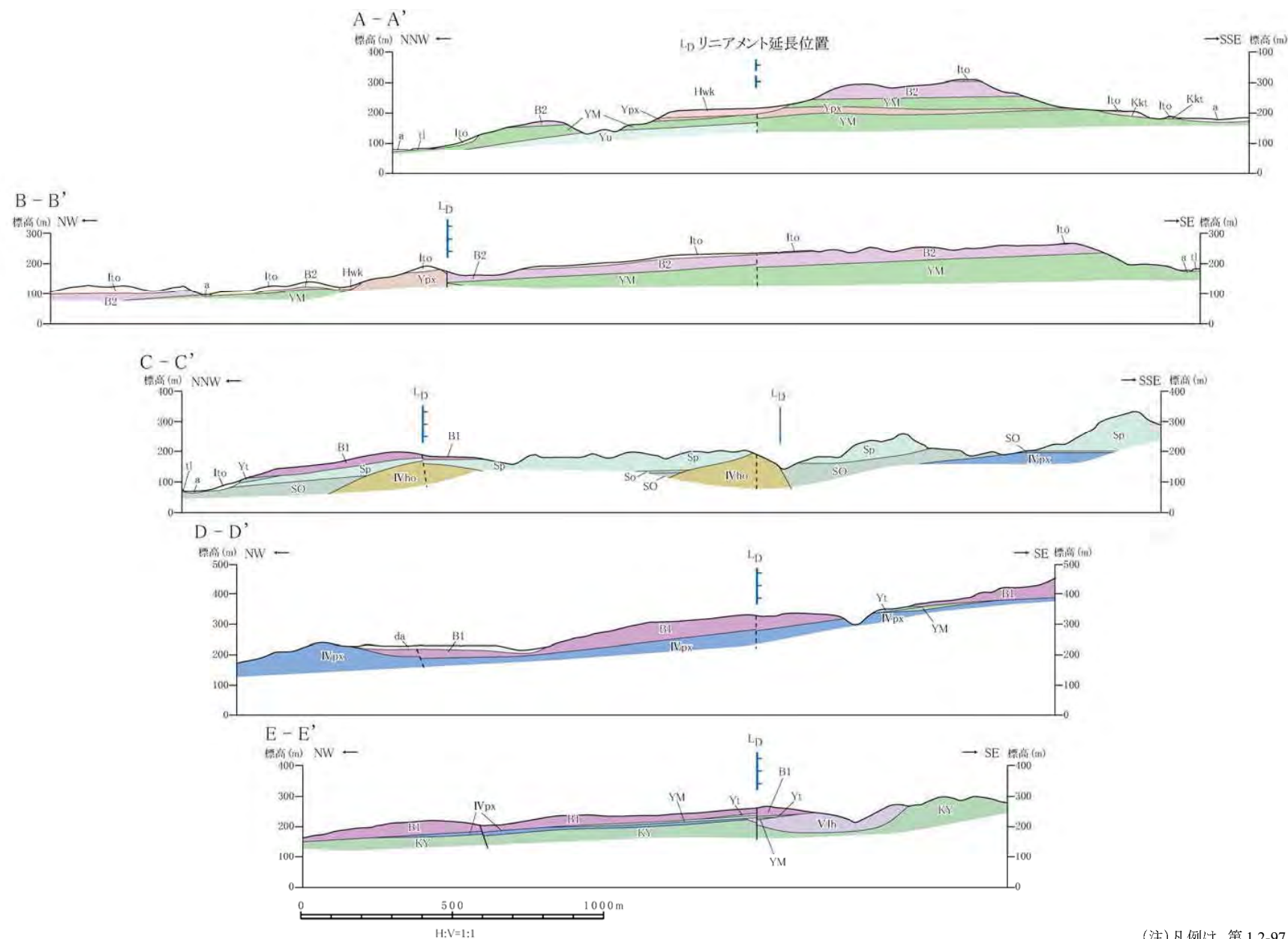
第 1.2-95 図 ルートマップ(日置市皆田西北方付近)



第 1.2-96 図 浦之名断層系周辺の空中写真判読図



第 1.2-97 図 浦之名断層系周辺の地質図



(注) 凡例は、第 1.2-97 図を参照。

第 1.2-98 図 浦之名断層系周辺の地質断面図



南側の輝石安山岩溶岩（北薩火山岩類Ⅳ）と北側の郡山層とを境する正断層。

郡山層の凝灰質シルト岩中の断層面は、平面的であるが、癒着しており、破碎部は認められない。輝石安山岩溶岩（同火山岩類Ⅳ）と郡山層とを境する断層面沿いには、安山岩・シルト岩擾乱部が認められるものの、固結している。

凡例

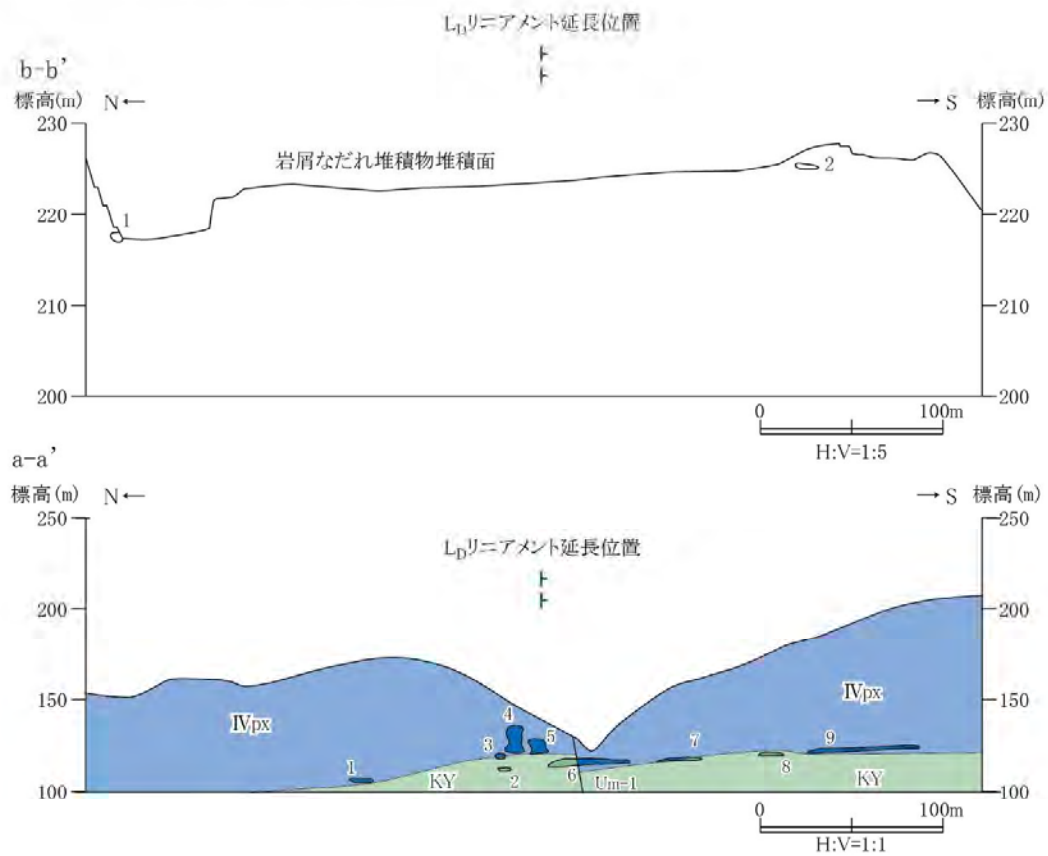
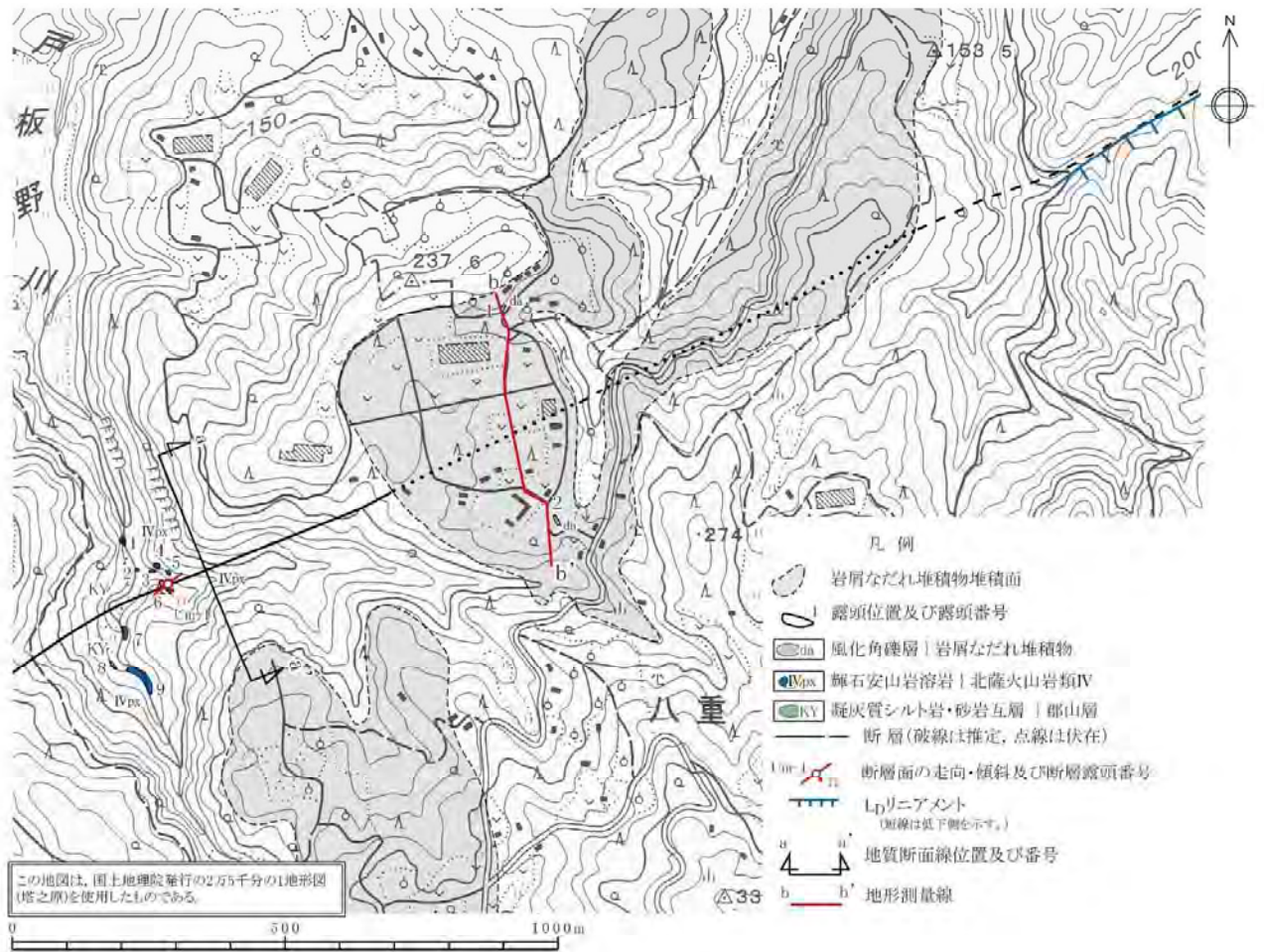
- 黑色土壌
 - 不固結層
 - 亜円礫層 | 段丘堆積物
 - 塊状輝石安山岩溶岩
 - 輝石安山岩自破碎状溶岩
 - 火山灰層
 - 凝灰質シルト岩
 - 安山岩・シルト岩擾乱部
- } 北薩火山岩類Ⅳ
 } 郡山層

f.N77E,80S 断層面の走向・傾斜

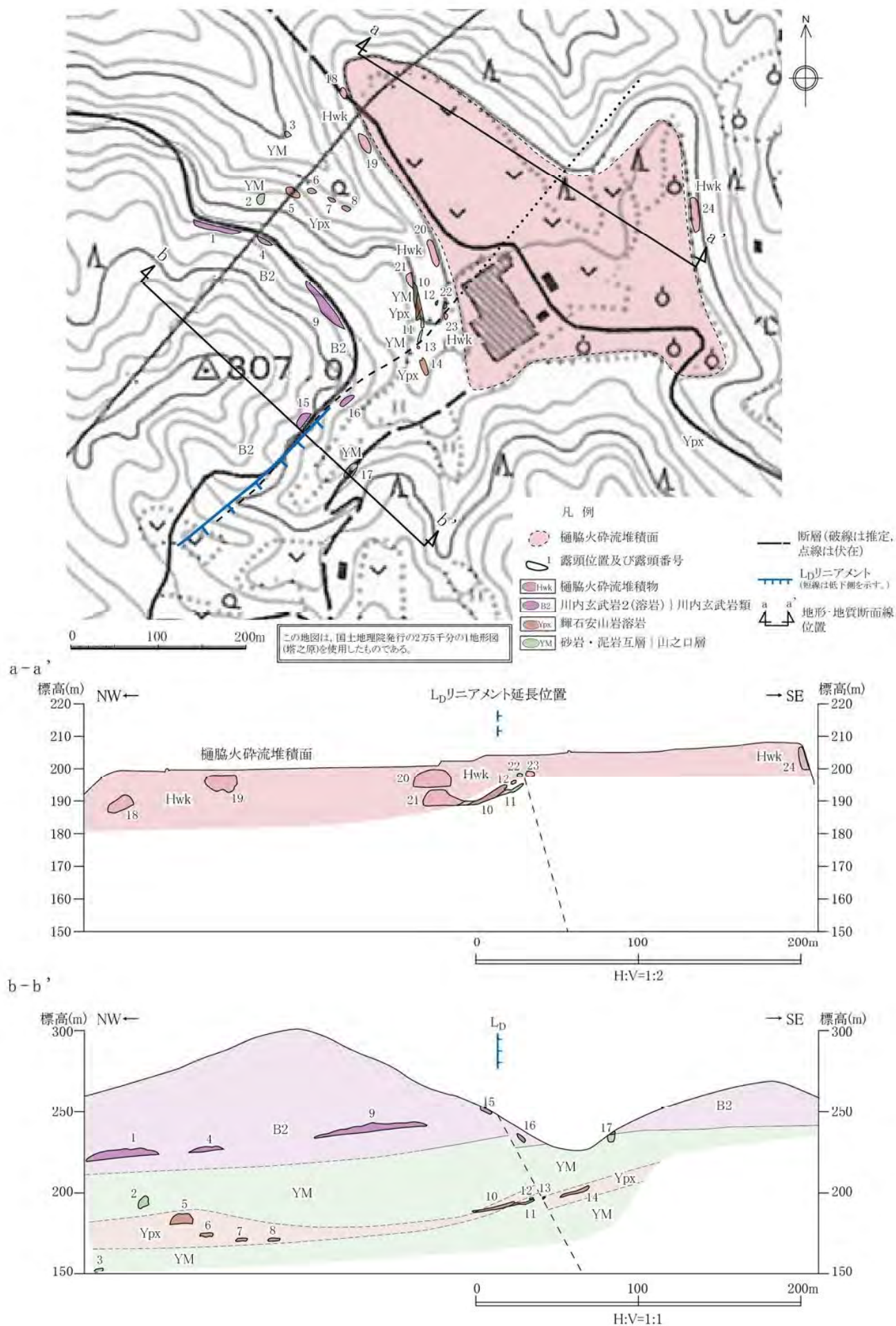
j.N88E,44S 節理面の走向・傾斜

b.N83W,50S 層理面の走向・傾斜

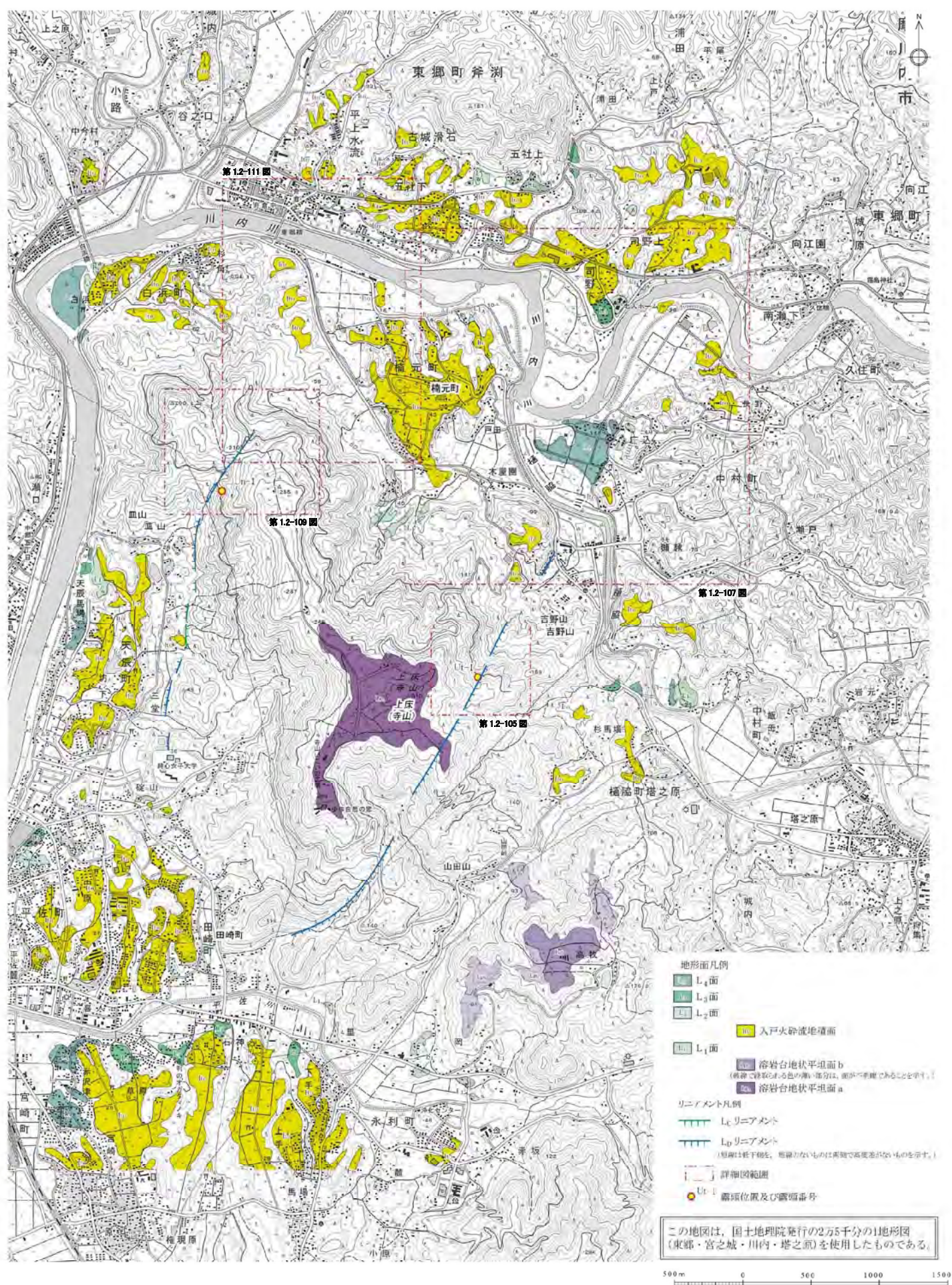
第 1.2-99 図 露頭スケッチ (Loc.Um-1, 薩摩川内市戸板野川支流左岸)



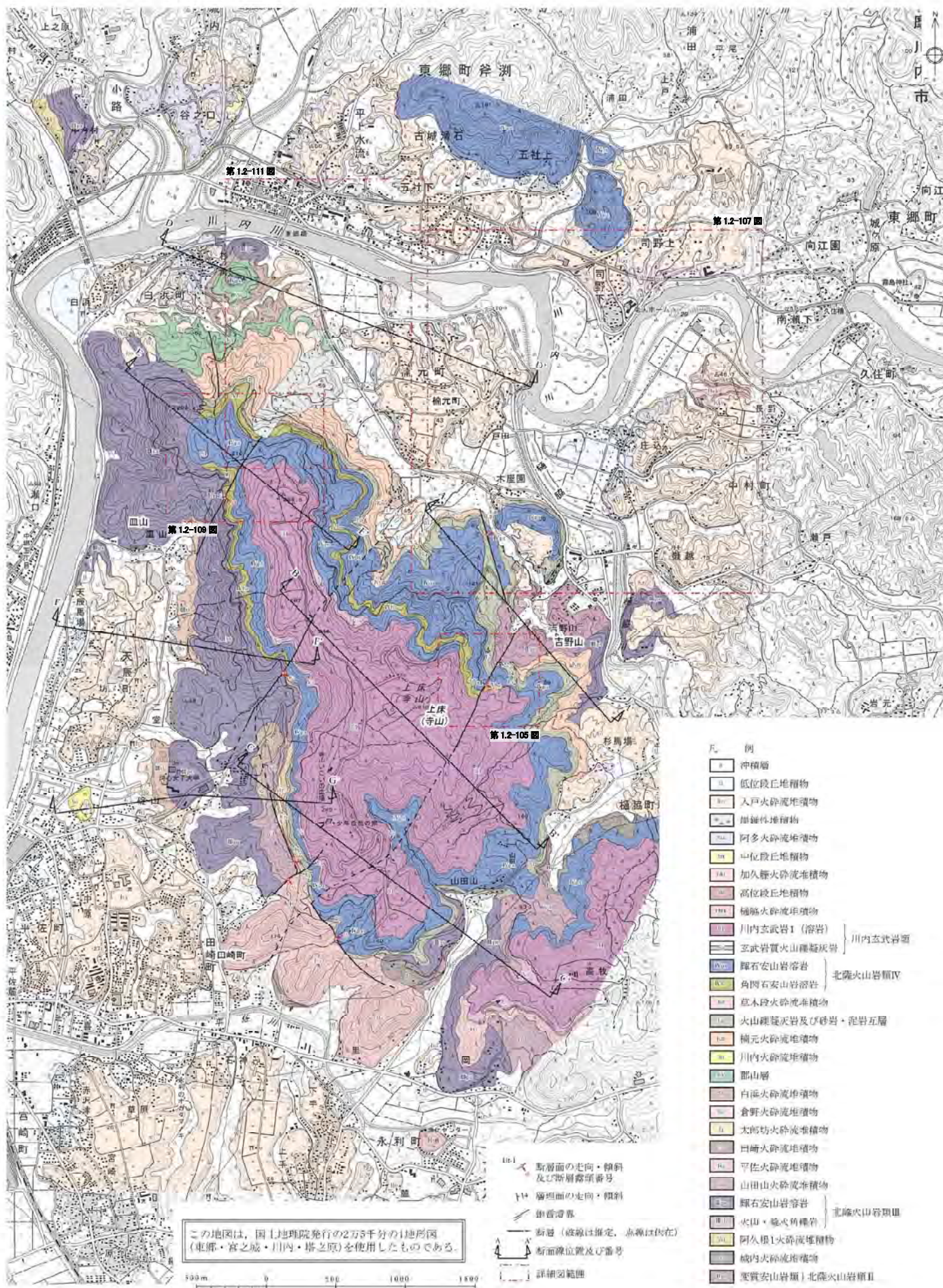
第 1.2-100 図 ルートマップ及び地形・地質断面図(薩摩川内市八重付近)



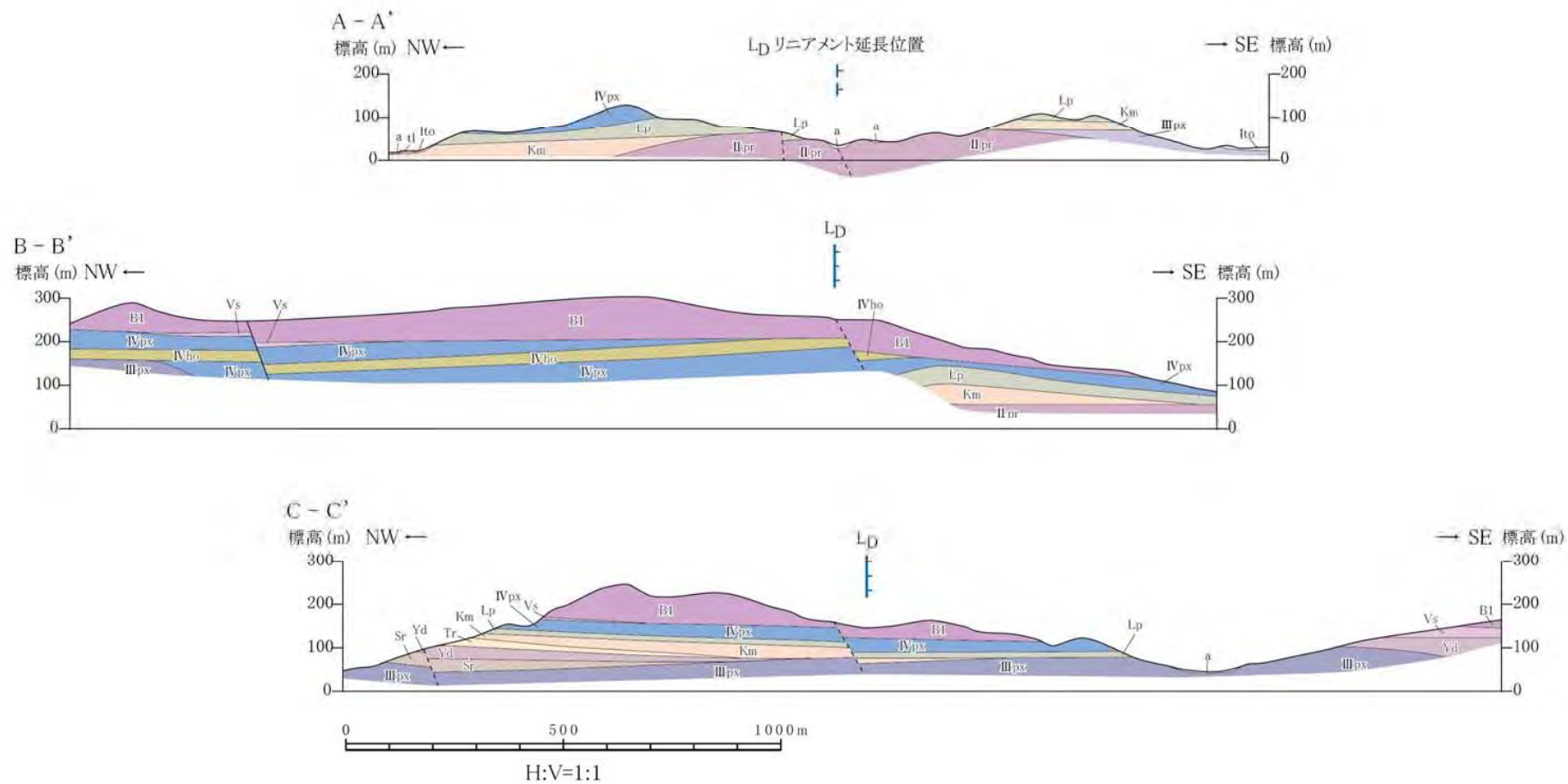
第 1.2-101 図 ルートマップ及び地形・地質断面図(薩摩川内市中山北方付近)



第 1.2-102 図 上床断層及び上床西リニアメント周辺の空中写真判読図

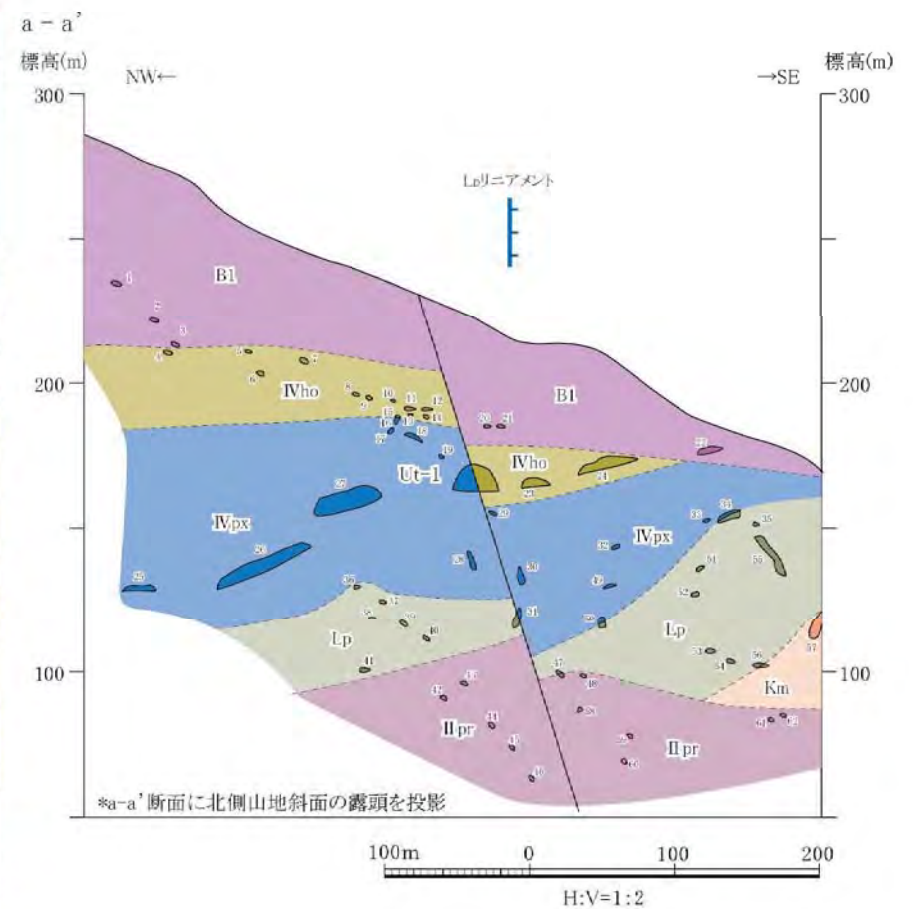
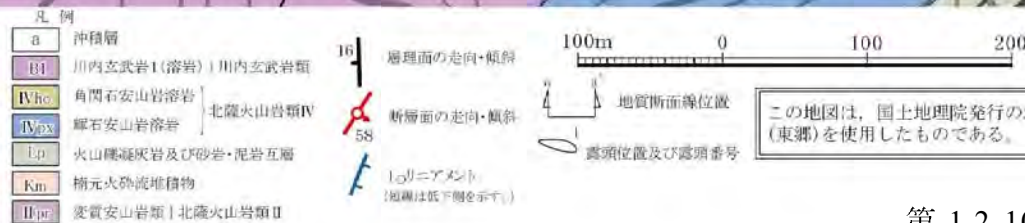
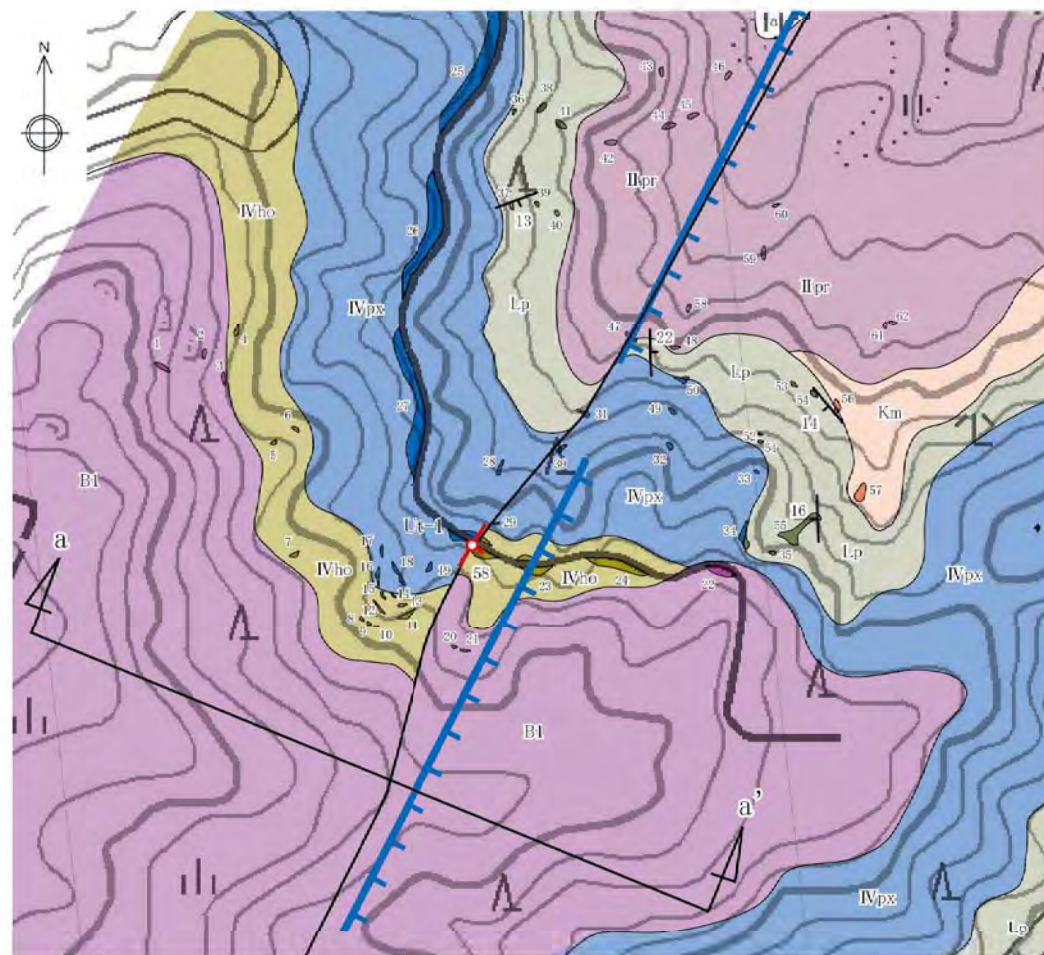


第 1.2-103 図 上床断層及び上床西リニアメント周辺の地質図



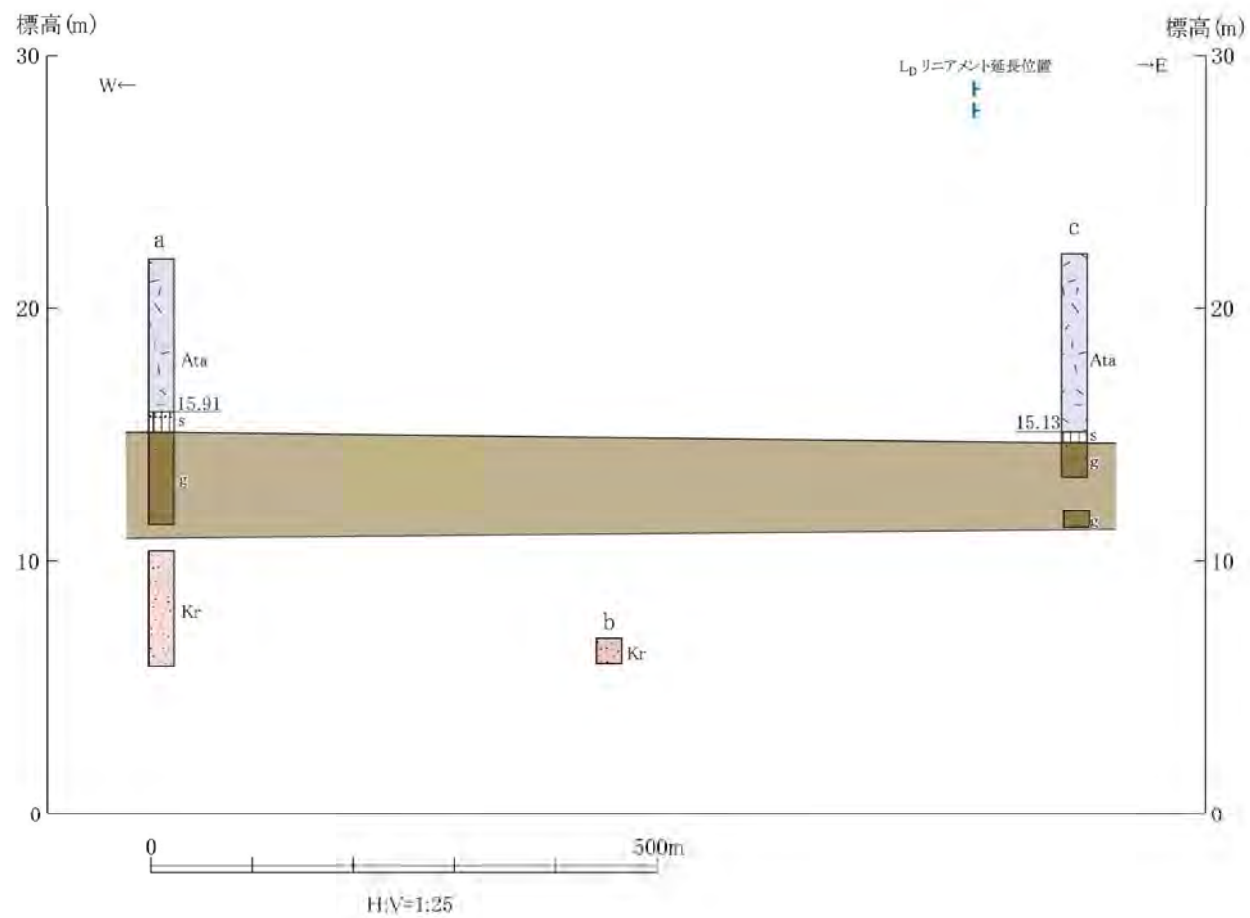
(注) 凡例は、第 1.2-103 図を参照。

第 1.2-104 図 上床断層周辺の地質断面図



第 1.2-105 図 ルートマップ・地質断面図(薩摩川内市吉野山南方付近)

第 1.2-106 図 露頭スケッチ (Loc.Ut-1, 薩摩川内市吉野山南方)



この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図
(東郷)を使用したものである。

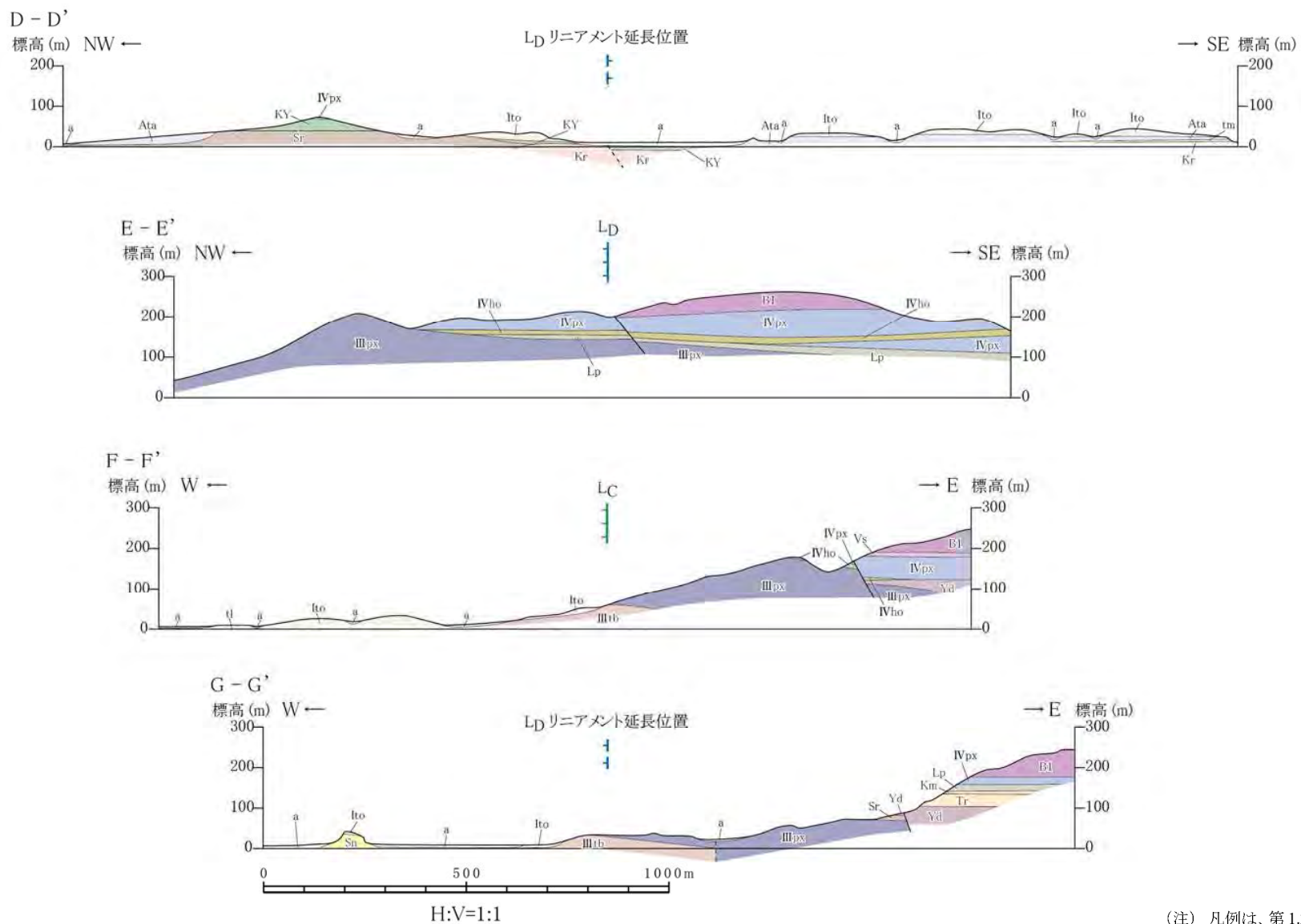
凡 例

- Ata 阿多火砕流堆積物
- s 土壌化帯
- Kr 礫層 | 中位段丘堆積物
- Kr 倉野火砕流堆積物
- a 柱状作成位置・番号
- 断層 (破線は推定, 点線は伏在)

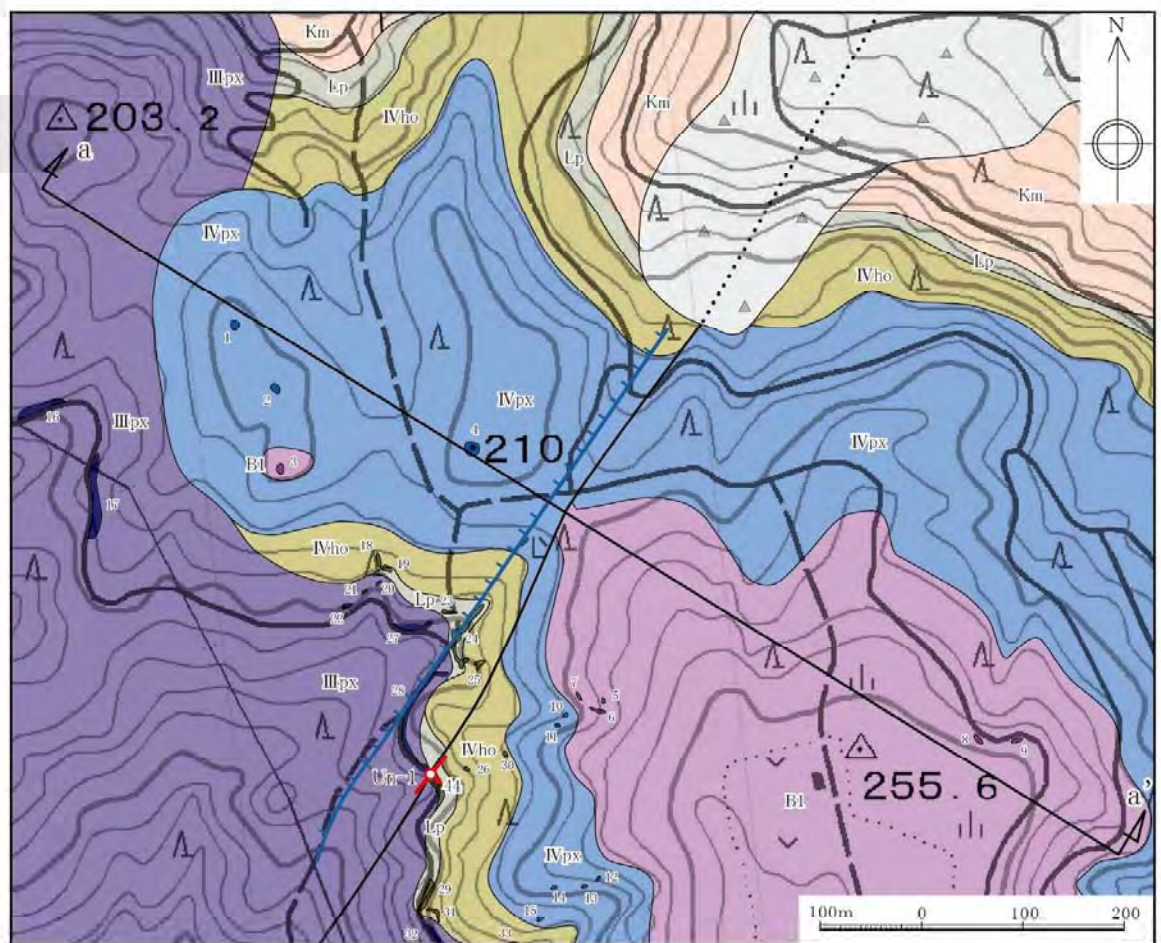
リニアメント凡例

- L_pリニアメント
(短線は低下側を示す。)

第 1.2-107 図 薩摩川内市戸田一庄込間の柱状対比



第 1.2-108 図 上床西リニアメント周辺の地質断面図



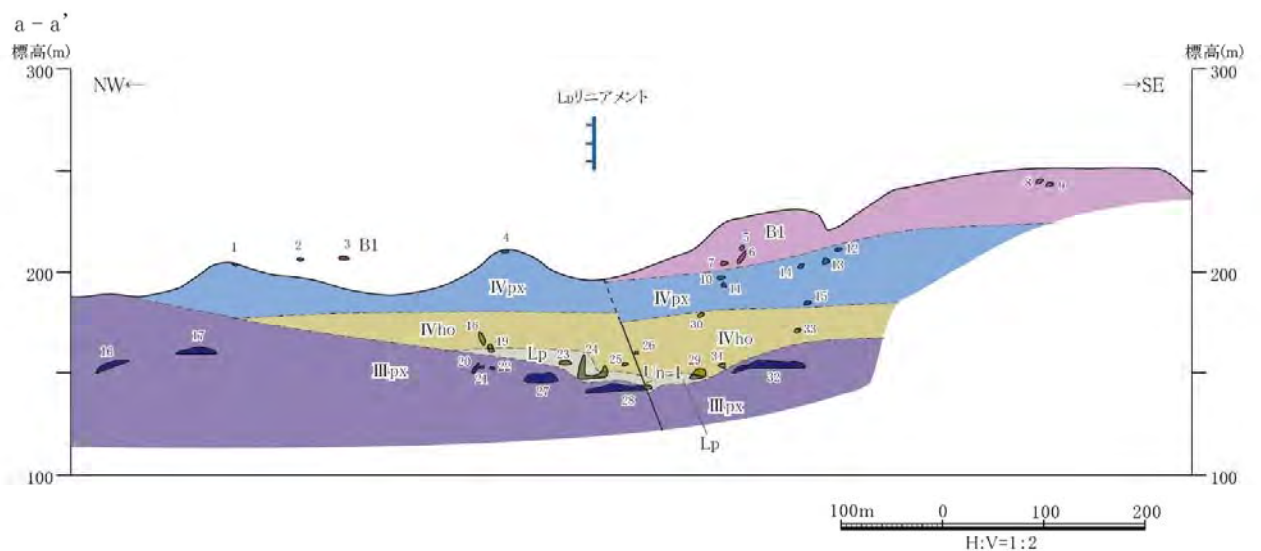
凡例

- △ 崖性堆積物
- B1 川内玄武岩1(溶岩) | 川内玄武岩類
- IVpx 輝石安山岩溶岩 | 北薩火山岩類IV
- IVho 角閃石安山岩溶岩
- Lp 火山礫凝灰岩
- Km 桶元火砕流堆積物
- IIIpx 輝石安山岩溶岩 | 北薩火山岩類III

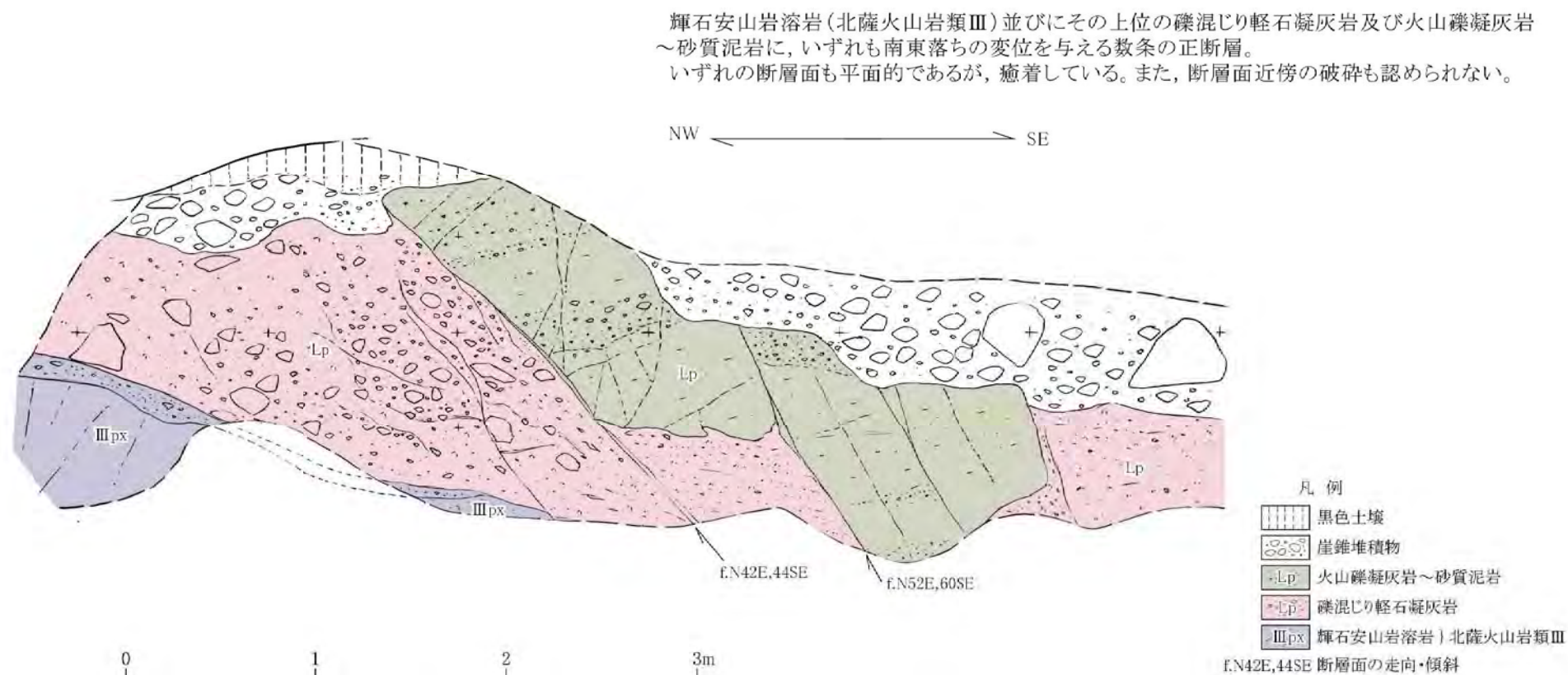
断層 (破線は推定、点線は伏在)
断層面の走向・傾斜
Lp リニアメント
(短線は低下側を示す。)

地質断面線位置
露頭位置及び露頭番号

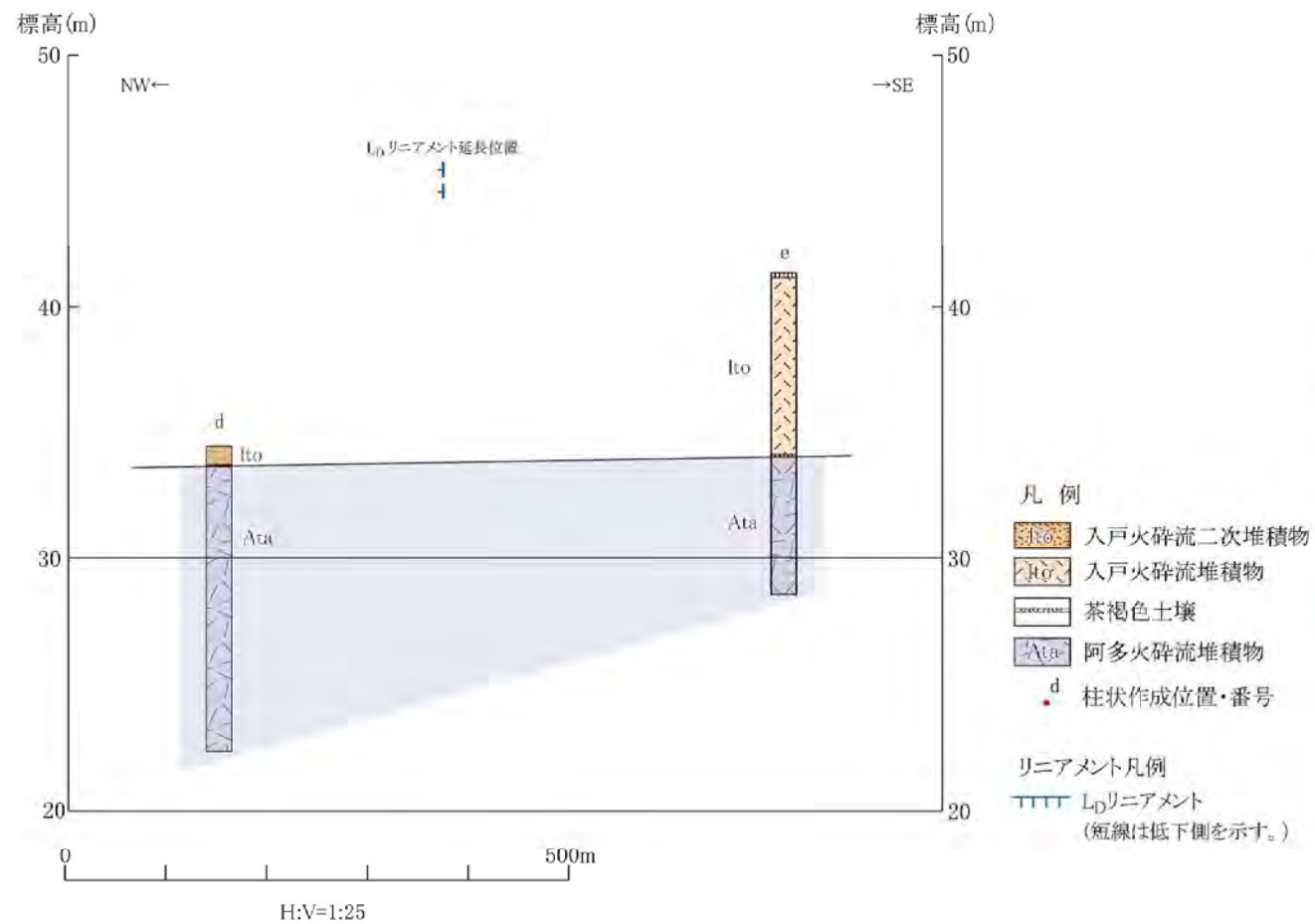
この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(東郷)を使用したものである。



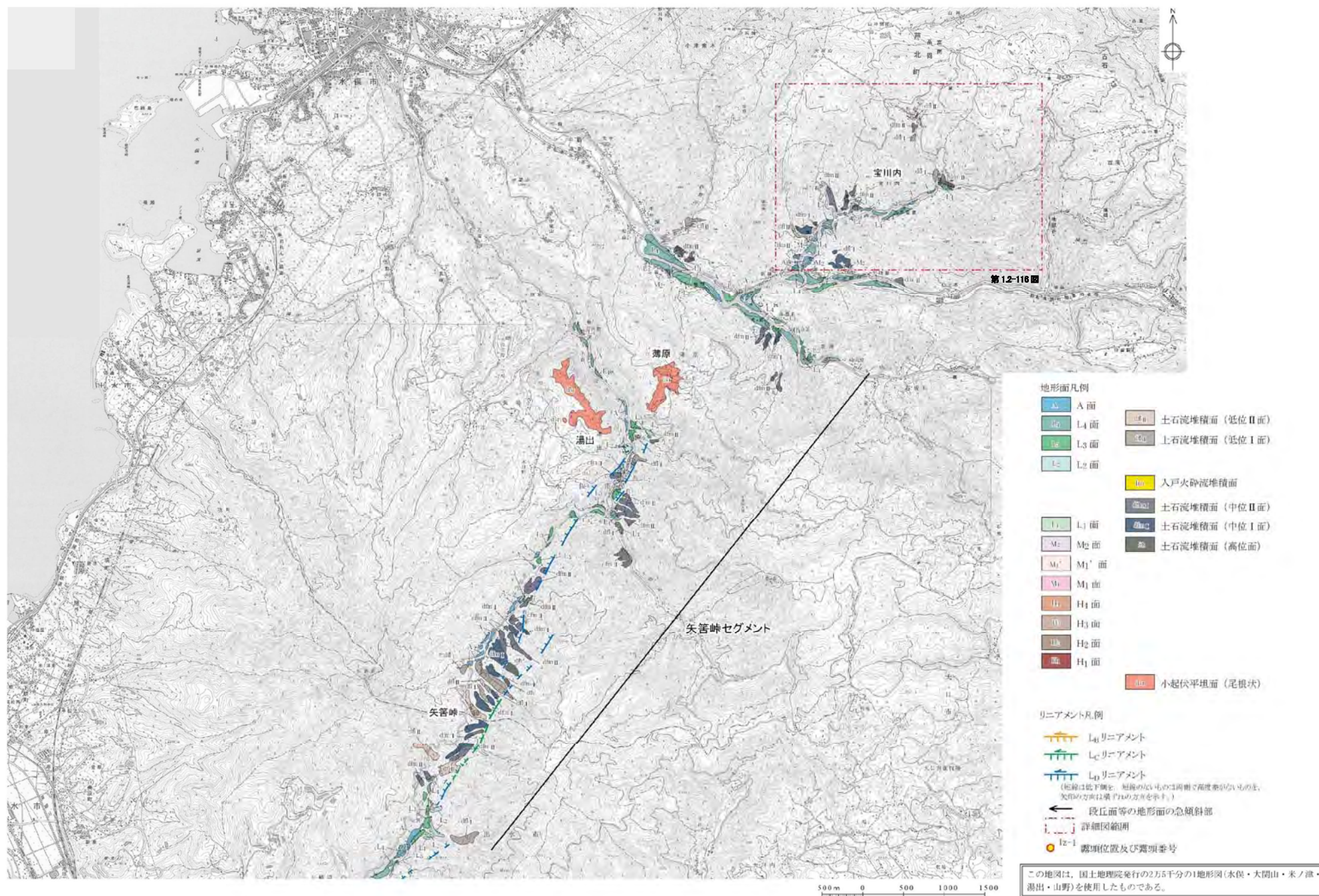
第 1.2-109 図 ルートマップ・地質断面図(薩摩川内市皿山北東付近)



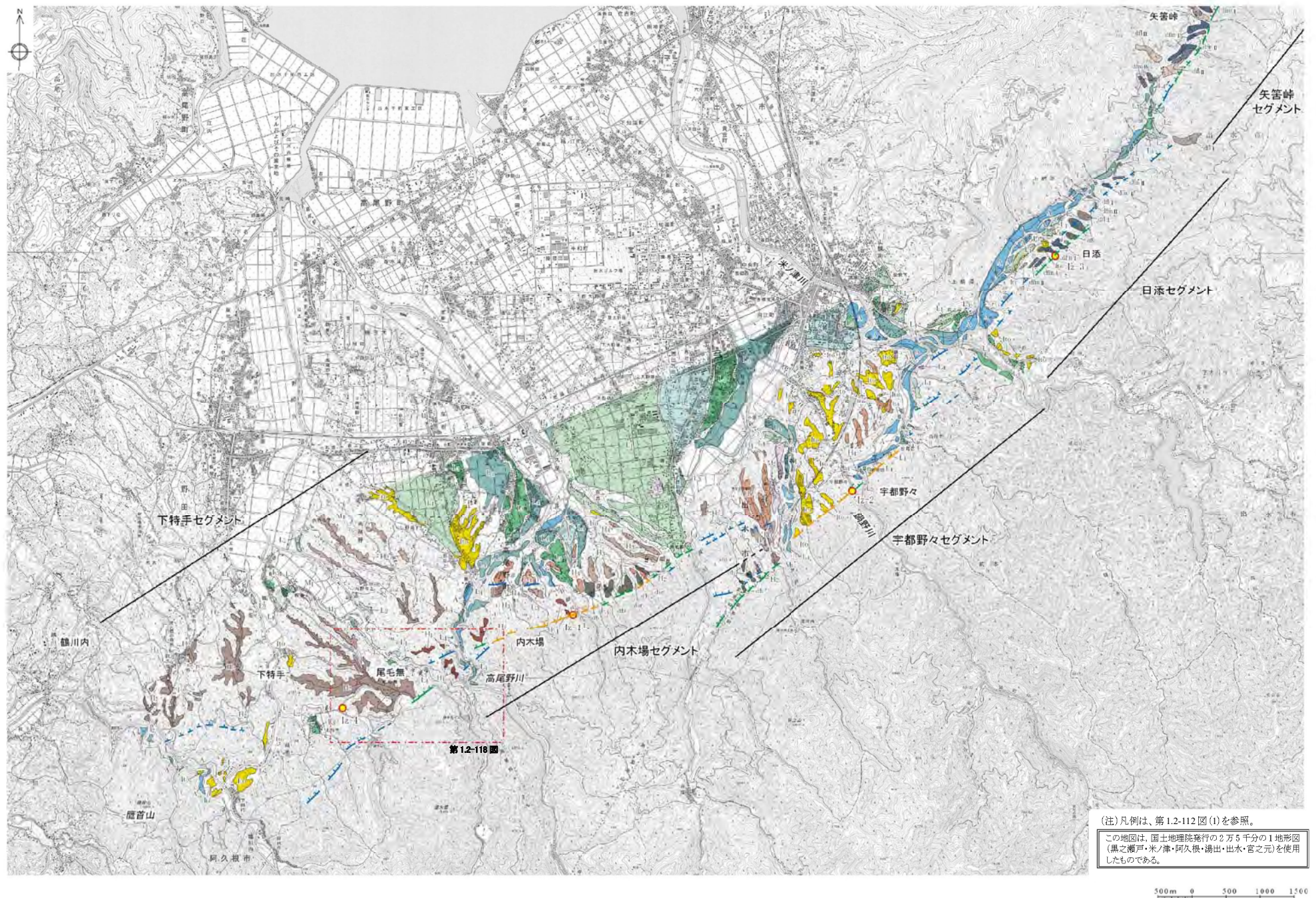
第 1.2-110 図 露頭スケッチ(Loc.Un-1, 薩摩川内市皿山北東)



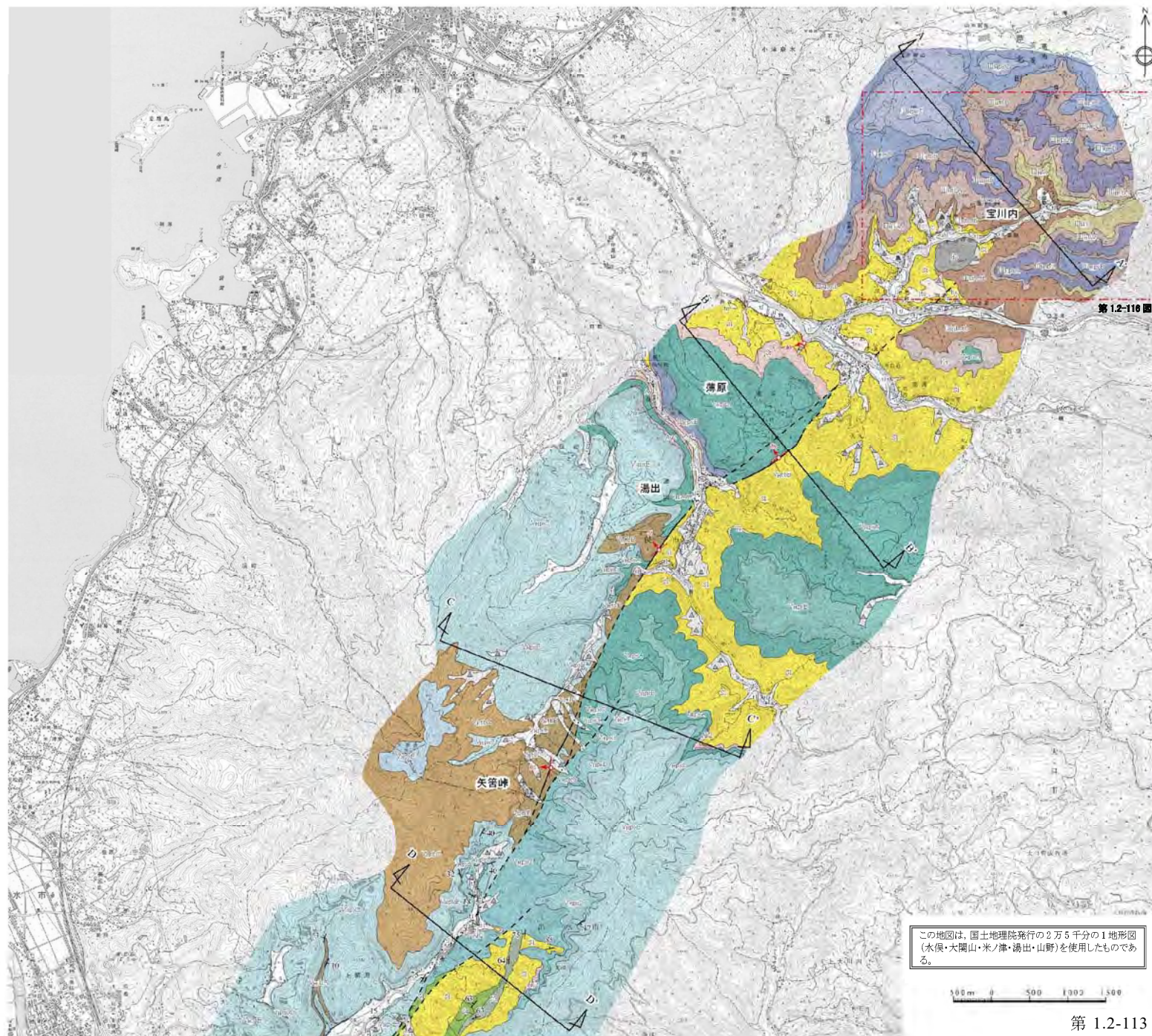
第 1.2-111 図 薩摩川内市白浜町－楠元町間の柱状対比



第 1.2-112 図(1) 出水断層系周辺の空中写真判読図(北部)

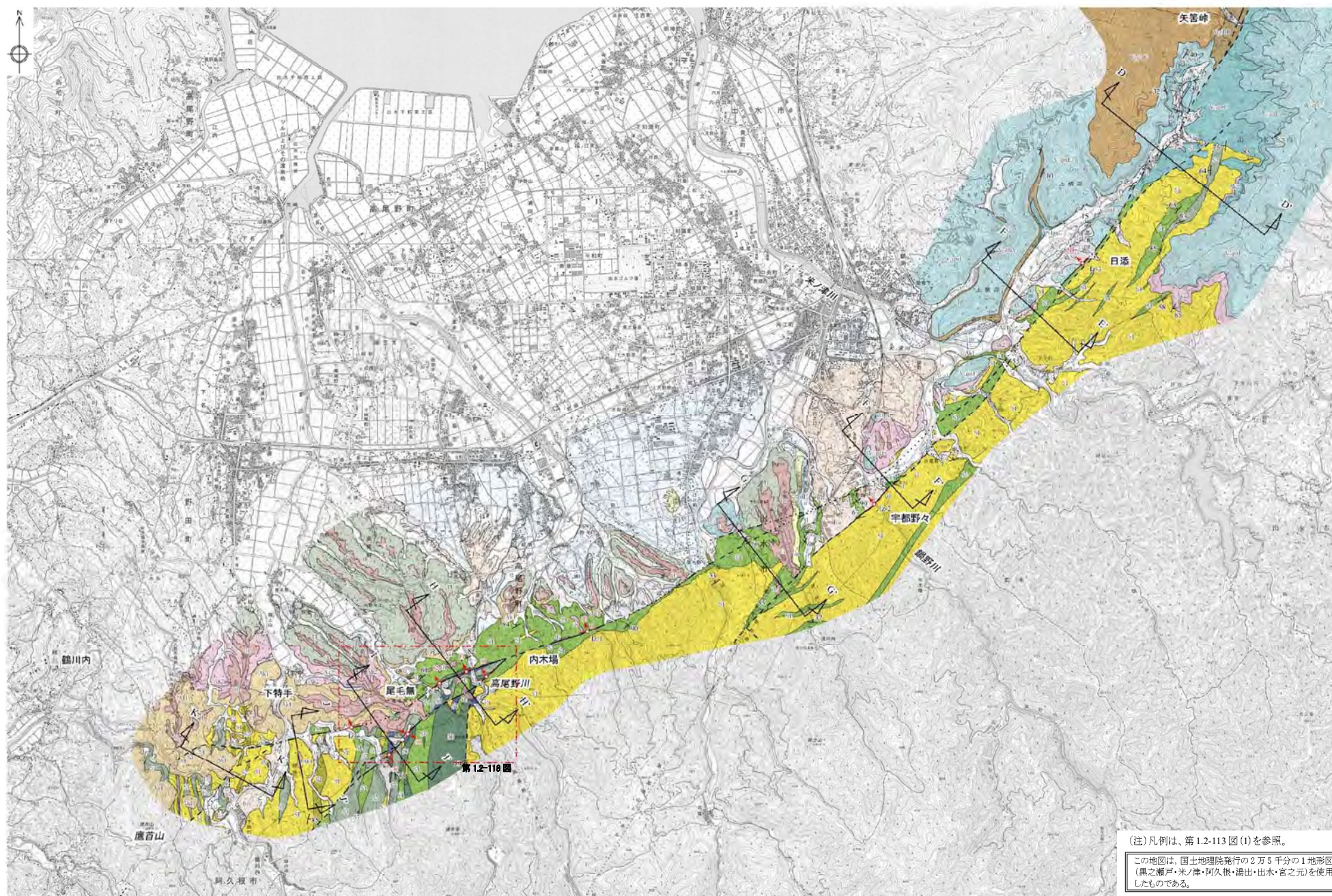


第 1.2-112 図(2) 出水断層系周辺の空中写真判読図(南部)

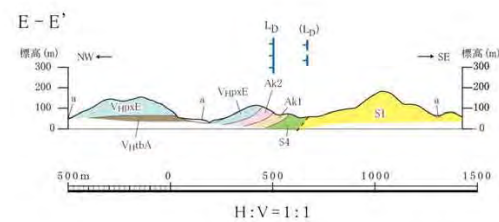
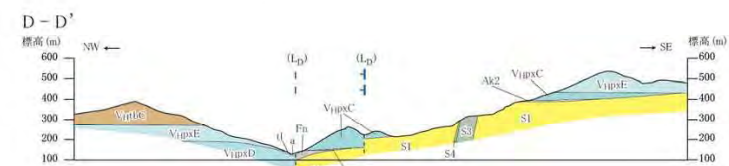
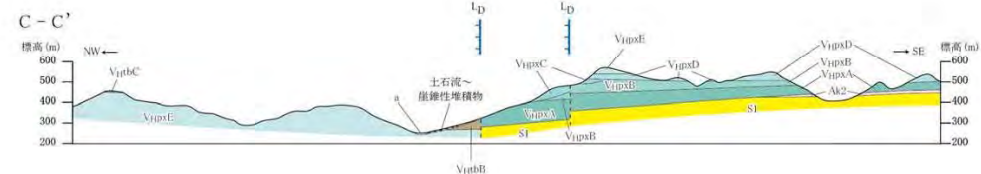
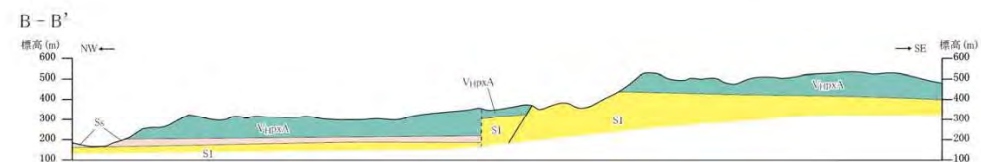
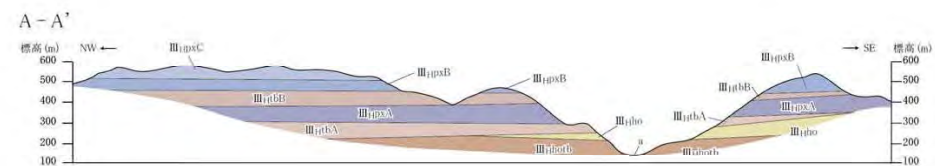


- 凡 例
- 沖積層
 - △ 土石流～崖崩性堆積物
 - 低位段丘堆積物
 - 入戸火砕流堆積物
 - 中位段丘堆積物
 - 高位段丘堆積物
 - 鶴川内層
 - 玄武岩質安山岩溶岩
 - 凝灰角礫岩 C
 - 凝灰角礫岩～火山内礫岩 B
 - 輝石安山岩溶岩 E
 - 輝石安山岩溶岩 D
 - 凝灰角礫岩 A
 - 輝石安山岩溶岩 C
 - 赤林2火砕流堆積物
 - 細粒輝石安山岩溶岩 B
 - 輝石安山岩溶岩 A
 - 大森火砕流堆積物
 - 赤林1火砕流堆積物
 - 湯田川火砕流堆積物
 - 薄原火砕流堆積物
 - 葛渡火砕流堆積物
 - 輝石安山岩溶岩 C
 - 輝石安山岩溶岩 B
 - 凝灰角礫岩 B
 - 輝石安山岩溶岩 A
 - 凝灰角礫岩 A
 - 岩脈 (角閃石安山岩)
 - 輝石角閃石安山岩溶岩
 - 角閃石安山岩質凝灰角礫岩
 - 阿久根2火砕流堆積物
 - 舟川火砕流堆積物
 - 阿久根1火砕流堆積物
 - 含礫泥岩
 - 暗緑色玄武岩
 - 頁岩
 - 頁岩優勢砂岩頁岩互層
 - 砂岩優勢砂岩頁岩互層
 - 砂岩
- 肥後火山岩類 V
- 肥後火山岩類 III
- 四方十層群
- 断層面の走向・傾斜及び断層露頭番号
- 層理面の走向・傾斜
- 地質境界
- 断層 (破断は推定、点線は伏在)
- 断層線位置及び番号
- 詳細図範囲

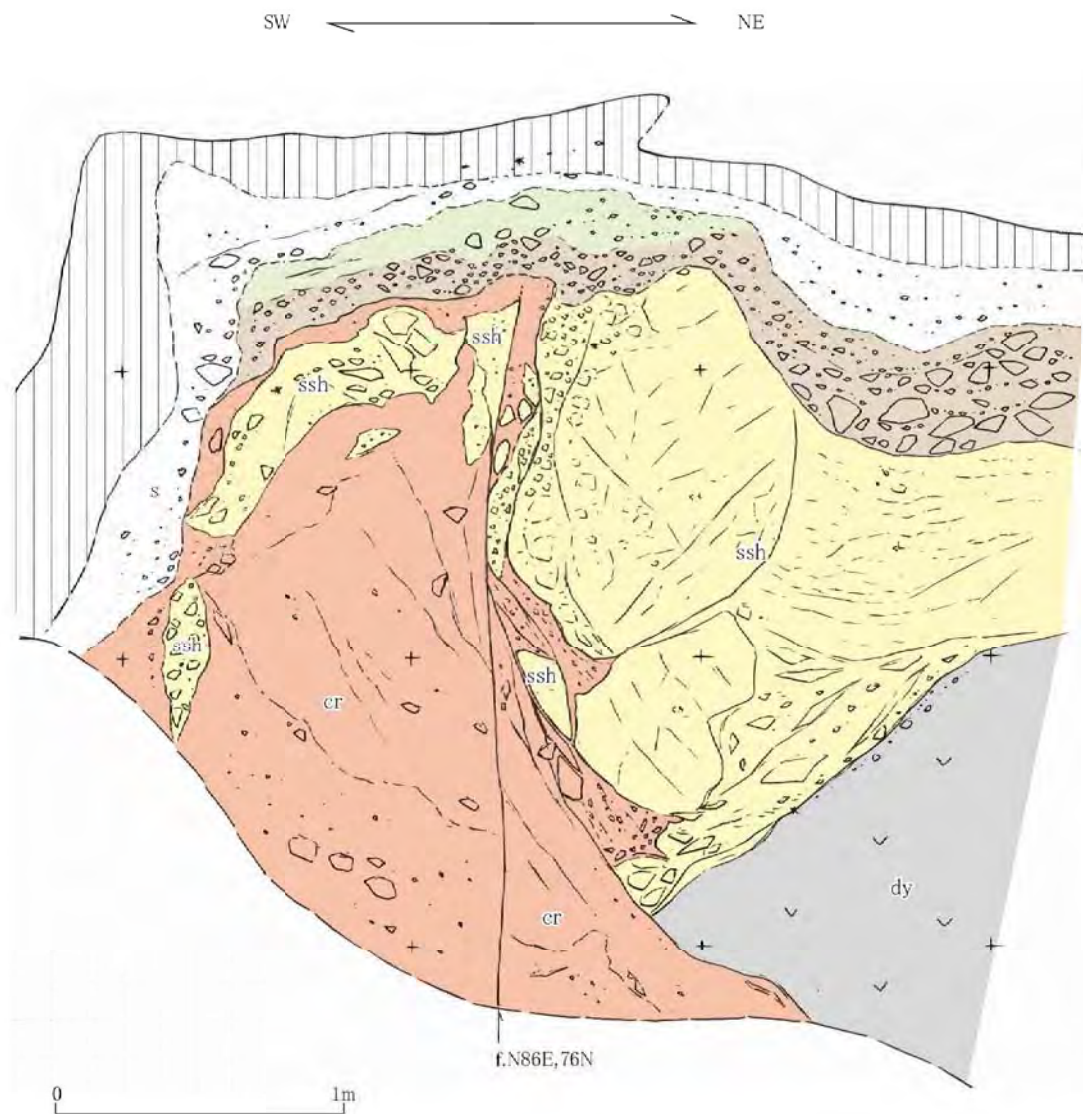
第 1.2-113 図 (1) 出水断層系周辺の地質図 (北部)



第1.2-113図(2) 出水断層系周辺の地質図(南部)



第 1.2-114 図 出水断層系周辺の地質断面図

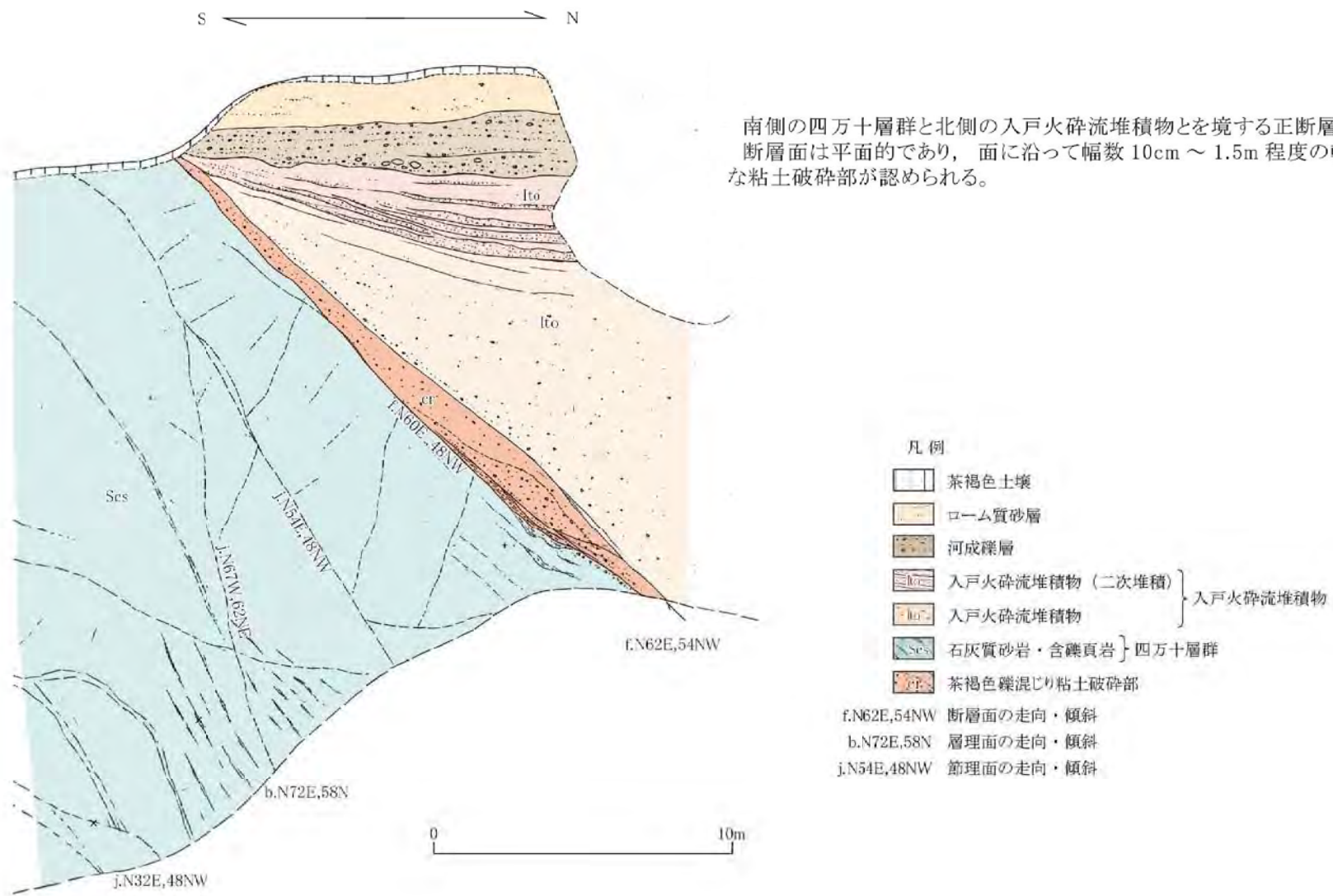


四万十層群中の幅 1m 以上の粘土破碎部に認められる断層。

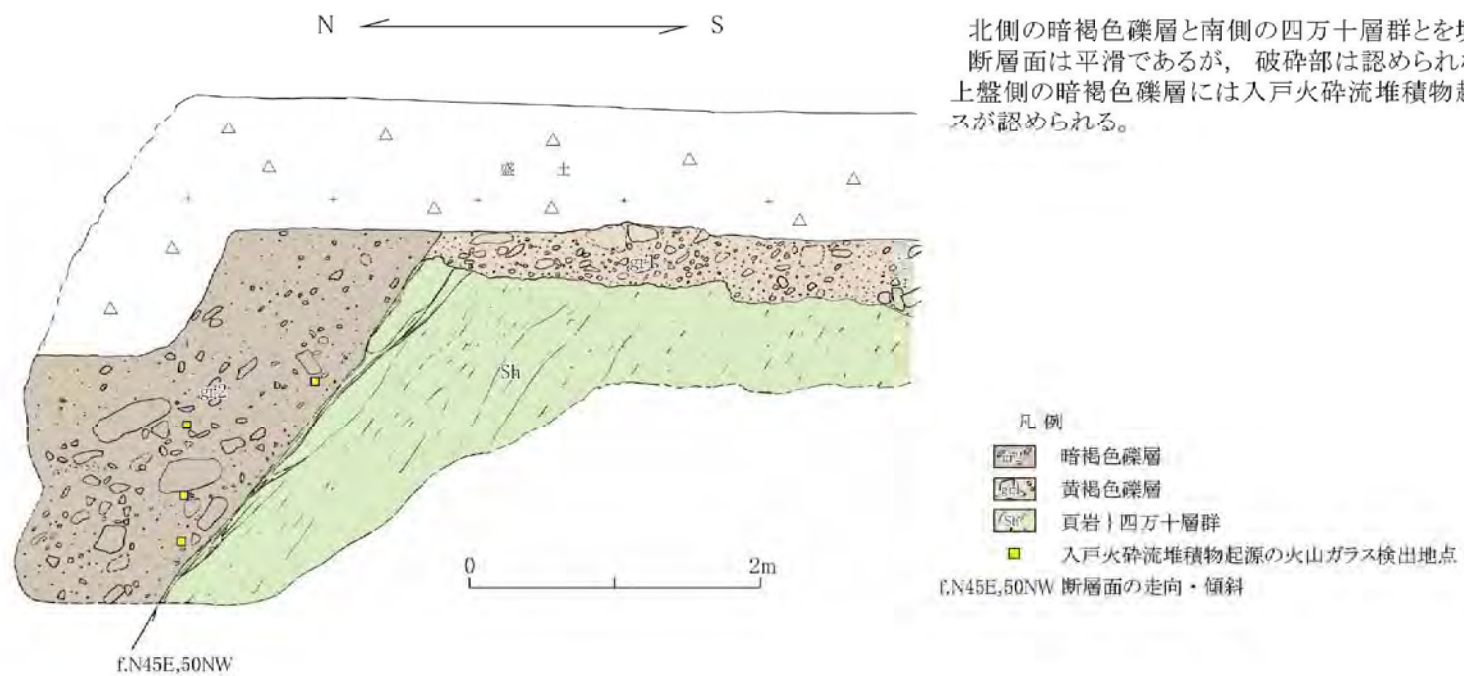
断層面は平面的であり、連続も良い。



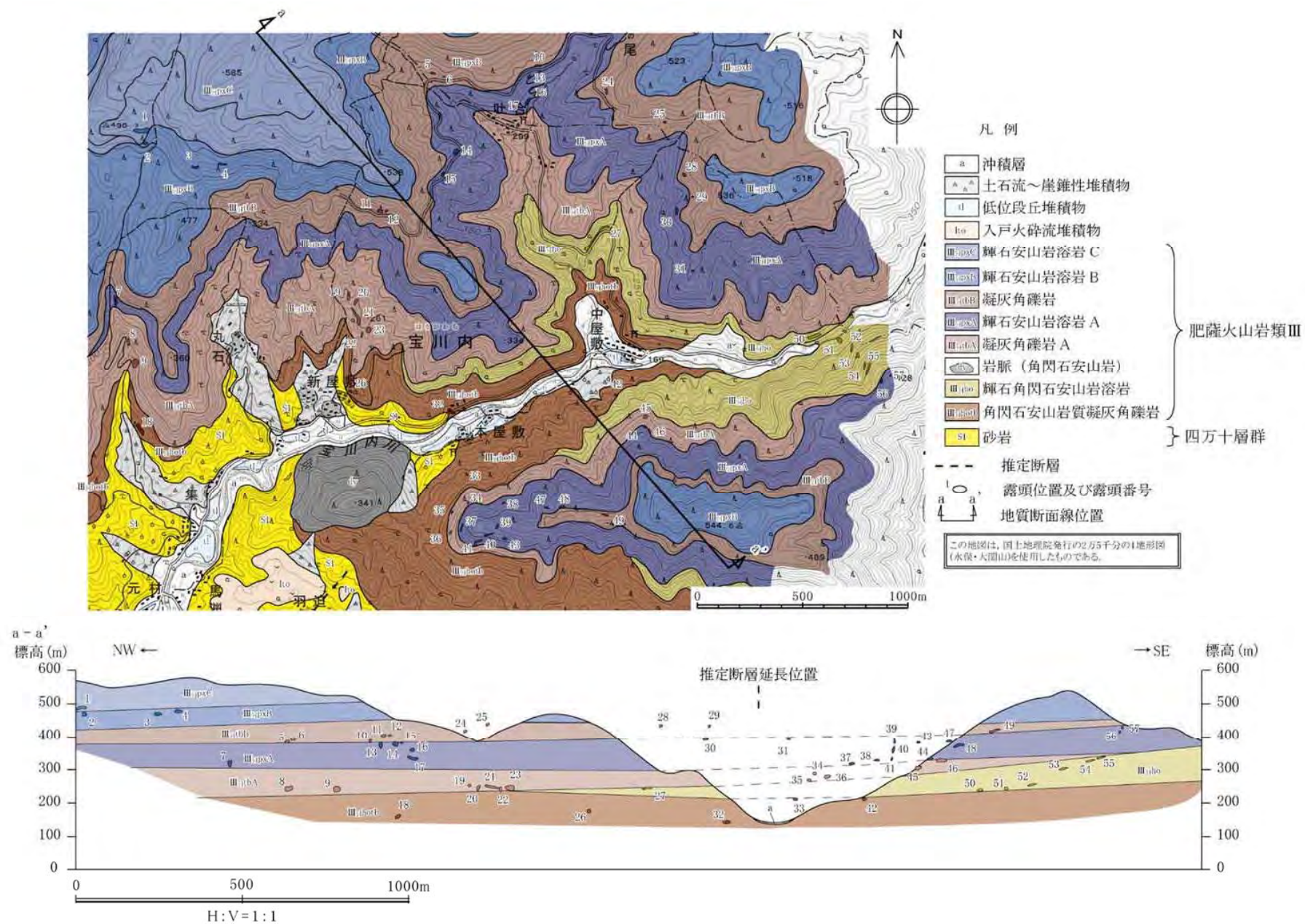
第 1.2-115 図(1) 露頭スケッチ (Loc.Iz-1, 出水市内木場)



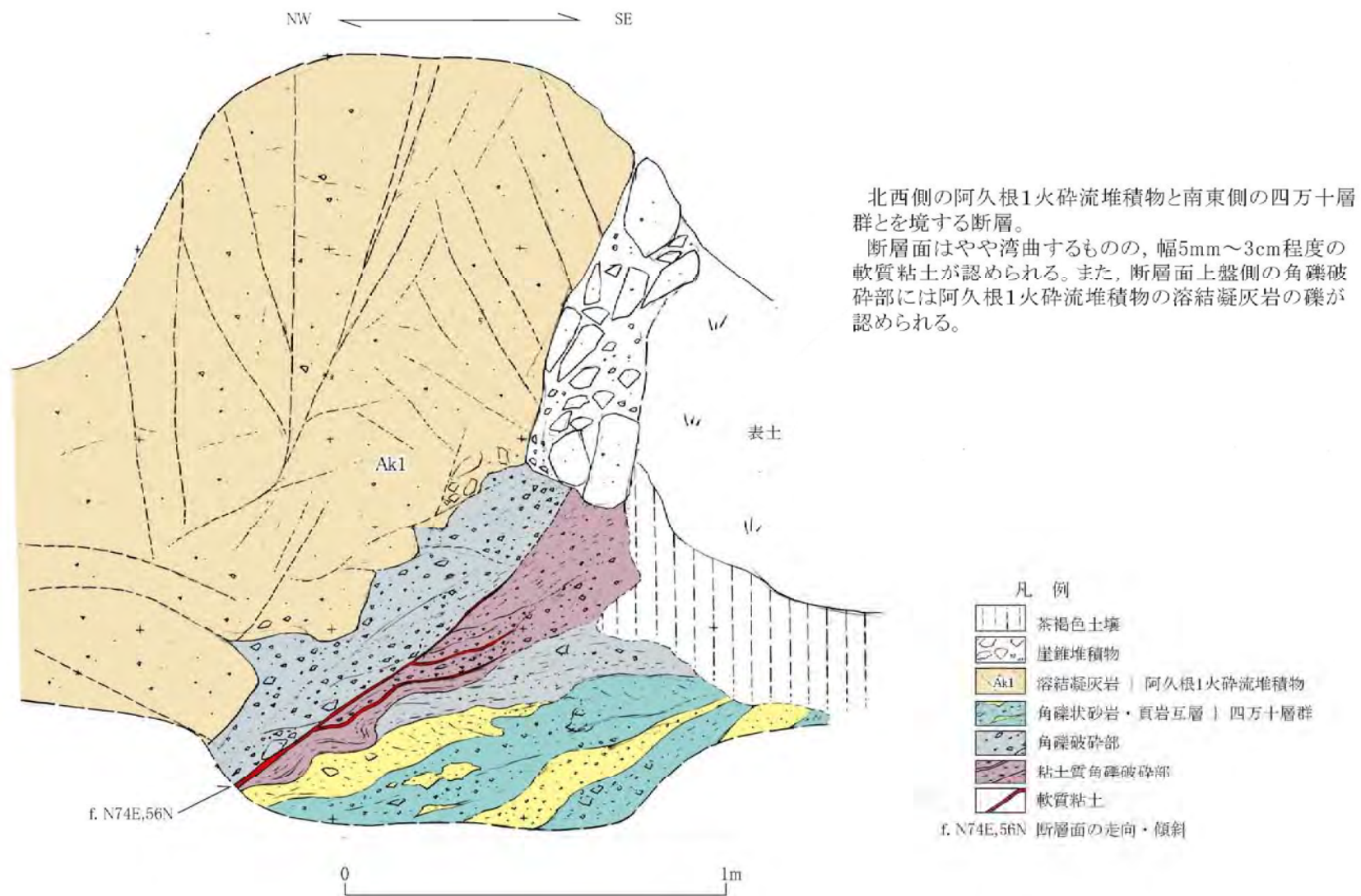
第 1.2-115 図(2) 露頭スケッチ (Loc.Iz-2, 出水市鍋野川左岸)



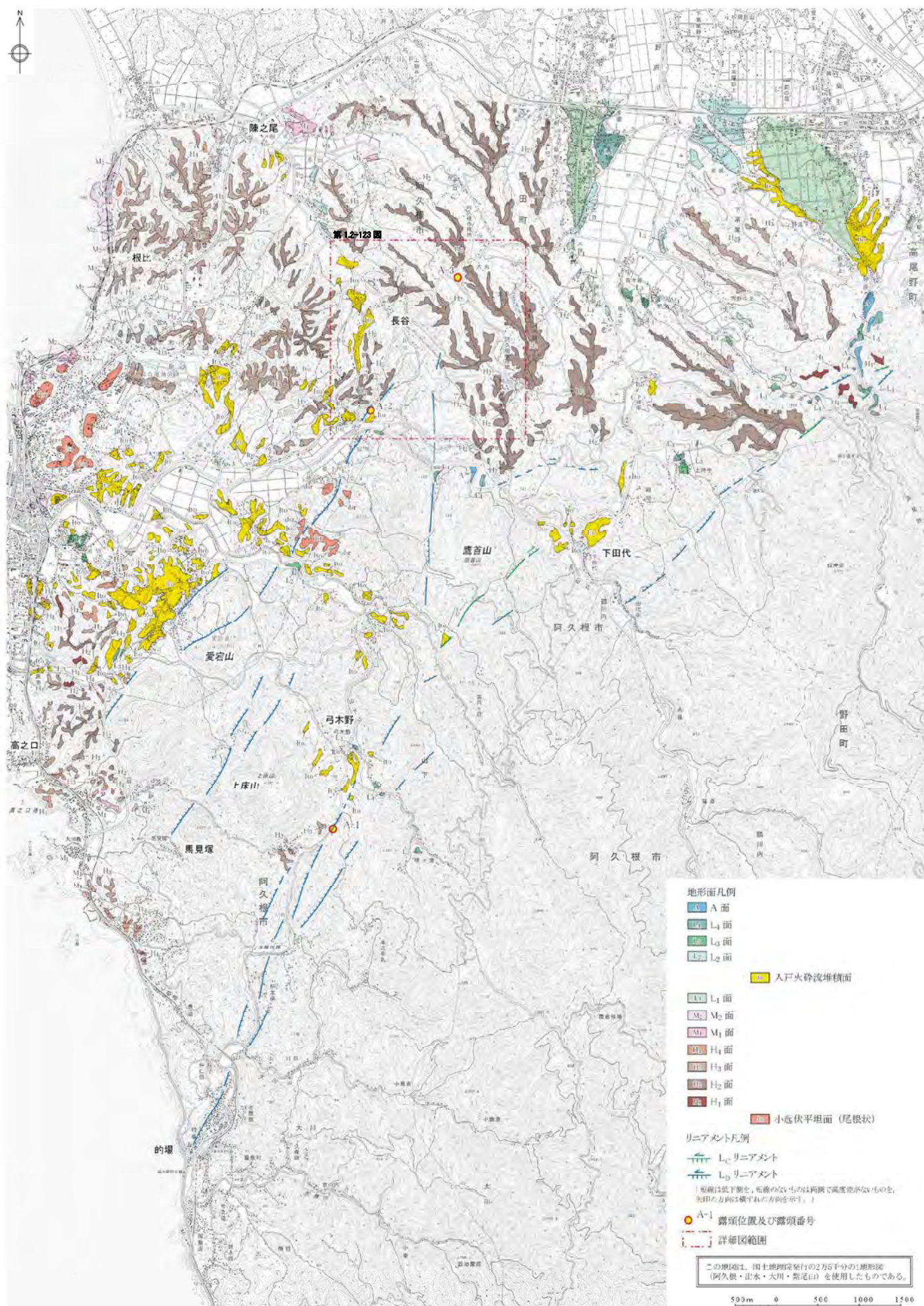
第 1.2-115 図(3) 露頭スケッチ (Loc.Iz-3, 出水市日添)



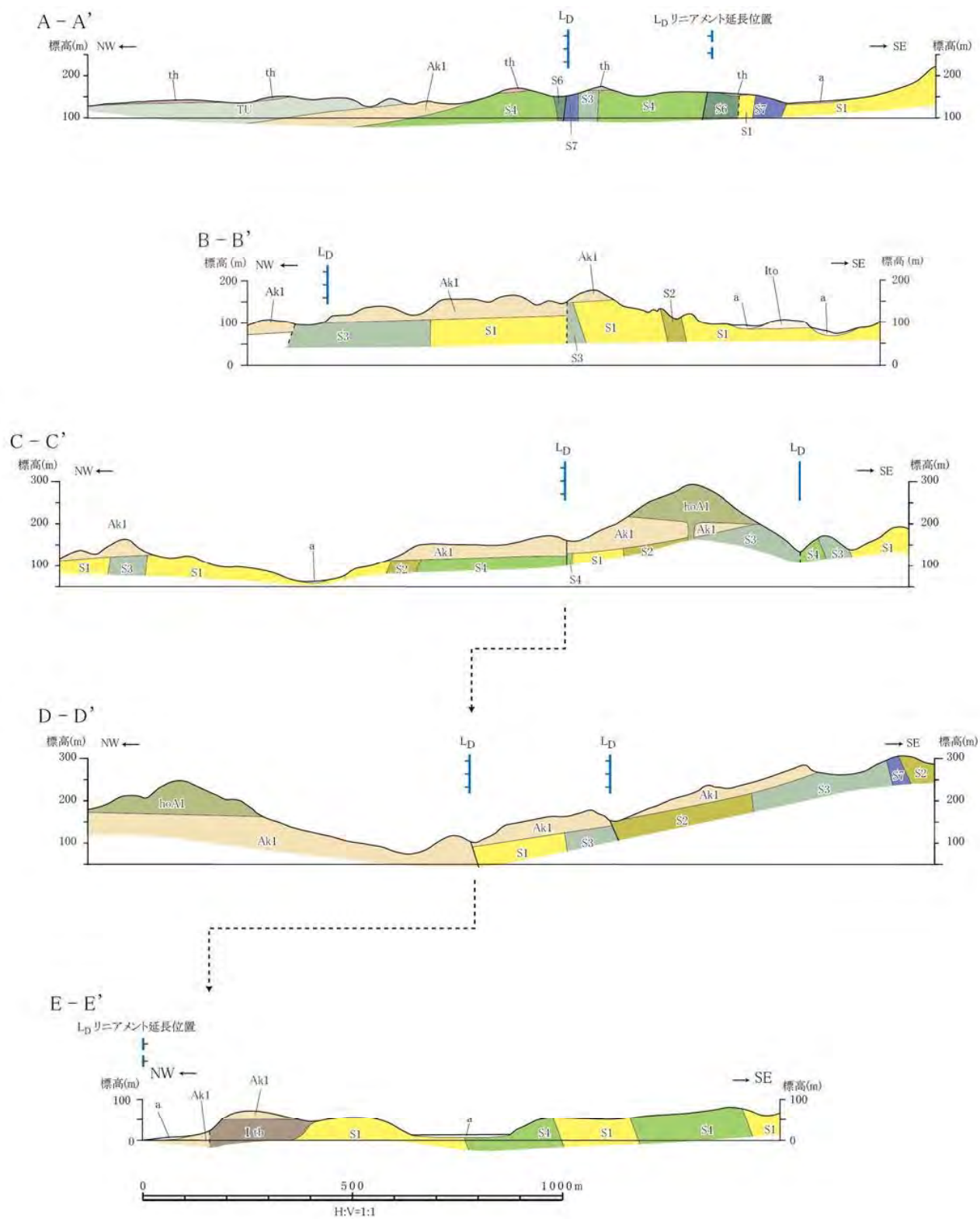
第 1.2-116 図 ルートマップ・地質断面図 (熊本県水俣市宝川内付近)



第 1.2-117 図 露頭スケッチ (Loc.Iz-4, 出水市野田町上特手)

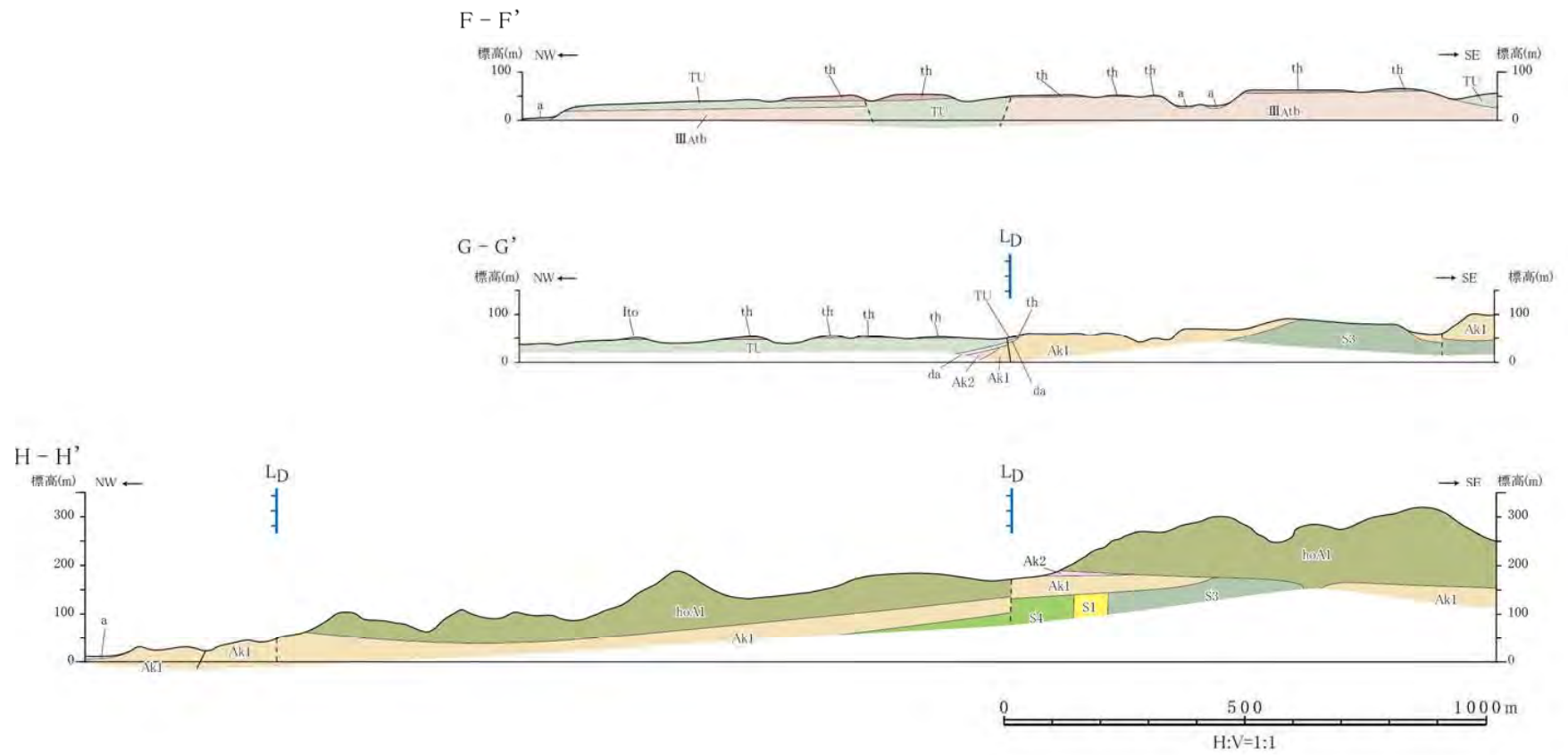


第 1.2-119 図 阿久根東方リニアメント群周辺の空中写真判読図



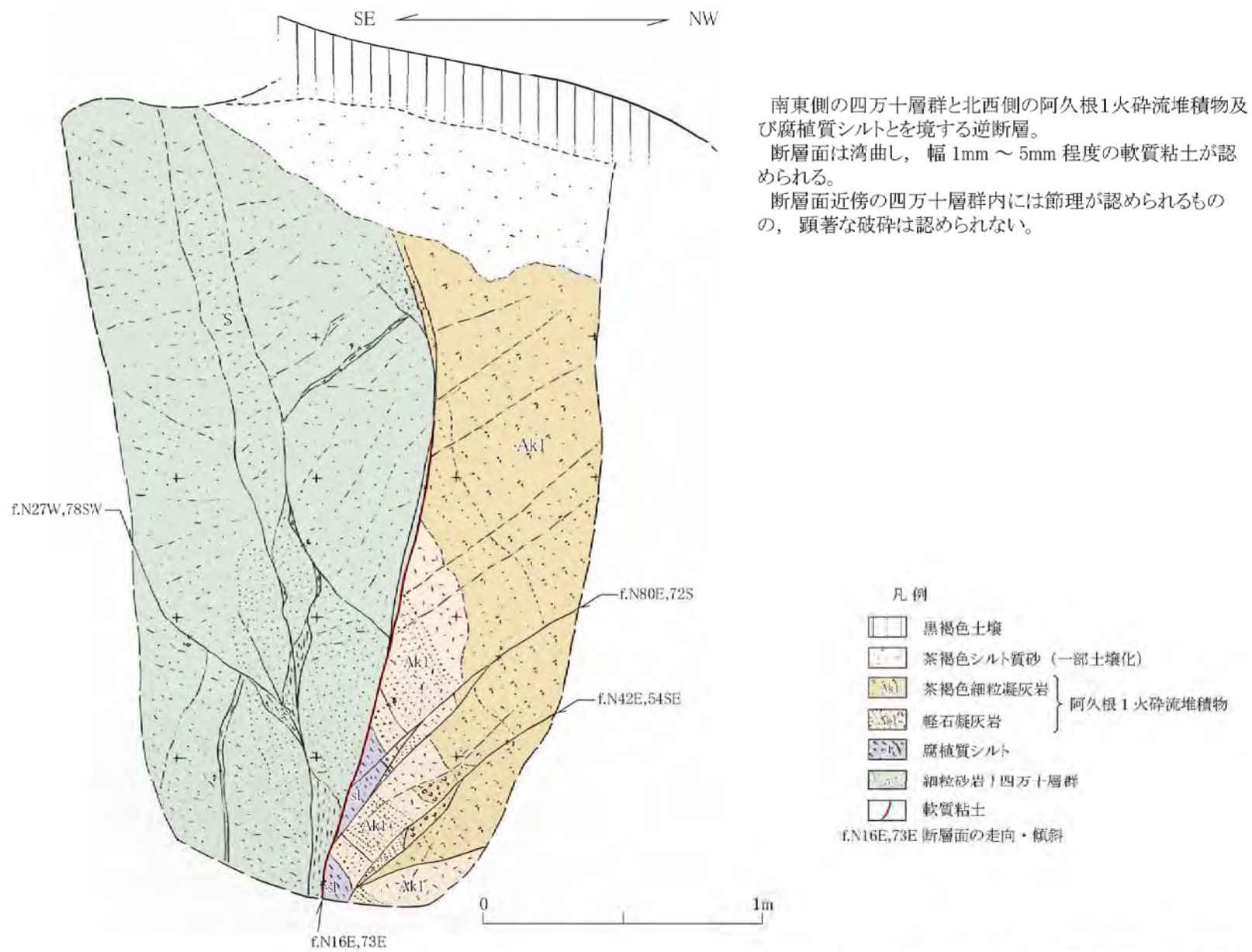
(注) 凡例は、第 1.2-120 図を参照。

第1.2-121図(1) 阿久根東方リニアメント群周辺の地質断面図(その1)

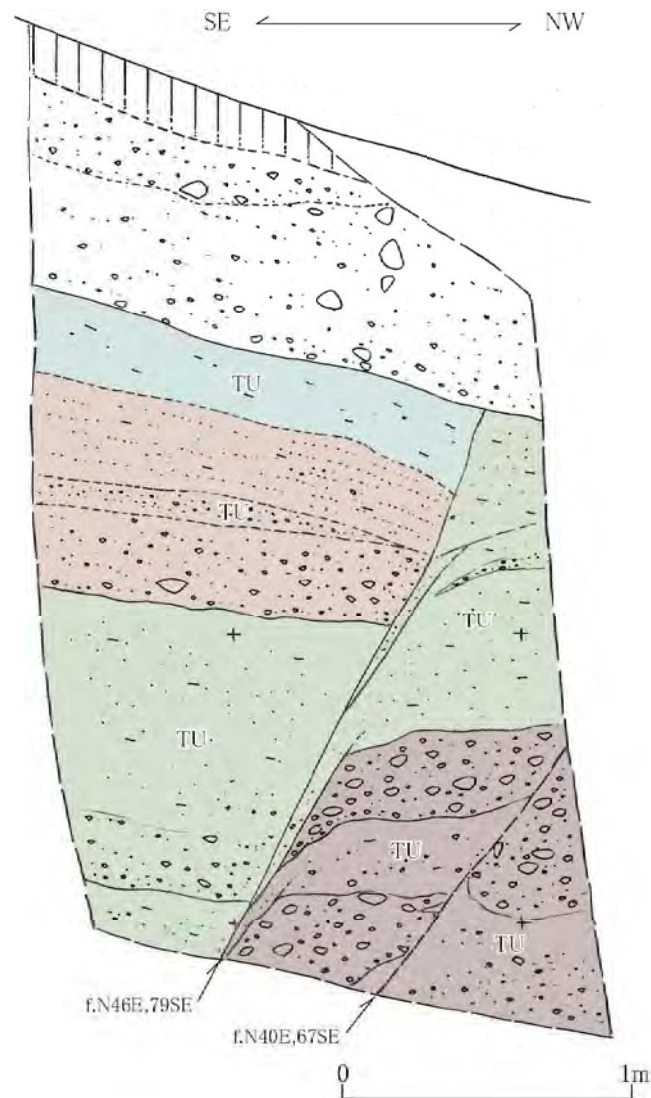


(注) 凡例は、第1.2-120図を参照。。

第1.2-121図(2) 阿久根東方リニアメント群周辺の地質断面図(その2)



第 1.2-122 図 (1) 露頭スケッチ (Loc.A-1, 阿久根市弓木野南方)



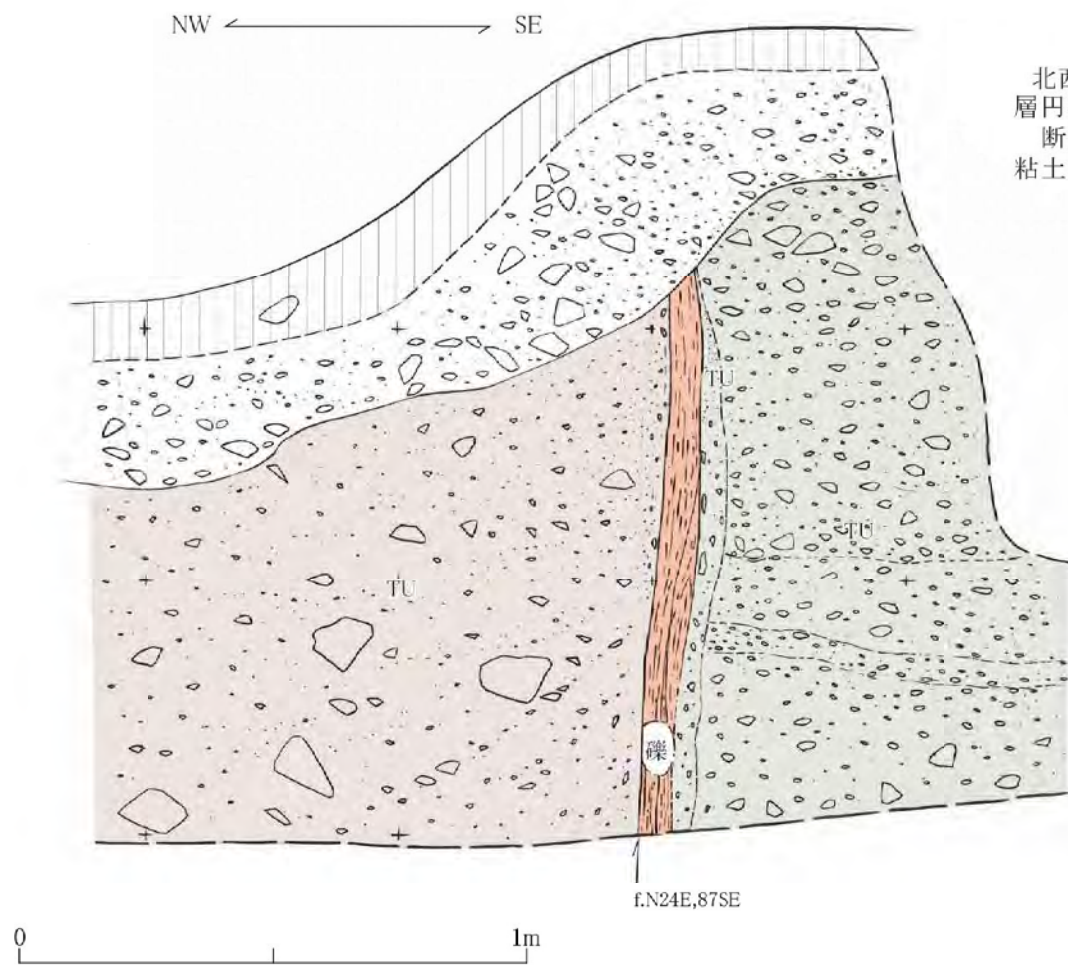
鶴川内層中の正断層。
断層面は平面的であるものの、軟質な破碎部は認められない。

凡例

- | | | |
|--|--------|--------|
| | 黒褐色土壌 | |
| | ローム質礫層 | |
| | 茶褐色シルト | } 鶴川内層 |
| | 砂層・細礫層 | |
| | 砂質シルト層 | |
| | 礫層・砂層 | |

f.N46E,79SE 断層面の走向・傾斜

第 1.2-122 図(2) 露頭スケッチ (Loc.A-2, 阿久根市梶)

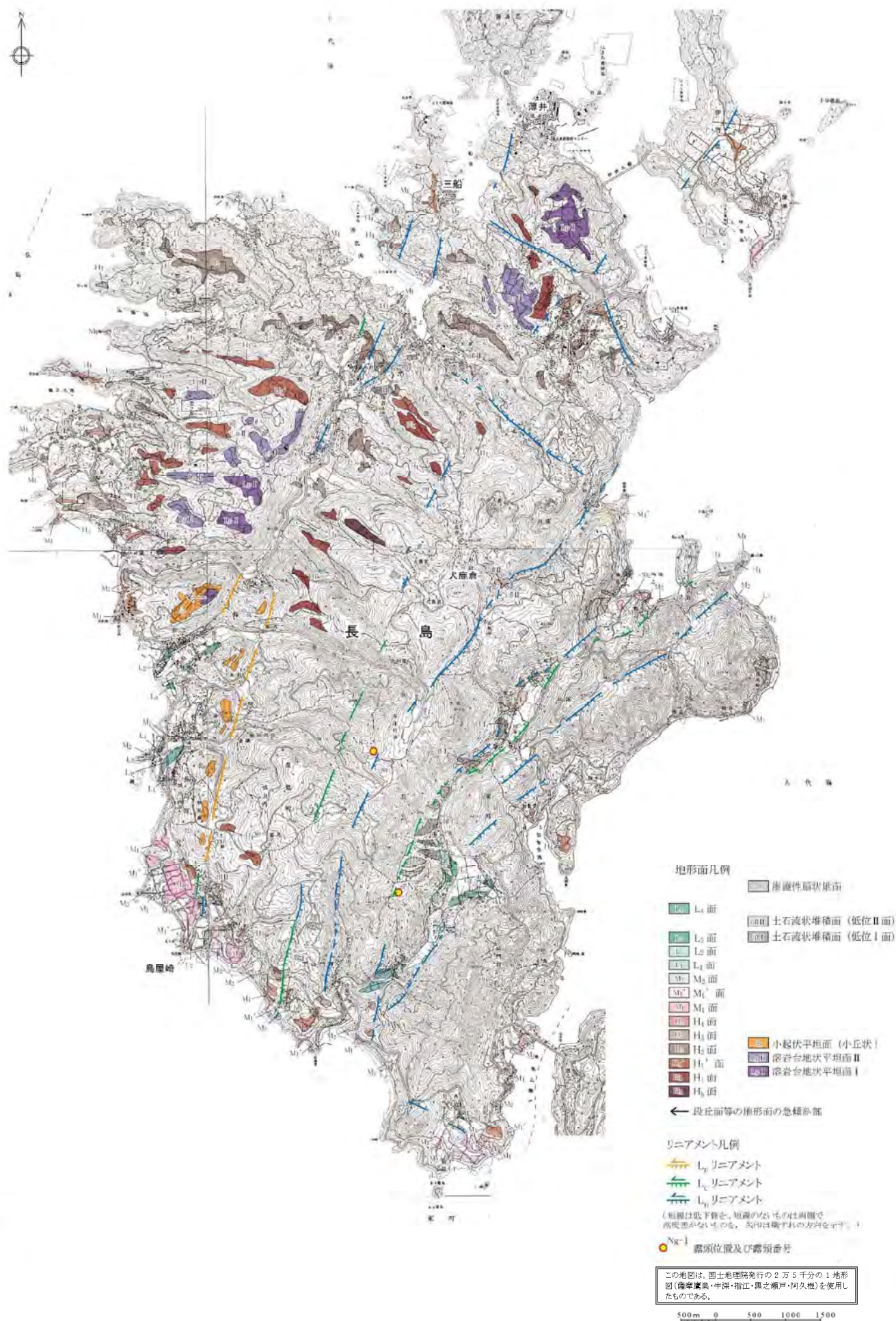


北西側の鶴川内層砂・シルト質角礫岩と南東側の同層円礫岩とを境する高角度断層。

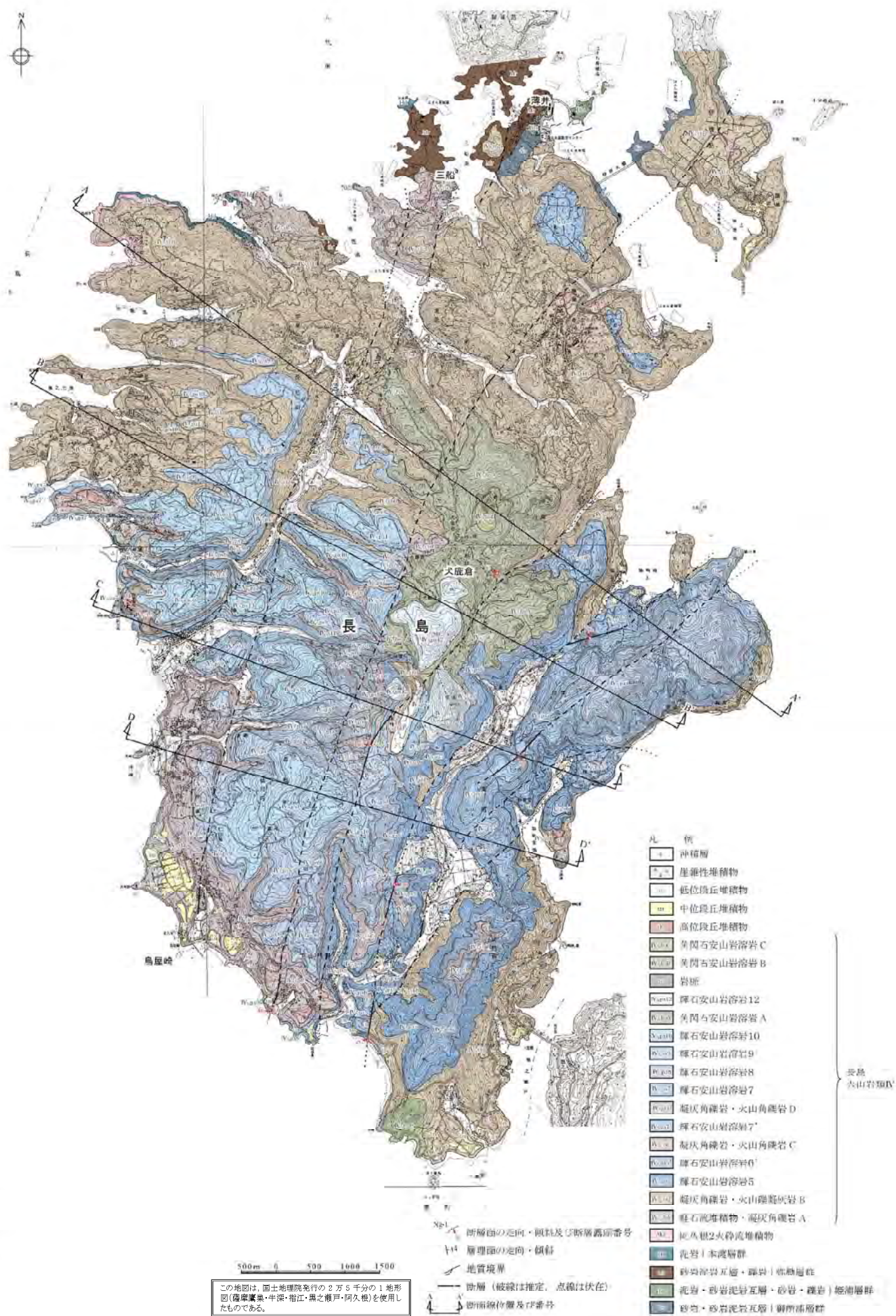
断層面は不明瞭であるが、断層面に沿って礫混じり粘土（擾乱部）及び礫の再配列が認められる。

- 凡例
- 茶褐色土壌
 - 崖錐性堆積物
 - 円礫岩
 - 砂・シルト質角礫岩
 - 礫混じり粘土（擾乱部）
- f.N24E,87E 断層面の走向・傾斜

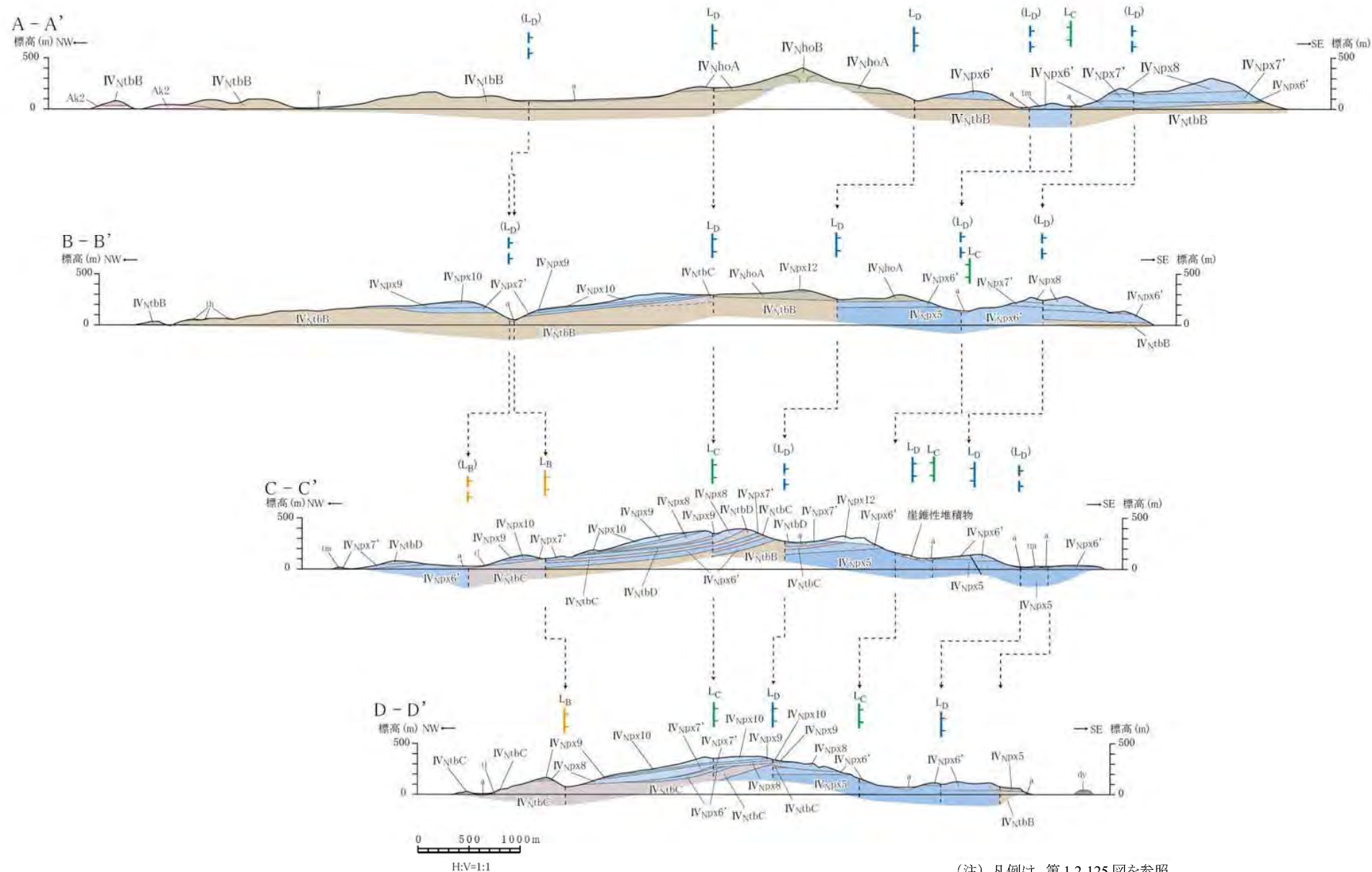
第 1.2-122 図(3) 露頭スケッチ (Loc.A-3, 出水市大丸)



第 1.2-124 図 長島西断層・長島断層群周辺の空中写真判読図



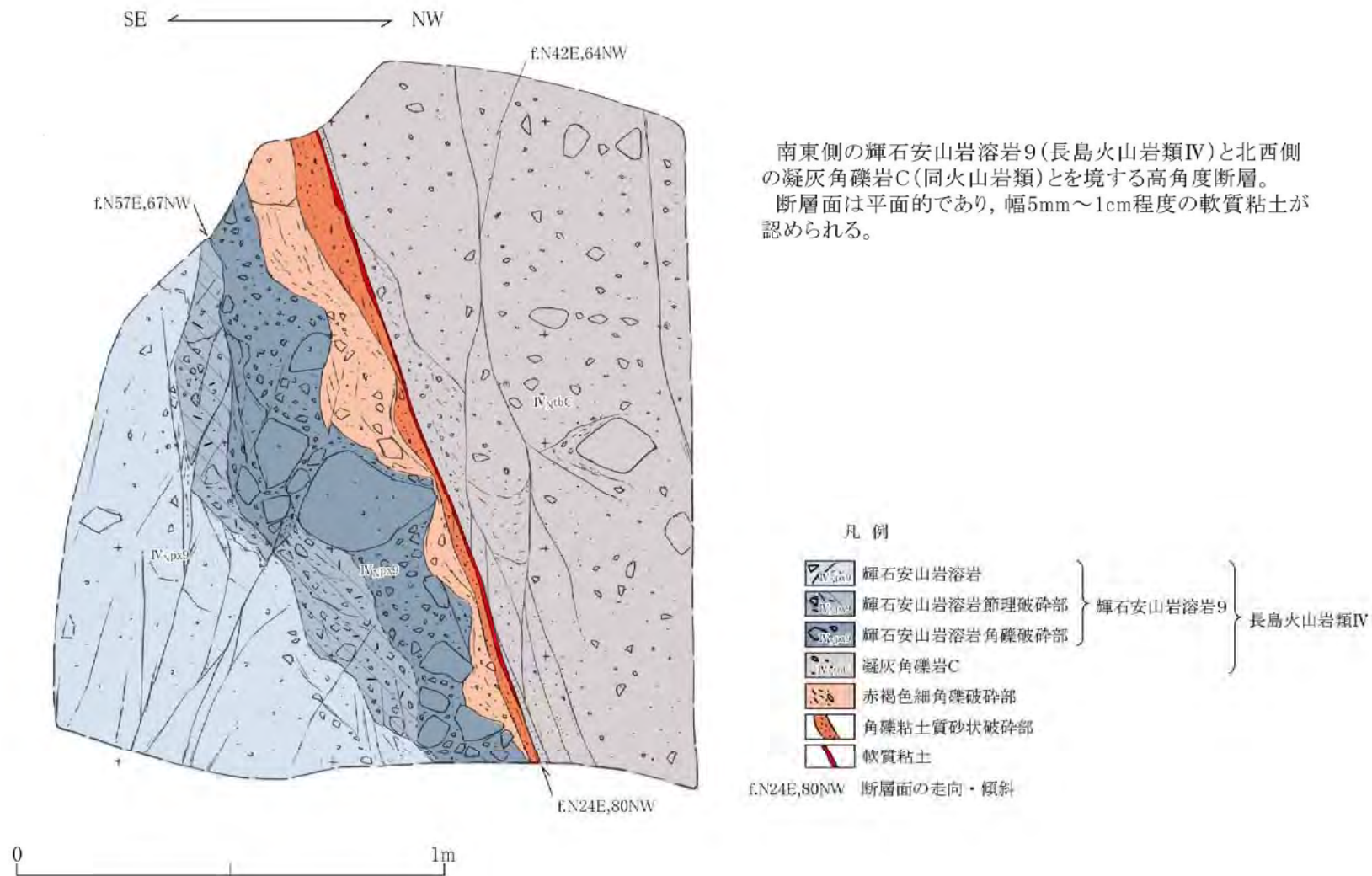
第 1.2-125 図 長島西断層・長島断層群周辺の地質図



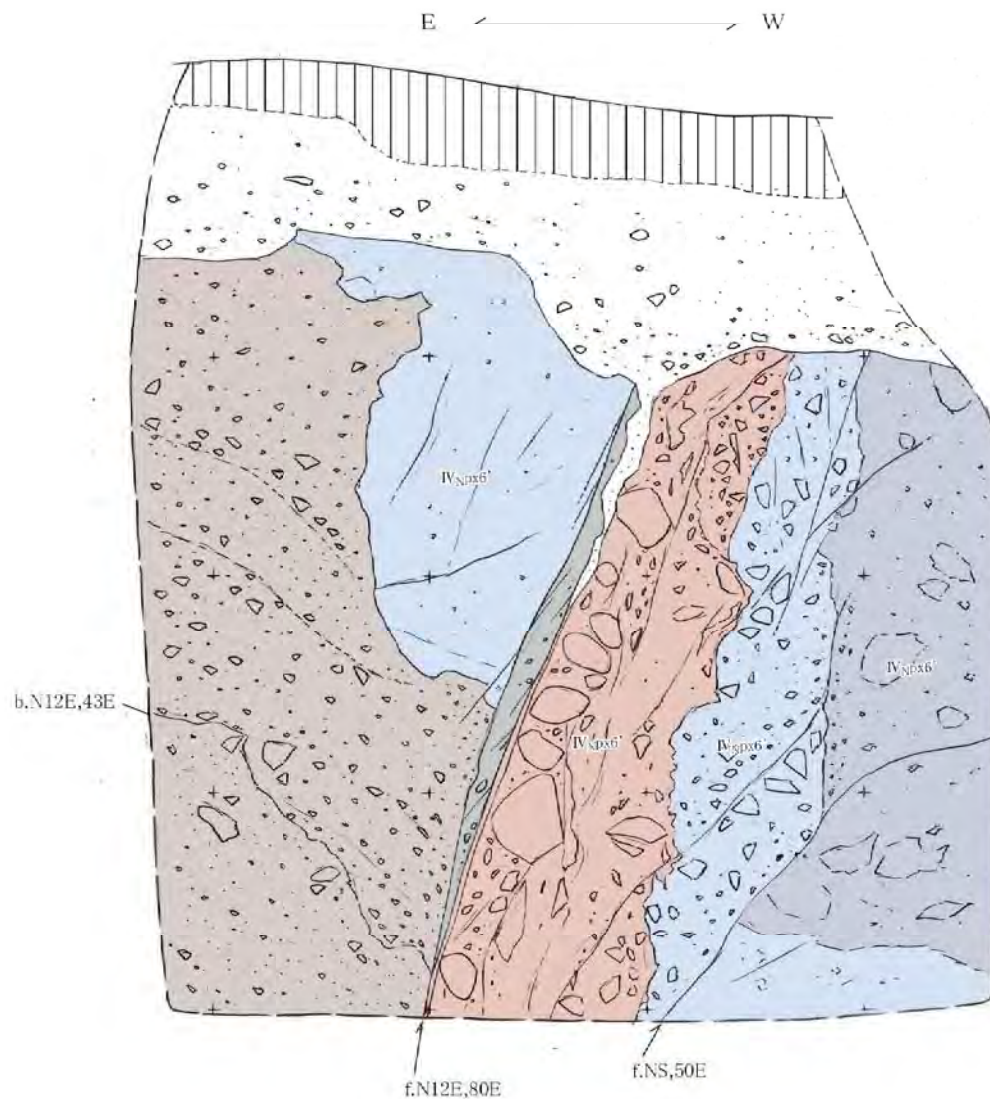
(注) 凡例は、第1.2-125図を参照。

(注) 破線で示す()付きのLdなどは、リニアメントの延長位置を示す。

第1.2-126図 長島西断層・長島断層群周辺の地質断面図



第 1.2-127 図(1) 露頭スケッチ (Loc.Ng-1, 長島町毎床牧場)

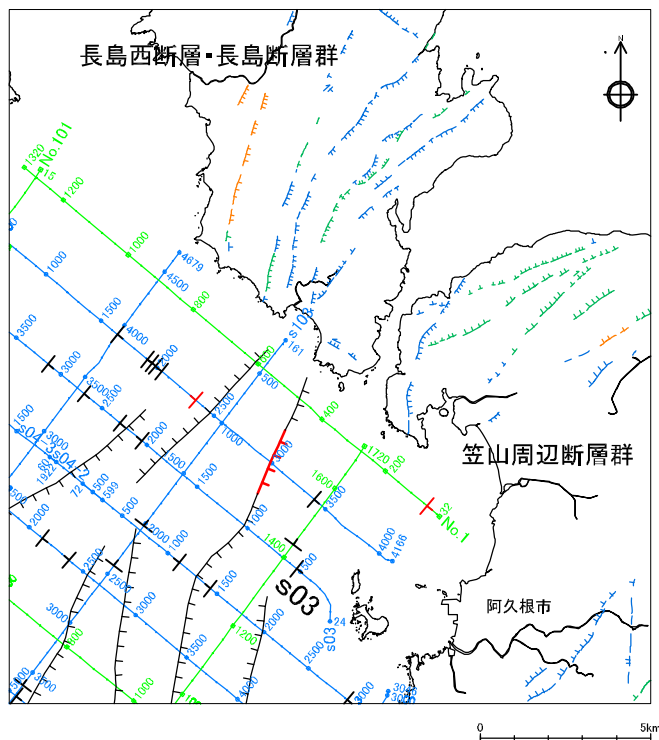


輝石安山岩溶岩6' (長島火山岩類IV) 中の高角度断層。
断層面は明瞭であるものの、湾曲しており、癒着している。断層面近傍には節理がみられるものの、軟質な破碎部は認められず、固結している。



0 1m

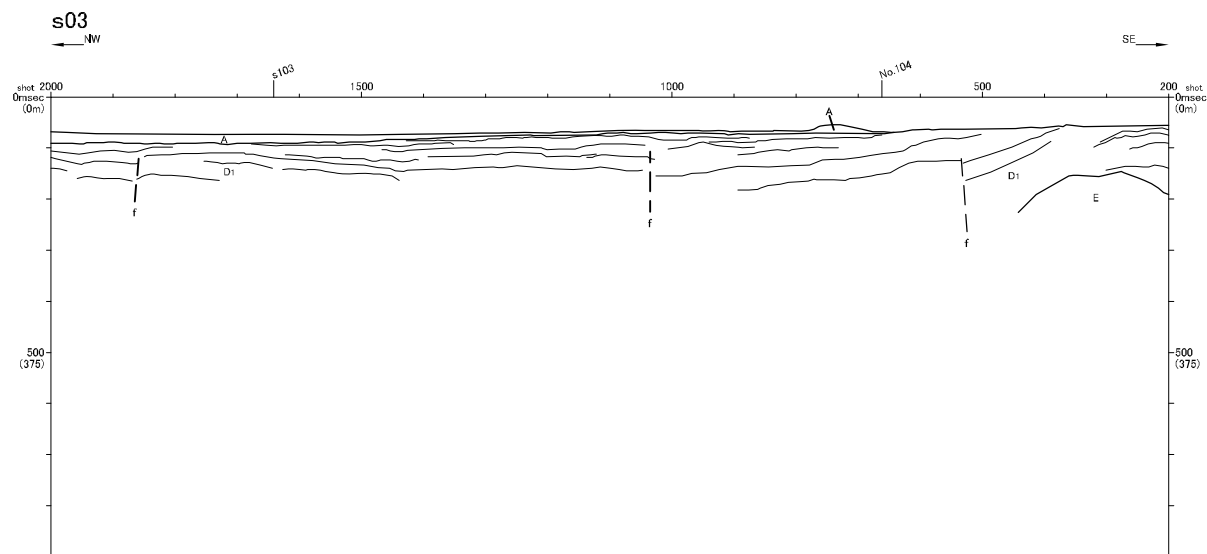
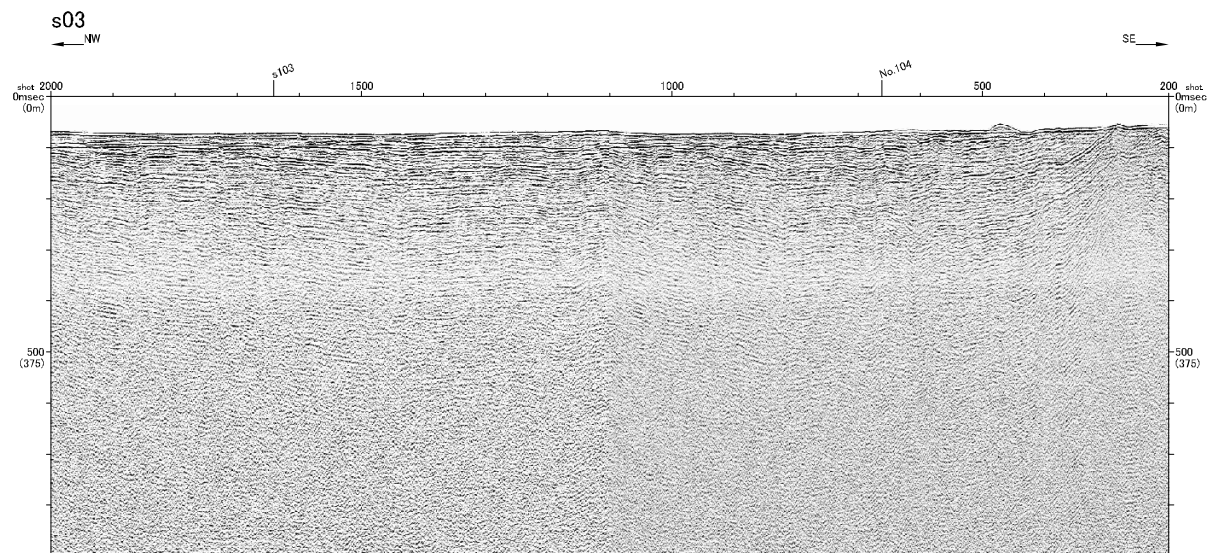
第 1.2-127 図 (2) 露頭スケッチ (Loc.Ng-2, 長島町山門野下)



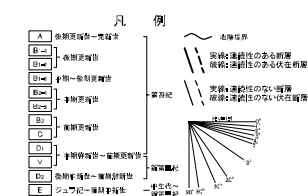
長島西断層・長島断層、笠山周辺断層位置図

凡 例

- | | | | |
|--|--|--|-----------------------|
| | 連続性のある断層 | | L _B リニアメント |
| | 連続性のある伏在断層 | | L _C リニアメント |
| | 連続性のない断層 | | L _D リニアメント |
| | 連続性のない伏在断層 | | |
| | 九州電力株によるマルチチャンネル音波探査測線
(G I ガン、ウォーターガン) | | |
| | 九州電力株によるシングルチャンネル音波探査測線
(ウォーターガン、スパーカ) | | |

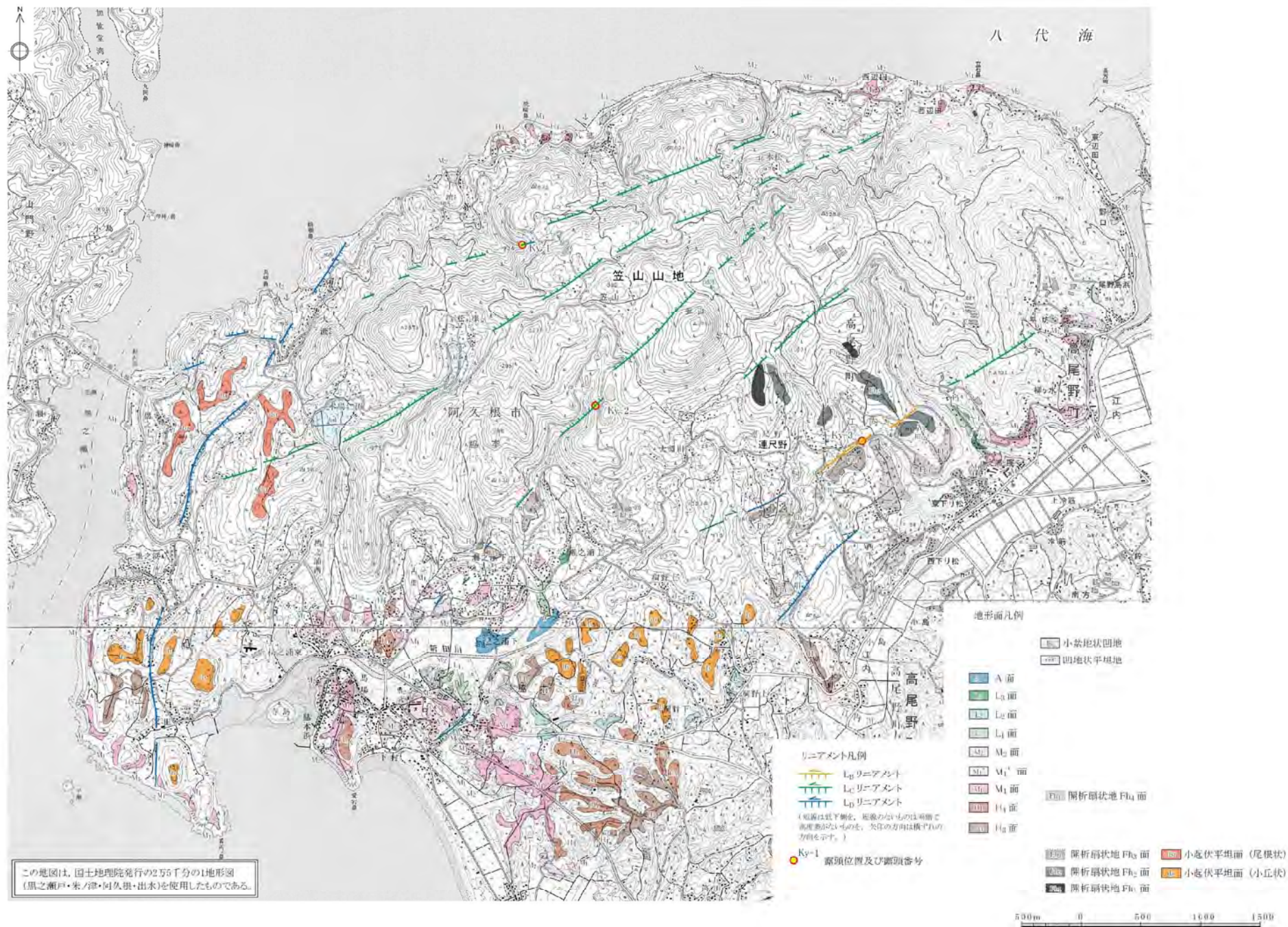


音波探査記録断面図

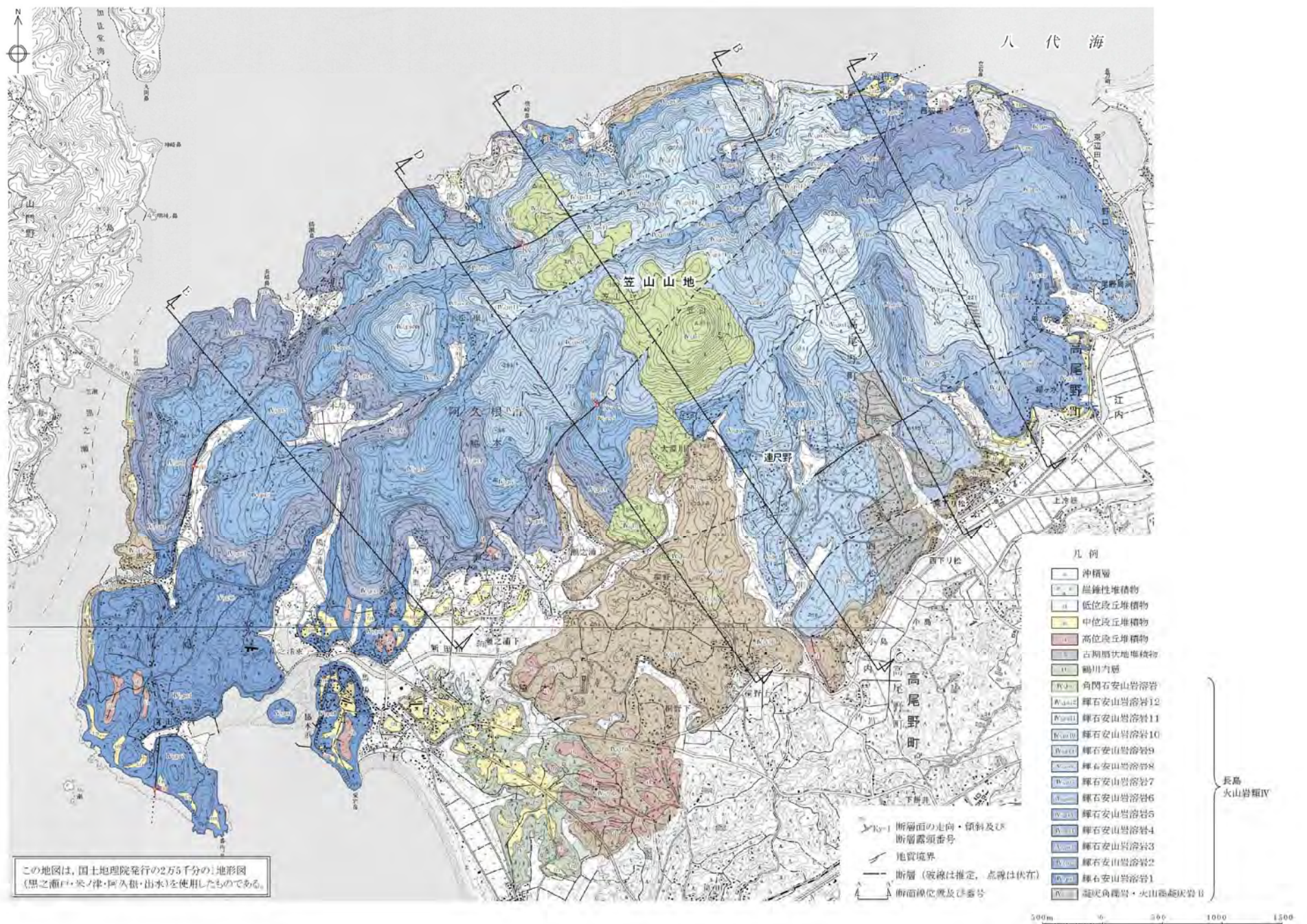


水涯線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤(熊本・鹿児島)を編集したものである。

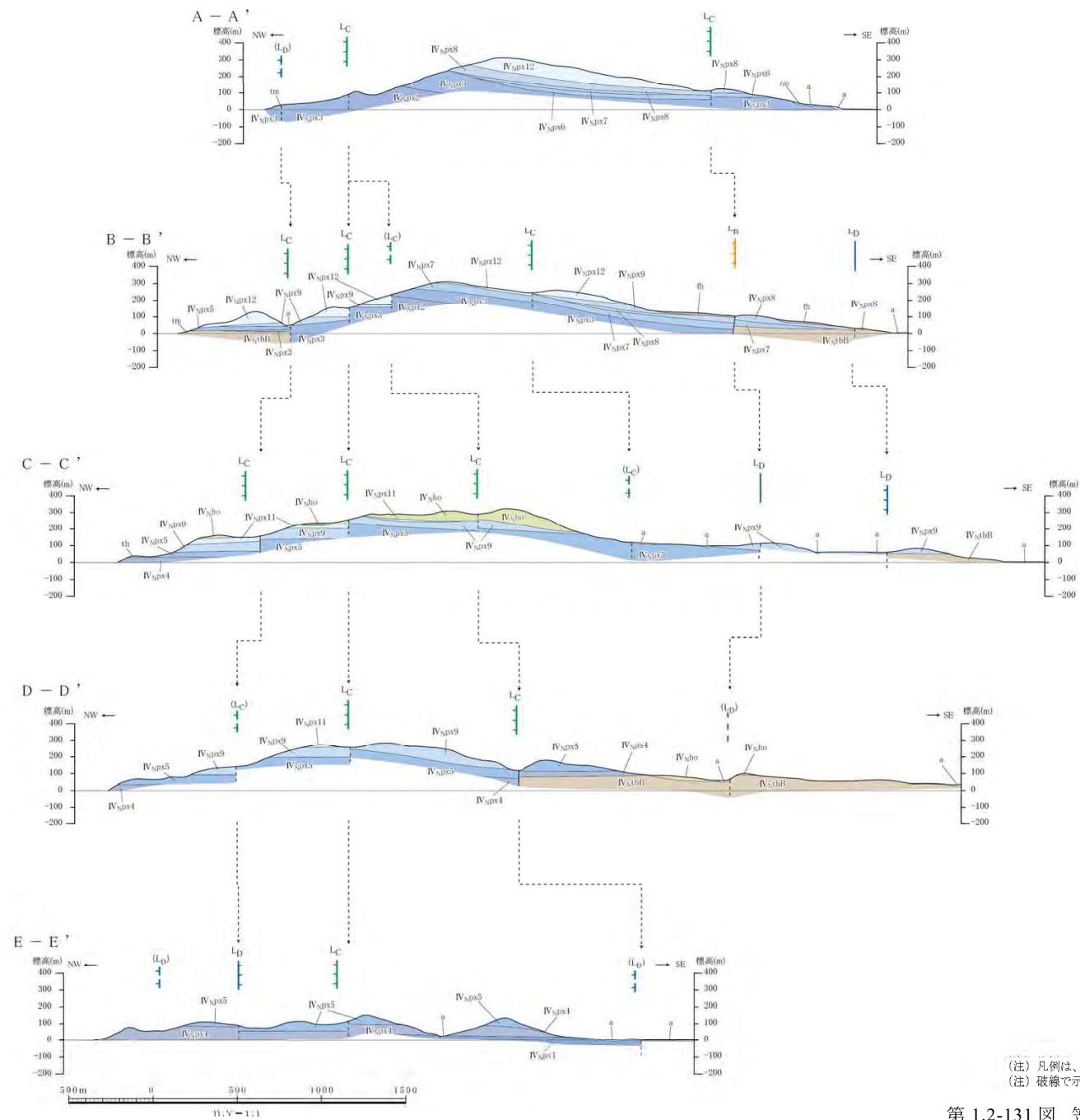
第1.2-128図 長島西断層・長島断層群、笠山周辺断層群海域延長部(s03測線)



第 1.2-129 図 笠山周辺断層群周辺の空中写真判読図

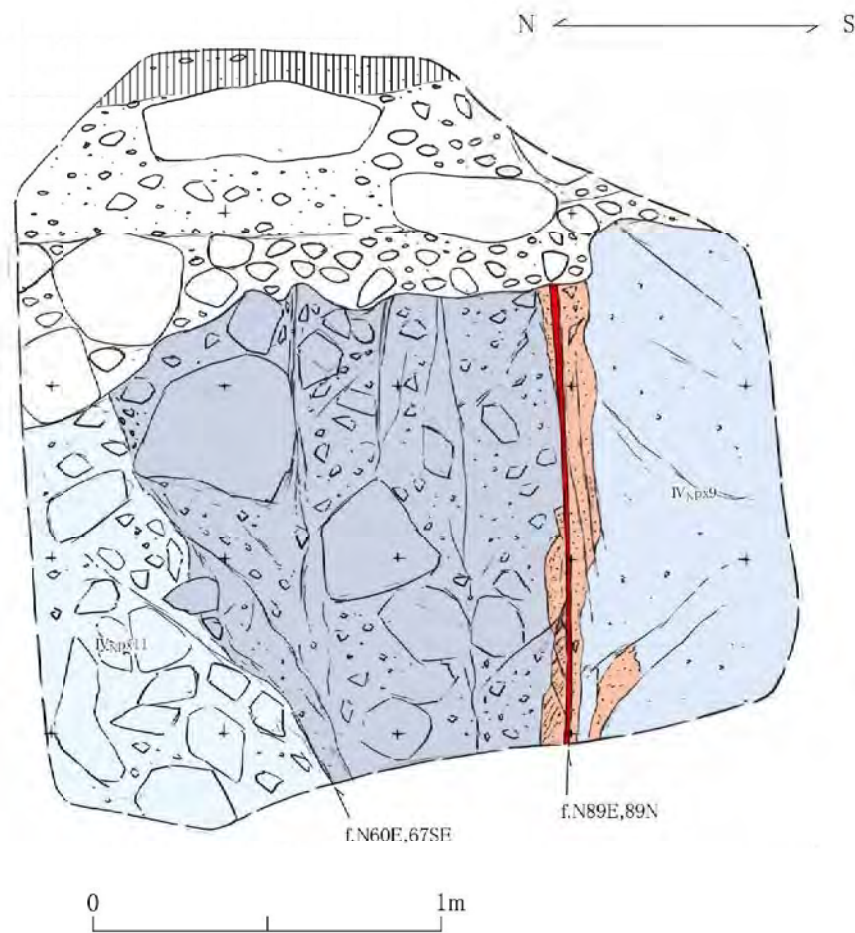


第 1.2-130 図 笠山周辺断層群周辺の地質図

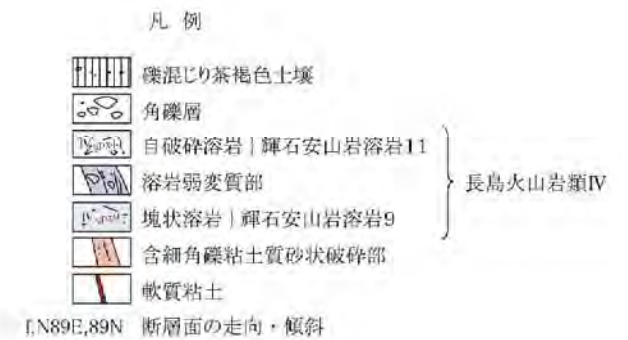


(注) 凡例は、第 1.2-130 図を参照。
 (注) 破線で示す () 付きの LD などは、リアメントの延長位置を示す。

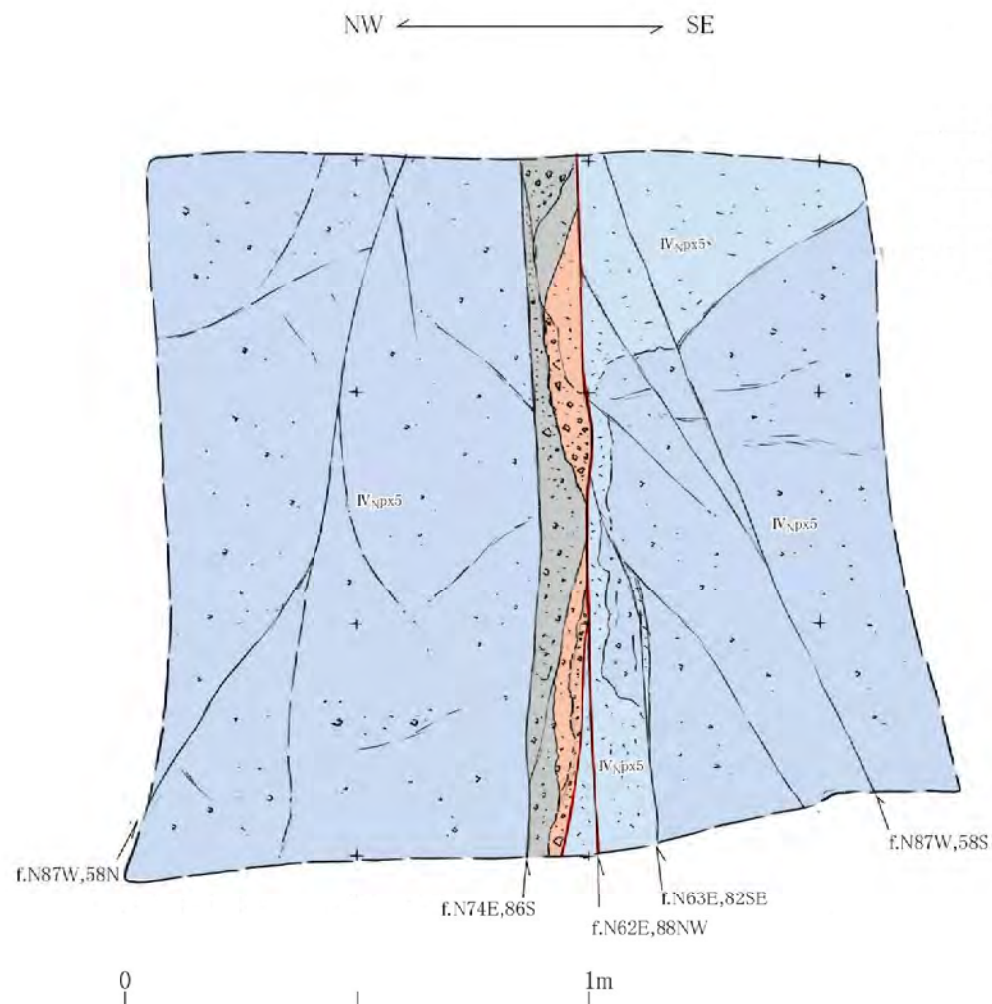
第 1.2-131 図 笠山周辺断層群周辺の地質断面図



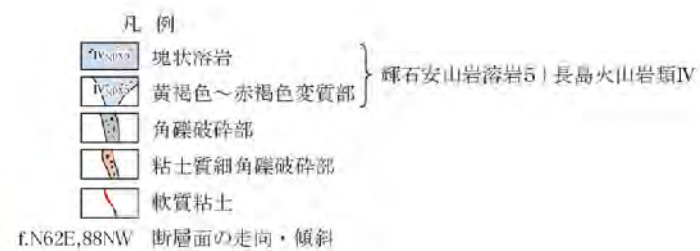
北側の輝石安山岩溶岩11(長島火山岩類IV)と南側の輝石安山岩溶岩9(同火山岩類)とを境する高角度断層。
断層面は平面的であり, 5mm~1cm程度の軟質粘土が認められ, 断層面上には鉛直方向の条線が明瞭である。



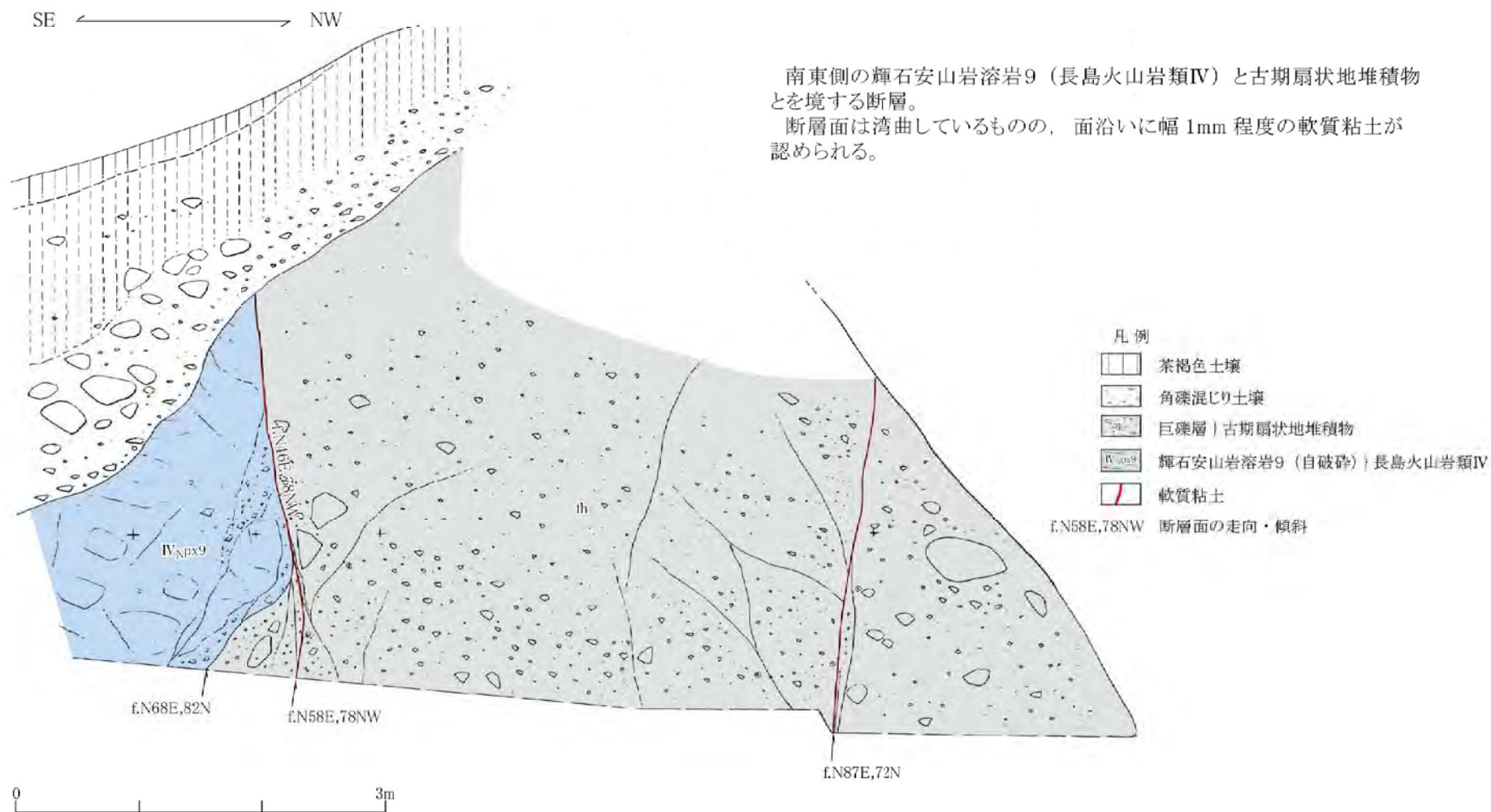
第 1.2-132 図(1) 露頭スケッチ (Loc.Ky-1, 阿久根市笠山北西)



輝石安山岩溶岩5(長島火山岩類IV)中の高角度断層。
断層面は平面的であり, 幅1mm程度の軟質粘土が認められる。



第 1.2-132 図 (2) 露頭スケッチ (Loc.Ky-2, 阿久根市笠山南方)



第 1.2-132 図(3) 露頭スケッチ (Loc.Ky-3, 出水市連尺野)